はじめに

このたびは、「Vodafone 804N」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

● Vodafone 804Nをご利用の前に本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
● 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
● 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。
● ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

Vodafone 804Nは、W-CDMA方式とGSM方式に対応しております。

ご注意

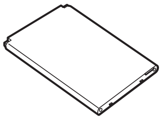
・本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
・本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。
・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

Vodafone 804N本体のほかに、次の付属品がそろっていることをお確かめください。オプション品としても取り扱いしております。

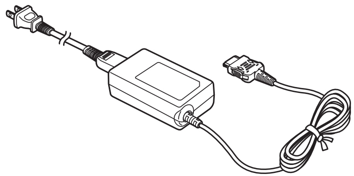
付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P31-41）までご連絡ください。

■ 電池パック



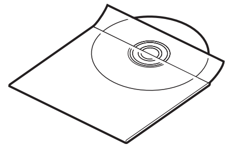
NEBAB1

■ 急速充電器

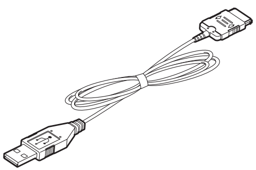


NECL01

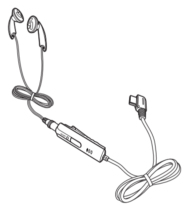
■ ユーティリティーソフトウェア(CD-ROM)※（試供品）



■ USBケーブル（試供品）



■ ステレオイヤホンマイク（試供品）



Vodafone 804Nは、microSDカードに対応しております。ご利用にあたっては、市販のmicroSDカードをご購入ください。

※ 付属のユーティリティーソフトウェアは予告無く変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

目　次

基本操作編

1　ご利用になる前に

2　基本的な操作のご案内

3　マナーモード

4　文字の入力方法

5 電話帳

6 TV コール

7 カメラ

8　ディスプレイとランプの設定

9　音の設定

10 エンタテイメント

11 メモリカード

12 データ管理（データフォルダ）

13 外部接続

14 セキュリティ

15 ツール

16 その他の機能

17 オプションサービス

Vodafone live ! 編

18 Vodafone live!

19 メール受信

20 メール送信

21 メールボックス

22 メールサーバ

23 メールのその他設定

24 ウェブの基本操作

25 情報の利用

26 ウェブのその他設定

27 V アプリの基本操作

28 V アプリの利用

29 V アプリのその他設定

30 Abridged English Manual

31 付録

本書の見かた

この『Vodafone 804N取扱説明書』の本文中では、「Vodafone 804N」を「804N」と表記しております。あらかじめご了承ください。

操作手順の表記について

操作手順の説明は、簡略化した表現で記載しています。手順の読みかたについては「ご利用になる前に」の章の「機能の呼び出しかた」を参照してください。

ディスプレイの表示について

- 操作説明の画面は、あくまでも例であり、記載されている画面の内容や番号などは、実際の画面と異なります。
- 操作説明の画面は、説明に必要な部分のみを拡大して記載していることがあります。

各種の警告メッセージについて

- この取扱説明書は、主にお買い上げ時の状態をもとに説明しています。設定を変更された場合、804Nの表示や動作が本書の記載と異なることがあります。メッセージが表示されたときには、メッセージ画面をよくお読みください。
  〈例 1〉ダイヤル発信制限や発着信規制の設定を変更している場合、「基本的な操作のご案内」の章の「電話をかける」の操作を行うと、発信できない旨のメッセージが表示され、電話がかけられません。
  〈例2〉マナーモード中に「メディアプレイヤー」や「データ管理」の章で説明している手順でメロディや動画を再生しようとした場合、再生するかどうかのメッセージが表示されることがあります。

登録商標について

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
  5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
  5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
  5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338
- T9 Text Input®およびT9ロゴマークはTegic Communications社の登録商標です。
  T9テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。
- microSD™はSDアソシエーションの商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - ・MPEG-LA よりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。
  Powered by JBlend™, ©2003-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendロゴマークは、株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「着うた®」「着うたフル®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

- 本製品はインターネットブラウザおよびメーラとして、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront Messaging Clientを搭載しています。
  Copyright © 2004-2006 ACCESS CO., LTD.
- ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- The Bluetooth® word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by NEC is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本書では、Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
- 本書では、Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。
- Vodafone、Vodafone live！（ボーダフォンライブ！）、スピーチマークデバイスおよびMy VodafoneはVodafone Group Plcの登録商標または商標です。
- TVコール、Vアプリ、写メール、デルモジはボーダフォン株式会社の登録商標または商標です。
- 「マルチタスク／MULTITASK」「ワード予測」「NEC SUPER TOWN」は日本電気株式会社の登録商標または商標です。
- Powered by mascot Capsule®/Micro3D Edition™ ascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

804NのBluetooth®機能の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. Bluetooth®機能を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、「他の無線局」との間に問題となる電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、またはBluetooth®機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、ご不明な点やお困りのことが起きたときは、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。

804NのBluetooth®機能は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

2.4FH1

安全上のご注意

- 製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。お読みになったあとは、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、メモリの消失、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の意味

	この絵表示は、禁止の行為であることを示しています。
	この絵表示は、指示に基づいた行為を強制する内容（必ず行っていただきたいこと）を示しています。
	この絵表示は、電源プラグを必ずコンセントから抜いていただく内容を示しています。

⚠ 危険

804N、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

804Nに使用する機器は当社の指定品（☞P.i）以外のものは使用しないでください。指定品以外のものを使用した場合は、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

ぬらさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。指定部分以外の点検、調整、修理はお問い合わせ先(☞P.31-41)までご連絡ください。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックをご使用の際は、次のことを絶対にしないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

- 電池パックを804Nに取り付けるときには、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。うまく入らない場合は、無理に取り付けないでください。
- 火の中に投下しないでください。
- 電池パックの端子に針金などの金属類が触れないようにしてください。また金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり踏みつけたりしないでください。

電池パック内部の液が目に入ったときは、こすらず、直ちにきれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。失明などの原因となります。

⚠ 警告

804N、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れのある場所では使用しないでください。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、804Nや充電用機器を入れないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や、804N、充電用機器の発熱、発煙、発火、回路部分の破壊の原因となります。

充電端子や外部接続端子、microSDカードホルダーおよびUSIMカードホルダーに水などの液体や導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となります。

異音、発煙、異臭などの異常な状態に気がついたときは、以下のとおりに機器を電源から外し、お問い合わせ先(☞P.31-41)までご連絡ください。

・ 804N：本体の電源を切り、やけどやけがに注意して電池パックを取り外してください。
・ 急速充電器:プラグをＡＣコンセントから抜いてください。
・ シガーライター充電器:プラグをシガーライターソケットから抜いてください。

804Nの取り扱いについて

自動車などを運転中に使用しないでください。2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。なお、歩きながら使用するときは、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

ステレオイヤホンマイクやストラップを持って804Nを振り回さないでください。本人や周囲の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、804Nの電源を切ってください。電子機器に誤動作を与える場合があります。

・ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器をご使用になるときは、電波による影響について当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者にご確認ください。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、804Nの電源を切ってください。電子機器に誤動作を与える場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。法令によって定められている禁止行為をした場合は罰せられることがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、直ちに電源を切って安全な場所に移動してください。落雷、感電の原因になります。

心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットに804Nを入れないでください。804Nは折り畳み式のため、閉じた状態を検出する磁石を使用しています。804Nを医用電気機器などの近くで使用すると、磁石が動作に影響を与えたり、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

スピーカーホンを「On」に設定してスピーカーで通話する際は、804Nを耳から離してください。聴覚に影響を与えることがあります。

エアバックの近くのダッシュボードなど、エアバックの展開による影響が予想される場所に804Nを置かないでください。エアバックが展開した場合、804Nが本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

所定の充電時間（☞P.1-19）を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

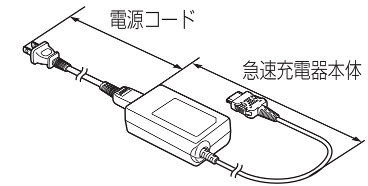
電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、異常が発生した場合は、やけどやけがに注意して804Nから取り外し、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因となります。

電池パックの漏液、異臭に気がついたときは、直ちに火気から遠ざけてください。漏液した溶解液に引火し、発火、破裂の原因となります。

充電用機器の取り扱いについて

指定の電源、電圧で使用してください。指定された電源、電圧以外で使用すると、火災や故障の原因等となります。



・急速充電器本体　　AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
付属品の電源コードは急速充電器（NECL01）専用です。ほかの機器では利用しないください。
付属品の電源コードは、国内専用です。海外での充電に起因するトラブルにつきましては、当社は責任を負いかねます。
・シガーライター充電器　　DC12/24V（マイナスアース車専用）

シガーライター充電器はマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

電源コードが傷んだら、使用を中止し、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。そのまま使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。

万一シガーライター充電器のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。指定以外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

充電用機器をご使用の際は、次のことを絶対にしないでください。火災、感電、故障の原因となります。

- ぬれた手で充電用機器、電源コードやコンセントに触れないでください。
- ぬれた電池パックを充電しないでください。電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。
- 充電中は、充電用機器を不安定な場所に置かないでください。また、布や布団で覆ったり包んだりしないでください。804Nが外れたり、熱がこもる場合があります。
- 急速充電器や卓上ホルダーは、ふろ場など湿気の多い場所では使用しないでください。
- コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子やコネクター端子をショートさせないでください。また、充電端子やコネクター端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
- コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

万一水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントや、シガーライターソケットからプラグを抜いて、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。そのまま使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

プラグに付いたほこりはふき取ってください。火災の原因となります。

急速充電器をコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。感電、ショート、火災の原因となります。

雷が鳴り出したら安全のため、804N、充電用機器には触れないでください。落雷、感電の原因となります。

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。破損し、感電や故障の原因となります。

医用電気機器の近くでの804Nの取り扱いについて

ここで記載している内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会[旧不要電波問題対策協議会][平成9年4月]）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」(平成13年3月「社団法人　電波産業会」)の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、804Nの電源を切るようにしてください。電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守ってください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には804Nを持ち込まないでください。
- 病棟内では、804Nの電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、804Nの電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者にご確認ください。

⚠ 注　意

804N、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

湿気やほこりの多い場所、また高温となる場所には保管しないでください。故障の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下してけがや故障の原因となります。

充電、または動画撮影や再生、TVコール、ウェブ、Vアプリの繰り返しや長時間連続使用などの場合において804Nや電池パック、充電用機器の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。804Nを充電用機器に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。また、使用中においても指示どおりに使用しているかに注意してください。けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲みこんだり、けがなどの原因となります。

ステレオイヤホンマイクを804Nに装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節をしてください。音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因になります。

804Nの取り扱いについて

自動車内で使用すると、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。自動車内で使用する際は、お使いの車載電子機器に十分な対電磁波保護がされているか、自動車販売店にご確認ください。安全走行を損なう原因となります。

ストラップなどを挟んだまま、804Nを折り畳まないでください。故障、破損の原因となります。

磁気カードなどを804Nに近づけたり、挟んだりしないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などを生じることがあります。そのような場合は、直ちに使用を中止し医師の診療を受けてください。

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	表示操作面、サブディスプレイ面、電池面、電池カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
	接写スイッチ	ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装
内側カメラレンズ、外側カメラレンズ、メインディスプレイスクリーン、サブディスプレイスクリーン		アクリル樹脂	–
ゴムパッド（メインディスプレイ上部）		シリコンゴム	–
ネジキャップ（メインディスプレイ下部）、ランプレンズ		PC樹脂	–
ヒンジ部クッション		ポリエチレン	–
操作面ボタン類	マルチセレクター	PC樹脂、ABS樹脂	クロムメッキ
	セレクトボタン	PC樹脂	–
	メールボタン、Vodafone live!ボタン、メニュー／マルチボタン、ミュージックボタン、開始／発信履歴ボタン、クリア／バックボタン、電源／終了ボタン、*ボタン、#ボタン、ダイヤルボタン	PC樹脂	アクリルウレタン系UV硬化塗装
ミュージックアシストボタン、サイドボタン		ABS樹脂	クロムメッキ
イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー		エラストマー樹脂	–
ロゴバッジ		アルミニウム、PC樹脂	–
充電端子		ベリリウム銅	ロジウムメッキ
電池パック収納部	シールドカバー（金属）	ベリリウム銅	–
	USIMホルダー（金属部）	ステンレス	–
	USIMホルダー（プラスチック部）	LCP	–
	USIMホルダー（端子部）	リン青銅	金メッキ
	microSDカードホルダー（金属部）	ステンレス	金メッキ
	microSDカードホルダー（プラスチック部）	ガラス繊維、LCP	–
	microSDカードホルダー（端子部）	リン青銅	金メッキ
	電池端子	銅合金	金メッキ
電池パック	電池パック外装（ラミネート部）	アルミニウム	PET
	電池パック外装（プラスチック部）	PP樹脂、PC樹脂	–
	端子	銅	金メッキ

カメラのレンズに太陽光などの強い光があたる状態で長時間放置しないでください。レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

804Nを開くときに、ヒンジ部（可動部）の周辺に指を挟まないようにご注意ください。けがなどの原因となります。

万一ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどにご注意ください。ディスプレイ部やカメラのレンズ表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛び散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた切断面などに触れますとけがの原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。失明や皮膚に傷害をおこす原因となります。

電池パックの取り扱いについて

一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

充電用機器の取り扱いについて

シガーライター充電器はエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる原因となります。

電源コードの上に重いものを載せないでください。感電、火災、故障の原因となります。

充電終了後は、コンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。火災、故障の原因となります。

お手入れの際には、必ずコンセントや、シガーライターソケットからプラグを抜いてください。感電の原因となります。

充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電、故障の原因となります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

●804N は電波を使用しているため、電波の弱いところ、およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、サービスエリア内であっても、ビルの陰、ビル内、トンネル、地下、山間部など、電波の弱いところ、電波の届かないところでは、ご使用になれません。また、通話中にこのような場所へ移動する場合、通話が途切れることがありますのであらかじめご了承ください。

●公共の場所でご利用いただくときは、周囲の方の迷惑にならないように注意してください。

●歩行中に着信した場合は、周囲の状況を確認し、安全な場所へ移動してからご使用ください。

●電車などの交通機関内で使用した場合、まれに電車などに搭載されている電子機器に影響を与えることがありますので注意してください。

●事故や故障などにより804Nに登録したデータ(電話帳、画像、サウンドなど)が消失、変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。

●804Nは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

●804N の時刻表示はあくまでも目安です。正確な時刻を確認したい場合は、時報サービスなどによって確認してください。

●次のような場合は電話がつながらなかったり、雑音が入ることがあります。

・製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。正常に動作しないことがあります。

・金属製家具などの近くに置かないでください。電波が飛びにくくなります。

・電気製品、AV、OA 機器などの磁気を帯びているところ、磁波が発生しているところに置かないでください。(コンピュータ、電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバーターエアコン、電磁調理器など。)

・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話できなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。

・ 放送局や無線局などが近く、通話中の雑音が大きいときは、804Nを移動してみてください。他の無線局などの電波が強すぎる場合は804Nが使用できないことがあります。

・ トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。

●一般の電話機やテレビ、ラジオなどをご使用になっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますのでなるべく離れた場所でご使用ください。

●傍受にご注意ください。
804Nはデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。

・ **傍受(ぼうじゅ)とは**
無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご利用にあたって

●自動車などを運転中に使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因となります。法令によって定められている禁止行為をした場合は罰せられることがあります。

●車を安全な場所に停車させてからご使用ください。

●自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあるため、自動車内で使用する際は、十分な対電磁波保護がされているか、自動車販売店にご確認ください。安全走行を損なう原因となります。

航空機の機内でのご利用について

航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。(電源も入れないでください。)運航の安全に支障をきたす恐れがあります。法令によって定められている禁止行為をした場合は罰せられることがあります。

お取り扱いについて

- 水をかけないでください。804N、電池パック、充電用機器は防水仕様になっておりません。ふろ場など、湿気の多い場所や、雨などのかかる場所でのご使用はおやめください。また、シャツの胸ポケットに入れるなど身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し、故障の原因となります。調査の結果、これら水ぬれによる故障と判明した場合、保証対象外となり、修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、水ぬれによる故障は保証対象外ですので、修理を実施できる場合でも有償修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。ぬれた布などでふくと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子はときどき乾いた布、綿棒などで清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電用機器では正常に充電できない場合があります。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
- 804Nに無理な力がかかるような場所に置かないでください。ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れないでください。
  - 衣服のポケットに入れたまま座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
- 連続通話中、TVコール中、充電中には、電源（PWR）ボタン、ダイヤルボタン等の操作部や電池パックの温度が上昇しますが、故障ではありません。
- 極端な高温、低温は避けてください。温度は5℃～40℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
- カメラを直射日光に向けて放置しないでください。素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- メインディスプレイやボタンのある面にシールなどを貼らないでください。804Nを閉じたときにボタンが押されるなどして誤動作したり、804Nが損傷する恐れがあります。

- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。傷つくことがあります。
- 804N の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので注意してください。なお、こうした消失、変化に起因する損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 電池パックは、電池残量のない状態で保管・放置をしないでください。長時間放置される場合は804Nから外し、添付のビニール袋に入れて乾燥した冷暗所に保存してください。
- 電池パックは長時間使用しない場合でも半年に一度は充電してください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。ほこり、水などが入りやすくなり、故障の原因となります。
- ステレオイヤホンマイクをイヤホンマイク端子から抜く場合は、コードを引っ張らずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると断線、故障の原因となります。

カメラについて

お客様が804Nを利用して公衆に著しく迷惑をかける不法行為等を行った場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作権人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。

804Nを使用して複製など行う場合は、著作権法を尊守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、804Nにはカメラ機能が搭載されておりますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種〈804N〉の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

この携帯電話機〈804N〉のSARは、0.197W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index.html

ご利用になる前に

機能一覧

USIMカード対応
お客様の電話番号などの情報が書き込まれたカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話に挿入して使います。

サブディスプレイ
不在着信や新着メールを確認できます。

マナーモード
着信を振動で知らせるなど、周囲の迷惑にならないように電話を利用するための機能です。

国際ローミング
W-CDMA方式とGSM方式に対応しており、日本国内／海外を1つの電話番号で利用できます。

着信音
着信音を好きなパターンやメロディに変更できます。

誤動作防止
誤動作を防ぐためにすべてのボタン操作を無効にできます。

外側ボタンロック
804Nを閉じているときの外側のボタン操作を無効にできます。

電話帳
804N本体には電話帳データを500件登録できます。USIMカードにも電話番号とメールアドレスを登録できます。

シークレット
秘密にしたい電話帳は、シークレット登録することで他人から見られないようにできます。

TVコール
TVコールに対応したボーダフォン携帯電話同士で、お互いの映像を見ながら通話できます。

カメラ
静止画や動画を撮影できます。

デスクトップ
よく使う機能や電話番号などをすぐに呼び出せるように、待受画面にアイコンとして貼り付けることができます。

Language
ディスプレイ表示を英語に切り替えることができます。

ミュージックプレイヤー
ウェブサイトやCDから取り込んだお好みの音楽を聴くことができます。

メディアプレイヤー
804Nのカメラで撮影した静止画や動画を楽しんだりできます。また、複数の動画を好きな順番に再生するプレイリストを作成できます。

ユーザ辞書
よく使う単語をお好みの読みで登録しておくと、文字を入力するときに登録しておいた読みで単語を表示できます。

簡易電卓
四則演算をすることができます。

通貨換算
換算レートを設定して外国通貨の換算をすることができます。

アラーム
804Nを目覚まし時計として利用することができます。

世界時計
海外の時刻を設定して表示することができます。

microSDカード
いろいろなデータをmicroSDカードに保存できます。

データフォルダ

いろいろなデータをまとめて管理できます。

Bluetooth

Bluetoothを利用して、データのやりとりができます。

USB

804NとパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信をしたり、microSDカード内のデータを読み込み／書き込みできます。

指定着信拒否登録

着信を拒否する電話番号を指定できます。

バーコードリーダー

バーコード（QRコード）から読み取った情報を使って、簡単にURLへのアクセスやメールの送信などができます。

ボーダフォンライブ！キャスト

お好みの情報を登録しておくと、定期的に自動更新されます。

メール

ボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間でメール、画像、メロディなどの送受信ができます。

ウェブ

サービスセンターやインターネットから文字情報や画像、メロディを入手できます。

Vアプリ

インターネットなどからVアプリを入手し、利用できます。

デルモジ表示

受信メールの絵文字やテキストを3Dグラフィックで表示します。

オプションサービス

転送電話サービス

かかってきた電話を別の電話に転送できます。転送先に留守番電話センターを登録している場合は、留守番電話センターで相手の方のメッセージをお預かりします。

留守番電話サービス

電話に出られないときに留守番電話センターがメッセージをお預かりします。

割込通話サービス

通話中に他からの電話を受けたり、相手の方と切り替えながらお話しすることもできます。

発着信規制サービス

電話をかけたり受けたりする範囲を国内だけに制限したり、着信または発信専用にしたりできます。

発信者番号通知サービス

ご自分の電話番号を相手に通知したり、非通知に設定できます。

多者通話サービス

複数で同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。

USIMカードのお取り扱い

■ USIMカードをご利用になる前に

USIM（ユーシム）カード（以下USIMカード）は電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話に取り付けて使用します。USIMカードが取り付けられていない場合、電話の発着信、メール、ウェブなどのネットワーク接続ができません。

- USIMカードには電話帳とSMSを保存できます。
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のボーダフォン携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードに使用する機器は当社の指定品以外のものは使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、データの消失や故障の原因となる場合があります。
- 電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に、USIMカードを入れないでください。溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。
- USIMカードは乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがの原因となる場合があります。
- USIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないでください。（USIMカードの取り外し、および挿入時に過剰な力を加えると故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つける可能性がありますのでご注意ください。）
- 他社製品のICカードリーダーなどに、USIMカードを挿入し故障した場合、お客様ご自身の責任となり当社では責任を負いかねます。
- ご利用中、USIMカード自体が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。（USIMカードのIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不必要なIC部分への接触はなるべく避けるようにしてください。）
- USIMカードにラベル等を貼り付けないでください。
USIMカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- USIMカードの詳細については、USIMカードに添付されている説明書を参照してください。

■ USIMカードについてのその他ご注意

- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約、休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。

  なお、データの消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 国内外問わずUSIMカードならびにボーダフォン携帯電話（USIMカード挿入済み）を盗難・紛失した場合は必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きはお問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。
- 804Nの修理、USIMカードの交換や機種変更をした場合、本体やメモリカードに保存した着うた®や着うたフル®、Vアプリ、動画などのファイルがご利用できなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。
- USIMカードを交換するとお気に入りなどの情報が利用できなくなります。

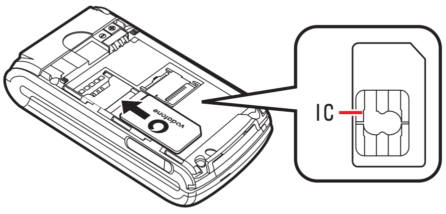


■ USIMカードを取り付ける／取り外す

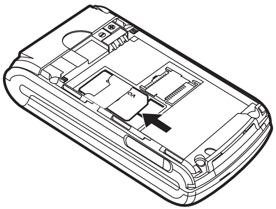
USIMカードの取り付けや取り外しは、電池パックを取り外してから行います（☞P.1-16）。

■ 取り付ける

1 USIMカードの金色のIC部分を下側にして、USIMカード挿入口に差し込む

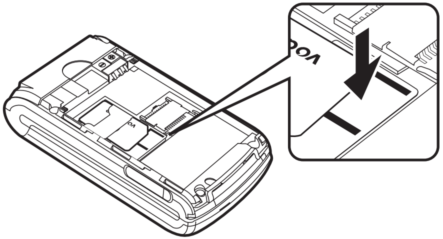


2 ロックされるまでゆっくり押し込み、固定する

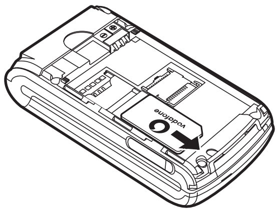


■ 取り外す

1 USIMカードを固定しているロックを押し下げる



2 USIMカードをまっすぐに手前に引く



注意

- 無理に取り付け／取り外しをすると、USIM カードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したUSIMカードは、紛失しないようご注意ください。
- USIMカードの取り付けや取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。
- 異なるUSIM が挿入されると、情報を保護するために、保存されているCookie／キャッシュが消去されます。

■ PINコード

USIMカードには、「PIN1コード」と「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。

■ PIN1コード

第三者によるボーダフォン携帯電話の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時には、「9999」に設定されています。
- PIN1コードは変更できます。
- 「PIN1入力設定」を「有効」に設定すると、USIMカードを804Nに取り付けたり電源を入れたりするたびにPIN1コードの入力が必要になり、入力しないと804Nを使用できなくなります。

■ PIN2コード

オンラインサービスなどで個人認証が必要な場合に入力する4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時には、「9999」に設定されています。
- PIN2コードは変更できます。

■ PINロック解除コード（PUKコード）

間違ったPIN1コードまたはPIN2コードを3回連続して入力すると、現在のPIN1コードまたはPIN2コードが無効になり、特定の機能しか利用できなくなります。この状態をPINロックといいます。PINロックは「PINロック解除コード（PUKコード）」を入力することにより解除できます。

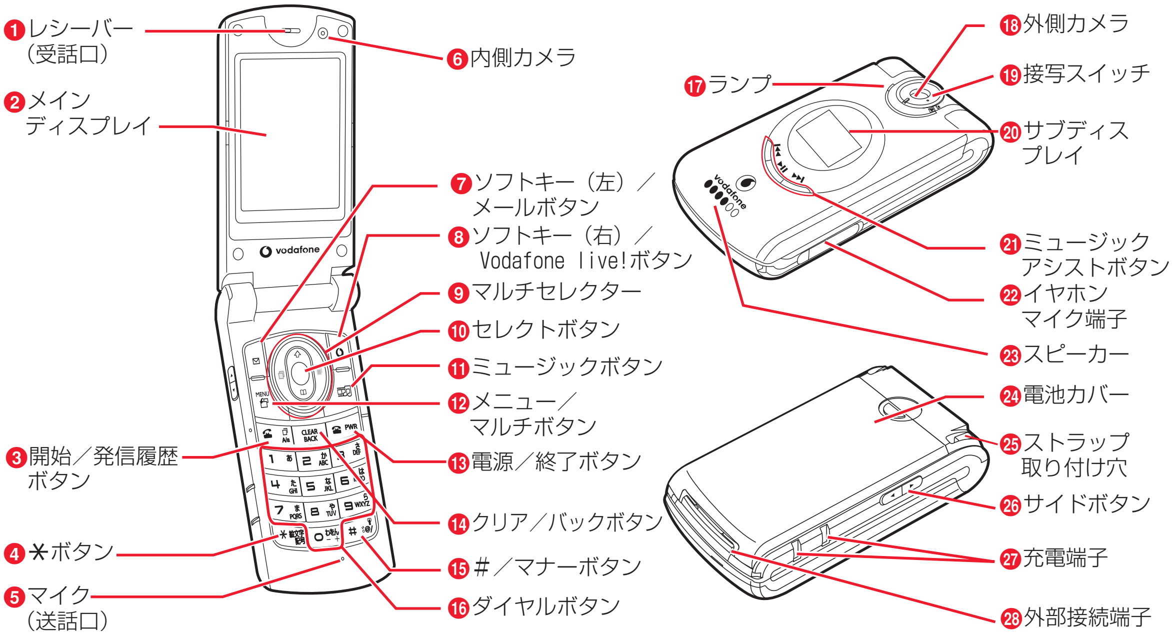
- PINロック解除コード（PUKコード）については、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。

注意

- **PIN1ロック解除コード（PUK1コード）を10回連続して間違えると、USIMカードがロックされ、804Nを使用できなくなります。**
- **PIN2ロック解除コード（PUK2コード）を10回連続して間違えると、PIN2コードを使用する操作が一切できなくなります。**
- **PINロック解除コード（PUKコード）はメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。**
- **USIMカードがロックされた場合は、所定の手続きが必要になりますので、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。**

各部の名称と機能

■ 本体


❶レシーバー（受話口）
❷メインディスプレイ
❸開始／発信履歴ボタン
❹＊ボタン
❺マイク（送話口）
❻内側カメラ
❼ソフトキー（左）／メールボタン
❽ソフトキー（右）／Vodafone live!ボタン
❾マルチセレクター
❿セレクトボタン
⓫ミュージックボタン
⓬メニュー／マルチボタン
⓭電源／終了ボタン
⓮クリア／バックボタン
⓯＃／マナーボタン
⓰ダイヤルボタン
⓱ランプ
⓲外側カメラ
⓳接写スイッチ
⓴サブディスプレイ
㉑ミュージックアシストボタン
㉒イヤホンマイク端子
㉓スピーカー
㉔電池カバー
㉕ストラップ取り付け穴
㉖サイドボタン
㉗充電端子
㉘外部接続端子

❶レシーバー（受話口）
相手の声がここから聞こえます。

❷メインディスプレイ
この画面を見て操作をしたり、TVコールやカメラ機能を楽しみます。

❸開始／発信履歴ボタン
音声電話をかけたり受けたりします。発信履歴の一覧画面の表示、文字の小文字／大文字切り替えにも使います。

❹✱ボタン
絵文字や記号の一覧を表示します。１秒以上押して通常／会議中／アウトドア／運転中／マナーの各モードに切り替えます。

❺マイク（送話口）
自分の声をここから送ります。録音するときのマイクになります。

❻内側カメラ
写真の撮影や、TVコール中に自分の映像を送信するときに使います。

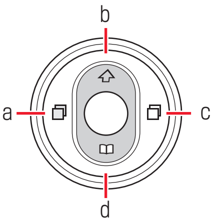
❼ソフトキー（左）／メールボタン
画面左下のソフトキーエリアに表示された内容を実行します。

❽ソフトキー（右）／Vodafone live!ボタン
画面右下のソフトキーエリアに表示された内容を実行します。

❾マルチセレクター
メニュー項目の選択や電話帳の検索、カーソルの移動、画面のスクロール、音量の調節などに使います。

a　左ボタン／着信履歴
カーソルを左に移動させたり、着信履歴一覧を表示します。

b　上ボタン／ショートカット
カーソルを上に移動させたり、デスクトップのショートカットが使えるようにします。



c　右ボタン／発信履歴
カーソルを右に移動させたり、発信履歴の一覧画面を表示します。

d　下ボタン／電話帳
カーソルを下に移動させたり、電話帳一覧を表示します。

❿セレクトボタン
表示された項目や内容を確定します。

⓫ミュージックボタン
ミュージックプレイヤーを実行します。

⓬メニュー／マルチボタン
メインメニューやタスクメニューを表示します。

⓭電源／終了ボタン
電源を入れたり切ったり、通話の終了に使います。

⓮クリア／バックボタン
操作を1つ前の状態に戻したり、文字の削除に使います。

⓯＃／マナーボタン
「。」や「？」などの文字を入力します。1秒以上押してマナーモードの設定／解除を行います。

⓰ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力します。

⑰ランプ
充電するときに点灯したり、電話やメールが着信したときなどに点滅します。

⑱外側カメラ
写真の撮影や、TVコール中に風景などの映像を送信するときに使います。

⑲接写スイッチ
接写モード（ ）と通常モード（ ）を切り替えるときに使用します。

⑳サブディスプレイ
804Nの状態をメッセージやアイコンなどで表示します。

㉑ミュージックアシストボタン
ミュージックプレイヤーの操作に使います。

㉒イヤホンマイク端子
ステレオイヤホンマイクを接続します。

㉓スピーカー
着信音やスピーカーホン通話中の相手の声などがここから聞こえます。

㉔電池カバー
ここを開けて電池パックの取り付けや取り外しをします。

㉕ストラップ取り付け穴
ストラップを取り付けます。

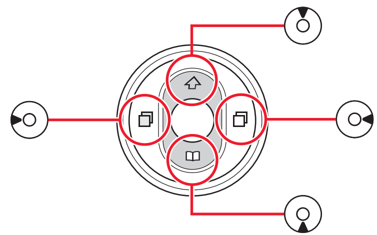
㉖サイドボタン
音量の調節などに使います。

㉗充電端子
卓上ホルダーで充電するときに使います。

㉘外部接続端子
急速充電器やシガーライター充電器、外部機器との接続などに使います。

■ マルチセレクターの表記について

項目を選ぶときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときには、マルチセレクターを使います。この取扱説明書では、マルチセレクターでの操作を次のように表記します。



使用するボタンによって、次のように表記しています。

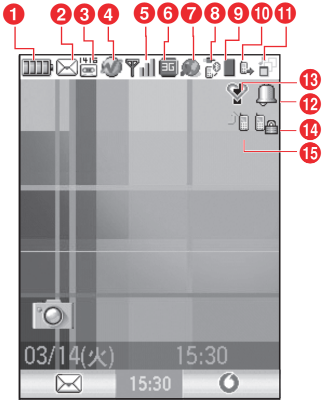
- または を押すとき…
- または を押すとき…
- 、 、 、 を押すとき…

■ セレクトボタンの表記について

表示された項目や内容を確定するときに使うセレクトボタンの操作は、次のように表記します。

- 中央のセレクトボタンを押すとき…

■ メインディスプレイ



❶ 電池レベル表示

❷ 未読メールあり

受信メールBOX空き容量なし

USIMカードのSMS空き容量なし

❸ 伝言メッセージあり

❹ (ブルー)Vアプリ実行中

(グレー)Vアプリ一時停止中

❺ 電波の受信レベル（の棒の数が多いほど電波の状態が良好）

圏外 圏外（サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示）

❻ 3Gネットワークに接続中

GSM／GPRSネットワークに接続中

3G／GSM／GPRSとも利用不可

❼ Vodafone live!通信中

Vodafone live!通信可能状態

SSL通信中

(グレー)パケット通信可能状態

パケット通信中(データ送信中)

パケット通信中(データ受信中)

(ブルー)パケット通信要求中

パケット通信切断中

❽ USBケーブル接続中

Bluetooth接続待受中

Bluetooth接続中

USBケーブル接続中かつBluetooth接続待受中

USBケーブル接続中かつBluetooth接続中

❾ microSDカード取り付け状態

使用不可のmicroSDカード取り付け状態

microSDカードアクセス中

USBメモリモードでパソコンと接続中

⑩ 音声通話中
音声保留中
TVコール中
⑪ 1つの機能を使用中
2つの機能を使用中
3つの機能を使用中
ミュージックプレイヤー使用中
ミュージックプレイヤーと1つの機能を使用中
ミュージックプレイヤーと2つの機能を使用中
⑫ アラーム設定中
⑬ マナーモード設定中
会議中モード設定中
アウトドアモード設定中
運転中モード設定中
⑭ ダイヤルロック設定中
オールボタンロック設定中
外部ボタンロック設定中
範囲：ミュージックアシストボタン
範囲：サイドボタン
範囲：すべて
外部ボタンロックとオールボタンロックを同時に設定中
範囲：ミュージックアシストボタン
範囲：サイドボタン
範囲：すべて
⑮ 留守番／転送電話の転送設定（音声）を「呼出しなし」に設定中

■ サブディスプレイ



❶ 電池レベル表示
❷ 未読メールあり
受信メールBOX空き容量なし
USIMカードのSMS空き容量なし
❸ 電波の受信レベル（の棒の数が多いほど電波の状態が良好）
圏外（サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示）
❹ 3Gネットワークに接続中
GSM／GPRSネットワークに接続中
3G／GSM／GPRSとも利用不可
❺ Vodafone live!通信中
Vodafone live!通信可能状態
SSL通信中
（グレー）パケット通信可能状態
パケット通信中（データ送信中）

パケット通信中(データ受信中)
(ブルー)パケット通信要求中
パケット通信切断中

❻ USBケーブル接続中
Bluetooth接続待受中
Bluetooth接続中
USBケーブル接続中かつBluetooth接続待受中
USBケーブル接続中かつBluetooth接続中

❼ ミュージックプレイヤー起動中

❽ (ブルー)Vアプリ実行中
(グレー)Vアプリ一時停止中

❾ 伝言メッセージあり

❿ マナーモード設定中
会議中モード設定中
アウトドアモード設定中
運転中モード設定中

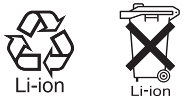
⓫ ダイヤルロック設定中
(グリーン)オールボタンロック設定中
(ブルー/オレンジ)外部ボタンロック設定中
(グリーン/ブルー/オレンジ)外部ボタンロックとオールボタンロックを同時に設定中

電池パックと充電器のお取り扱い

■ 電池パックと充電器をご利用になる前に

- はじめてお使いになる場合や、長時間ご使用にならなかった場合は、ご使用になる前に必ず充電してください。
- 電池残量のない状態で保管、放置はしないでください。長時間使用しない場合でも、なるべく半年に一度は充電してください。長い間ご使用にならなかった電池パックは使用時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
- 電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はメモリ効果がないため、継ぎ足し充電が自由にできます。
- 次のような場所では充電しないでください。
  - ・周囲が適正な周囲温度（5℃〜40℃）外になる場所
  - ・湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります）
  - ・ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
- 充電中に電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、手で触れられないほど熱くなった場合は、充電を中止し、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。

- タコ足配線にしないでください。タコ足配線にすると、コンセントが加熱し、火災の原因となることがあります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。
- リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。



- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのボーダフォンショップ窓口へお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。

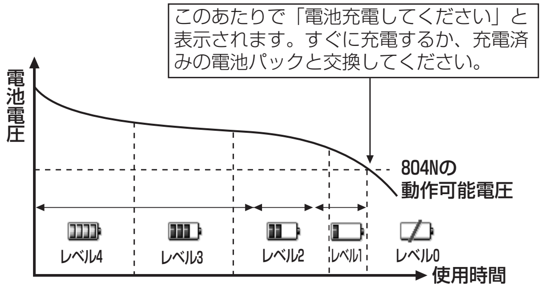
注意

- **指定以外の充電用機器を使用しないでください（☞P.i）。**
- **電池パック単体で充電することはできません。必ず804Nに電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では、充電することも電源を入れることもできません。**
- **充電中にランプが赤色に点滅する場合は、電池パックの異常が考えられますので、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご相談ください。**
- **メインディスプレイに「電圧が異常です　すぐに確認してください」と表示された場合は、電源を切り、804Nから充電器と電池パックをいったん取り外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ状態になった場合は、充電器の異常が考えられますので、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご相談ください。**
- **充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。**

電池レベル表示

電池レベルは、メインディスプレイやサブディスプレイに表示される電池レベル表示で確認できます。

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。充電や電池パック交換の目安にしてください。



電池レベルの目安（常温：25℃で使用した場合の例）

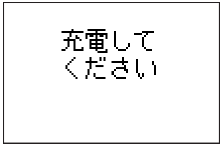
レベル4：十分残っています
レベル3：半分位残っています
レベル2：少なくなっています
レベル1：ほとんど残っていません
レベル0：60秒後に使用できなくなります

電池が切れたら

「電池充電してください」と表示されて電池アラーム音が約10秒間鳴り、約1分後に自動的に電源が切れます。電池パックを充電してください。



メインディスプレイ



サブディスプレイ

補足

- **電池アラーム音を止めるには**
  サイドボタン、ミュージックアシストボタン以外のいずれかのボタンを押します。電池アラーム音を止めたあと、必ず一度804Nの電源を切ってから充電してください。
- **通話中に電池が切れたときは**
  通話中に電池アラーム音（ピピピ）が鳴ります。通話を終了し、電源を切って充電してください。そのまま通話を続けると、約20秒後に通話が切れます。
- **マナーモード中は**
  電池アラーム音でお知らせします。
  イヤホンを接続しているときは、イヤホンから音が鳴ります。

注意

- **電池レベル表示は電池残量の目安です。**
- **充電中もバイブレータが動作します。充電するときは、バイブレータを「Off」にすることで落下を防止できます。**

■ 電池パックの持ちについて

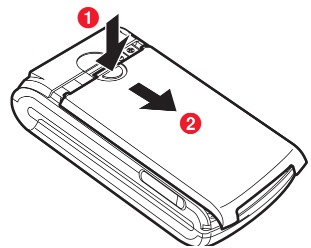
使用環境や操作の内容によっては、電池パックの消耗が早まり、利用可能時間が短くなります。

- 次のような原因で電池パックの消耗が早まることがあります。
  - ・極端な低温または高温の状態での使用、および保存（5℃～40℃の温度範囲でご使用ください）
  - ・電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待ち受け（なるべく電波状態の良い環境でご使用ください）
  - ・804Nや電池パック、充電器の充電端子の汚れによる充電不良（汚れのために接触が悪くなると、正常に充電できなくなります）
- 次のようなときは、電池パックの消耗が進みます。
  - ・TVコールや多者通話など、長時間の通信を行ったとき
  - ・Vアプリを起動しているとき
  - ・カメラでの撮影、バーコードリーダーの読み取りを何度も行ったとき
  - ・動画、メロディ、音楽を再生したとき
  - ・Vアプリ機能（ゲームなど）やメール作成などで連続したボタン操作をしたとき（照明の点灯時間が長くなるため）
  - ・804Nを頻繁に開閉したとき
- 次のような設定の場合は、電池パックの消耗が進みます。設定を変更すると消耗を軽減できます。
  - ・省電力設定でメインディスプレイの電源をOFFにするまでの時間を長く設定しているときや、照明設定の点灯設定で「高輝度」に設定しているとき

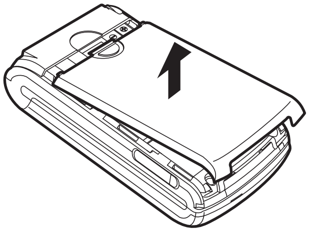
■ 電池パックを取り付ける／取り外す

■ 取り付ける

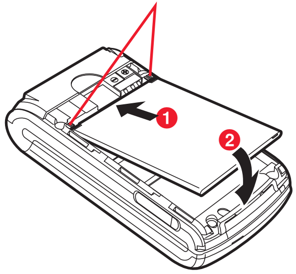
1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる



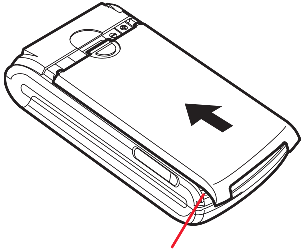
2 矢印の方向に持ち上げて、取り外す



3 電池パックの溝を804Nの突起部に合わせて取り付ける



4 電池カバーを取り付ける



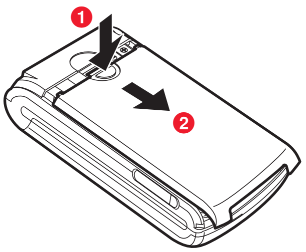
注意

- 取り付けるときに、電池パックに無理な力を加えないでください。804Nの電池端子がこわれる場合があります。
- 電池カバーがしっかりと取り付けられているか確認してください。

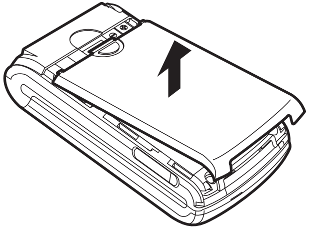
■ 取り外す

電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、急速充電器またはシガーライター充電器を接続していない状態で行ってください。

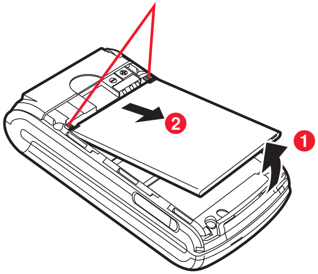
1 **電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる**



2 **矢印の方向に持ち上げて、取り外す**

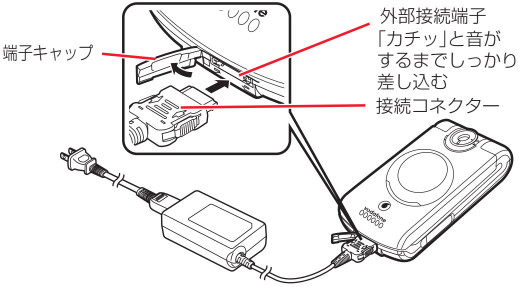


3 **電池パックを持ち上げて、取り外す**

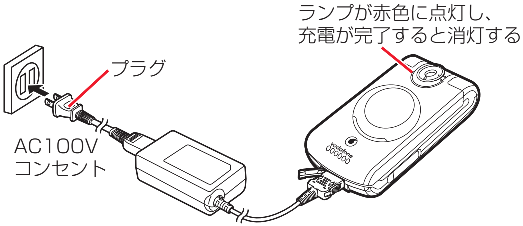


■ 急速充電器を利用して充電する

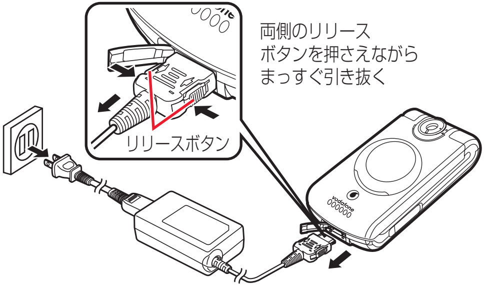
1 **端子キャップを開き、外部接続端子に接続コネクターを差し込む**



2 電源コードのプラグを AC100V コンセントに差し込む



3 充電が完了したら、804Nから接続コネクターを抜き、電源コードのプラグをACコンセントから抜く

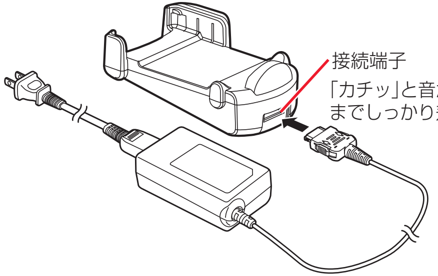


補足

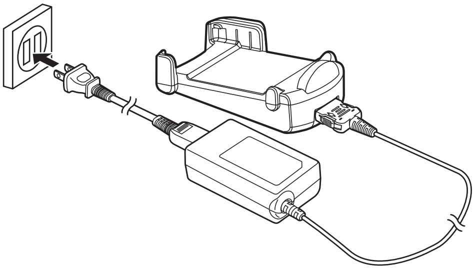
- **充電にかかる時間は**
  約3時間です。時間は804Nの電源をOFFにして充電した場合の目安です。電源をONにしたまま充電すると、充電時間は長くかかります。また、周囲の温度によっても変わります。

■ 卓上ホルダーを利用して充電する

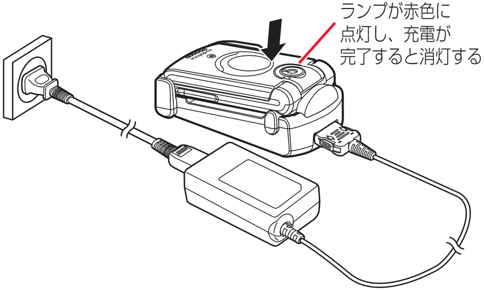
1 急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む



2 電源コードのプラグをAC100Vコンセントに差し込む



3 卓上ホルダを押さえながら、電池パックを取り付けた804Nをしっかりとはめ込む



4 充電が完了したら、804Nを卓上ホルダーから取り外し、電源コードのプラグをACコンセントから抜く

補足

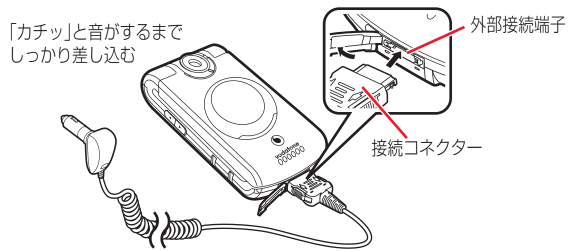
- **充電にかかる時間は**
  約3時間です。時間は804Nの電源をOFFにして充電した場合の目安です。電源をONにしたまま充電すると、充電時間は長くかかります。また、周囲の温度によっても変わります。

注意

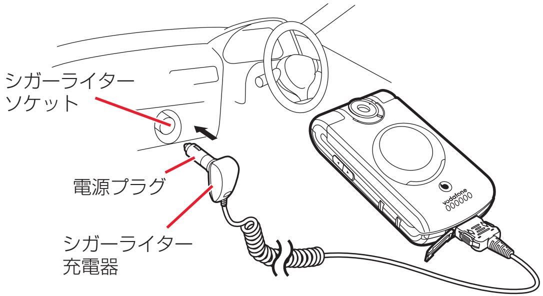
- 卓上ホルダーは別売りです。詳しくはお問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください

■ シガーライター充電器を利用して充電する

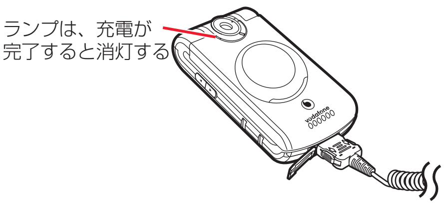
1 端子キャップを開き、外部接続端子に接続コネクターを差し込む



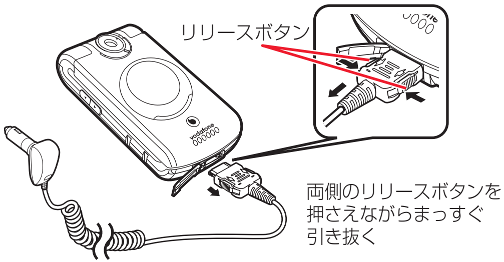
2 シガーライターソケットにプラグを差し込む



3 車のエンジンをかけ、ランプが赤色に点灯していることを確認する



4 充電が完了したら、804Nから接続コネクターを抜き、プラグをシガーライターソケットから抜く



補足

- **充電にかかる時間は**
  約3時間です。時間は804Nの電源をOFFにして充電した場合の目安です。電源をONにしたまま充電すると、充電時間は長くかかります。また、周囲の温度によっても変わります。
- **シガーライター充電器をお使いになる場合は**
  シガーライター充電器の操作方法等については、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。充電するときは、804Nを固定させるため、車載ホルダーを利用されることをおすすめします。

注意

- **炎天下で高温になった自動車内では充電しないでください。**
- **このシガーライター充電器はマイナスアース車専用(12V/24V両用)です。**

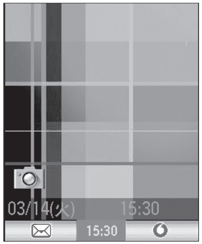
電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 **804Nを開く**

2 **PWR を2秒以上押す**

3 **待受画面が表示される**



この画面を「待受画面」といいます。

補足

- **PIN1コード認証を設定している場合は**
  電源を入れるたびに、PIN1コードを入力する必要があります（☞P.14-2）。

注意

- 804Nを開くときは両手で持って軽く開いてください。力を入れすぎると、破損の原因となります。

■ 電源を切る

1 **PWR を2秒以上押す**

初期設定をする

お買い上げ後、初めて804Nの電源を入れたときは、初期設定をする必要があります。

■ 日付・時刻の設定

初めて電源を入れたときは、待受画面が表示される前に「日付時刻設定を行いますか?」という画面が表示され、以下の手順で設定操作ができます。

1 **「日付時刻設定を行いますか?」の画面で ✉（YES）を押す**

2 **項目を設定する**

カーソルを移動するには
　◎を押す

3 (OK)を押す

補足

- **入力するボタンを押し間違えた場合は**
  を押して間違えた数字にカーソルを合わせ、入力し直します。
- **設定できる日付は**
  2005年1月1日から2015年12月31日までです。
- **日付・時刻を設定し直すには**
  メインメニューから（設定）→「一般設定」→「日時設定」→「日時」の順に選択し、各項目を設定します。

▣ 待受画面に表示する時計の形式を設定するには

［お買い上げ時］ ■時間表示形式：24h表示
■表示時計種別：ローカル時計
■日付表示形式：yyyy/mm/dd（年/月/日）

①メインメニューから（設定）→「一般設定」→「日時設定」→「表示形式」の順に選択する
②各種の設定を選択する

▣ 世界標準時との時差を設定するには（リモート時計設定）

世界標準時（Greenwich Mean Time）との時差を設定できます。

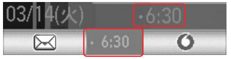
［お買い上げ時］ ■GMT+9:00（東京）（東京やソウルと世界標準時との時差）

①メインメニューから（設定）→「一般設定」→「日時設定」→「日時」の順に選択する
②ゾーンにカーソルを合わせる
を押してあらかじめ登録されている都市名の中から選択します。

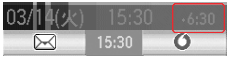
- **サマータイムを設定するには**
  ①手順①の操作を行なう
  ②「サマータイム」を選択する
- **設定した時刻を確認するには**
  日時設定画面で「時計プレビュー」を選択する

▣ リモート時計の表示について

表示時計種別で「リモート時計」または「ローカル＆リモート時計」を選んだ場合、次のように表示されます（リモート時計表示の左に「・」が付きます）。



「リモート時計」の場合



「ローカル&リモート時計」の場合

■ ネットワーク自動調整

初めて電源を入れたときは、日付・時刻の設定に引き続きネットワーク自動調整の確認画面が表示されます。

1 ネットワーク自動調整の確認画面で(YES)を押す

補足

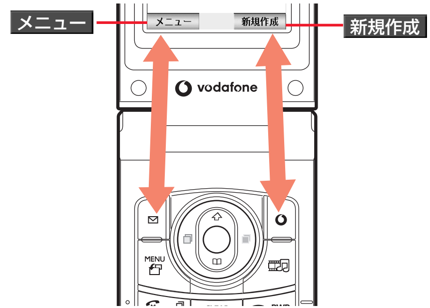
- **操作１をキャンセルした場合（またはネットワーク自動調整に失敗した場合）は**
  待受画面が表示されますが、MENU、✉、◯、●のいずれかのボタンを押したときに、再度ネットワーク自動調整の確認画面が表示されます。
- **ネットワーク情報を手動で取得する場合は**
  メインメニューから（設定）→「接続設定」→「ネットワーク設定」→「ネットワーク自動調整」の順に選択し、●を押します。

機能の呼び出しかた

804Nのさまざまな機能を呼び出す操作について説明します。

■ ソフトキーの使いかた

メインディスプレイの最下段（ソフトキーエリア）には、「メニュー」、「YES」のような、操作や設定の選択肢が表示されます。これらの内容を実行するには、その表示位置に対応するソフトキーを押します。



上の例の操作方法

- （メニュー）を開くには→ソフトキー✉を押す
- （新規作成）を実行するには→ソフトキー◯を押す

▣ ソフトキーの表記について

この取扱説明書では、ソフトキーの操作方法を次のように表記します。

✉（メニュー） を押す

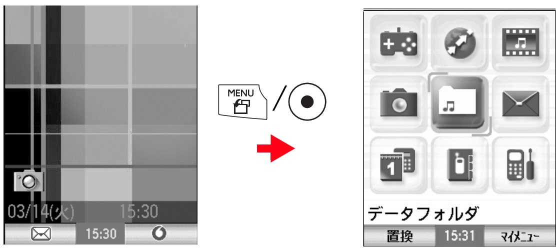
- （メニュー）：ソフトキーエリアの表示
- ✉：押すボタン

■ メインメニューから機能を呼び出す

■ メインメニューを表示して大項目を選択する

機能の呼び出しは、待受画面で[MENU]または◉を押すと表示されるメインメニュー画面から開始します。

メインメニューには9つの大項目があり、目的の大項目を反転表示して◉を押すと、それぞれの項目内のメニュー（中項目）が表示されます。



待受画面　　メインメニュー

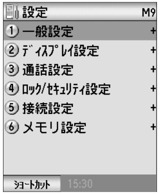
メインメニューの大項目	選択すると…
Vアプリ	ライブラリからVアプリを選択して楽しんだり、Vアプリの設定を変更したりできます。
Vodafone live!	ボーダフォンウェブやインターネットへの接続ができます。
エンタテイメント	静止画や動画、メロディを再生できます。
カメラ	モードを選択して静止画や動画を撮影したり、バーコードリーダーが利用できます。
データフォルダ	6つの種別フォルダが表示され、保存されているファイルを確認したり利用したりできます。
メール	メールの作成や送受信メールの確認などができます。
ツール	カレンダーや簡易電卓／通貨換算、ボイスレコーダーなどの便利な機能を起動できます。
電話帳	電話帳メニューが表示され、登録や検索、各種の設定などができます。
設定	804Nを使い勝手に合わせてカスタマイズできるさまざまな設定メニューを選択できます。

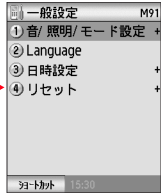
■ 中項目、小項目を選択する

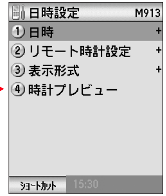
表示された項目内のメニューから、目的の中項目、小項目の順に選択します。

〈例〉「設定」メニューから「一般設定」を選択して、「日時設定」を選択する場合

設定メニュー　　一般設定メニュー　　日時設定メニュー







◉　　（「日時設定」を反転表示）→◉

補足

- **メニュー操作を終了するには**
  [PWR]を押します。メニュー操作を終了し、待受画面に戻ります。ただし、複数の機能を同時に使っていた場合は、起動中の他の機能の画面が表示されます。

- **メニュー操作を途中でやめるには**
  [PWR]を押します。設定中の内容を破棄して待受画面やもとの画面に戻ります。ただし、メニューによっては内容を破棄するかどうかのメッセージが表示されます。このとき、[CLEAR BACK]を押すと、メッセージ表示前の画面に戻ります。

▣ メニュー操作の表記について

待受画面から操作してメニュー項目を次々に選択する操作を、この取扱説明書では次のように表記しています。

1　メインメニューから（設定）→「一般設定」→「日時設定」→「日時」の順に選択する

また、メニュー項目や設定項目の選択画面でカーソル（「　」や画像ファイルを囲む枠など）を目的の項目に移動させることを、この取扱説明書では「反転表示する」と表記します。

▣ 番号を入力して項目を選択する操作について

メニュー項目画面や一覧画面に「①」「②」などの項目番号が表示されている場合は、この数字のダイヤルボタンを押すことにより、すばやく項目を選択できます。

▣ クイックキーアクセスについて

画面の右上部にM番号が表示されているメニューでは、待受画面で[MENU]に続けて該当する数字を押すことでメニューを表示することができます。

＜例＞日時設定メニューの場合

M913：[MENU]→[9]→[1]→[3]

▣ 複数の項目を一度に選択する操作について

電話帳などの機能によっては、削除、コピーなどの操作を行うときに、複数の項目を一度に選択してまとめて操作することができます。

① ⓢ ⓢ ⓢ ⓢで1つ目の項目を選び、[＊]を押す

② 操作①を繰り返す

また、選択したい項目が連続している場合は、操作①の後にⓢを何回か押して最後の項目を反転表示させた状態で[＃]を押すと、範囲内の項目を一度に選択することができます。

■ マイメニューから機能を呼び出す

マイメニューによく使うアプリケーションや機能を登録しておくと、すぐに呼び出すことができます。マイメニューには最大8件まで登録ができます。

■ マイメニューを呼び出す方法

1 **待受画面で MENU を2回押す、またはメインメニューで ◯（マイメニュー）を押す**

2 **一覧から項目を選択し、● を押す**

■ マイメニューに登録する方法

1 **各メニューで、マイメニューとして登録しておきたい項目を反転表示**

2 **✉（ショートカット）を押し、「マイメニューに追加」を選択する**

補足

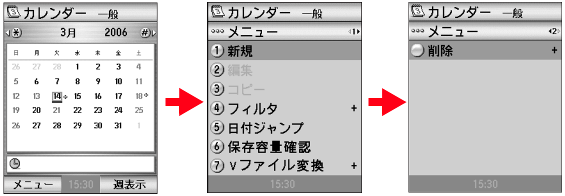
- **待受画面にショートカットアイコンを作成したい場合は**
  ✉（ショートカット）を押したあと、「デスクトップに貼付」を選択します。

■ メニューの使いかた

メインディスプレイのソフトキーエリアに「メニュー」が表示されているときに ✉ を押すと、メニューが表示されます。メニューはさまざまな操作にすばやく移行できる便利なメニューです。

- メニューを実行するには、目的の項目を反転表示し、● を押します。
- 項目が複数ページにわたっている場合は（メニューの右上に「◁1▷」「◁2▷」のようにページ数が表示される）、◯ を押すとページが切り替わります。

〈例〉カレンダーのメニューから「削除」を選択する場合



✉（メニュー）　◯（「削除」を反転表示）　● を押す

■ メニュー操作の表記について

この取扱説明書では、メニューを選択する操作を、次のように表記しています。

（メニュー）を押し、「削除」を選択する

これは次の一連の操作を簡略化して表記したものです。

①（メニュー）を押す
②を押して「削除」を反転表示する
③を押す

複数の機能を同時に使う（マルチタスク）

804Nの機能は次の3つのグループ（タスクグループ）に分類できます。このグループの中から、それぞれ1つずつの機能を同時に起動することができます。

タスクグループ	機　能
ミュージックプレイヤー	ミュージックプレイヤー
ウェブ／メール	Vodafone live!、メール、キャスト
その他	上記以外

TVコール中は、他の機能を起動できません。他の機能と同時に利用できない機能もあります（☞P.31-14）。

■ 新たなタスクを起動する

すでに起動している機能がある場合に、2つ目、3つ目のタスクを起動するには、次のように操作します。

1 **を押し、メインメニューを表示する**

2 **起動していないグループのメニューを選択し、機能を起動する**

補足

- **同じタスクグループの機能を起動しようとした場合は**
  メッセージが表示されて、新たなタスクは起動できません。起動中のタスクを終了して、新たなタスクを起動してください。
- **ミュージックプレイヤーを起動する場合は**
  を押してミュージックプレイヤーを起動できます。

■ タスクを切り替える

1 **を1秒以上押し、タスクメニューを表示する**

2 **目的のタスクを選択する**

■ タスクを終了する

1 終了したいタスク（機能）の画面で[PWR]を押す

2 [✉](YES)を押す

補足

- **タスクメニューから操作する場合は**
  ① [MENU]を1秒以上押し、タスクメニューを表示する
  ② 終了するタスクを選択し、[✉]（終了）を押す
  ③ [✉]（YES）を押す
- **起動中のタスクを一度に終了させるには**
  次の操作ですべてのタスクが終了し、待受画面に戻ります。
  ① [MENU]を1秒以上押し、タスクメニューを表示する
  ② [O]（すべて終了）を押す
  ③ [✉]（YES）を押す

暗証番号

804Nのご使用にあたっては、「操作用暗証番号」と「交換機用暗証番号」、「発着信規制暗証番号」が必要になります。

■ 操作用暗証番号

「9999」またはご契約時にお決めいただいた4桁の数字で、804Nの各機能を操作するときに使用します。

- 操作用暗証番号は、804Nの操作で変更できます。
- 入力した操作用暗証番号は「*」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違えると、番号間違いの確認メッセージが表示されます。

■ 交換機用暗証番号

ご契約時に、お客様が申し込み書に記入された4桁の数字です。

メニューサービスを一般電話から操作する場合や、「ウェブの有料情報」申し込みの際に必要な番号です。

- 交換機用暗証番号は、804Nの操作では変更できません。交換機用暗証番号を変更する場合は、手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。

■ 発着信規制暗証番号

ご契約時にお決めいただいた4桁の暗証番号で、804Nで発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.31-41）までお問い合わせください。

- 発着信規制暗証番号は、804Nの操作で変更できます。

注意

- **操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.31-41）までお問い合わせください。**
- **操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制暗証番号は他の人に知られないようにご注意ください。他の人に知られ悪用された場合、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

基本的な操作のご案内

電話をかける

待受画面で電話番号を入力して電話をかけます。

1 **電話番号を全桁（一般電話の場合は市外局番から）入力する**

2 **電話番号を確認して、[発信 A/a]を押す**

3 **通話が終わったら[PWR]を押す**

補足

- **電話番号を押し間違えた場合は**
  [方向キー]を押してカーソルを移動し、[CLEAR BACK]を押すとカーソル位置の数字が消去されます。

- **電話番号を通知して／通知しないでかけるには**
  ①操作1を行う
  ②[メール]（メニュー）を押し「発番号設定」を選択し、「184 付加」（通知しない）または「186付加」（通知する）を選択する
  電話番号の前に次の番号を付けてダイヤルすることもできます。
  ・通知するとき：「186」
  ・通知しないとき：「184」

- **発信中／通話中に804Nを閉じると**
  発信または通話が終了します。通話中に804Nを閉じたときの動作は、メインメニューから[設定]（設定）→「通話設定」→「音声通話設定」→「クローズ動作設定」で変更できます。

■ 国際電話をかけるには

国際電話をご利用になるにはお申し込みが必要です。お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。

国際電話をかけるときは次のように操作します。

①ボーダフォンの国際電話識別番号「0046010」、国番号、先頭の「0」を除いた電話番号※の順に入力する
②電話番号を確認して、[発信 A/a]を押す

国際電話識別番号を入力する代わりに、待受画面で[0 わをん +]を1秒以上押すと「+」が自動的に入力され、同様に国際電話をかけることができます。

お買い上げ時にプレフィックスに登録されている国際電話識別番号を利用する場合は、次のように操作します。

①国番号、先頭の「0」を除いた電話番号※の順に入力する
②[メール]（メニュー）を押し、「プレフィックス」→「国際発信（日本から)」の順に選択する
③電話番号を確認して、[発信 A/a]を押す

※ イタリアの一般電話にかける場合には、電話番号の先頭の「0」を付けてください。

■ 電話番号を入力した画面のメニューについて

[メール]（メニュー）を押すと、次の操作ができます。

メニュー	内　容
電話帳登録	電話帳登録画面を起動します。
メール送信	メールを起動します。
コピー	番号をコピーします。

2 基本的な操作のご案内

メニュー	内　容
貼り付け	番号を貼り付けます。
発番号設定	発信するときに、相手に電話番号を通知するかどうかを以下から選択します。 184付加：番号を通知しない（日本国内のみ） 186付加：番号を通知する（日本国内のみ） 発番号通知（*31#）：番号を通知する 非発番号通知(#31#)：番号を通知しない
プレフィックス	国際発信(日本から)：日本から海外への国際発信用番号(0046010)を付与します。 国際発信(海外から)：海外から日本への国際発信用番号(+81)を付与します。

履歴から電話をかける

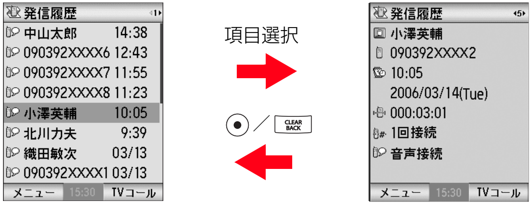
■ 以前かけた電話番号にかける（発信履歴）

1 　または　を押す

2 一覧画面でかけたい電話番号または名前を反転表示して、　を押す

補足

- **メインメニューから操作する場合は**
  （電話帳）→「通話履歴」→「発信履歴」の順に選択します。
- **詳細を確認してからかける場合は**
  発信履歴のデータを選択し、詳細画面を表示してから　を押します。



一覧画面　　　　詳細画面

- **発信履歴に記憶される内容は**
  音声電話、TVコールの発信記録のうち、最新の20件分が記憶されています。
- **同じ番号に2回以上かけた場合は**
  「重複履歴表示設定」で「On」を設定したときは、個々のレコードとして記憶されます。「Off」のときは、1つのレコードとして最新の日時データだけが記憶されます。
- **相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は**
  一覧に名前が表示されます。電話番号を確認するには、選択して詳細画面を表示します。

- **発信履歴のデータを削除するには**
  削除するデータを反転表示し（メニュー）を押し、「削除」を選択、または「全件削除」を選択し、（YES）を押します。

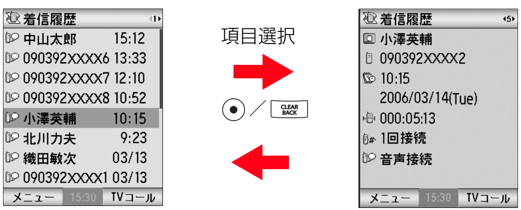
■ かけてきた相手にかけ直す（着信履歴）

1 **を押す**

2 **一覧画面でかけたい電話番号または名前を反転表示して、を押す**

補足

- **メインメニューを使って操作する場合は**
  （電話帳）→「通話履歴」→「着信履歴」の順に選択します。
- **詳細を確認してからかける場合は**
  着信履歴のデータを選択し、詳細画面を表示してからを押します。



一覧画面　詳細画面

- **着信履歴に記憶される内容は**
  音声電話およびTVコールの着信記録または不在着信記録が、それぞれ最新の20件分記憶されています。発信者番号通知がなかった場合も、「公衆電話」、「非通知設定」などの非通知理由と、かかってきた日付や時刻などが表示されます。
- **不在着信履歴を表示するには**
  待受画面でを1秒以上押します。
- **不在着信の呼び出し時間を確認するには**
  詳細画面には、呼び出しした秒数が表示されます。不在着信の電話番号と呼び出しした秒数が表示され、迷惑電話の可能性を判断するのに便利です。

■ 通話履歴について

通話履歴には以下の履歴機能があります。

メニュー	内　容
発信履歴	以前かけた電話の履歴を表示します。
着信履歴	着信した電話の履歴を表示します。
不在着信履歴	不在着信時の履歴を表示します。
全履歴削除	全履歴を消去します。
自動削除設定	電源OFF時に履歴の自動消去を設定します。 On：自動的に消去する Off：自動的に消去しない
重複履歴表示設定	発信／着信時における複数の同一履歴の保持を設定します。 On：保持する Off：保持しない

▣ 履歴のメニューについて

発信履歴や着信履歴、不在着信履歴の詳細画面から、以下の機能が操作できます。

メニュー	内　容
電話帳登録	履歴を電話帳に登録します（☞P.5-5）。
発番号設定	履歴に発番号（184、186、*31#、#31#）を付加します。
プレフィックス	履歴にプレフィックス番号を付加します。 国際発信(日本から)：国際発信(日本)番号を履歴に付加する 国際発信(海外から)：国際発信(海外)番号を履歴に付加する
メール送信	選択した履歴の電話番号にメールを送ります。
削除	選択した履歴を消去します。
全件削除	各履歴内のすべてのデータを消去します。
全履歴削除	全履歴のデータを消去します。
履歴番号使用	選択した履歴の電話番号を待受画面にコピーします。[発信キー]を押すだけで電話がかけられます。

▣ その他の便利な電話のかけかたについて

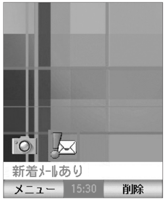
804Nでは次の機能を使って電話をかけることができます。

- 電話帳発信：電話帳から電話をかけます。
- スピードダイヤル：ダイヤルボタンで1～99を入力して[発信キー]を押すことで、電話帳のメモリ番号001～099へ電話をかけます。
  メインメニューから[電話帳アイコン]（電話帳）→「電話帳設定」→「スピードダイヤル」設定を「On」にしておく必要があります。
- 埋め込みデータからの発信：メール本文やウェブなどでアンダーラインが付いている電話番号を選択し、「電話発信」または「TVコール発信」を選択して電話をかけることができます。
  なお、電話発信確認画面が表示されたときに[#キー]を押すと、「通知」または「非通知」で発信することができます。
- イヤホンスイッチ：イヤホンのスイッチを1秒以上押すことで、電話帳のメモリ番号001に電話をかけます。
- オートリダイヤル：オートリダイヤル機能の設定を「On」にしておくことで、電話がかからなかったときに再発信をします。
  メインメニューから[設定アイコン]（設定）→「通話設定」→「音声通話設定」→「オートリダイヤル」の順に選択し設定します。

■ 不在着信や新着メールなどを確認する

不在着信や新着メールの受信などがあったときには、待受画面にアイコン（デスクトップアイコン）が表示されます。それらのデスクトップアイコンを選択すると、内容を確認できます。

1 待受画面で を押す



2 デスクトップアイコンを選択し、内容を確認する

「 」：新着メールを確認できます。
「 」：不在着信を確認できます。（音声電話）
「 」：不在着信を確認できます。（TVコール）
「 」：新着キャストを確認できます。
「 」：コンテンツ・キー取得の通知です。該当のコンテンツ（メロディやムービー）を確認できます。

補足

- **不在着信履歴を確認する場合は**
  次のいずれかの操作をしてください。
  - 待受画面で を1秒以上押します。
  - メインメニューから （電話帳）→「通話履歴」→「不在着信履歴」の順に選択します。
- **同じ人からかかってきた不在着信をすべて表示する場合は**
  メインメニューから （電話帳）→「通話履歴」→「重複履歴表示設定」の順に選択し、「On」に設定します。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、 または （応答）を押して電話を受ける

2 通話が終わったら を押す

補足

- **エニーキーアンサーをご利用の場合は**
  「エニーキーアンサー」を「On」に設定しておくと、 、 （応答）以外にも ～ 、 、 、 、 のいずれかのボタンを押しても電話を受けることができます。「エニーキーアンサー」の設定は、メインメニューから （設定）→「通話設定」→「音声通話設定」→「エニーキーアンサー」の順に選択し設定します。
  なお、エニーキーアンサーの設定にかかわらず、着信中に を押すと着信音を止めることができます。
- **着信中に着信音量を大きくする（小さくする）には**
  着信音が鳴っているときに （音量を大きく）、または （音量を小さく）を押します。

注意

- **ミュージックプレイヤーやメールなどのソート機能で、並び替えに時間がかかる場合があります。その間は、電話を受けることができませんのでご注意ください。**

■ 音声電話がかかってきたときの表示について

相手が電話番号を通知してかけてきたときは、電話番号が表示されます。電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。
相手が電話番号を通知してこなかった場合は、非通知の理由（「非通知設定」、「公衆電話」、「通知不可」）が表示されます。

着信を拒否する

着信中に[PWR]を押すと、着信中の電話に応答せず強制的に電話を切ります。[✉]（メニュー）を押して「着信拒否」を選択しても、着信を拒否できます。

補足

- **通話中に着信があったときは**
  [PWR]を押すと通話中の相手との通話を切り、保留中の場合は、保留中の相手との通話を切ります。

迷惑電話を防止する

804Nには、いたずら電話などの迷惑電話を防止するさまざまな機能があります。次の機能はメインメニューから「設定」→「通話設定」→「発着信設定」で設定できます。

メニュー	内　容
登録外着信拒否	本体およびUSIMカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否できます（☞P.14-6）。
非通知着信設定	番号通知のない着信を拒否できます（☞P.14-7）。

通話中の操作

■ 相手の声の音量を調節する

［お買い上げ時］ ■レベル4

1 通話中に（上）または（下）を1秒以上押す

2 受話音量を調節する

大きくする場合は
（上）またはサイドボタンの[▲]を押す

小さくする場合は
（下）またはサイドボタンの[▼]を押す

補足

- **メインメニューから操作する場合は**
  （設定）→「通話設定」→「共通設定」→「受話音量」の順に選択します。

- **待受画面で受話音量を調節するには**
  ⓞまたはサイドボタン、ⓞまたはサイドボタンを1秒以上押してから音量調整をします。

注意

- **通話を終了したときには、「受話音量」(メインメニューから(設定)→「通話設定」→「共通設定」の順に選択)で設定した音量に戻ります。**

■ 通話を保留にする

1 通話中に(保留)を押す

2 通話に戻るときは、(保留解除)を押す

■ 音声を録音する(通話中音声メモ)

相手と自分の両方の声を約20秒間録音できます。5件録音でき、それ以降はメッセージで確認のうえ上書きします。

1 通話中に(メニュー)から「通話録音」を選択する

2 ●、CLEAR BACKまたは(OK)で録音を終了する

補足

- **録音終了5秒前になると**
  残り5秒を知らせる「ピッ」という音がなります。その後、5秒経過すると自動的に録音が終了します。
- **音声メモを再生するには**
  ①メインメニューから(ツール)→「ボイスレコーダー」→「通話中音声メモ」の順に選択します。
  ②再生したい項目を選択し、●を押します。
- **音声メモを消去するには**
  「通話中音声メモ」から消去したい項目を反転表示して(削除)を押し、(YES)を押します。

■ スピーカーホンに切り替える

スピーカーホンに切り替えて、相手の音声をスピーカーから流して通話することができます。

1 通話中に(メニュー)を押し、「スピーカーホンOn」を選択する

スピーカーホンから通常の通話に切り替える場合は
(メニュー)を押し、「スピーカーホンOff」を選択する

補足

- **「スピーカーホンOn」にした場合は**
  マナーモード中でも音声はスピーカーから流れます。

- Bluetooth対応のヘッドセットを接続している場合は
  ⦿ を1秒以上押すことで、スピーカーまたはイヤホンに切り替えて音声を流すことができます。

通話時間の確認

前回の通話時間や通算の通話時間を確認できます。また、積算した時間を「0秒」に戻せます（積算リセット）。

■ 通話時間を確認する

1 **メインメニューから （設定）を押し、「通話設定」→「共通設定」→「通話時間情報」→「全通話時間」（または「音声通話時間」、「TVコール通話時間」）の順に選択する**

2 **内容を確認する**

補足

- **表示できる時間の範囲は**
  「999時間59分59秒」までです。これを超えても「999時間59分59秒」のままです。

注意

- **表示される通話時間はあくまで目安であり、実際の時間とは異なることがあります。**

▣ **通話時間の見かた**

前回リセットしたときから現在までの累積時間を表示します。着信、発信それぞれの通話時間、ネットワーク使用時間、ローミング時の通話時間、発着信の合計通話時間を確認することができます。

■ 累積時間をリセットする

1 **メインメニューから （設定）を押し、「通話設定」→「共通設定」→「通話時間情報」→「積算リセット」の順に選択する**

2 **操作用暗証番号を入力する**

3 **（OK）を押す**

4 **リセットする項目を選択し、（YES）を押す**

自分の電話番号と個人情報の確認

■ 電話番号やメールアドレスを確認する

お客様の電話番号を確認できます。メールアドレスを登録している場合は、メールアドレスを確認できます。

1 **MENU、0 わをん の順に押す**

2 基本的な操作のご案内

2 目的の情報のアイコンを反転表示して、内容を確認する

補足

- **「個人情報」には**
  最大4件の電話番号や最大3件のメールアドレスのほか、住所やメモなども登録できます（電話番号の1件目は自局の番号です）。

▣「個人情報」の登録のしかた

メインメニューから（電話帳）→「電話帳設定」→「個人情報設定」の順に選択してから、以下のよう操作します。

- 項目を選択し、設定操作をする
  名前、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所などを登録できます。
  個人情報設定画面で（送信）を押して、登録されている個人情報をメールやBluetoothで送信することもできます。

海外での利用（国際ローミング）

804Nは、「自動」、「3G」、「GSM」の3つのモードに対応しています。

・「自動」：受信状態に応じて、接続先のネットワークを3G／GSM／GPRSの中から自動的に選択して切り替えるモードです。
・「3G」：日本国内と海外の3Gネットワークのみを使用するモードです。
・「GSM」：海外の GSM ／ GPRS ネットワークのみを使用するモードです。

■ モードを切り替える

1 メインメニューから（設定）を押し、「接続設定」→「ネットワーク設定」→「3G／GSM設定」の順に選択する

2 項目を選択する

■ 携帯電話事業者を設定する

お客様のいる国によって事業者を切り替える必要があります。また、事業者を自動的に切り替えることもできます。

［お買い上げ時］ ■自動

1 メインメニューから（設定）を押し、「接続設定」→「ネットワーク設定」→「NW接続モード選択」の順に選択する

2 「手動」を選択し、携帯電話事業者を選択する

携帯電話事業者を自動で選択する場合は
「自動」を選択する。

補足

- 待受画面に「Select a Network」と表示された場合は、再度携帯電話事業者の選択を行ってください

■ 優先する携帯電話事業者を選択する

携帯電話事業者を自動で選択する場合に、優先して選択する携帯電話事業者を、あらかじめ設定できます。

1 メインメニューから（設定）を押し、「接続設定」→「ネットワーク設定」→「優先ネットワーク設定」の順に選択する

2 優先ネットワーク一覧から優先する順番で携帯電話事業者を選択する

注意

- 国際ローミングのしくみ、使用できる国や地域、料金などにつきましては、「国際ローミングサービスガイド」をご覧ください。また、使用できる機能や制限などにつきましては、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。
- 国際ローミングを利用するには別途ご契約が必要です。

▣ 優先ネットワーク設定のメニューについて

優先ネットワーク設定画面で（メニュー）を押すと次の操作ができます。

メニュー	内容
登録	事業者を追加できます。
ソート	優先順位を変更できます。反転表示した事業者を(移動)を押して優先順位を移動し、(置換え)で確定します。
置換	反転表示した事業者を、別の事業者に置換えることができます。
削除	事業者を削除できます。
登録ステータス	設定されている事業者の登録件数および登録可能件数が確認できます。

■ 海外で電話をかける

1 電話番号を全桁（一般電話の場合は市外局番から）入力する

滞在国から日本に電話をかける場合は

(メニュー)を押し、「プレフィックス」→「国際発信(海外から)」の順に選択する

滞在国内の相手に電話をかける場合は

操作2へ進む

滞在国外の相手に電話をかける場合は

①を1秒以上押し「+」を表示させる
②国番号を入力する
③先頭の「0」を除いた電話番号を入力する

2 [発信キー]を押す

補足

- **滞在国外の相手がイタリアやロシアなどの場合は**
  操作1の③で電話番号の先頭の「0」を省かずに入力します。
- **滞在国からボーダフォン携帯電話にかける場合は**
  相手の滞在先にかかわらず、「滞在国から日本に電話をかける場合は」の操作を行ないます。

緊急電話発信について

緊急電話発信とは、「110」や「119」など、緊急時に使用する電話発信のことです。

緊急番号･･･110、118、119

■ 発信制限と緊急電話発信の可否

804Nで発信の制限などを設定しているときでも、次の操作で緊急電話を発信できます。

設定中の機能	発信操作
PIN認証（☞P.14-3）	PIN1コード入力画面で緊急番号入力→[発信キー]
PINロック（☞P.14-3）	PIN1ロック解除コード入力画面で緊急番号入力→[発信キー]
ダイヤルロック（☞P.14-5）	操作用暗証番号入力画面で緊急番号入力→[発信キー]
FDN(発信先固定)(☞P.14-6)	緊急番号入力→[発信キー]
オールボタンロック（☞P.14-8）	緊急番号入力→[発信キー]
発信規制（☞P.17-4）	緊急番号入力→[発信キー]

注意

- **海外での緊急電話について**
  無線ネットワークや無線信号、携帯電話機の機能設定状態によって動作が異なるため、すべての国やエリアでの接続を保証できるものではありません。

マナーモード

マナーについて

携帯電話をご使用になるときは、周囲の方への気配りを忘れないようにしてください。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切ってください。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では、周囲の迷惑にならないように気をつけてください。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従ってください。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使用してください。

▣ マナーを守るための機能

- **マナーモード**
  着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、# を押すだけですぐにマナーモードに設定できます。

マナーモードを利用する以外に、個々の機能でマナーを守る設定をすることもできます。

- **バイブレータ**
  音声電話やTVコール、メールの着信を振動でお知らせします。
- **着信音量**
  音声電話やTVコール、メールの着信音を鳴らさないように設定できます。
- **ボタン確認音**
  ボタンを押したときの音を鳴らさないように設定できます。
- **カレンダー、アラーム、予定リスト**
  アラーム音を鳴らさないように設定できます。

カメラのシャッター音やセルフタイマーの開始音は、設定にかかわらず一定の音量で鳴ります。

マナーモードを設定／解除する

公共の場所や静かな場所などで、周囲の迷惑にならないようマナーモードに切り替えることができます。

■ マナーモードを設定する

1 待受画面で # を1秒以上押す

マナーモードが設定されます。

■ マナーモードを解除する

1 マナーモードの状態から待受画面で # を1秒以上押す

補足

- **「音／照明／モード設定」で「マナーモード」以外に設定していた場合は**
  マナーモード解除後は、設定前のモードに戻ります。
- **「音／照明／モード設定」で「マナーモード」に設定していた場合は**
  マナーモード解除後は、「通常モード」になります。
- **マナーモード中のディスプレイには**
  「 」が表示されます。

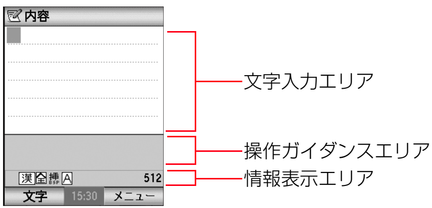
文字の入力方法

文字入力について

漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字、顔文字を入力できます。ただし、入力画面によっては切り替えられる入力モードが制限されます。また、全角入力と半角入力の切り替えやスペースの入力、改行の入力ができない場合があります。

操作の進めかたは、文字入力方式によって異なります。ここでは、お買い上げ時に設定されている「モード1（かな方式）」での入力を中心に説明します。「モード2（2タッチ方式）」や「モード3（T9方式）」での入力については、「文字入力方式を変更する」（☞P.4-11）を参照してください。

■ 文字入力画面



文字入力エリア

■：カーソル

操作ガイダンスエリア	
▲▼変換	◎を押して文字を変換できるときに表示されます。
長押 固定入力／固定解除	「モード3（T9方式）」で固定入力が利用できるときに表示されます。
小／大	A/a で小文字と大文字を切り替えられるときに表示されます。
長押 改行	A/a を1秒以上押して改行（↲）を入力できるときに表示されます。
SIDE 逆順	「モード1（かな方式）」で、サイドボタンの▲を押すと、同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻せるときに表示されます。

情報表示エリア	
2／T9	「モード2（2タッチ方式）」／「モード3（T9方式）」のときに表示されます。（「モード1（かな方式）」では表示されません。）
固	「モード3（T9方式）」で固定入力に切り替えたときに表示されます。
挿 BSP／上 BSP、挿 DEL／上 DEL	挿入モードまたは上書きモードのときに表示されます。

情報表示エリア	
漢／カナ／ABC（abc）／123	現在の入力モードが表示されます。
区	区点入力モードのときに表示されます。
全／半	全角入力、半角入力のどちらの状態かが表示されます。ただし漢字ひらがな入力モードのときは半角入力はできません。
A／a	大文字入力、小文字入力のどちらの状態かが表示されます。

※ 情報表示エリアの右側は、入力可能な残りの文字数をバイト数、または文字数で表示します。英／数の半角1文字は1バイト、全角と半角カナ1文字は3バイトになります。

▣ 文字入力／編集の中断について

文字の入力中に音声電話やTVコールがかかってきたときは、☎ を押してお話ください。☎PWR を押して通話が終了すると、もとの文字入力画面に戻ります。カレンダーなどのアラーム通知が起動した場合も、アラーム通知を終了させるともとの画面に戻ります。

また文字入力中に ☎PWR を押した場合は、入力を終了するかどうかを確認するメッセージが表示されます。内容を破棄してよいときは、✉（YES）を押してください。

▣ 利用できない文字の取り扱いについて

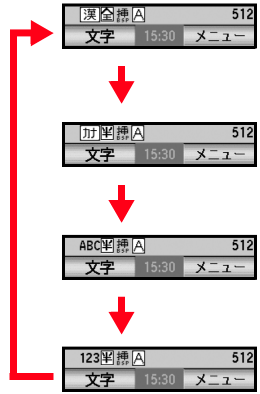
場面によって、利用できる文字の種類が異なります。

貼り付けやファイルの変換などで利用できない文字が使われた場合には、空白文字に変換されます。

■ 入力モード

■ 入力モードの切り替え

✉（文字）を押すごとに入力モードが切り替わります。



漢字ひらがな入力モード
漢字、ひらがな、カタカナ、記号、数字を入力します。

カナ入力モード
カタカナ、記号を入力します。

英字入力モード
英字、記号を入力します。

数字入力モード
数字、記号を入力します。

■ 全角入力／半角入力の切り替え

カナ入力モード、英字入力モード、数字入力モードのときは、全角入力と半角入力の切り替えができます。

1 （メニュー）を押して「編集設定」を選択する

2 「全角」または「半角」を選択する

■ 小文字入力／大文字入力の切り替え

「abc」のように、小文字を続けて入力する場合は、小文字入力に切り替えると便利です。

1 （メニュー）を押して「編集設定」を選択する

2 「大文字」または「小文字」を選択する

補足

- 文字入力中に**小文字／大文字を切り替えるには**
  切り替えたい文字のところにカーソルを合わせ、を押します。ただし、ガイダンスエリアに「**小／大**」（ひらがな、カナ）表示されている場合のみ、小文字／大文字の切り替えが可能です。

■ ダイヤルボタンの割り当て

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	. , @ ? ! - 1	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc2	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	9
0 わをん − ＋	わをんーゎ	ワヲンーヮ※	.ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https:// vodafone.ne.jp	0、＋（1秒以上押す）
＊ 絵文字 記号	記号／絵文字	記号／絵文字	記号／絵文字	＊（アスタリスク記号）
＃ ゛゜@/	゛ ゜ ー 、。・ ！ ？		. @ / ! ? ( ) ,	＃（シャープ記号）

※ 「ヮ」を半角入力することはできません。

: 半角でのみ入力できます。

文字の入力方法（かな方式での入力）

モード1（かな方式）で文字を入力する手順を説明します。

■ 漢字／ひらがなを入力する

ひらがなのまま確定したり、ひらがなを入力してから漢字に変換します。

〈例〉「庄司美夏」と入力する場合

1 **（文字）を押して漢字ひらがな入力モードにする**

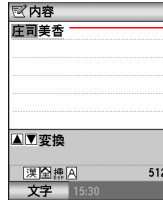
2 **文字が割り当てられているボタンを押す**

ひらがなのまま確定する場合は
●を押す。



「し」：3を2回
「ょ」：8を3回、
（小文字）を1回
「う」：1を3回
「じ」：3を2回、#を1回
「み」：7を2回
「か」：2を1回

3 **を押して漢字に変換する**

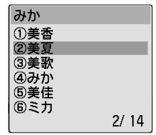


最初の文節の漢字候補が反転表示される

目的の漢字が表示された場合は
●を押す

変換する範囲を変更する場合は
を押して範囲を変更してを押す

4 **を押して変換候補を表示する**



5 **目的の漢字を選択する**

補足

- **入力しているときにボタンを押し間違えた場合は**
CLEAR BACKを押して文字を消去します。
- **続けて同じボタンの文字を入力する場合は**
を押してカーソルを右に移動します。

- **同じボタンに割当てられている文字を逆順に表示するには**
  サイドボタンの▲を押すごとに、同じボタンの1つ前の文字に戻ります。

- **目的の漢字に変換されないときには**
  訓読みや音読みを入力して変換すると表示される場合があります。一度に変換できない2文字以上の漢字は、変換する範囲を1文字分に変更して変換してください。
  変換できない漢字は区点コード（☞P.31-20）を使って入力できます。

■ カタカナを入力する

〈例〉全角で「リーダー」と入力する場合

1 ✉（文字）を押してカナ入力モードにする

2 ◎（メニュー）を押し「編集設定」を選択する

3 「全角」を選択し、✉（OK）を押す

4 カタカナを入力する



「リ」：9 WXYZ を2回
「ー」：0 わをん を4回
「ダ」：4 GHI を1回、# を1回
「ー」：0 わをん を4回

■ 英字を入力する

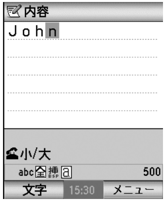
〈例〉全角で「Ｊｏｈｎ」と入力する場合

1 ✉（文字）を押して英字入力モードにする

2 ◎（メニュー）を押し「編集設定」を選択する

3 「全角」を選択し、✉（OK）を押す

4 英字を入力する



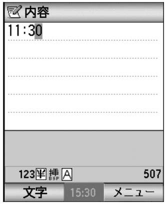
「メニュー」から
「編集設定」の「全角」を選択する
「J」：5 JKL を1回
「メニュー」から
「編集設定」の「小文字」を選択する
「o」：6 MNO を3回
「h」：4 GHI を2回
「n」：6 MNO を2回

■ 数字を入力する

〈例〉「11:30」と入力する場合

1 ✉（文字）を押して数字入力モードにする

2 数字を入力する



「11」：[1]を2回
「:」：[✉](文字）を押して英字入力モードにし、[＊絵文字記号]→[✉](切替）の順に押し、記号一覧より「：」を選択する
「3」：[✉](文字）を押して数字入力モードにし、[3]を1回
「0」：[0]を1回

■ 記号／絵文字を入力する

入力できる文字については、「付録」の章の「記号／絵文字一覧」（☞P.31-26）を参照してください。

1 文字入力中に、[＊絵文字記号]を押す

2 絵文字／記号を選択する

補足

- **数字入力モードでは**
  [＊絵文字記号]を押しても絵文字／記号に切り替わりません。
- **メニューから操作するには**
  入力中に、[O](メニュー）を押して、「オブジェクト入力」→「絵文字/記号」を選択します。
- **絵文字と記号入力を切り替えるには**
  [✉](切替)を押して切り替えます。
- **記号入力には**
  「全角記号入力」、「特殊記号入力」、「半角記号入力」、「半角カナ記号入力」、「GSM記号入力」の5種類があり、[◎]を押して切り替えることができます。
- **文字変換で記号を入力するには**
  漢字ひらがな入力モードで「きごう」と入力して変換すると、候補が表示されます。「かっこ」、「さんかく」などの記号名を入力して変換することもできます。

■ 顔文字を入力する

1 漢字ひらがな入力モードで「かお」または「かおもじ」と入力する

2 [◎]を押して候補を表示し、顔文字を選択する

補足

- **意味から顔文字に変換するには**
  「ありがとう」、「ばんざい」など、顔文字の表す意味を入力して変換します（☞P.31-29）。

■ スペース（空白）を入れる

メニューの「オブジェクト入力」から「スペース入力」を選択します。

■ 改行する

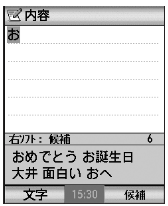
メールの本文で文字入力中にを押す、またはを1秒以上押して改行することができます。またメニューの「オブジェクト入力」から「改行」を選択することもできます。

■ その他の機能を利用して入力する

■ ワード予測機能を利用して入力する

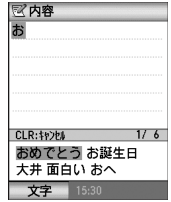
過去に入力した文字をもとに表示される予測候補と履歴候補を使って入力します。ワード予測機能は、モード1（かな方式）の「漢字ひらがな入力モード」またはモード2（2タッチ方式）の「全角入力モード」のときのみ利用できます。

1 **文字が割り当てられているボタンを押して読みを入力する**

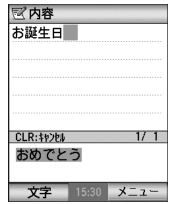


操作ガイダンスエリアに予測候補が表示される

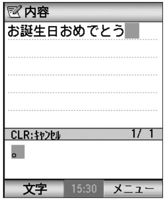
2 **目的の候補が表示されたら、（候補）を押して操作ガイダンスエリアにカーソルを移動する**



3 **目的の予測候補を選択する**



4 そのあとに続く履歴候補が表示されたら、目的の履歴候補を選択する



補足

- **ワード予測機能を利用する場合は**
  メニューの「日本語設定」で「On」を設定します。
- **予測候補とは**
  過去に入力した文字をもとに予測された文字です。読みの入力中に操作ガイダンスエリアに次々に表示されます。
- **履歴候補とは**
  過去の入力データをもとに、確定された文字に続く内容として予測された文字です。文字を確定したときに表示されます。

■ 区点コードで入力する

4桁の区点コード（☞P.31-20）を使って文字を入力します。

1 (メニュー）を押し、「オブジェクト入力」→「区点入力」の順に選択する

2 区点コードを入力する

■ 文字の変換機能（ユーザ辞書）

よく使う単語を簡単な「読み」で登録しておくと、簡単に変換できます。たとえば、「かい」と入力しただけで「（株）××海外営業部」に変換されるようにできます。

単語を新規登録する

単語（全角10文字、半角10文字まで）は100件まで登録できます。

1 メインメニューから（ツール）→「ユーザ辞書」の順に選択する

2 「＜新規登録＞」を選択する

3 「単語」を選択し、登録する文字を入力する

4 「読み」を選択し、登録する文字の読みを入力する

5 （登録）を押す

補足

- **登録できる「読み」は**
  ひらがなで10文字までです（ただし、「う゛」はカタカナの「ヴ」に変換されます）。

- **登録内容を確認するには**
  ①操作1を行う
  ②単語を選択し、内容を確認する

登録内容を編集／削除する

1 メインメニューから（ツール）→「ユーザ辞書」の順に選択する

2 編集または削除したい単語を反転表示して以下の操作をする

選択した単語を編集する場合は

[O]（編集）を押し、必要に応じて単語や読みを編集する

選択した単語を削除する場合は

[✉]（メニュー）を押して「削除」を選択し、[✉]（YES）を選択する
複数の単語を一度に選択することもできます（☞P.1-26）。

全件削除する場合は

①[✉]（メニュー）を押して「全削除」を選択する
②操作用暗証番号を入力し、[✉]（OK）を押す
③[✉]（YES）を押す

文字入力方式を変更する

804Nでは、文字入力方式を次の3つの中から選択できます。文字入力画面で[O]（メニュー）を押し「入力モード」から項目を選択するか、[✉]（文字）を1秒以上押して、文字入力方式を切り替えることができます。

文字入力方式	入力方法	「おはよう」と入力する場合
モード1（かな方式）	ボタンを繰り返し押して、そのボタンに割り当てられている文字を入力します。	[1あ]を5回、[6はMNO]を1回、[8やTUV]を3回、[1あ]を3回押します。
モード2（2タッチ方式）	2桁の数字を押して入力します。（☞P.4-15）	[1あ][5なJKL]、[6はMNO][1あ]、[8やTUV][5なJKL]、[1あ][3さDEF]と押します。
モード3（T9方式）	入力したい文字が割り当てられているボタンを1回押すと読み候補が表示され、その中の候補を選んで文字を入力します。（☞P.4-12）	[1あ][6はMNO][8やTUV][1あ]と押し、読み候補から「おはよう」を選択します。

ここでは、モード3とモード2での入力方式について説明します。

■ T9方式で文字を入力する

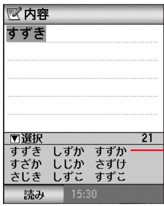
モード3（T9方式）は、「漢字ひらがな入力モード」と「カナ入力モード」のときに利用できます。

■ 文字を入力する

〈例〉「静子」と入力する場合

1 (文字）を押して漢字ひらがな入力モードにする

2 文字が割り当てられているボタンを押す



3(さ行)、3(さ行)、#(濁点)、2(か行）と押す

予測される読み候補が表示される

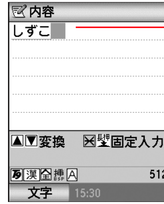
ボタンを押し間違えた場合は

CLEAR BACK を押して文字を消去する

入力したい読み候補が表示されない場合は

を押して入力した文字の範囲を短くするなど読み候補の編集を行うか、入力したい読みを直接入力する、あるいは「固定入力」に切り替える

3 を押して読み候補のエリアにカーソルを移動し、読みを選択する



選択した読みが表示される

4 を押して漢字に変換する



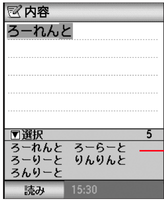
5 を押す

■ 読み候補を編集する

〈例〉「ろーれんと」を「らんらんと」に編集する場合

1 （文字）を押して漢字ひらがな入力モードにする

2 文字が割り当てられているボタンを押す



9（ら行）、0（わ行）、9（ら行）、0（わ行）、4（た行）と押す

予測される読み候補として「らんらんと」が表示されない

3 （読み）を押す



カーソルが先頭に移動し、読み候補のエリアに「ら行」の文字が表示される

4 入力する文字の番号をダイヤルボタンで指定する

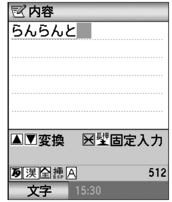
カーソル位置の文字を編集する必要がない場合は

　を押してカーソルを移動する

途中で読みの編集を終了する場合は

　（戻る）を押す

5 を押す



読み候補が確定され、を押すと変換候補が表示できる

■ 固定入力で読みを入力する

固定入力に切り替えると、目的の読みを直接入力できます。

〈例〉「はためく」と入力する場合

1 ＊を1秒以上押して固定入力に切り替える



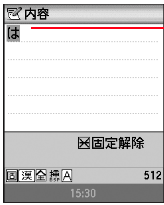
「」が「固」に変わる

2 文字が割り当てられているボタンを押す



6 (は行) を押すと、は行の文字が表示される

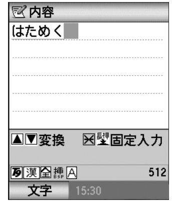
3 入力する文字の番号をダイヤルボタンで指定する



1 を押すと「は」が入力される

4 同様に操作して読みを入力する

5 ＊ 絵文字記号 を押して固定入力を終了し、● を押す



読み候補が確定され、○を押すと変換候補が表示できる

■ T9方式の文字割り当て一覧表

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード（全角／半角）
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ 1	アイウエオァィゥェォ 1
2 か ABC	かきくけこ2	カキクケコ2
3 さ DEF	さしすせそ3	サシスセソ3
4 た GHI	たちつてとっ 4	タチツテトッ 4
5 な JKL	なにぬねの5	ナニヌネノ5
6 は MNO	はひふへほ6	ハヒフヘホ6
7 ま PQRS	まみむめも7	マミムメモ7
8 や TUV	やゆよゃゅょ 8	ヤユヨャュョ 8
9 ら WXYZ	らりるれろ9	ラリルレロ9
0 わをん	わをんゎー 0	ワヲンヮ※ー 0
#	読み入力中：濁点、半濁点が付いた変換候補の切り替え 確定後：゛ ゜ 、。・！？	

※ 「ヮ」を半角入力することはできません。

■ 2タッチ方式で文字を入力する

2桁の数字を押して、数字に対応する文字を入力します。

■ 文字を入力する

〈例〉「はる」と入力する場合

1 ✉（文字）を押して全角入力モードにする

補足

- 全角／半角は✉（文字）で切り替わります。

2 文字に対応する2桁の数字をボタンで押す



6 1、9 3 と押す

■ 2タッチ方式の文字割り当て一覧表

●全角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ ぁ	い ぃ	う ぅ	え ぇ	お ぉ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	か	き	く	け	こ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	さ	し	す	せ	そ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	た	ち	つ っ	て	と	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	な	に	ぬ	ね	の	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z z	？	！	ー	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆			
	8	や ゃ	（	ゆ ゅ	）	よ ょ	＊	＃			※ ※
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ ゎ	を	ん	゛ 、	゜ 。	6	7	8	9	0

※：大文字入力（上段）と小文字入力（下段）の切り替え

■：スペース

●半角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
		ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
		■	■	■	■	■	f	g	h	i	j
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
		■	■	■	■	■	k	l	m	n	o
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
		■	■	ｯ	■	■	p	q	r	s	t
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
		■	■	■	■	■	u	v	w	x	y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
		■	■	■	■	■	z	■	■	■	■
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&	■	■	■
		■	■	■	■	■	■	■			
	8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	■	■	※
		ｬ	■	ｭ	■	ｮ	■	■			※
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
		@	/	-	_	:	.ne.jp	.co.jp	.ac.jp	vodafone.ne.jp	■
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0
		~	'	■	,	.	www.	.com	.html	http://	https://

※：大文字入力（上段）と小文字入力（下段）の切り替え

■：スペース

文字の編集

■ 文字を修正する

■ 文字を挿入する

1 挿入モードで◎を押し、挿入する位置の1つあとの文字にカーソルを移動する

2 文字を入力する

■ 文字を上書きする

1 上書きモードで◎を押し、上書きする文字にカーソルを合わせる

2 文字を入力する

補足

- 挿入／上書きモードを切り替えるには
  (メニュー）を押し、「編集設定」→「挿入／上書き」を選択します。

4 文字の入力方法

■ 文字を消去する

文字を指定して消去します。編集設定（BSP／DEL）によって操作方法が異なります。

■ ボタン操作（編集設定）を設定する

1 [メニューボタン]（メニュー）を押し、「編集設定」を選択する

2 「BSP」または「DEL」を選択する

「BSP」に設定すると、カーソルの前の文字が削除されます。また「DEL」に設定すると、カーソルのある位置の文字が削除されます。

■ 文字を消去する

1 [CLEAR BACK]を押す

BSPの場合（カーソルの前（左）に文字がない場合は何も消去されません。）

カーソルの1文字前（左）の文字を消すには
[CLEAR BACK]を押す

カーソルより前の文字をすべて消すには
[CLEAR BACK]を1秒以上押す

DELの場合（カーソルの位置またはカーソルより後ろ（右）に文字がない場合は何も消去されません。）

カーソルの位置の文字を消すには
消去する文字にカーソルを合わせて、[CLEAR BACK]を押す

カーソルから後ろ（右）の文字をすべて消すには
[CLEAR BACK]を1秒以上押す

■ コピー／切り取り／貼り付けをする

■ 文字をコピー／切り取りする

範囲を指定してコピーまたは切り取りをします。この文字は、文字入力画面の別の位置やほかの文字入力画面に繰り返し貼り付けることができます。

1 コピーまたは切り取りを開始する文字に[方向キー]でカーソルを合わせる

2 [メニューボタン]（メニュー）を押し、「コピー／切取り」を選択する

3 コピーまたは切り取りを終了する文字に[方向キー]でカーソルを合わせ、[メールボタン]（コピー）または[メニューボタン]（切り取り）を押す

4
文字の入力方法

補足

- すべての内容をコピーもしくは切り取る場合は、操作3で[メール]（文字すべて）を押します。

■ 文字を貼り付ける

コピー／切り取りをした文字を貼り付けます。

1 **文字を貼り付ける位置に[十字キー]でカーソルを移動する**

2 **[メニュー]（メニュー）を押し、「貼り付け」を選択する**

補足

- **挿入が選択されている場合**
  カーソルの直前から貼り付けられます。
- **上書きが選択されている場合**
  カーソル位置から上書きされます。

■ カーソルを文頭／文末に移動する

1 **[メニュー]（メニュー）を押し、「ジャンプ」を選択する**

2 **項目を選択する**

電話帳

電話帳の登録

■ 電話帳に登録できる項目

804N本体には最大で電話番号2000件、メールアドレス1500件、URL500件を登録できます。USIMカードにも電話番号とメールアドレスを登録できます。USIMカードに登録した電話帳のデータは、USIMカードを差し替えることによって他のボーダフォン携帯電話でも利用できます。

1件の電話帳に登録できる内容は次のとおりです。

登録項目	登録できる内容	
	804N本体	USIMカード
名前	全角32（半角英数96）文字	全角32（半角英数96）文字
フリガナ	半角英数カナ32文字	全角／半角カナ8（半角英数25）文字
電話番号	32桁（4件）	32桁（2件）
メールアドレス	半角英数字で90文字まで（3件まで）	半角英数字で90文字まで（1件のみ）
URL	半角英数字256文字	―
グループ	グループ無し、グループ1～16の中から選択	―
静止画、動画（アニメーションGIF）	音声電話やTVコールの着信画面に表示させる静止画、動画1件	―
郵便番号、住所	郵便番号：半角7文字 住所：全角62（半角英数186）文字	―
メモ	全角50（半角英数150）文字	―
シークレット	電話帳の表示／非表示	電話帳の表示／非表示
メモリ番号	001～500	―

補足

- **804N本体とUSIMカードの電話帳の違いは**
  USIMカードの電話帳には、名前、フリガナ、電話番号、電話番号カテゴリ、メールアドレス、シークレットのみ登録・設定できます。
- **804N本体に登録できる電話帳の件数は**
  最大500件です。ただし、1件の電話帳に登録できる各項目の件数は、電話番号4件、メールアドレス3件、URL1件です。
- **USIMカードに登録できる電話帳の件数、入力可能な文字数はUSIMカードの種別によって異なります。**
- **電話帳に登録できる静止画と動画の件数は**
  本体電話帳には、それぞれ静止画または動画（アニメーションGIF）を1件のみ登録できます。

● **知られたくない内容を登録するときは**
電話帳登録項目の「シークレット」を「On」に設定し、電話帳設定のシークレット表示を「非表示」設定にすることで、その電話帳を表示しないようにします。電話帳設定のシークレット表示設定は、電源を入れるたびに「非表示」設定になります（シークレット表示の設定を変更する場合は、シークレット暗証番号の入力が必要になります）。なお、シークレット設定された電話帳情報は、着信時に表示などの動作を行いません。

■ 電話帳に登録する

登録先を選択し、必要な項目を登録します。

1 待受画面で◎を押し、✉（メニュー）で「電話帳登録」を選択する

メインメニューを使って操作する場合は
メインメニューから（電話帳）→「電話帳登録」の順に選択する

2 「保存先フォルダ」画面で、「本体電話帳」、「USIMカード電話帳」、「着信拒否番号」、「FDN(発信先固定)」の中から登録先を選択する

3 「電話帳登録」画面で名前を入力する

4 フリガナを確認し、必要に応じて変更する

5 項目を選択し、登録操作をする

電話番号、メールアドレスを登録する場合は
「電話番号」、「メールアドレス」をそれぞれ選択し、必要事項を入力する

電話番号カテゴリを登録する場合は
カテゴリを選択し、7種類（携帯電話1、携帯電話2、自宅、会社、自宅FAX、会社FAX、その他）の中から選択する

URLを登録する場合は
「URL」を選択し、必要事項を入力する

グループを設定する場合は
「グループ」を選択する

静止画を登録する場合は
静止画を選択し、「静止画」から画像を選択、または「静止画撮影」で撮影する

郵便番号、住所を登録する場合は
「郵便番号」、「住所」をそれぞれ選択し、必要事項を入力する

メモを登録する場合は
「メモ」を選択し、メモを入力する

その他の項目を設定するには
「オプション設定」を選択し、オプション設定画面でそれぞれの設定を行う

6 ✉（OK）を押す

補足

- **メモリ番号「001」～「099」に登録すると**
  スピードダイヤル機能により、待受画面で1～99を入力して[発信キー]を押すだけで該当のメモリ番号に登録されている電話番号へ音声電話をかけられます。
  この場合、「優先表示設定」(☞P.5-8)で設定した相手先に発信(電話番号の場合は発信、メールアドレスの場合はメール新規作成画面表示、URLの場合はウェブ接続)されます。

- **メモリ番号の入れ替えについて**
  電話帳の編集時に、他の電話帳で使われているメモリ番号に置き換えて保存した場合、それぞれの電話帳のメモリ番号は入れ替わります。

- **登録/編集中に電話がかかってきたときは**
  着信画面に切り替わり、[発信キー]または[メールキー](応答)を押して音声電話やTVコールに出られます。通話が終了すると、もとの画面に戻ります。

- **804N本体とUSIMカードとの間で電話帳をコピーするには**
  電話帳一覧画面のメニューから操作できます(☞P.5-8)。

- **「その他電話番号」への登録について**
  メインメニューから[電話帳アイコン](電話帳)→「電話帳登録」の順に選択し、登録先を選択することで他のフォルダに登録することができます。
  着信拒否番号:100件。着信拒否する電話番号を登録します。
  FDN(発信先固定):30件。発信を許可する番号を登録します。登録した番号以外への発信は禁止されます(登録時にPIN2を入力する必要があります)。
  「FDN(発信先固定)」の設定内容に関しては、USIMカードに保存され、対応したUSIMカードを挿入しているときに発信することができます。
  ※2006年2月現在、FDN機能はご利用になれません。

- **その他の便利な電話のかけかたについて**
  さまざまな機能を使って電話をかけることができます(☞P.2-5)。

■ 電話帳に登録した画像を着信中に表示する(電話帳画像着信設定)

電話帳に登録した電話番号から音声電話やTVコールがかかってきたとき、その電話番号に静止画や動画が設定されている場合は、メインディスプレイに登録画像が表示されます。設定を変更して表示されないようにすることもできます(☞P.5-9)。

[お買い上げ時] ■On(表示される)

① メインメニューから[設定アイコン](設定)→「通話設定」→「共通設定」→「電話帳画像着信」の順に選択する
② On/Offいずれかを選択する

■ 着信時に表示される画像の優先順位について

着信画像の設定が重複している場合、実際に表示される画像の優先順位は次のようになります。

① 電話帳に登録されている画像
② 電話帳のグループに登録されている画像
③ お買い上げ時に設定されている着信画像

※ ただし、着信音にムービーが設定されている場合には、ムービーの画像が優先されます。

■ 履歴から登録する

発信履歴と着信履歴に記録されている電話番号を、電話帳に登録できます。

1 **発信履歴または着信履歴の一覧画面、詳細画面で（メニュー）を押す**

2 **「電話帳登録」を選択する**

3 **必要な項目を選択し、登録操作をする**

4 **（OK）を押す**

グループの設定

既存のグループ名を変更したり、グループごとに着信音を設定したりできます。

1 **メインメニューから（電話帳）→「グループ登録」を選択する**

2 **グループを選択した状態で（編集）を押す**

3 **グループ名を入力する**

補足

- **グループごとに着信音や応答メッセージを変えるには**
  グループを選択した状態で（編集）を押し、グループの設定画面で設定します。
- **グループ名について**
  グループ名の変更はできますが、削除することはできません。また同じ名前のグループは2つ作成することはできません。

■ グループ登録画面について

以下の項目を設定します。

メニュー		内　容
グループ名		グループの名称を設定します。
グループ画像		グループの画像を設定します。
音声通話設定	着信音	グループに属する相手から音声通話の着信があったときに、どのグループかわかるように着信音などを設定します。
	着信バイブレーション	
	着信イルミネーション（色）	
	着信イルミネーション（パターン）	

メニュー		内　容
TVコール設定	着信音	グループに属する相手からTVコールの着信があったときに、どのグループかわかるように着信音などを設定します。
	着信バイブレーション	
	着信イルミネーション（色）	
	着信イルミネーション（パターン）	
メール設定	着信音	グループに属する相手からメール受信があったときに、どのグループかわかるように着信音などを設定します。
	着信バイブレーション	
	着信イルミネーション（色）	
	着信イルミネーション（パターン）	

電話帳の利用

■ 電話帳から電話をかける

■ 電話帳を検索する

1 を押して（メニュー）を押し、「検索切り替え」を選択する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから（電話帳）→「本体電話帳」または「USIMカード電話帳」の順に選択する

2 検索方法を選択し、目的の電話帳を呼び出す

フリガナで検索する場合は

①「フリガナ検索」を選択し、フリガナ（先頭の一部だけでよい）を入力する

②またはを押し、一覧から目的の電話帳を選択する

名前で検索する場合は

①「名前検索」を選択し、名前（先頭の一部だけでよい）を入力する

②またはを押し、一覧から目的の電話帳を選択する

電話番号で検索する場合は

①「電話番号検索」を選択し、電話番号（先頭の一部だけでよい）を入力する

②またはを押し、一覧から目的の電話帳を選択する

メールアドレスで検索する場合は

①「メールアドレス検索」を選択し、メールアドレス（先頭の一部だけでよい）を入力する

②またはを押し、一覧から目的の電話帳を選択する

グループで検索する場合は

①「グループ検索」を選択し、グループ登録画面の一覧からグループを選択する

②一覧から目的の電話帳を選択する

補足

- **USIMカードに登録した電話帳の検索について**
  操作方法の違いはありません（ただし、メモリ番号検索は不可）。検索した電話帳は、「本体電話帳」「USIM電話帳」に分かれてリスト表示され、それぞれのリスト画面はで切り替えることができます。USIMカードの電話帳には「」が表示されます。

- **メモリ番号で検索する場合は**
  待受画面でメモリ番号に続けてを押します。

電話をかける

1 検索した電話帳を選択し、詳細画面を表示する

2 目的の電話番号を反転表示し、発信操作をする



を押して目的の電話番号を反転表示させます。

電話帳の詳細画面

音声電話をかける場合は

を押す

TVコールをかける場合は

（TVコール）を押す

補足

- **一覧画面から音声電話をかけるには**
  詳細画面を表示しなくても、一覧画面で目的の電話帳を反転表示してでかけることができます。1つの電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、優先表示設定されている電話番号にかかります。

■ 電話帳詳細画面のメニューについて

電話帳の詳細画面から、メニューを使ったさまざまな操作ができます。表示されるメニューは、反転表示中の登録内容や各種設定の状態によって異なります。

メニュー	内　容
発番号設定	相手に電話番号を通知するかどうかを設定します。
プレフィックス	電話番号の前に国際発信用番号などのプレフィックスを付けてダイヤルします。
メール作成	選択した相手にメールを送ります。
1件削除	表示している電話帳1件を削除します。
電話帳保存／送信	電話帳を保存、またはvCard形式で送信します（本体電話帳データのみ）。
優先表示設定※	電話番号、メールアドレス、URLが登録されている場合に、優先される項目を指定します（本体電話帳データのみ）。
ショートカット	表示中の電話番号を待受画面にデスクトップアイコンとして貼り付けます。

※ 指定がない場合は、一覧表示などで一番上に登録されている項目が優先的に表示されます。
電話番号が登録されていない場合はメールアドレスを、電話番号・メールアドレスが登録されていない場合はURLを表示します。
また、優先表示設定にメールアドレスを設定すると、電話番号を登録していてもメールアドレスが優先的に表示されます。

■ USIMカードとの間で電話帳を操作する

804N本体とUSIMカードの間で、電話帳のデータをコピーまたは移動できます。

■電話帳をコピーする

1 **コピー元の電話帳一覧画面を表示する**

2 **（メニュー）を押し「電話帳管理」を選択する**

3 **「コピー」または「すべてコピー」を選択する**

4 **コピー先を選択してコピーする**

■電話帳を移動する

1 **移動元の電話帳一覧画面を表示する**

2 **（メニュー）を押し「電話帳管理」を選択する**

3 **「移動」または「すべて移動」を選択する**

4 **移動先を選択して移動する**

■ 電話帳一覧画面のメニューについて

電話帳一覧画面のメニューからは、次の操作ができます。表示されるメニューは、登録状況によって異なります。

メニュー	内　容
電話帳登録	電話帳を新規で作成します。
電話帳編集	電話番号の追加や、オプション設定ができます。
電話帳管理	電話帳を1件、あるいは複数件選択(☞P.1-26)してコピー、移動、削除ができます。
その他電話番号	「本体電話帳」「USIMカード電話帳」「サービス番号」「着信拒否番号」「FDN(発信先固定)」の選択ができます。
電話帳保存／送信	電話帳を保存、またはvCard形式で送信します(本体電話帳データのみ)。
検索切り替え	電話帳検索種別の切り替えができます。
ショートカット	「デスクトップに貼付」または「マイメニューに追加」を選択し登録することができます。

電話帳の編集

■ 電話帳を編集する

電話帳の登録内容を編集し、上書きします。編集する電話帳を検索し、詳細画面を表示する操作については「電話帳の利用」（☞P.5-6）を参照してください。

1 編集する電話帳の一覧画面を表示する

2 ✉(メニュー)を押し「電話帳編集」を選択する

3 項目を選択し、編集操作をする

名前、フリガナを編集する場合は

「名前」、「フリガナ」をそれぞれ選択し、編集する

電話番号、カテゴリ、メールアドレス、URLを編集する場合は

「電話番号」、「カテゴリ」、「メールアドレス」、「URL」を選択し、必要事項を入力する

グループ設定を変更する場合は

「グループ」を選択する

静止画を変更する場合は

静止画を選択し、「静止画」から画像を選択、または「静止画撮影」で撮影する

郵便番号、住所を編集する場合は

「郵便番号」、「住所」をそれぞれ選択し、必要事項を入力する

メモを編集する場合は

「メモ」を選択し、メモを入力する

4 「オプション設定」を選択する

着信設定を行う場合

追加設定「On」を選択し、音声／TVコール／メールの着信時の設定を行う

シークレット設定を行う場合

シークレット設定「On」を選択する

メモリ番号設定を行う場合

メモリ番号001～500の番号を設定する

その他設定を初期化する場合

「設定初期化」を選択する

5 ［✉］(OK）を押す

補足

- **電話帳詳細画面で◉を押しても、電話帳を編集できます。**
- **設定が重複している場合は**
  ひとつの電話帳にオプション設定とグループの設定機能が重複して設定されているときは、電話帳のオプション設定が優先されます。

5 電話帳

■ 電話帳を削除する

電話帳を1件／複数件、全件削除します。

1 電話帳一覧で削除する電話帳を反転表示する

2 ［✉］(メニュー)を押し､｢電話帳管理｣を選択する

3 削除する項目を選ぶ

1件削除する場合は

「1件削除」を選択し、［✉］(YES）を押す

複数件削除する場合は

①「電話帳選択」を選択する

②削除する電話帳を反転表示させる

複数の項目を一度に反転表示することもできます（☞P.1-26）。

③［✉］(メニュー)から｢削除｣を選択し､［✉］(YES）を押す

全件削除する場合は

「全削除」を選択し、［✉］(YES）を押す

補足

- **全件削除する場合は**
  操作用暗証番号の入力が必要です。
- **FDN(発信先固定)の番号を削除する場合は**
  PIN２コードの入力が必要です。
- **「シークレット表示」が「非表示」の場合は**
  「全削除」を選択しても、シークレット設定が「On」の電話帳は削除できません。

TVコール

TVコールをご利用になる前に

TVコール対応のボーダフォン携帯電話なら、スピーカーホンでお互いの映像を見ながら通話することができます。

▣ TVコールについて

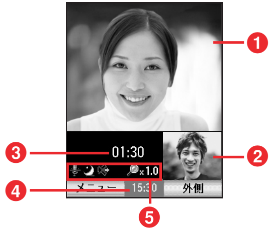
第3世代の高速な通信回線を利用して、音声だけでなくお互いの映像も送れます。

- 機種が違っていても、ボーダフォンのTVコール対応携帯電話同士ならTVコールをご利用になれます。
- TVコールは、64Kの通信速度で行います。

▣ スピーカーホンについて

- 通話開始時はスピーカーホンがOnの状態になっています。スピーカーホンをOffにするには、[メール](メニュー)を押し、「スピーカーホンOff」を選択します。
- マナーモード中でもスピーカーホンがOnの場合は、音声がスピーカーから流れます。

■ メインディスプレイの表示



❶親画面
❷子画面
❸通話時間
❹現在の時刻
❺状態表示

[マイク]：ミュート（ミュート解除のときはアイコン非表示）
[月]：ナイトモードOn（Offのときはアイコン非表示）
[×]：スピーカーホンOff（Onのときはアイコン非表示）
[ズーム]x1.0～[ズーム]x8.0：ズーム

TVコールをかける

音声電話をかけるときと同様に電話帳や発信履歴、着信履歴なども使えます。相手につながると双方の映像が表示され、通話できます。相手の顔を見ながら通信するには、スピーカーホンに切り替えるか、ステレオイヤホンマイクを使用します。

1 **電話番号を全桁（市外局番も）入力する**

2 **電話番号を確認して[TVコールキー]（TVコール）を押す**

3 通話が終わったら［PWR］を押す

補足

- **TVコールがつながらなかったときは**
  「接続できませんでした　相手先が通話中です」などのメッセージが表示されます。

注意

- **スピーカーホンで電話をかけているときは、相手の音声がスピーカーから流れます。他の人の迷惑にならないようにご注意ください。**
- **発信中／通話中に 804N を閉じると発信または通話が終了します。**

TVコールを受ける

TVコールがかかってくると、メインディスプレイに「TVコール着信」と表示されます。相手に自分の映像を送信せずに代わりの画像（代替画像）でTVコールを受けることもできます。

1 TVコールがかかってきたら、［応答］（応答）を押して電話を受ける

2 通話が終わったら［PWR］を押す

補足

- **代替画像で応答する場合は**
  ［A/a］を押してTVコールを受けます。
- **ステレオイヤホンマイクをご利用のときは**
  スイッチを1秒以上押すと、代替画像で応答できます。
- **TVコールに応答せずに切るには**
  ［PWR］を押すと「着信拒否」になります。
- **着信中のTVコールを転送するには**
  ［メニュー］（メニュー）を押し、「着信転送」を選択します。

注意

- **エニーキーアンサーでTVコールを受けることはできません。**
- **スピーカーホンのときは、相手の音声がスピーカーから流れます。他の人の迷惑にならないようにご注意ください。**
- **ミュージックプレイヤーやメールなどのソート機能で、並び替えに時間がかかる場合があります。その間はTVコールを受けることができませんのでご注意ください。**

TVコール中の操作

1 TV　コール中にボタン操作またはメニューの操作をする

相手の声の音量を調節する場合は※

　　を1秒以上、またはサイドボタンのを押すと大きく、を1秒以上、またはサイドボタンのを押すと小さくなる

カメラ映像／代替画像を切り替える場合は

　（メニュー）を押し、「自画像表示」または「代替画像表示」を選択する。代替え画像を表示しているときは、(自画像表示)で切り替えることもできる

スピーカーホンと通常の通話を切り替える場合は

　（メニュー）を押し、「その他設定」→「スピーカーホンOn」または「スピーカーホンOff」の順に選択する。ただし、通話開始時はこの設定にかかわらず、「スピーカーホンOn」の状態で始まる

メインディスプレイの照明は

　TVコール中は常時点灯になる

外側カメラ／内側カメラに切り替える場合は

　(外側）／(内側）を押す

親画面、子画面の表示内容を切り替える場合は※

　（メニュー）を押し、「その他設定」→「通話中画像表示」の順に選択し、「相手大＆自局小」、「自局大＆相手小」、「相手のみ」、「自局のみ」の中から設定する

通話中の通話時間を表示するかどうかを設定する場合は※

　（メニュー）を押し、「その他設定」→「通話時間表示」の順に選択する

音声をOn／Offする場合は

　（メニュー）を押し、「ミュート」または「ミュート解除」を選択する

「※」の設定内容は、通話を終了しても保存されます。

補足

- **その他の機能を設定をする場合は**
  （メニュー）を押し、以下の項目を選択します。

メニュー	内　容
明るさ調節	「もっと明るく」、「明るく」、「標準」、「暗く」、「より暗く」の5段階で明るさを調整します。
画像品質設定	「標準」、「画質優先」（動きが少ない被写体に適する）、「動き優先」（動きがなめらかな映像を送信する）のいずれかを選択します。

メニュー	内　容
ナイトモードOff （ナイトモードOn）	夜間などの暗い場所でのTVコールに適した画像に設定します。
ホワイトバランス設定	「晴天」、「曇天」、「オート」、「電球」の中から光源に合った設定を選択し、自然な色合いに調整します。

- **待受中にTVコールの設定を変更するには**
  「通話中画像表示」、「画像品質設定」、「ナイトモード」についてはメインメニューから（設定）→「通話設定」→「TVコール設定」→「カメラ設定」の順に選択し、「通話中画像表示」、「画像品質設定」、「ナイトモード」の設定を変更します。

TVコールの各種設定（TVコール設定）

■ 送受信する映像の品質を設定する

動きの激しい被写体の映像を送受信する場合には「動き優先」が有効です。

［お買い上げ時］ ■標準

1 **メインメニューから（設定）→「通話設定」→「TVコール設定」→「カメラ設定」→「画像品質設定」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

■ 発信するときに送信する画像を設定する

TVコールをかけるときに送信する画像をカメラ映像にする場合は「カメラ画像」に、代替画像にする場合は「代替画像」に設定します。

［お買い上げ時］ ■カメラ画像

1 **メインメニューから（設定）→「通話設定」→「TVコール設定」→「オプション設定」→「発信時自画像送信」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

■ 代替画像の画像を選択する

TVコール中に送信する代替画像を設定できます。プリインストール画像またはデータフォルダ内の画像から選択します。

［お買い上げ時］ ■内蔵画像

1 **メインメニューから（設定）→「通話設定」→「TVコール設定」→「代替画像選択」の順に選択する**

2 **項目を選択する**

3 **（OK）を押す**

■ TVコールがつながらなかったときの動作を設定する

「On」に設定すると、TVコールがつながらなかったときに自動的に音声電話でかけ直します。

［お買い上げ時］ ■Off

1 **メインメニューから (設定) →「通話設定」→「TVコール設定」→「オプション設定」→「音声自動再発信」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

注意

- **相手が話し中だったときや、圏外だったとき、電源を切っていたときなどにはかけ直しません。**

■ TVコール中に表示する映像を設定する

「通話中画像表示」で「相手大＆自局小」、「自局大＆相手小」、「相手のみ」、「自局のみ」の中から設定します。

［お買い上げ時］ ■相手大＆自局小

1 **メインメニューから (設定) →「通話設定」→「TVコール設定」→「カメラ設定」→「通話中画像表示」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

■ ナイトモードを設定する

夜間などの暗い場でのTVコールに適した画像に設定することができます。

［お買い上げ時］ ■Off

1 **メインメニューから (設定) →「通話設定」→「TVコール設定」→「カメラ設定」→「ナイトモード」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

■ 通話中の通話時間表示について設定する

「通話時間表示設定」で「On」または「Off」に設定します。

［お買い上げ時］ ■On

1 **メインメニューから (設定) →「通話設定」→「TVコール設定」→「オプション設定」→「通話時間表示設定」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

カメラ

カメラをご利用になる前に

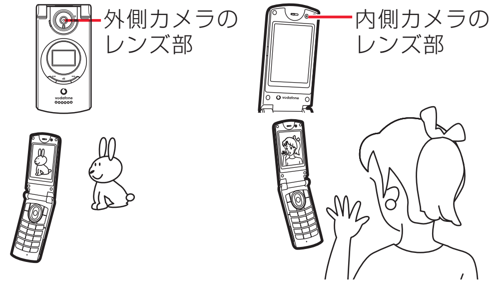
804Nに内蔵されているカメラを使って、写真（静止画）や動画を撮影できます。静止画はJPEG形式で、動画はMP4形式で保存されます。

補足

- **804Nは外側に2メガピクセルCMOSカメラ、内側にCIFサイズ（約10万画素）CMOSカメラを搭載しています。**
- **撮影後の保存先は**
  「本体メモリ」または「メモリカード」内の自動保存が設定されている「ピクチャ」または「ムービー」フォルダに保存されます(☞P.12-3)。

■ 撮影前のご注意

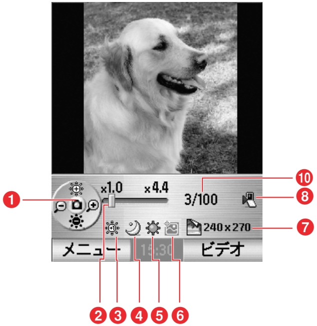
- カメラのレンズ部に指紋や油脂がつくと、ピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズ部をきれいにしてください。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。804Nが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてセルフタイマーで撮影してください。



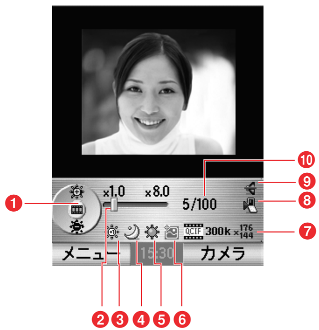
■ カメラ利用時のご注意

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見える画素や暗く見える画素もありますので、ご了承ください。
- 804N を暖かい場所に長時間置いたあとで撮影したり画像を保存したりした場合は、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、画像が変色することがあります。
- シャッター音やセルフタイマーのタイマー音は、マナーモード中でも一定の音量で鳴ります。
- 撮影した静止画や動画を microSD カードに保存する場合は、あらかじめmicroSDカードを804Nに取り付けておいてください。

■ メインディスプレイ表示



静止画撮影画面



動画撮影画面

❶モード

：静止画撮影モード
：動画撮影モード

❷ズーム設定状態バー

バーの上にズームの最小値と最大値を表示

❸露出補正

～：レベル-2～+2

❹ナイトモード設定状態

（表示なし）：オフ
：オン

❺ホワイトバランス設定状態

（表示なし）：オート
：晴天
：曇天
：電球

❻画像品質設定状態

：高品質
：標準
：エコノミー

❼**画像サイズ設定状態**

静止画撮影時

UXGA 1600x1200：UXGA (1600 x 1200)
SXGA 1280x960：SXGA (1280 x 960)
VGA 640x480：VGA (640 x 480)
CIF 352x288：CIF (352 x 288)
QCIF 176x144：QCIF (176 x 144)
SQCIF 128x96：SQCIF (128 x 96)
240x270：壁紙 (240 x 270)
160x160：CLI & ICON (160 x 160)

動画撮影時

QCIF 300k x 176/144：画像サイズ：QCIF（176×144）
／ファイルサイズ：300K

QCIF 176x144：画像サイズ：QCIF（176×144）
／ファイルサイズ：無制限

❽**保存先設定状態**

：804N本体
：microSDカード

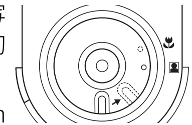
❾**音声録音設定状態(動画撮影時)**

(表示なし)：On (通常)
：映像のみ（音なし）

❿**撮影枚数／撮影可能枚数**

セルフタイマー撮影時はタイマー表示
動画撮影中は残り録画時間

■ 接写スイッチ



外側カメラの横にあるスイッチで接写モード（）と通常モード（）を切り替えることができます。

被写体の距離は、接写モードでは10cm程度、通常モードでは約100cm以上を目安にしてください。

静止画を撮影する

■ 静止画撮影モード

メールに添付したり待受画面の背景にするなど、携帯電話で利用するのに適したサイズの静止画を撮影できます。撮影した静止画は、データフォルダのピクチャーに保存されます。

■ 静止画の撮りかた

1 **メインメニューから（カメラ）→「カメラ」の順に選択する**

2 **撮影したい画像をメインディスプレイに表示する**

3 **⦿を押して撮影する**

補足

- **セルフタイマーを使って撮影するには**
  (メニュー)を押し、「セルフタイマー設定」を選択し、「On(10秒)」を選択します。を押してから10秒後に撮影されます。途中で中止するときは、(キャンセル)を押します。

- **内側カメラ/外側カメラに切り替えて撮影するには**
  カメラを起動中に(メニュー)を押し、「カメラ方向切替」を選択することで、内側/外側が切り替わります。

- **被写体の大きさを変更するには**
  またはを押すごとに、1段階ずつ最大8段階までズームイン、ズームアウトされます。

- **画像の明るさ(露出)を調節するには**
  またはを押すごとに、+2/+1/0/-1/-2のように調節されます。

- **撮影した静止画をすぐに待受画面の壁紙に設定するには**
  撮影後、(メニュー)を押し、「壁紙設定」を選択します。

- **カメラからビデオに切り替えるには**
  カメラを起動中に(ビデオ)を押します。

- **画面がちらつくときは**
  室内で撮影する際に、蛍光灯などの影響で画面がちらつくときがあります。(メニュー)を押し、「カメラ設定」→「画像チューニング」を選択して、「モード1(50Hz地域)」または「モード2(60Hz地域)」に切り替えて調整してください。

- **ファイル名を変更する場合は**
  (メニュー)を押し、「名称変更」を選択します。

■ 静止画撮影中のメニューについて

カメラを起動中に(メニュー)を押し、次の操作ができます。表示されるメニューや選択できる項目は、モードや各種設定の状況によって異なります。

メニュー	内 容
イメージビューア	イメージビューアを起動します。
カメラ方向切替	内側カメラと外側カメラを切り替えます。
画像サイズ設定	撮影サイズを選択します。
画像品質設定	画質を選択します。
ホワイトバランス	光源に合った設定を選択し、自然な色合いに調整します。
ナイトモードOff(ナイトモードOn)	夜間などの暗い場所での撮影に適しています。
セルフタイマー設定	セルフタイマーを使って撮影します(☞P.7-5)。
カメラ設定	・保存容量確認 保存容量を表示します。 ・表示サイズ設定 等倍か画面サイズに合わせて拡大表示します。 ・シャッター音 3種類の効果音から選択します。 ・画像チューニング 画面がちらつく場合に設定を変更します。

メニュー	内　容
バーコードリーダー	バーコードリーダーを起動します(☞P.7-8)。

※ 設定内容はカメラ方向切替とセルフタイマー設定を除き、カメラを終了しても保存されます。

▣ 静止画撮影後のメニューについて

静止画撮影後、以下のメニューが使用できます。

メニュー	内　容
名称変更	ファイル名を変更します。
削除	一度保存した画像を削除します。
メール送信	撮影した画像が添付された新規メールを作成します。
壁紙設定	撮影した画像を壁紙として設定します。

■ 静止画を確認する

1 **メインメニューから（データフォルダ）を押し、「ピクチャー」を選択する**

2 **フォルダを選択する**

3 **一覧画面でファイルを反転表示し、●を押す**

動画を撮影する

■ 動画撮影モード

音付の動画だけでなく、映像のみの撮影もできます。撮影条件によってデータ量が異なるので、画面に表示される撮影可能時間を目安としてください。撮影した動画は、データフォルダのムービーに保存されます。

■ 動画の撮りかた

1 **メインメニューから（カメラ）→「ビデオ」の順に選択する**

2 **撮影したい映像をメインディスプレイに表示する**

3 **●を押して撮影する**

補足

- **内側カメラ／外側カメラに切り替えて撮影するには**
  ビデオを起動中に（メニュー）を押し、「カメラ方向切替」を選択することで、内側／外側が切り替わります。
- **映像のみ撮影するには**
  ビデオを起動中に（メニュー）を押し、「音声録音設定」→「Off」を選択します。

● **被写体の大きさを変更するには**
(左)または(右)を押すごとに、1段階ずつ最大8段階までズームイン、ズームアウトされます。倍率は撮影中に変更できます。

● **画像の明るさ（露出）を調節するには**
(上)または(下)を押すごとに、+2/+1/0/-1/-2のように調節されます。

● **ビデオからカメラに切り替えるには**
ビデオを起動中に、(カメラ)を押します。

● **画面がちらつくときは**
室内で撮影する際に、蛍光灯などの影響で画面がちらつくときがあります。(メニュー）を押し、「カメラ設定」→「画像チューニング」を選択して、「モード1（50Hz地域）」または「モード2（60Hz地域）」に切り替えて調整してください。

● **ファイル名を変更する場合は**
(メニュー）を押し、「名称変更」を選択します。

■ 動画撮影中のメニューについて

ビデオを起動中に、メニューから次の操作ができます。表示されるメニューや選択できる項目は、モードや各種設定の状況によって異なります。

メニュー	内　容
ムービー	ビデオプレーヤーを起動します。
カメラ方向切替	内側カメラと外側カメラを切り替えます。
画像品質設定	画質を選択します。
ホワイトバランス	光源に合った設定を選択し、自然な色合いに調整します。
ナイトモードOff（ナイトモードOn）	夜間などの暗い場所での撮影に適しています。
音声録音設定	動画撮影時に音声の有無を選択します。
カメラ設定	・保存容量確認 保存容量を表示します。 ・録画制限 ファイルサイズの上限を設定します。 ・表示サイズ設定 等倍か画面サイズに合わせて拡大表示するかを選択します。 ・シャッター音 3種類の効果音から選択します。 ・画像チューニング 画面がちらつく場合に設定を変更します。
バーコードリーダー	バーコードリーダーを起動します（☞P.7-8）。

■ 動画撮影後のメニューについて

動画撮影後、以下のメニューが使用できます。

メニュー	内　容
名称変更	ファイル名を変更します。
削除	一度保存した画像を削除します。
メール送信	撮影した動画が添付された新規メールを作成します。

■ 動画を確認する

1 メインメニューから（データフォルダ）を押し、「ムービー」を選択する

2 一覧画面でファイルまたはフォルダ内のファイルを選択する

メール添付

撮影した静止画や動画を、その場でメールに添付して送信できます。

1 撮影終了後（メール送信）を押して、メールを作成する

動画を添付する場合は

ファイルサイズが大きいとメールに添付できない場合があります。

2 メール作成画面で宛先、件名、本文などを入力して送信する

バーコードリーダー

バーコード（QRコード）※に含まれる電話番号やメールアドレス、画像、メロディなど、さまざまな情報をカメラで読み取って利用できます。これらの情報を登録して、繰り返し利用することもできます。

※ QRコードは縦、横二方向に情報を持つ二次元コードの一種です。1つの情報が複数のQRコードに分かれているものもありますが、804Nではサポートされていません。QRコード以外のバーコードや二次元コードは読み取れません。804Nにサポートされていない文字を読み込んだ場合、その文字部分は空白となります。

バーコードを読み取るときは、接写スイッチを接写モード（）に切り替えてください。また、804Nが揺れないようにしっかり持って操作してください。読み取った情報は、すぐに使うことも登録（最大5件）することもできます。

1 メインメニューから（カメラ）→「バーコードリーダー」の順に選択する

登録が1件もない場合は

操作2に進む

すでに登録がある場合は

「<新規取込>」を選択し、操作2に進む

すでに5件登録されている場合は

「<新規取込>」を選択して（YES）を選択するか、次のように操作する

7 カメラ

①不要な情報を反転表示し、✉（メニュー）を押し、「1件削除」を選択して✉（YES）を選択する
②「＜新規取込＞」を選択し、操作2に進む

2 バーコードを認識範囲に表示させる



ピントの合う範囲内で、なるべく大きく映るようにします。

3 ●を押して撮影し、情報を確認する



結果表示画面

※画面例は「NEC SUPER TOWN」のURLです。

もう一度読み取り直す場合は

①[CLEAR BACK]を押し、✉（YES）を選択する
②操作1から登録をやり直す

4 情報を登録または利用する

読み取り結果を登録する場合は

✉（メニュー）を押し、「登録」を選択する

URLをブックマークに登録する場合は

✉（メニュー）を押し、「ブックマーク登録」を選択する

電話帳に登録する場合は

「電話帳」を選択するかメニューから「電話帳登録」を選択し、登録操作をする（☞P.5-3）

画像を保存する場合は

画像のアイコンにカーソルを移動し、✉（メニュー）を押し、「ファイル登録」を選択する

メロディを保存する場合は

メロディのアイコンにカーソルを移動し、✉（メニュー）を押し、「ファイル登録」を選択する

結果表示画面の文字をコピーする場合は

✉（メニュー）を押し、「コピー」を選択し、始点と終点を指定する

その他の操作

電話発信（☞P.2-2）、TVコール発信（☞P.6-2）、メール作成（☞P.20-2）、ウェブアクセス（☞P.24-2）などの操作が行えます。

ディスプレイとランプの設定

画面設定

待受画面にカレンダー、画像、時計を表示させたりすることができます。

■ ディスプレイに画像やカレンダーを設定する

［お買い上げ時］ ■ウェイクアップアニメ：Welcome1
■ウェイクアップサウンド：ウェイクアップトーン
■シャットダウンイメージ：See You1
■壁紙設定：ポップチェック　■カレンダー：Off
■オペレータ名表示設定：Off

1 メインメニューから（設定）→「ディスプレイ設定」→「メインディスプレイ」の順に選択する

2 項目を選択し、設定をする

電源を入れる／切るときに画像を表示したり音を出したりするには

①「グリーティング」を選択する
②「ウェイクアップアニメ」、「ウェイクアップサウンド」、「シャットダウンイメージ」をそれぞれ選んで設定する

待受画面の壁紙を変更する場合は

①「壁紙」を選択する
②「壁紙設定」を選択する
③フォルダ内の画像を選択する

待受画面にカレンダーを表示する場合は

①「壁紙」を選択する
②「カレンダー」を選択する
③「On」を選択する

待受画面に利用中の通信会社名を表示するかどうかを設定する場合は

①「オペレータ名表示設定」を選択する
②「On」または「Off」を選択する

補足

- サブディスプレイの画像を変更する場合は、メインメニューから（設定）→「ディスプレイ設定」→「サブディスプレイ」→「壁紙」の順に選択して壁紙を変更します。
- あらかじめ 804N に登録されている画像やダウンロードした画像、撮影した画像も設定することができます。
- 壁紙に設定された画像は、待受画面の大きさに合わせて表示されます。

■ サブディスプレイの時計の表示方法を設定する

［お買い上げ時］ ■日時表示

1 **メインメニューから（設定）→「ディスプレイ設定」→「サブディスプレイ」→「時計種類」の順に選択する**

2 **項目を選択し、設定する**

補足

- 閉じた状態でサイドボタンやミュージックアシストボタンを押し、表示を切り替えることもできます。

■ サブディスプレイに通知情報を表示しないように設定する

［お買い上げ時］ ■Off

1 **メインメニューから（設定）→「ディスプレイ設定」→「サブディスプレイ」→「待受表示固定」の順に選択する**

2 **「On」を選択する**

補足

- 「待受固定表示」が「Off」に設定中は、通知情報に相手の名前や電話番号などを表示しないように設定できます。
  ①メインメニューから（設定）→「ディスプレイ設定」→「サブディスプレイ」→「情報表示」の順に選択する
  ②「着信表示」または「メール表示」の「Off」を選択する

注意

- 「待受表示固定」を「On」に設定すると、サブディスプレイにミュージック再生時の再生画面も表示されません。

■ サブディスプレイのバックライト消灯時に時計を表示させる

［お買い上げ時］ ■On

1 **メインメニューから（設定）→「ディスプレイ設定」→「サブディスプレイ」→「情報表示」→「照明OFF時表示」の順に選択する**

2 **「On」を選択する**

照明設定

メインディスプレイとサブディスプレイ、ボタンのバックライトの点灯方法などを設定できます。

■ メインディスプレイのバックライトを設定する

［お買い上げ時］ ■点灯設定：中輝度
■点灯時間：15秒

1 **メインメニューから （設定）→「ディスプレイ設定」→「メインディスプレイ」→「照明設定」の順に選択する**

2 **項目を選択し、設定操作をする**

通常時のバックライトの点灯方法を設定する場合は

①「点灯設定」を選択し、「高輝度」、「中輝度」、「低輝度」または「Off」を選択する

②「点灯時間」を選択し、5～60秒の範囲で任意の時間を設定する

■ メインディスプレイの省電力機能を設定する

［お買い上げ時］ ■5分

1 **メインメニューから （設定）→「ディスプレイ設定」→「メインディスプレイ」→「省電力設定」の順に選択する**

2 **設定する時間を入力し、 （OK）を押す**

■ サブディスプレイのバックライトを設定する

［お買い上げ時］ ■点灯設定：On
■点灯時間：15秒

1 **メインメニューから （設定）→「サブディスプレイ設定」→「サブディスプレイ」→「照明設定」の順に選択する**

2 **項目を選択し、設定する**

通常時のバックライトの点灯方法を設定する場合は

①「点灯設定」を選択し、「On」または「Off」を選択する

②「点灯時間」を選択し、2～60秒の範囲で任意の時間を設定する

注意

- サブディスプレイのバックライトの明るさは変更できません。

■ サブディスプレイのコントラストを調整する

［お買い上げ時］ ■レベル5

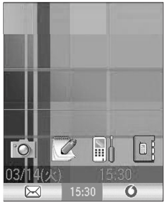
1 **メインメニューから（設定）→「ディスプレイ設定」→「サブディスプレイ」→「コントラスト調整」の順に選択する**

2 **本体を閉じ、ミュージックアシストボタン（|◀◀または▶▶|）を押してレベル1～9の範囲でコントラストを調整する**

3 **本体を開き、（OK）を押す**

よく使う機能を待受画面に設定する（デスクトップ）

よく使う機能やデータ、電話番号などを待受画面にデスクトップアイコンとして貼り付けると、簡単な操作で機能やデータを呼び出せます。アイコンは8件まで貼り付けられます。



待受画面のデスクトップアイコン

デスクトップに貼り付けられるアイコンは、次のとおりです。

アイコン	選択すると…
カレンダー、アラーム、予定リスト、簡易電卓／通貨換算、テキストメモ、ボイスレコーダー、ユーザ辞書、「設定」メニュー配下のすべてのメニュー、バーコードリーダー、カメラ、ビデオ、ミュージックプレイヤー、メディアプレイヤー配下のすべてのメニュー、Vアプリ、ブックマーク、キャスト	貼り付けた機能が起動します。
データフォルダの各フォルダ（ピクチャー、着信メロディ、Vアプリ、ミュージック、ムービー、メモリーカード、その他）と各ファイル	貼り付けたデータが表示、再生されます。
電話帳のデータ（電話番号、メールアドレスなど）、URL	貼り付けたデータを利用した画面（電話帳データの詳細画面、サイト画面）が表示されます。

注意

- **アイコンが４件以上貼り付けられている待受画面にカレンダーを表示した場合（☞P.8-2）、一番下の段の4件のみ表示されます。**

■ デスクトップアイコンを貼り付ける

各機能の画面で、（ショートカット）を押し、「デスクトップに貼付」を選択してデスクトップアイコンを貼り付けます。

〈例〉「ディスプレイ設定」を貼り付ける場合

1 **メインメニューから（設定）→「ディスプレイ設定」を選択する**

2 **（ショートカット）を押し、「デスクトップに貼付」を選択する**

■ デスクトップアイコンから機能やデータを呼び出す

1 **待受画面でを押す**

2 **デスクトップアイコンを選択する**

■ デスクトップアイコンの情報を確認する

1 **待受画面でデスクトップアイコンを選択する**

2 **画面下に機能名が表示される**

■ デスクトップアイコンの画像を変更する

1 待受画面で画像を変更したいデスクトップアイコンを選択する

2 ✉（メニュー）を押し、「アイコン変更」→「画像の新規選択」の順に選択する

3 ファイルを選択し、画像を設定する

補足

- 画像のサイズがアイコンのサイズと異なる場合、「縮小」、「拡大」または「中央切り出し」のいずれかを選んで画像を設定できます。

■ デスクトップアイコンの画像をその場で撮影した画像に変更する

1 待受画面で画像を変更したいデスクトップアイコンを選択する

2 ✉（メニュー）を押し、「アイコン変更」→「新規作成」の順に選択する

3 撮影したい画像をメインディスプレイに表示する

4 ●を押して撮影し、✉（OK）を押す

■ デスクトップアイコンの位置を移動する

1 待受画面で位置を変更したいデスクトップアイコンを選択する

2 ✉（メニュー）を押し、「ショートカット移動」を選択する

3 移動したい位置にカーソルを動かし、●または✉（置換え）を押す

■ デスクトップアイコンを削除する

1 待受画面で削除したいデスクトップアイコンを選択する

2 ✉（メニュー）を押し、「ショートカット削除」を選択する

3 ✉（YES）を選択する

メインメニューのアイコンを変更する

メインメニュー画面に表示される大項目アイコンの画像を変更することができます。

1 メインメニューで画像を変更したい大項目アイコンを選択する

2 ✉（置換）を押し、項目を選択する

アイコンをデータフォルダの画像に変更する場合

①「画像の新規選択」を選択する
②ファイルを選択し、画像を設定する

アイコンを新しく撮影した静止画に変更する場合

①「新規作成」を選択する
②静止画を撮影をする

お買い上げ時のアイコンに戻す場合

「デフォルト画像」を選択する

補足

- データフォルダの画像に変更する場合は、画像のサイズがアイコンのサイズと異なるとき、「縮小」または「中央切り出し」のどちらかを選んで画像を設定できます。
- 「新規作成」を選びカメラで撮影する場合、他のアプリケーションは起動できません。

フォント設定

メインディスプレイに表示される文字の種類を２種類から選択できます。

［お買い上げ時］ ■フォント1

1 メインメニューから（設定）→「ディスプレイ設定」→「フォント設定」の順に選択する

2 「フォント1」（通常フォント）、または「フォント2」（丸文字）を選択する

補足

- ウェブやメールで「文字サイズ」を「小」に設定している場合は切り替わりません。

イルミネーション

着信時のランプについて設定します。点灯色3種類(緑／赤／橙)と点灯パターン4種類(パターン1～3、メロディ連動)の組み合わせで、12種類の中から設定できます。点灯色を「Off」にして点灯しないようにすることもできます。

［お買い上げ時］ ■音声通話：橙、TVコール：緑、メール：赤
（点灯パターンはすべてパターン1）

1 メインメニューから（設定）→「一般設定」→「音／照明／モード設定」の順に選択する

2 設定したいモード（通常モード／会議中モード／アウトドアモード／運転中モード）を選択し、（編集）を押し、「着信イルミネーション」を選択する

3 各項目ごとに点灯色と点灯パターンを設定する

補足

- **「着信イルミネーション」で設定できる項目について**
  「音声通話」、「TVコール」、「メール」のそれぞれに点灯色と点灯パターンを設定できます。
- **ランプの色を確認するには**
  「着信イルミネーション」で点灯色や点灯パターンを選択するときに実際の色や点灯パターンを確認できます。
- **通話中のイルミネーションについて**
  通話中は点灯しません。

英語表示に切り替える

メインディスプレイやサブディスプレイに表示される機能名やメッセージを英語に切り替えられます。

［お買い上げ時］ ■日本語

■ 日本語表示から英語表示に切り替える

1 メインメニューから（設定）→「一般設定」→「Language」→「Display Language」の順に選択する

2 「English」を選択して、を押す

3 （OK）を押す

■ 英語表示から日本語表示に切り替える

1 メインメニューから（Settings）→「Phone Settings」→「言語選択」→「表示言語」の順に選択する

2 「日本語」を選択して、を押す

3 （OK）を押す

音の設定

モードについて

804Nには、音やバイブレータの設定が通常モード、会議中モード、アウトドアモード、運転中モード、マナーモードの5種類があり、状況に応じてモードを切り替えて使用することができます。

■ 各モードの種類

- **通常モード**
  通常のモードです。
- **会議中モード**
  音を鳴らさず、着信をバイブレータのみでお知らせします。
- **アウトドアモード**
  屋外でも聞こえるように、音量が最大に設定されています。
- **運転中モード**
  着信が自動で、バイブレータによるお知らせはありません。
- **マナーモード**
  周囲に配慮が必要な場合にボタン1つで設定できます。

補足

- **待受画面で # を1秒以上押すと、現在のモードとマナーモードを切り替えることができます。**
- **各モードの設定は、お好みに変更することができます。ただし、マナーモードの設定は固定となっています。**
- **マナーモードや音量を消去に設定しているときでも、スピーカーホンやカメラを利用する場合は音が鳴ります。**

■ 各モードの初期設定

設定項目＼モード	通常	会議中	アウトドア	運転中	マナー
音量（音声・TV・メール・アラーム音）	レベル4	消去	レベル6	レベル4	消去
バイブレータ	Off	パターン1	パターン1	Off	パターン2
ボタン確認音／充電通知音	On	Off	On	On	Off
圏内通知音	Off	Off	Off	On	Off
オート着信	Off	Off	Off	On	Off

音の設定

■ 着信音の設定

■ 音量設定

音量は、消去およびレベル1～6までの7段階で設定できます。

［お買い上げ時］ ■レベル4

1 メインメニューから［設定アイコン］（設定）→「一般設定」→「音／照明／モード設定」の順に選択する

2 設定したいモード（通常モード／会議中モード／アウトドアモード／運転中モード）を反転表示し、［✉］（編集）を押し、「音量」を選択する

3 「着信音量」を選択し、レベルを設定する

4 ［✉］（OK）を押す

補足

- **マナーモードの音量について**
  マナーモードの音量は「消去」固定で変更はできません。ただしステレオイヤホンマイクを使用しているときは、「レベル1」固定になります。

■着信音の選択

音声電話やTVコールの着信時、またはメールの受信時に鳴る着信音を設定できます。

［お買い上げ時］ ■音声着信 ：着信音1
■TVコール ：着信音1
■メール ：着信音2

1 メインメニューから［設定アイコン］（設定）→「一般設定」→「音／照明／モード設定」の順に選択する

2 設定したいモード（通常モード／会議中モード／アウトドアモード／運転中モード）を反転表示し、［✉］（編集）を押し、「着信音」を選択する

3 「音声通話」、「TVコール」または「メール」を選択する

4 着信音を選択して設定する

着信音に設定するメロディを確認する場合は

①確認したいメロディを反転表示し、［✉］（メニュー）を押す
②「プレビュー」を選択する

補足

- **マナーモードの着信音について**
  マナーモードの着信音は固定で変更はできません。ステレオイヤホンマイクを使用しているときは、「着信音1」（音声電話／TVコール）または、「着信音2」（メール）になります。
- **着信音に設定できる音楽ファイルの形式について**
  次の5種類が設定できます。
  MIDI、SMAF、AMR、MP3、MP4
  ただし次のファイルは設定できません。
  ・市販の音楽CDなどから取り込んだMP4／MP3
  ・DRM SD形式ではないMP3
  ・アニメーションを含むSMAF
  ・「メール」の着信音としてのMP4（動画）

● あらかじめ登録されている着信音とメロディ

表示名(日本語)	曲名	作曲者
着信音1、2	–	–
カノン	Conon a 3 con suo basso und Gigue	Johann Pachelbel
木星	Suite ‘The planets’ op.32 Jupiter	Gustav Holst
くるみ割り人形	The nutcracker Marche op.71a	Pytr Il'ich Chaikovsky
四季より“秋”	Concerti a 4 e 5 ‘Il cimento dell'armonia e dell'inventzone’ op. 8 L’autunno RV. 293	Antonio Vivaldi
草競馬	Camptown races	Stephen Collins Foster
白鳥の湖	The swan lake op.20	Pytr Il'ich Chaikovsky
さくらさくら	さくらさくら	日本古謡
アラーム音	–	–
ウェイクアップトーン	VFウェイクアップトーン	–
キラキラ	–	–
ひよこ	–	–
You've got mail	–	–
無音	–	–

※ JASRAC権利管理楽曲はありません。

注意

- データの内容によっては、着信音として選択できない場合があります。
- microSDカードのデータは選択できません。
- メールの着信音にはムービーを設定できません。

■ アラーム音量の設定

アラームの音量は、消去およびレベル1～6までの7段階で設定できます。

［お買い上げ時］ ■レベル4

1 メインメニューから (設定) →「一般設定」→「音／照明／モード設定」の順に選択する

2 設定したいモード（ 通常モード／会議中モード／アウトドアモード／運転中モード）を反転表示して (編集) を押し、「音量」を選択する

3 **「アラーム音量」を選択し、レベルを設定する**

4 **✉（OK）を押す**

補足

- **マナーモードの音量について**
  マナーモードの音量は「消去」固定で変更はできません。ただし、ステレオイヤホンマイクを使用しているときは、「レベル1」固定になります。

■ バイブレータの設定

音声電話やTVコールの着信時、またはメールの受信時に804Nが振動するように設定できます。パターン1～3、メロディ連動、あるいはOff（振動なし)の5種類から設定できます。

1 **メインメニューから（設定）→「一般設定」→「音／照明／モード設定」の順に選択する**

2 **設定したいモード（ 通常モード／会議中モード／アウトドアモード／運転中モード）を反転表示し、✉（編集）を押し、「バイブレータ」を選択する**

3 **バイブレータのパターンを選択する**

補足

- **マナーモードのバイブレータについて**
  マナーモードのバイブレータは、「パターン2」固定で変更はできません。
- **その他の機能でのバイブレータについて**
  カレンダー／予定リストでアラーム設定を「On」にした場合は、設定されているモードのバイブレータパターンで振動します。

注意

- **バイブレータを設定しているときは、着信時などの振動で804Nが火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちる場合があるので注意してください。**

■ 確認音の設定

ボタンを押したとき、充電を開始／終了したとき、電波が圏外から圏内になったときに音を鳴らすように設定できます。

1 **メインメニューから（設定）→「一般設定」→「音／照明／モード設定」の順に選択する**

2 **設定したいモード（ 通常モード／会議中モード／アウトドアモード／運転中モード）を反転表示し、✉（編集）を押し、「その他設定」を選択する**

ボタン確認音を設定する場合は

①「ボタン確認音」を選択する
②「On」を設定する

圏内になったときに音を鳴らす場合は

①「圏内通知音」を選択する
②「On」を設定する

充電開始／終了音を設定する場合は

①「充電通知音」を選択する
②「On」を設定する

オート着信を設定する場合は

①「オート着信」を選択する
②「On」を設定する

補足

- **各確認音の音量について**
  「圏内通知音」と「充電通知音」は各モードの音量設定で音が鳴ります。「ボタン確認音」はレベル3固定で変更できません。

エンタテイメント

ミュージックプレイヤー

■ ミュージックプレイヤーについて

ミュージックプレイヤーは、あらかじめ登録されているプリインストールメロディやボーダフォンライブ!で入手した音楽やメロディ、パソコンなどで録音した音楽を楽しむための機能です。



ミュージックプレイヤー画面

❶ボタン表示
❷再生リスト名
❸タイトル
❹アーティスト名
❺プレイヤーの状態
▶PLAY：再生中／॥PAUSE：一時停止中／■STOP：停止中
▶▶FF：早送り中／◀◀REW：巻き戻し中
❻トラック番号
❼曲の経過時間（分：秒）／曲の長さ（分：秒）
❽音量
❾ミュート表示
MUTE
❿マナーモード
⓫優先設定
：着信優先／：再生優先
⓬再生モード
（表示なし）：全曲再生／：全曲リピート／：ランダム再生／：ランダムリピート／：1曲再生／：1曲リピート
⓭イコライザ設定
（表示なし）：Off／CLASSIC：クラシック／VOCAL：ヴォーカル／JAZZ：ジャズ／POP：ポップ／ROCK：ロック／
⓮バスブースト設定
（表示なし）：Off／BASS：レベル1～BASS：レベル3

ファイルの再生やメニューを使った操作は、データフォルダからもできます。ファイルの移動や削除、サブフォルダの追加などの操作については、「データ管理」（☞P.12-2）の章、パソコンとのファイルのやりとりは「外部接続」（☞P.13-2）の章を参照してください。

■ 再生できるファイル

ファイルの種類（フォーマット）	拡張子
AMR-NB	.amr
MIDI(SMF format 0/1, SP-MIDI, GM)	.mid / .midi
MP3	.mp3
MPEG4-AAC(AAC/HE AAC) / MPEG4(AMR-NB)	.mp4 / .3gp / .3ga / .aac / .m4a
SMAF	.mmf
XMF（Mobile DLSを含む場合はこれをサポートする）	.xmf0 / .xmf1
DRM	.dcf

※ 上記以外のファイルは、未サポートファイルとして表示されます。また、上記のファイルでも再生できない場合もあります。

※ MP3はVodafone N-Seriesミュージック転送ツールで転送したファイルに対応しています。なお、タイトルやアーティスト名はMP3のIDタグを利用して表示しますので、ID3タグのver.2.3/2.4をお使いください。

※ XMFおよびSMAFタイプのDRMファイル、メモリカードに保存したSMAFファイル（転送不可の場合）は再生できません。

■ 登録できるファイル数

音楽ファイル　：1000件
メロディファイル：595件

■ 著作権情報（DRM）を含むファイルの利用について

ダウンロードした音楽やメロディのファイルに著作権保護情報が含まれていると、再生や利用、転送などが制限される場合があります。「再生期限」、「再生可能期間」、「再生可能回数」や転送が可能かどうかなど、各種の著作権保護情報は、一覧画面のメニュー「ファイル情報表示」で確認できます。なお、「再生期限」の時間表示はローカル時計の時間設定を基準としています。

■ 再生のしかた

ミュージックプレイヤーで音楽やメロディを再生します。再生リストは次の種類から選択できます。

リストの種類	内　容
全曲リスト	すべての音楽ファイルを表示します。
プレイリスト	お好みのファイルを登録したリストの一覧を表示します。
ミュージックフォルダ	音楽ファイルを保存してあるフォルダの一覧を表示します。
最近再生した曲	最近再生したファイルの一覧を表示します。本体メモリとメモリカードの区別はありません。
よく再生する曲	よく再生するファイルの一覧を表示します。本体メモリとメモリカードの区別はありません。
ダウンロード	「ミュージックサーチ」は音楽をウェブから検索します。 「ミュージックダウンロード」はダウンロード可能な音楽を提供しているサイトを表示します。
着信メロディ	メロディファイルを表示します。

1 メインメニューから（エンタテイメント）→「ミュージックプレイヤー」の順に選択する

2 メモリカードに保存しているファイルを選ぶ場合は（メモリカード）を押す

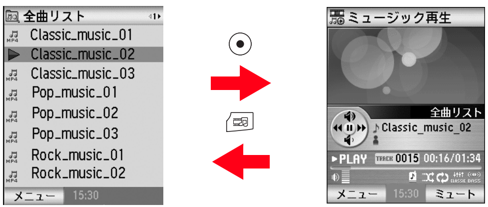
3 再生するリストの種類を選択する

4 「プレイリスト」、「ミュージックフォルダ」を選択した場合は、聴きたいファイルのあるフォルダを選択する

5 一覧画面でファイルを選択する

再生するファイルを選び直す場合は

再生画面でを押してリスト画面に戻り、別のファイルを選択する



一覧画面　　　　再生画面

曲再生中のリスト画面から再生画面に戻る場合は

再生画面でを押してリスト画面に戻り、さらにを押す

■ 再生中の操作について

再生画面を表示しているときは、ボタンやメニューを使った次の操作ができます。

／サイドボタンの：音量大
／サイドボタンの：音量小
／：前後の曲の再生（または頭出し）
を1秒以上：巻き戻し
を1秒以上：早送り
／イヤホンスイッチ：一時停止／再生
を1秒以上：停止
イヤホンスイッチを1秒以上：停止
（メニュー）：メニューの表示
（ミュート／ミュート解除）：ミュート（消音）の設定／解除
：ミュージックプレイヤーの終了

■ メニューについて

一覧画面やファイルの再生中または停止中のメニューからは次の操作ができます。表示されるメニュー項目は、ミュージックプレイヤーの状態によって異なります。

メニュー	内　容
着信音設定	反転表示中または再生中のファイルを着信音に設定します。
新規プレイリスト	プレイリストを新規に作成します。
プレイリスト削除	反転表示中のプレイリストを削除します。
プレイリスト全削除	すべてのプレイリストを削除します。
プレイリスト名編集	反転表示中のプレイリストの名前を変更します。

メニュー	内　容
プレイリスト編集	プレイリストを編集します。
メール送信	反転表示中または再生中のファイルを添付したメールを新規作成します。
ファイル情報表示	反転表示中または再生中のファイルの情報を表示します。
削除	反転表示中のファイルを削除します。
1件リスト削除	反転表示中のファイルをリストから削除します。
全件リスト削除	リスト内のファイルをリストからすべて削除します。
ファイル名編集	反転表示中のファイルの名前を変更します。
プレイリスト追加	反転表示中のファイルをプレイリストに追加します。
ソート	一覧内のファイルを並べ替えます。「並び替え対象」で「アーティスト名」や「ファイル名」などを選択し、「並び順」で「昇順」または「降順」を選択します。プレイリスト一覧ではプレイリスト名の昇順または降順を選択します。
ミュート設定	ミュージックプレイヤーを消音状態（ミュート）にするかどうかを設定します。
コンテンツ・キー取得	コンテンツ･キーを取得するためにブラウザを起動します。
ミュージック設定	反転表示中または再生中のファイルやプレイリストで音楽を再生するときの設定を行います。

■ ミュージック設定について

音楽を再生する時の設定を行います。

設定項目	内　容
照明設定	再生中のメインディスプレイの照明を設定します。 「常時On」「常時Off」「システム依存」から選べます。 「システム依存」を選ぶと「ディスプレイ設定」の「照明設定」で設定した点灯方法に従います。
プレイヤー自動終了	ミュージックプレイヤーの終了時間を設定します。時間は「30分後」「60分後」「90分後」「Off」から選べます。
再生モード	プレイリスト内のファイルを再生する方法を設定します。 「全曲再生」「全曲リピート」「ランダム再生」「ランダムリピート」「1曲再生」「1曲リピート」から選択します。
イコライザ設定※1	再生時の音質を調整します。 「Off」「クラシック」「ヴォーカル」「ジャズ」「ポップ」「ロック」から選択します。
バスブースト設定	低音を強調します。 「Off」または「レベル1」～「レベル3」から選択します。 イヤホンマイク端子から出力時のみ有効です。

設定項目	内　容
優先設定※2	再生中に着信があった場合の動作を設定します。 「着信優先」を選ぶと再生を一時停止して、通常の着信動作を行います。 「再生優先」を選ぶと再生を継続したまま、着信画面を表示します。
アニメ変更	再生中に画面に表示されるアニメーションを変更します。

※1 イコライザ設定により、楽曲によっては、含まれているノイズ成分などが強調される場合があります。

※2 メールの着信の場合、「バイブレータ」を「Off」以外に設定しておけば固定パターンでお知らせします。

■ プレイリストを作成する

1 **メインメニューから (エンタテイメント)→「ミュージックプレイヤー」の順に選択する**

2 **「プレイリスト」を選択し、(メニュー)を押す**

3 **「新規プレイリスト」を選択する**

4 **「プレイリスト作成」でプレイリスト名を入力し、(OK)を押す**

■ プレイリストの編集をする

1 **メインメニューから (エンタテイメント)→「ミュージックプレイヤー」の順に選択する**

2 **メモリカードに保存しているプレイリストを選ぶ場合は(メモリカード)を押す**

3 **「プレイリスト」を選択する**

4 **プレイリスト一覧画面で、編集するプレイリストを反転表示する**

5 **(メニュー)を押し、「プレイリスト編集」を選び、プレイリストを編集する**

6 **すべての編集が終わったら、(保存)を押す**

▣ プレイリスト編集について

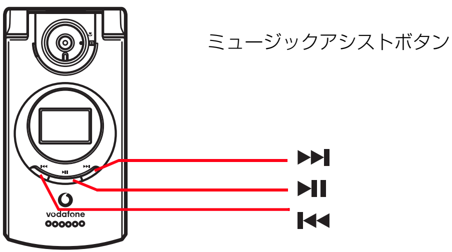
プレイリスト編集では次の操作ができます。

編集項目	内　容
プレイリスト追加	反転表示中のファイルをプレイリストに追加します。
ソート	一覧内のファイルを並べ替えます。「並び替え対象」で「サイズ」「ファイル名」「日付」などを選択し、「並び順」で「昇順」または「降順」を選択します。

編集項目	内　容
ファイル移動	一覧内のファイルの並び順を変更します。移動したいファイルを反転表示し、「移動」で場所を変え、「置換え」で確定します。
プレイリスト登録解除	反転表示中のファイルをプレイリストから除きます。
プレイリスト登録全解除	プレイリストの全てのファイルを削除します。
ファイル情報表示	反転表示中のファイルの情報を表示します。

■ 804Nを折り畳んだまま再生する

ミュージックアシストボタンを使って、804Nを折り畳んだまま音楽やメロディの再生ができます。



1 804を閉じた状態で▶||を1秒以上押す

2 ▶||を押して再生する

■ 再生中の操作について

ミュージックアシストボタンを使って、以下の操作が行えます。

|◀◀／▶▶|：前後の曲の再生（または頭出し）

|◀◀を1秒以上：巻き戻し

▶▶|を1秒以上：早送り

▶||：一時停止／再生

▶||を1秒以上：ミュージックプレイヤーの終了

■ サブディスプレイの画面表示について

804Nを折り畳んだ状態では、サブディスプレイで再生状態を確認できます。



■ 音楽のダウンロード（ミュージックダウンロード）

聴きたい曲をウェブにアクセスして検索することができます。

1　メインメニューから（エンタテイメント）→「ミュージックプレイヤー」の順に選択する

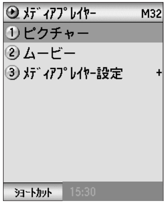
2　「ダウンロード」→「ミュージックダウンロード」、または「ミュージックサーチ」の順に選択し、ウェブに接続して聴きたい曲を探す

3　●を押す

メディアプレイヤー

■ メディアプレイヤーについて

メディアプレイヤーは、データフォルダに保存されている静止画や動画、メロディなどを楽しむための機能です。



メディアプレイヤー
メニュー画面

「ピクチャー」は、804Nのカメラで撮影したりボーダフォンライブ！で入手した静止画などを楽しめます。

「ムービー」は、804Nのカメラで撮影したりボーダフォンライブ！で入手した動画などの再生ができます。

「メディアプレイヤー設定」は、静止画や動画の表示サイズが設定できます。

ファイルの再生やメニューを使った操作は、データフォルダからもできます。

▣ 再生できるファイル

Content	ファイルの種類（フォーマット）	拡張子
ピクチャー	JPEG	.jpeg .jpg .jpe
	JFIF	
	EXIF	
	GIF(GIF87a/GIF89a)	.gif
	BMP	.bmp
	WBMP	.wbmp
	PNG	.png
ストリーミング(ミュージック)	MPEG4 level 0 H.263 baseline profile0 H.263 profile3	
ムービー	MPEG4 Level0	.mp4 / .3gp
	H.263 Profile0 / H.263 Profile3	.mp4 / .3gp
DRM	OMA DRM(S/D)	.dcf
ストリーミング(ムービー)	MPEG4-AAC/ MPEG4-AMR	

※ 上記以外のファイルは、未サポートファイルとして表示されます。また、上記のファイルでも著作権保護などにより再生できない場合もあります。

※ XMFおよびSMAFタイプのDRMファイルは再生できません。

▣ 著作権情報を含むファイルの利用について

ダウンロードしたメロディ、画像や動画のファイルなどに著作権保護情報が含まれていると、再生や利用、転送などが制限される場合があります。「再生有効期間」、「再生有効時間」、「再生可能回数」や転送が可能かどうかなど、各種の著作権保護情報は、一覧画面で（メニュー）を押し、「ファイル情報表示」を選択して確認できます。

利用権利がない場合はコンテンツ･キーが利用できない旨のメッセージが表示されます。コンテンツ・キー取得の操作をしてください。

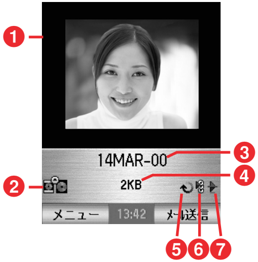
■ 画像（ピクチャー）を見る

804Nで撮影した静止画やダウンロードした画像などを再生できます。ファイルを1つずつ再生するほか、プレイリストを作成して続けて再生することもできます。

1　メインメニューから（エンタテイメント）→「メディアプレイヤー」→「ピクチャー」の順に選択する

2　一覧画面でファイルを選択する

フォルダが作成されている場合はフォルダを選択し、フォルダ内のファイルを選択する



画像再生画面

❶再生中の画像

❷全画面表示※



❸タイトル

❹ファイルサイズ

❺リピート設定



❻スライド



❼リピート停止



※ を押すと全画面表示に切り替えられます。を押すと元に戻ります。

▣「ピクチャー」のメニューについて

ピクチャー画面のメニューからは、次の操作ができます。表示されるメニューは、ファイルの種類によって異なります。

メニュー	内　容
壁紙設定	表示中の画像を壁紙に設定できます。
ビジュアル効果*	表示中の画像に画像効果をつけることができます。 「ネガ表示」、「セピアカラー」、「鏡面設定」、「ソフトネス」、「シャープネス」、「エンボス加工」の6種類の効果を選択できます。
名称変更	ファイル名を変更します。
削除	ファイルを削除します。
ファイル情報表示	ファイルの情報を表示します。
プレイリスト	再生ファイルの選択をします。
静止画撮影	静止画撮影モードのカメラを起動します。
コンテンツ・キー取得	コンテンツ・キーを取得するため、ブラウザを起動します。

メニュー	内　容
ピクチャー設定	次のサブメニューがあります。 「表示設定」:「画面サイズで表示」または「標準」を選択し、画面サイズを設定します。 「スライド間隔」:画像が表示される間隔を設定します。◉を押すと、一時停止ができます。 「リピート設定」:「リピート設定On」または「リピート設定Off」を選択し、繰り返し表示するか設定します。 「スライド」:「スライドOn」または「スライドOff」を選択し、フォルダ内のすべての画像を順次表示するかを設定します。

＊ アニメーションGIFやスライドがOnのときは、ビジュアル効果を設定することはできません。

＊ 画像サイズがQCIF（176x144)またはSQCIF（128x96)以外の場合は、ビジュアル効果を設定できません。

■ 画像（ピクチャー）を編集する

1 メインメニューから（エンタテイメント）→「メディアプレイヤー」→「ピクチャー」の順に選択する

2 一覧画面でファイルを選択する

フォルダが作成されている場合はフォルダを選択し、フォルダ内のファイルを選択する

3 (メニュー)を押し、「ビジュアル効果」を選択する

4 お好きな効果を設定する

各効果を続けて確認する場合はプレビュー画面で を押す

5 (保存)を押してファイルを保存する

10 エンタテイメント

■ 動画（ムービー）を見る

804Nで撮影した動画やダウンロードした動画などを再生できます。ファイルを1つずつ再生するほか、プレイリストを作成して続けて再生することもできます。

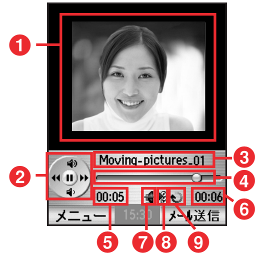
■ 動画を選んで再生する

1 メインメニューから（エンタテイメント）→「メディアプレイヤー」→「ムービー」の順に選択する

2 一覧画面でファイルを選択する

フォルダが作成されている場合はフォルダを選択し、フォルダ内のファイルを選択する

■ 動画再生画面の表示について



動画再生画面

❶再生中の動画
❷ボタン表示
❸タイトル（ストリーミング時は非表示）
❹プログレスバー
❺再生経過時間（分：秒）
❻総再生時間（分：秒）
❼ミュート表示／マナーモード表示

❽すべて再生設定



❾リピート設定



■ 再生中の操作について

再生中は以下の操作を行えます。

- ◎／サイドボタンの▲：音量大
- ◎／サイドボタンの▼：音量小
- ◎／◎：前後のファイルの再生（または頭出し）
- ◎を1秒以上：巻き戻し
- ◎を1秒以上：早送り
- ◉：一時停止／再生
- ◉を1秒以上：停止
- ✉（メニュー）：メニューの表示
- ◙（メール送信）：表示中の動画が添付されたメールを作成

▣「ムービー」のメニューについて

ムービー画面のメニューからは、次の操作ができます。表示されるメニューは、ファイルの種類によって異なります。

メニュー	内　容
着信音設定	反転表示中または再生中のファイルを着信音に設定します。
ミュート設定	メディアプレイヤーを消音状態（ミュート）にするかどうかを設定します。
名称変更	ファイル名を変更できます。
削除	ファイルを削除できます。
ファイル情報表示	ファイル情報を表示します。
プレイリスト	再生ファイルの選択をします。
動画撮影	動画撮影モードのカメラを起動します。
コンテンツ・キー取得	コンテンツ・キーを取得するため、ブラウザを起動します。
ムービー設定	「リピート設定」:「リピート設定On」または「リピート設定Off」を選択し、繰り返し表示するか設定します。 「すべて再生」：フォルダ内のすべての動画を順に再生します。

■ メディアプレイヤーの設定

メディアプレイヤーでは「メディアプレイヤー設定」より「ピクチャー表示サイズ」と「ムービー表示サイズ」の設定ができます。

［お買い上げ時］ ■ムービー表示サイズ：標準
■ピクチャー表示サイズ：標準

1 **メインメニューから （エンタテイメント）→「メディアプレイヤー」→「メディアプレイヤー設定」→「ピクチャー表示サイズ」または「ムービー表示サイズ」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

ボーダフォンライブ！キャスト

■ ボーダフォンライブ！キャストについて

キャストとは、お好みの情報を登録して、定期的に最新情報を配信するサービスです。

情報の配信は深夜から早朝にかけて行われます。

- ・ボーダフォンライブ！キャストのご利用にはサービスへの登録が必要です。
- ・ボーダフォンライブ！キャストは日本国外ではご利用いただけません。

■ サービスの登録／解除

専用サイトへ接続し、サービスの登録／解除や番組の選択をします。

1 **メインメニューから （エンタテイメント）→「キャスト」→「サービス登録・解除」の順に選択する**

2 **画面の表示に従ってサービスの登録／解除の操作を行う**

注意

- サービスの登録／解除の操作には通信料が別途かかります。

■ 最新情報を確認する

1 メインメニューから （エンタテイメント）→「キャスト」→「最新情報」の順に選択する

2 情報を選択する

補足

- **新着の情報を受信したときは**
  デスクトップアイコンでお知らせします。アイコンを選択すると、情報が閲覧できます。

注意

- 情報の配信期間に本体の電源を切ったり、電波の届かない場所にいる等の理由により情報の配信が失敗する場合があります。

▣ 情報表示画面のメニューについて

情報表示画面のメニューからは以下の操作ができます。

メニュー	内　容
進む	次の画面に進みます。
電話帳登録	電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。
アクション	情報内での検索や文字コピーなどができます。また、情報内の画像やメロディの保存、再生ができます。
メール送信	表示されている画像ファイルをメールに挿入して送信します。
ページ設定	文字コードや文字サイズを変更したり、画面のスクロール量を設定します。
設定	以下の項目を設定できます。 ・ 画像表示／取得 画像を「表示／取得する」「表示／取得しない」を選択します。 ・ サウンド取得 サウンドを「再生する」「再生しない」を選択します。 ・ リセット 設定を初期状態に戻します。

■ 情報の再配信要求

電源を切っていたり、電波状態が悪く情報のダウンロードに失敗した場合、配信日当日に限り再配信ページからダウンロードできます。ただしダウンロードできるのは、最新の情報だけです。過去の情報はダウンロードできません。

1 メインメニューから [アイコン] (エンタテイメント)→「キャスト」→「再配信要求」の順に選択する

2 [メールキー] (YES) を押す

補足

- ボーダフォンライブ！キャストの情報ダウンロードに失敗した場合、「再配信要求」を行うことで再ダウンロードが可能です。
  なお、すでに「最新情報」に情報が保存されている状態で「再配信要求」を行った場合、804Nの画面に「受付は完了しました」と表示されますが、実際には再ダウンロードは行われません。

■ バックナンバーを確認する

バックナンバーには最大6件の情報が保持されます。ただし配信から1週間過ぎたもの、あるいは1週間以内でも6件を超えた場合は、日付の古い順に1件ずつ自動的に削除されます。

1 メインメニューから [アイコン] (エンタテイメント)→「キャスト」→「バックナンバー」の順に選択する

2 日付を選択する

補足

- 情報の閲覧状況は次のアイコンでわかります。
  [アイコン] 未読情報
  [アイコン] 既読情報

メモリカード

メモリカードをご利用になる前に

804Nでは、外部メモリとしてmicroSDカードを利用できます。804Nのカメラで撮影した静止画や動画は、804N本体かmicroSDカードのどちらかを選んで保存できます。また、804N本体とmicroSDカードの間で、さまざまなデータを転送（コピーおよび移動）することもできます。

- 804Nには、microSDカードが同梱されておりません。市販のmicroSDカードをお買い求めのうえ、ご利用ください。
- microSDカードの詳細については、市販のmicroSDカードに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- すでに何らかのデータが保存されているmicroSDカードを初めて804Nで使用する際には、必要なデータをパソコンなどに退避してから、804Nのフォーマット機能を使ってフォーマットしてください（☞P.11-5）。

■ microSDカードの取り扱い

microSDカードをご使用になるときは、次のことにご注意ください。

- microSDカードの登録内容は、事故や故障によって消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSDカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとご利用になれません。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。microSDカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- microSDカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管するようにしてください。誤って飲み込んだりけがの原因となることがあります。
- microSDカードは、推奨のものをご使用ください。
  推奨以外のmicroSDカードは使用できない場合や正しく動作しない場合があります。
- microSDカードにアクセスしているときは、電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。データが破壊されたり、microSDカードが使えなくなる場合があります。
- 804Nの電池残量が少ない場合は、microSDカードを利用できないことがあります。

補足

- **804Nで推奨するmicroSDカードは**
  最大512MバイトまでのmicroSDカードに対応しています。microSDカードおよびmicroSDカードアダプタは、家電製品取扱店などでお買い求めいただけます。

▣ microSDカードをパソコンなどで利用するときは

microSDカードを市販のmicroSDカードアダプタに装着すると、SDカードに対応したパソコンなどでも利用できます。
また、804NとパソコンをUSBケーブルで接続し、パソコンからmicroSDカード内のファイルを読み出したり書き込んだりできます（☞P.13-7）。
なお、パソコンと接続するにはUSBドライバーが必要です。付属のCD-ROMにはいっているドライバーをパソコンにインストールしてください。

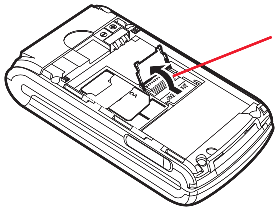
注意

- **microSDカードにフォルダを作成する場合、フォルダ名に「．」（ドット）を使用しないでください。804Nでは「．」を含んだフォルダを認識、利用することができません（フォルダ内のファイルも認識されません）。**
  （例）「abc.def」…×「．」（ドット）が使われているので利用できません。
  「abc_def」…○「　_　」（アンダーバー）を使っているので利用できます。

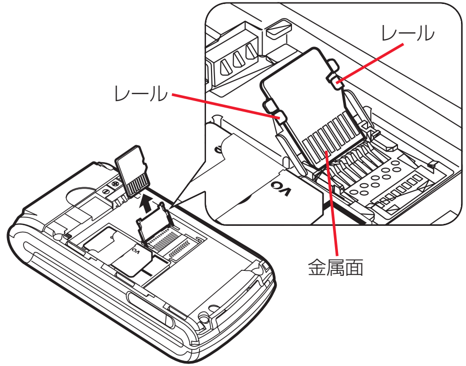
■ microSDカードを取り付ける／取り外す

■ 取り付ける

1 金属のカバーを奥にスライドさせて持ち上げる



2 金色の面を手前にして、microSDカードをゆっくりレールに沿って差し込む



3 **金属のカバーを閉じ、手前にスライドさせてロックをする**

補足

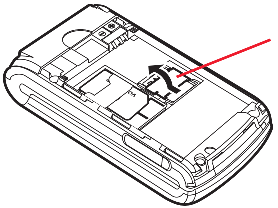
- microSDカードを取り付けているときのメインディスプレイには「▮」が表示されます。microSDカードに不具合がある場合や、正常にフォーマットできなかった場合は「▮」が表示されます。フォーマットやチェックディスクを行ってください。

注意

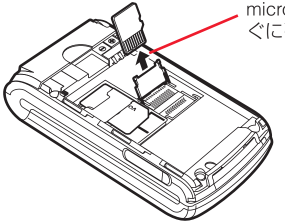
- 無理な力を加えないでください。カードホルダーやmicroSDカードを破損する恐れがあります。
- 操作3でうまくカバーが閉じないときは、いったんカバーを持ち上げて、カードが正しくレールにはまっているか、奥まで差し込まれているか確認してください。

取り外す

1 **金属のカバーを奥にスライドさせてから上にもちあげる**



2 **microSDカードをゆっくり引き抜いて取り出す**



3 **金属カバーを閉じ、手前にスライドさせてロックする**

メモリカードの利用

■ microSDカードをフォーマット（初期化）する

microSDカードを使うときは、804Nでフォーマットする必要があります。フォーマットすると、すべてのデータが消去されるのでご注意ください。

1 **メインメニューから（設定）→「メモリ設定」→「メモリカード」の順に選択する**

2 **「フォーマット」を選択する**

3 **操作用暗証番号を入力する**

4 **（YES）を押す**

注意

- フォーマットは、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。
- フォーマット中は、絶対にmicroSDカードや電池パックを抜かないでください。microSDカードや804Nが破損する恐れがあります。
- フォーマット中に着信を受けてもフォーマットは中止されません。
- フォーマットすると関連するコンテンツ・キーも削除されます。他ユーザのmicroSDをフォーマットする際に、同一のコンテンツを所有していた場合は、そのコンテンツ・キーも削除されてしまうのでご注意ください。

▣ microSDカードの状態チェックについて

microSDカードの操作中に電源が切れたことが原因でデータに不具合が生じることがあります。その場合、microSDカードのチェックによって修復できることがあります。

①メインメニュー（設定）→「メモリ設定」→「メモリカード」の順に選択する

②「チェックディスク」を選択し、（YES）を押す

804Nで作成したフォルダやデータをパソコンなどの操作で削除したことなどが原因で、チェックディスクを行っても修復されなかった場合には、再度microSDカードをフォーマットする必要があります。microSDカード内の必要なデータをパソコンなどに退避してから、804Nのフォーマット機能を使ってフォーマットしてください。

■ microSDカード内のデータを確認する

■ microSDカードに保存できるファイル

microSDカードには、次の2つのタイプのデータを保存できます。

データ	特　長
静止画、動画、メロディ、Vアプリ、vファイル（「その他」フォルダに保存されているデータ）	・本体とmicroSDカードとの間で、コピーまたは移動ができます（Vアプリは移動のみ）。

データ	特　長
電話帳、スケジュール、予定リスト	・本体とmicroSDカードとの間で電話帳、スケジュール（スケジュールや予定リスト）のデータをエクスポートまたはインポートできます。 ・microSDカードから本体には、1件ずつインポートできます。

11

メモリカード

▣ メモリの使用状況の確認について

microSDカードのメモリ容量や空き容量などを確認できます。

①メインメニュー（設定）→「メモリ設定」を選択する

②「保存容量確認」を選択する

■ データフォルダからの確認

データフォルダを起動し、それぞれの種別フォルダからmicroSDカード内のデータを確認します。

1 **メインメニューから（データフォルダ）を選択する**

2 **確認したいフォルダを選択する**

3 **（メモリカード）を押して確認する**

補足

- **データフォルダの種別について**
  データフォルダは、「ピクチャー」、「着信メロディ」、「Vアプリ」、「ミュージック」、「ムービー」、「その他」の6種類のフォルダに分かれています。

■ ミュージックプレイヤーからの確認

ミュージックプレイヤーからmicroSDカード内のデータを確認できます。

1 **メインメニューから（エンタテイメント）→「ミュージックプレイヤー」→「全曲リスト」の順に選択する**

2 **（メモリカード）を押して確認する**

■ メディアプレイヤーからの確認

メディアプレイヤーからmicroSDカード内のデータを確認できます。

1 **メインメニューから（エンタテイメント）→「メディアプレイヤー」→「ピクチャー」または「ムービー」の順に選択する**

2 **（メモリカード）を押して確認する**

データの転送

804N本体とmicroSDカードとの間で、データのやりとりができます。

■ 1件ずつコピー／移動する

静止画や動画、メロディ、vファイルをそのままのファイル形式でコピーまたは移動できます。

■ 本体からmicroSDカードにコピー／移動する

1 **メインメニューから（データフォルダ）を選択する**

2 **「本体メモリ」のデータフォルダからコピー／移動したいファイルを反転表示する**

3 **（メニュー） を押し、「コピー」または「移動」を選択する**

4 **（OK)を押す**

5 **（メモリカード)を押しフォルダを選択する**

■ microSDカードから本体にコピー／移動する

1 **メインメニューから（データフォルダ）を選択する**

2 **（メモリカード)を押す**

3 **「メモリカード」のデータフォルダからコピー／移動したいファイルを反転表示する**

4 **（メニュー） を押し、「コピー」または「移動」を選択する**

5 **（OK)を押す**

6 **フォルダを選択する**

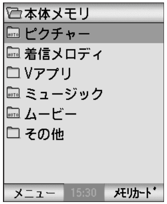
補足

- コピー／移動したファイルは、本体のフォルダと同じ名前のmicroSDカード内フォルダ（たとえば静止画ならピクチャーフォルダ）が保存先となります。
- 各種の設定に利用されているファイルをmicroSDカードに移動するには
  各種の画面や着信音などに設定されているファイルは移動できません。設定を解除してから操作を行ってください。

データ管理
（データフォルダ）

データフォルダについて

作成、入手したさまざまなデータを一括管理するのがデータフォルダです。あらかじめ用意されているフォルダやご自分で追加したサブフォルダを使ってデータを整理できます。



データフォルダの一覧画面

■ データフォルダの構成

データフォルダ内にはあらかじめ「ピクチャー」、「着信メロディ」、「Vアプリ」、「ミュージック」、「ムービー」、「その他」の6種類のフォルダが用意されています。また「その他」には「ボイスレコーダー」と「その他フォルダ」の2つのサブフォルダがあります。「Vアプリ」、「その他」以外のフォルダには、ご自分でサブフォルダを作成することもできます。

データを保存するときは、ファイルの種類によって自動的に指定のフォルダに保存されます。

補足

- **「メモリカード」内のフォルダについて**
  メモリカード内にも804N 本体と同じフォルダ構成が用意されています。
- **ファイル表示の件数について**
  ファイルの表示は、ひとつのフォルダに対してサブフォルダを含めて100件までです。サブフォルダは各フォルダ内に5件まで作成することができます。ただし「ミュージック」フォルダでは、サブフォルダを100件まで作成することができます。

■ フォルダとデータ形式

各フォルダに保存できる形式は以下のとおりです。

- 「ピクチャー」
  BMP、WBMP、JPEG、JFIF、GIF、PNG
- 「着信メロディ」
  MIDI、SMAF、XMF
- 「Vアプリ」
  JAVA (JAD、JAR)
- 「ミュージック」
  MP3、MP4、AAC、AMR
- 「ムービー」
  MPEG4
- 「ボイスレコーダー」
  AMR

- 「その他」
  vCalendar、vCard、vNote
  - 「ボイスレコーダー」
    AMR
  - 「その他フォルダ」
    Text、804N非対応フォーマットのファイル

■ microSDカードについて

804Nでは、データの保存場所としてmicroSDカードを利用できます。804Nのカメラで撮影した静止画や動画は、直接microSDカードに保存できます。804N本体とmicroSDカードの間でデータを転送（コピーおよび移動）することもできます。データフォルダでは、microSDカードに保存されているデータも参照できます。

■ データフォルダのメニュー

データフォルダ画面でフォルダを反転表示し、[メール]（メニュー）を押すと次の操作ができます。表示されるメニューは状況によって異なる場合があります。

メニュー	内容
メディア切替	「本体メモリ」と「メモリカード」の切替ができます。
保存容量確認	「本体メモリ」「メモリカード」それぞれの空き容量と使用メモリが確認できます。
削除	フォルダ配下のデータを削除します。
自動保存	フォルダにデータを自動的に保存することができます。
ショートカット	フォルダのショートカットをデスクトップ、またはマイメニューに作成することができます。

■ 自動保存について

804Nでは、「本体メモリ」または「メモリカード」内のフォルダに「自動保存」が設定されている場合、そのフォルダにデータを自動的に保存することができます。ただし「自動保存」が設定できるフォルダは、「ピクチャー」「着信メロディ」「ミュージック」「ムービー」の4フォルダです。

① メインメニューから[アイコン]（データフォルダ）を選択する
② 「本体メモリ」のフォルダに設定するときは[カメラ]（本体メモリ）を、「メモリカード」の場合は[カメラ]（メモリカード）を押す
③ 設定したいフォルダを反転表示し、[メール]（メニュー）→「自動保存」を選択する

※ 自動保存先に設定されているフォルダにはアイコンに「AUTO」と表示されます。
※ 自動保存先を「メモリカード」内のフォルダに設定していても、下記の場合には、データの種類に対応した本体メモリのフォルダに保存されます。
- メモリカードがUSBメモリとして使用されている場合
- メモリカードに直接保存することができないデータの場合
- メモリカードが挿入されていない場合

保存されているファイルの確認

■ ファイルを確認する

1 **メインメニューから (データフォルダ) を選択する**

2 **確認したいフォルダまたはサブフォルダを選択する**

3 **一覧画面からファイルを反転表示し、● を押す**

静止画一覧画面の表示方法を一時的に切り替える場合は
✉ (メニュー) を押し、「画面表示切替」→「リスト&サムネイル表示」の順に選択する

補足

- **microSDカード内のファイルを確認する場合は**
  ①メインメニューから (データフォルダ) を選択し、(メモリカード) を押す
  ②確認したいフォルダまたはサブフォルダを選択する
  ③一覧画面でファイルを反転表示し、● を押す

画像ファイルの利用

データフォルダの「ピクチャー」フォルダに保存されている画像の閲覧、壁紙に設定、ファイル名の変更などのファイル操作を行うことができます。

■ 画像を利用する

■ 待受画面に設定する

画像を待受画面に設定します。

1 **メインメニューから (データフォルダ) を選択する**

2 **「ピクチャー」から設定したいファイルを反転表示する**

3 **● を押して画像を表示する**

4 **✉ (メニュー) を押し「壁紙設定」を選択する**

サウンドファイルの利用

データフォルダに保存されているメロディやサウンドのファイルを、電話／TVコールの着信時やメールの受信時に流れる着信音に利用できます。ただし、ファイル形式やデータ内容によっては利用できない場合があります。

■ 着信音に利用する

1　メインメニューから（データフォルダ）を選択し、設定したいファイルが保存されている場所を選択する

2　一覧画面でファイルを反転表示し、●を押す

3　（メニュー）を押し「着信音設定」を選択する

vファイルの利用

■ vファイルについて

vファイルとは、804Nのデータを他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間で相互に利用できるようにしたファイルの総称です。vファイルを利用すると、804Nの電話帳やカレンダーをパソコンで管理したり、他のボーダフォン携帯電話やパソコンで作成したデータを804Nに取り込んだりすることが可能になります。

vファイルに対応している804Nの機能は次のとおりです。

ファイル形式	対応する機能
vCard	電話帳
vCalendar	カレンダー、予定リスト
vNote	テキストメモ

■ 804Nのデータを他の機器で利用するには

電話帳やカレンダーなどのデータをデータフォルダに保存すると、自動的にvファイルで保存されます。作成されたvファイルは、メールに添付したりして他のボーダフォン携帯電話やパソコンに送信できます。

microSDカードを取り付けてご利用の場合は、作成したvファイルをmicroSDカードに保存できます。このmicroSDカードをmicroSDカード対応の他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどに取り付けることにより、vファイルを利用できます。

■ 入手したデータを804Nで利用するには

メールやウェブを利用して他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどから入手したvファイルは、データフォルダに保存し、各機能に取り込むことにより利用できるようになります。

vファイルが保存されたmicroSDカードを804Nに取り付けた場合も、microSDカードから各機能に取り込む必要があります。

注意

- パソコンなどでvファイルを利用するには、vファイルに対応したソフトウェアが必要です。データの内容によっては、804Nに取り込めない場合やパソコンなどで利用できない場合があります。
- パソコンやmicroSDカードのドライブの種類によっては、804NでフォーマットしたmicroSDカードや保存したvファイルが読み込めない場合があります。

■ vファイルを作成（保存）する

作成されたvファイルは、データフォルダの「その他」に保存されます。データの呼び出しかたについては、各機能のページを参照してください。

1 保存するデータを表示する

2 データの保存操作をする

電話帳の場合

[メール]（メニュー）を押し、「電話帳保存／送信」→「vCard保存（本体）」の順に選択する

カレンダー、予定リストの場合

[メール]（メニュー）を押し、「vファイル変換」→「データフォルダへ保存」の順に選択する

テキストメモの場合

[メール]（メニュー）を押し、「vファイル変換」→「データフォルダへ保存」の順に選択する

注意

- 804Nではブックマークのvファイルは作成できません。

■ vファイルを各機能に取り込む

804N本体またはmicroSDカードに保存されているvファイルを各機能に取り込みます。

1 メインメニューから[データフォルダアイコン]（データフォルダ）を選択する

2 「その他」フォルダを選択する

「メモリカード」に保存されているファイルを選択する場合は

[カメラ]（メモリカード）を選択する

3 取り込むvファイルを選択し、登録画面を表示させる

4 [メール]（OK）を押して登録を実行する

テキストメモの場合

[メール]（保存）を押す

フォルダの管理

■ フォルダを作成する

種別フォルダ「ピクチャー」、「着信メロディ」、「ムービー」、「ミュージック」の中にサブフォルダを作成できます。

1 メインメニューから（データフォルダ）を選択する

2 種別フォルダを選択する

3 （メニュー）を押して「新規フォルダ作成」を選択する

4 フォルダ名を入力する

■ フォルダ名を変更する

自作のフォルダは、名前を変更できます。

1 メインメニューから（データフォルダ）を選択する

2 種別フォルダを選択して自作のサブフォルダを反転表示し、（メニュー）を押して「名称変更」を選択する

3 フォルダ名を入力する

■ フォルダを削除する

自作のフォルダを削除できます。

1 メインメニューから（データフォルダ）を選択する

2 種別フォルダを選択して削除するサブフォルダを反転表示し、（メニュー）を押して「削除」を選択する

補足

- **固定フォルダを選択した場合は**
  フォルダの削除はできません。ただしこの場合、フォルダ内のすべてのファイルおよびユーザが作成したサブフォルダが削除されます。

ファイルの管理

■ ファイルの名称を変更する

一覧などに表示されるタイトル名を変更できます。

1 **メインメニューから（データフォルダ）を選択する**

2 **ファイルの保存場所を選択し、ファイルを反転表示する**

3 **（メニュー）を押し「名称変更」を選択する**

4 **タイトル名を入力する**

■ ファイルを移動する

ファイルは本体メモリとメモリカード間で移動ができます。複数のファイルを同時に移動させることもできます。ただし元のファイル種別と異なった種別フォルダに移動させることはできません。

1 **メインメニューから（データフォルダ）を選択する**

2 **「本体メモリ」または「メモリカード」を選択する**

3 **移動したいファイルを反転表示し、（メニュー）を押し「移動」を選択する**

4 **「本体メモリ」または「メモリカード」を移動先として指定する**

補足

- **転送不可・周辺機器転送可のファイルの場合は**
  ファイルが暗号化されて移動されます。
  ただしファイルによっては再生ができない場合もあります。
- **転送不可・周辺機器転送不可のファイルの場合は**
  外部メモリへの移動はできません。

■ ファイルを削除する

1件削除、または複数ファイルの削除ができます。ただし着信音や壁紙など使用中のファイルがあった場合、そのファイルは削除されません。

1 **メインメニューから（データフォルダ）を選択する**

2 **削除したいファイルを1件、または複数反転表示する（☞P.1-26）**

3 **（メニュー）を押し、「削除」を選択する**

4 **（YES）を押す**

外部接続

Bluetooth

■ Bluetoothについて

Bluetoothとは、Bluetooth対応の機器同士がワイヤレスでデータのやりとりなどをするための共通の通信方式のことです。

804Nに搭載されているBluetooth機能を使うと、Bluetooth対応の外部機器と次のような接続をすることができます。

- ダイヤルアップ接続

  PCと接続をして、804Nをモデムのように使いダイヤルアップ接続ができます。

- データ転送

  電話帳を他のBluetooth対応機器（PC、PDA、804Nなど）に転送できます。ただし電話帳1件のみ送信することができます。

- ヘッドセット／ハンズフリー接続

  Bluetooth対応のヘッドセットやハンズフリーキットと接続して音声電話やTVコールができます。

■ Bluetoothの主な仕様

通信方式	Bluetooth標準規格 Ver1.2
対応Bluetoothプロファイル※1	Headset Profile、Hands-Free Profile、Dial-Up Networking Profile、Object Push Profile
出力	Bluetooth Power Class2
見通し通信距離※2	約10m以内
利用周波数	2.4GHz帯

※1 接続する場合、相手機器も同じプロファイルに対応している必要があります。

※2 通信機器間の障害物、電波状況、相手機器などによって異なります。

注意

- **Bluetoothに対応したすべての機器との接続動作を保証するものではありません。**
- **804Nと接続するBluetooth機器は、電気通信事業法の規定に基づく認定品を用いてください。**
- **接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合し、認証を取得しているものをお使いください。ただし相手機器の特性や仕様により、804Nとの接続やデータのやりとりができない場合があります。また、操作方法も機器により異なる場合があります。**
- **804Nに搭載されているBluetooth機能は、同時に2台以上の機器を接続することはできません。**

- 接続するBluetooth機器の使用方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth対応機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有する電波帯です。同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、他の機器の影響によって通信速度／距離の低下、通信の切断などが起こる場合があります。

■ Bluetooth機能を有効にする

電話帳のデータを受信するときや、周辺のBluetooth 対応機器と接続するときは、Bluetooth機能を有効にして接続できる状態にします。Bluetooth接続待受状態になると、画面上に が表示されます。

1 **メインメニューから （設定）→「接続設定」→「Bluetooth」の順に選択する**

2 **「接続待受」を選択する**

補足

- Bluetooth機能を有効にしないと、外部機器から接続できません。
- 接続待受状態のタイムアウト時間は「タイムアウト設定」の「スタンバイタイマー」で設定できます。設定した時間を越えて周辺機器との接続がないと、接続待受状態は解除され、画面上の は消えます。

■ 機器を検索／登録する

周辺にあるBluetooth対応機器を検索し、登録することができます。ヘッドセットやハンズフリーといった接続先を指定できない機器は、あらかじめ登録をしておく必要があります。機器は最大20件まで登録できます。

■ 804NからBluetooth対応機器を検索／登録する

1 **メインメニューから （設定）→「接続設定」→「Bluetooth」の順に選択する**

2 **（検索）を押す**

3 **検索結果一覧から登録する機器を選択する**

4 **デバイスパスキーを入力する**

5 **登録する機器側からも同じデバイスパスキーを入力する**

補足

- 送受信する双方で共通のデバイスパスキー（認証コード）を入力する必要があります。804Nのデバイスパスキーは0～9を使った1～16桁の任意の数字で設定できます。ただし、登録する機器によっては有効桁数が異なることがあります。

- 登録する機器側であらかじめデバイスパスキーが決められていた場合は、それを入力します。
- 登録した機器に接続する場合は、デバイスパスキーの入力は必要ありません。
- 登録する機器側も接続待ちの状態にしてください。接続待ちの状態にするには機器側の取扱説明書などに従ってください。

■ ほかのBluetooth対応機器から804Nに接続する

1 **メインメニューから（設定）→「接続設定」→「Bluetooth」の順に選択する**

2 **(メニュー)を押し「ペアリングスタンバイ」を選択する**

3 **ほかの Bluetooth 対応機器から接続要求の操作をする**

補足

- ペアリング待受状態のタイムアウト時間は「タイムアウト設定」の「ペアリングタイマー」で設定できます。設定した時間を超えて周辺機器との接続がないと、ペアリング待受状態は解除され、画面上のは消えます。
- ペアリングの際に相手機器よりデバイスパスキーの入力を要求されることがあります。

■ Bluetoothを利用してデータを送受信する

Bluetoothを利用して、電話帳のデータ（vCard形式）を送受信することができます。

データを送信するときに相手機器を前もって登録しておく必要があります。ただし804Nなど、相手機器によっては登録の必要がない場合があります。

■ データを送信する

1 **「接続待受」が無効になっていることを確認する**

2 **相手機器を待受状態にする**

3 **送信する電話帳を反転表示し、(メニュー)を押して「電話帳保存 / 送信」→「vCard 送信(BT)」の順に選択する**

4 **登録機器の一覧よりデータ送信する機器を選択する**

データが送信されます

補足

- 送信できるデータについて
  電話帳のデータが1件のみ送信可能です。複数の電話帳を送信する場合、送信を繰り返しおこなってください。
- 受け取り側が登録済みの機器であってもデバイスパスキーの入力を要求されることがあります。
- 操作3で表示される登録機器の一覧には、登録の有無にかかわらず最新の送信先が表示されます。

■ データを受信する

1 **メインメニューから（設定）→「接続設定」→「Bluetooth」の順に選択する**

2 **「接続待受」を選択して804Nを待受状態にする**

3 **送信側でデータ送信操作をする**

4 **Bluetooth接続が開始されてデータを受信する**

5 **データ受信完了後、(OK) を押してデータを電話帳に保存する**

補足

- 電話帳を保存する時に、デバイスパスキーを入力する場合もあります。
- データ送信方法については、送信側機器の取扱説明書もお読みください。

■ Bluetoothを利用してハンズフリー機器などを接続する

Bluetoothを利用して、ハンズフリー機器などを804Nに接続することができます。

■ 804N からハンズフリー機器などを接続する

1 **メインメニューから（設定）→「接続設定」→「Bluetooth」の順に選択する**

2 **登録機器の一覧より接続先を選択する**

ハンズフリー機器などが接続され、「ON」が表示されます

登録機器の一覧に相手機器がない（はじめてご利用になる）場合は

①(検索)を押す
②検索結果一覧よりデータ送信する機器を選択する

補足

- 相手機器よりデバイスパスキーの入力を要求されることがあります。

■ ハンズフリー機器などとの接続を解除する

1 **メインメニューから（設定）→「接続設定」→「Bluetooth」の順に選択する**

2 **登録機器の一覧より接続している機器を選択する**

3 **(YES)を押す**

■ Bluetoothを利用してダイヤルアップ接続をする

Bluetoothを利用して、パソコンなどからインターネットなどにアクセスすることができます。

1 **メインメニューから（設定）→「接続設定」→「Bluetooth」の順に選択する**

2 **「接続待受」を選択する**

3 **(メニュー)を押し、「ペアリングスタンバイ」を選択する**

4 **接続元の機器から接続要求がきたとき、デバイスパスキーを入力する**

5 **認証完了後、接続元の機器名が登録される**

6 **PWRを押してBluetooth画面を終了する**

補足

- 接続するパソコンなどBluetooth機器のモデム設定や操作方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

▣ Bluetoothのメニューについて

Bluetoothのメニューからは、次の操作ができます。表示されるメニューは、登録状況によって異なります。

メニュー	内　容
情報	登録機器の情報を表示します。デバイス名は編集できます。
検索	周辺にあるBluetooth対応機器を検索します。
ペアリングスタンバイ	周辺のBluetooth対応機器から接続するために、804Nをペアリング待受状態にします。
端末情報	804NのBluetooth情報を表示します。デバイス名は編集することができます。
デバイス削除	一覧から登録機器を削除します。
中止	接続されているすべてのBluetooth機器を切断します。
タイムアウト設定	タイムアウトの時間を設定します。接続待受状態をタイムアウトさせない場合はスタンバイタイマーを0分に設定します。 初期値は以下のとおりです。 スタンバイタイマー：0分 ペアリングタイマー：3分

■ アイコンについて
Bluetooth機能無効：OFF
Bluetooth機能有効（接続待受中）：
Bluetooth接続中：ON

パソコン接続

804NとパソコンをUSBケーブルで接続すると、以下の機能を利用できます。

機　能	説　明
データ通信※	804Nをパソコンの外部モデムにして、パケット通信方式のデータ通信を行います（☞P.13-8）。
データ転送※	804Nの電話帳をパソコンへバックアップ、パソコン上の音楽ファイルを804Nに転送、などデータのやり取りを行います（☞P.13-9）。
USBメモリ※	microSDカードをセットした804Nをパソコンの外部ドライブとして認識し、microSDカード内のファイルの読み出し／書き込みが行えます（☞P.13-9）。

※あらかじめ、添付の「ユーティリティーソフトウェア」CD-ROMからUSBドライバーをインストールする必要があります（☞P.13-8）。

注意

- **804NとパソコンをUSBケーブルで接続している間は、データ通信やデータ転送を行っていない状態でもパソコンのバッテリーが減少します。**

■ 添付のユーティリティーソフトウェアCD-ROMについて

■ 収録ソフトウェア

- USBドライバー
- Vodafone 804Nデータ転送ツール（☞P.13-9）
- Vodafone N-Seriesミュージック転送ツール（☞P.13-9）

※最新の情報は、下記ホームページをご覧ください。
NEC モバイルホームページ「ワイワイもばいる」（http://www.n-keitai.com/）

■ パソコンの動作環境

項　目	説　明
パソコン	PC/AT互換機でUSBポートが使用できる機種
OS	日本語版Windows 2000/XP
メモリ	お使いのOSが推奨する環境以上
ハードディスク	30MB以上の空き容量* *お使いのパソコンによって異なることがあります。
その他	画面：解像度1024×768以上、High Color以上推奨

■ ソフトウェアのインストール方法

USBドライバーは、804Nとパソコンを接続するために必要なソフトウェアです。まずこのソフトウェアをパソコンにインストールしてください。なおUSBドライバーのインストールは、必ずAdministrator権限を持ったユーザーで行ってください。

1 「ユーティリティーソフトウェア」CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

自動的にCD-ROMのメニューが表示されます。

メニューが表示されない場合は、CD-ROMの中の"start.exe"をダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューからインストールするソフトウェアを選ぶ

以降はCD-ROMのメニューの説明に従って、操作してください。

補足

- USBドライバーをアンインストールするには
「ユーティリティーソフトウェア」CD-ROMのメニューから「USBドライバーのインストール／アンインストール」を選択し、説明に従って操作してください。

■ データ通信

804Nをパソコンの外部モデムのように使って、パケット通信を行います。

- データ通信を行うときは、804NとパソコンをUSBケーブルで接続します。Bluetoothでの接続もできます(☞P.13-2)。
- パソコンの通信設定などについては、ご契約されたプロバイダの説明書、またはお手持ちのパソコンの取扱説明書を参照してください。
- プロバイダ不要の「アクセスインターネット」でデータ通信をご利用になるときは、アクセスポイントや設定方法、サービス概要などを『3Gガイドブック』でご確認ください。

補足

- **データ通信を開始する前に、804Nのアプリケーションをすべて終了させてください。**

※音声電話の通話中は、データ通信を行えます。

■ データ転送

Vodafone 804Nデータ転送ツールについて

本ソフトウェアを使うと、804Nの電話帳やスケジュールなどのデータ（転送不可ファイルを除く）をパソコンにバックアップしたり、そのデータをパソコン上で編集して804Nに書き戻すことができます。

インストール方法について、詳しくは「ユーティリティーソフトウェア」CD-ROMのメニューから参照してください。

Vodafone N-Seriesミュージック転送ツールについて

本ソフトウェアを使うと、パソコンに保管されている音楽ファイルを804Nへ転送することができます。プレイリストの編集も行えるので、804Nをミュージックプレイヤーとして楽しむときに活用できます。

インストール方法について、詳しくは「ユーティリティーソフトウェア」CD-ROMのメニューから参照してください。

補足

- **MP3やAACを804Nへ転送した場合、転送不可ファイルとして扱われます。**

■ microSDカード内のファイルの読み出し／書き込み

「USBメモリモード」が「有効」に設定されている状態で804NとパソコンをUSBケーブルで接続すると、パソコンからは804Nが「USBメモリ」として認識され、microSDカード内のファイルを直接読み出したり、書き込んだりできます。

補足

- **USBメモリモードでパソコンと接続しているときは**
  メインディスプレイに「 」が表示されます。
- **パソコンからファイルの読み出し／書き込みをしている間は**
  ミュージックプレイヤーなど804N本体の機能でmicroSDカードを使用することができません。また、804N本体の機能でmicroSDカードを使用中は、パソコンからファイルの読み出し／書き込みを行えません。
- **USBメモリモードの有効／無効を切り替えるには**
  ①メインメニューから （設定）→「メモリ設定」→「メモリカード」→「USBメモリモード」の順に選択する
  ②「有効」または「無効」を選択する

［お買い上げ時］ ■有効

- **USBケーブルを取り外すときは**
  パソコンからUSBケーブルを取り外すときは、各OSの安全に取り外す方法を用いてください。また、ファイルの読み出し／書き込み中はUSBケーブルを取り外さないでください。

注意

- microSDカードのフォルダ構成は変更しないでください。とくに804Nが作成したフォルダ（Privateなど）およびその配下に保存されているファイルを変更・削除すると、804Nで利用できなくなる場合があります。

セキュリティ

操作用暗証番号の変更

［お買い上げ時］ ■9999

1 **メインメニューから（設定）→「ロック／セキュリティ設定」→「暗証番号設定」の順に選択する**

2 **現在の操作用暗証番号を入力する**

3 **「操作用暗証番号変更」を選択する**

4 **現在の操作用暗証番号を入力する**

5 **新しい操作用暗証番号（4桁）を入力する**

6 **確認のため、もう一度新しい操作用暗証番号を入力する**

7 **(OK)を押す**

PINコード設定

■ PINコードを変更する

USIMカードの暗証番号であるPIN1コード、PIN2コードを変更できます。

［お買い上げ時］ ■PIN1コード、PIN2コードともに9999

1 **メインメニューから（設定）→「ロック／セキュリティ設定」→「暗証番号設定」の順に選択する**

2 **操作用暗証番号を入力する**

3 **「PIN1変更」または「PIN2変更」を選択し、現在のPIN1コードまたはPIN2コードを入力する**

4 **新しいPIN1コードまたはPIN2コード（4～8桁）を入力する**

5 **確認のため、もう一度新しいPIN1コードまたはPIN2コードを入力する**

6 **(OK)を押す**

補足

- PIN1コードを変更する場合は
  「PIN1入力設定」を「有効」にしてから行います。

■ PIN1コード認証を設定する

USIMカードが無断で使用されるのを防ぐための設定です。電源を入れるたびにPIN1コードによる認証をするようにしたい場合は、「有効」に設定してください。

［お買い上げ時］ ■無効

1 **メインメニューから（設定）→「ロック／セキュリティ設定」→「暗証番号設定」の順に選択する**

2 **操作用暗証番号を入力する**

3 **「PIN1入力設定」を選択する**

4 **「有効」を選択する**

5 **PIN1コードを入力する**

注意

- PIN1コードを3回連続して間違えると、現在のPIN1コードが無効になり、特定の機能しか利用できないPINロックの状態になります。

■ PINロックを解除する

間違ったPIN1コードまたはPIN2コードを3回連続して入力すると、現在のPIN1コードまたはPIN2コードが無効になり、特定の機能しか利用できなくなります。この状態をPINロックといいます。PINロックを解除するには、PINロック解除コード（PUKコード）が必要です。

PIN1コードまたはPIN2コードがロックされた場合は、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡のうえ、PIN1ロック解除コード（PUK1コード）またはPIN2ロック解除コード（PUK2コード）を入手し、以下の手順にてPIN1コードまたはPIN2コードのロックを解除してください。

1 **PIN1 ロック解除コードまたは PIN2 ロック解除コード入力画面で、PIN1ロック解除コード（PUK1コード）またはPIN2ロック解除コード（PUK2コード）を入力する**

2 **新しいPIN1 コードまたは PIN2 コードを入力する**

3 **確認のため、もう一度新しいPIN1コードまたはPIN2コードを入力する**

またPIN２コードは以下の手順でもロックを解除することができます。

1 メインメニューから（設定）→「ロック／セキュリティ設定」→「暗証番号設定」の順に選択する

2 操作用暗証番号を入力する

3 「PIN2ロック解除」を選択する

4 PUK２入力画面が表示されるので、PIN2ロック解除コード（PUK2コード）を入力する

5 新しいPIN2コードを入力する

6 確認のため、もう一度新しいPIN2コード入力する

7 (OK)を押す

注意

- PIN1ロック解除コード（PUK1コード）を10回連続して間違えるとUSIMカードがロックされ、804Nを使用できなくなります。
- PIN2ロック解除コード（PUK2コード）を10回連続して間違えると、PIN2コードを使用する操作が一切できなくなります。
- USIM カードがロックされた場合は、所定の手続きが必要になりますので、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。

シークレット暗証番号の変更

シークレット暗証番号を次の操作で変更します。

1 メインメニューから（設定）→「ロック／セキュリティ設定」→「暗証番号設定」の順に選択する

2 操作用暗証番号を入力する

3 「シークレット暗証番号変更」を選択する

4 現在のシークレット暗証番号を入力する

5 新しいシークレット暗証番号を入力する

6 確認のため、もう一度新しいシークレット暗証番号を入力する

7 (OK）を押す

補足

- シークレット暗証番号が未設定のときは、操作４でもう一度操作用暗証番号を入力してください。そのあとで設定したいシークレット暗証番号を2回入力します。

無断で利用されたくないとき

■ 各種ロックを設定する

■ ダイヤルロックを設定する

ダイヤルロックを設定すると待受画面となり、緊急電話、着信、電源を入れる／切る以外のボタン操作ができなくなります。

［お買い上げ時］ ■Off

1. **メインメニューから（設定）→「ロック／セキュリティ設定」→「ダイヤルロック」の順に選択する**
2. **ダイヤルロックを「On」に設定する**
3. **（OK）を押す**
4. **操作用暗証番号を入力する**

補足

- **ダイヤルロック中に操作できるボタンについて**
  着信時の、着信拒否時および電源投入／切断時のなどが操作できます。
- **ダイヤルロック中に電源を切ったときは**
  設定は保持され、解除されません。

■ ダイヤルロックを解除する

1. **待受画面で操作用暗証番号を入力する**
2. **（OK）を押す**

■ ウェイクアップダイヤルロックを設定する

ウェイクアップダイヤルロックを設定すると、電源を入れたときに待受画面の状態で自動的にダイヤルロックになります。

［お買い上げ時］ ■Off

1. **メインメニューから（設定）→「ロック／セキュリティ設定」→「ダイヤルロック」の順に選択する**
2. **ウェイクアップダイヤルロックを「On」に設定する**
3. **（OK）を押す**
4. **操作用暗証番号を入力する**

■ ウェイクアップダイヤルロックの設定を解除する

1. **メインメニューから（設定）→「ロック／セキュリティ設定」→「ダイヤルロック」の順に選択する**

2 ウェイクアップダイヤルロックを「Off」に設定する

3 （OK）を押す

4 操作用暗証番号を入力する

補足

- **ウェイクアップダイヤルロックを一時的に無効にするには**
  待受画面で操作用暗証番号を入力する

電話の発着信制限

さまざまな方法で発信や着信を制限できます。発信を制限した場合、許可されている電話番号以外には電話をかけられません。着信を制限した場合、着信拒否を設定している電話がかかってきたときには、相手に話中音を流して電話を受けません。ただし、電話がかかってきたことは不在着信履歴で確認できます。

ここで説明する機能のほかに、海外への発信を規制したり、804Nを発信専用または着信専用にできる「発着信規制サービス」もご利用になれます（☞P.17-4）。

■ 発信を制限する（FDN設定）

特定の番号（FDN(発信先固定)）以外への発信を禁止することで、発信の制限をすることができます。

1 メインメニューから（設定）→「通話設定」→「共通設定」→「FDN設定」の順に選択する

2 「On」を選択する

補足

- **FDN(発信先固定)の登録について**
  FDN(発信先固定)は、（電話帳）→「その他電話番号」→「FDN(発信先固定)」で登録します（☞P.5-4）。
  ※2006年2月現在、FDN機能はご利用になれません。

■ 電話帳未登録の電話番号からの着信を拒否する（登録外着信拒否）

本体およびUSIMカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を、すべて拒否するように設定できます。

［お買い上げ時］ ■許可

1 メインメニューから（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「登録外着信拒否」の順に選択する

2 設定を「拒否」にする

注意

- **相手が電話番号を通知しないでかけてきた場合、この機能は無効となります。**

■ 番号通知のない着信を拒否する（非通知着信設定）

番号通知のない着信（非通知着信、公衆電話、海外からの着信）を拒否できます。迷惑電話の防止などにご利用いただけます。

［お買い上げ時］ ■Off

1 **メインメニューから（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「非通知着信設定」の順に選択する**

2 **設定を「On」にする**

秘密にしたい電話帳／カレンダーの登録

他の人に知られたくない電話帳やカレンダーは、シークレットデータの表示･非表示設定を切り替えることにより、シークレットデータとして保護できます。シークレットデータを呼び出すには、電話帳の場合はシークレット暗証番号、カレンダーの場合は操作用暗証番号の入力が必要です。

■ 電話帳／カレンダーをシークレット登録する

［お買い上げ時］ ■Off

■電話帳をシークレット登録する

1 **電話帳の一覧画面でシークレット登録をしたい電話帳を反転表示し、（メニュー）→「電話帳編集」の順に選択する**

2 **「オプション設定」を選択する**

3 **「シークレット」で「On」を選択する**

補足

- **電話帳をシークレット登録した場合は**
  電話の発着信画面や履歴には電話番号のみ表示されます。

■カレンダーをシークレット登録する

1 **メインメニューから（ツール）→「カレンダー」を選択する**

2 **カレンダー登録画面の「フィルタ」項目で「プライベート」を選択する**

■ シークレットデータを表示／非表示にする

［お買い上げ時］ ■非表示

■ 電話帳のシークレットデータを表示／非表示にする

1 **メインメニューから［電話帳アイコン］（電話帳）→「電話帳設定」→「シークレット表示」の順に選択する**

2 **「表示」または「非表示」を選択する**

3 **シークレット暗証番号を入力する**

4 **［メールキー］（OK）を押す**

補足

- **シークレット暗証番号が未設定の場合は**
  初めに操作用暗証番号を入力し、その次にシークレット暗証番号を設定します。
- **シークレットデータを「表示」にした場合は**
  電話帳およびメールで登録した名前を表示することができます。
- **電源を入れ直した場合は**
  シークレットデータの設定を「表示」にしていても、「非表示」になります。

■ カレンダーのシークレットデータを表示／非表示にする

1 **メインメニューから［ツールアイコン］（ツール）→「カレンダー」の順に選択する**

2 **［メールキー］（メニュー）を押し、「フィルタ」を選択する**

3 **項目を選択する**

シークレットデータを表示する場合

①「すべて」または「プライベート」を選択する
②操作用暗証番号を入力する
③［メールキー］（OK）を押す

シークレットデータを非表示にする場合

「一般」を選択する

誤動作の防止設定

■ オールボタンロックを設定する

ダイヤルボタンを誤って押しても動作しないようにします。次の2つの方法で設定できます。

待受画面から設定する場合

［MENUキー］、［#キー］の順に押す

メインメニューから設定する場合

（設定）→「ロック／セキュリティ設定」→「ボタン操作ロック」→「オールボタンロック」の順に選択する

補足

- **オールボタンロック中に電源を切ったときは**
  設定は保持されず、ロックは解除されます。

■ 外側ボタンロックを設定する

［お買い上げ時］ ■Off

804Nを閉じた状態で、外側のボタン（ミュージックアシストボタン、サイドボタン）を誤って押しても動作しないようにします。次の3つの方法で設定できます。

待受画面から設定する場合

MENU、＊絵文字記号の順に押す。

ミュージックアシストボタンで設定する場合

804Nを閉じた状態で|◀◀と▶▶|を同時に1秒以上押す。

メインメニューから設定する場合

（設定）→「ロック／セキュリティ設定」→「ボタン操作ロック」→「外側ボタンロック」→「On」の順に選択する

補足

- **ロックしたい外側ボタンを選択するには**

［お買い上げ時］ ■すべて

（設定）→「ロック／セキュリティ設定」→「ボタン操作ロック」→「外側ボタンロック範囲」の順に選択し、「ミュージックアシストボタン」、「サイドボタン」、「すべて」のいずれかを選択します。「すべて」を選択すると両方の外側ボタンがロックされます。

- **外側ボタンロック中に電源を切ったときは**
  設定は保持され、解除されません。

■ ボタン操作ロックを解除する

- オールボタンロックは待受画面でMENU、#の順に押すことで解除できます。
- 外側ボタンロックを解除するには、待受画面でMENU、＊絵文字記号の順に押すか、804Nを閉じた状態でミュージックアシストボタンの|◀◀と▶▶|を同時に1秒以上押します。

14

セキュリティ

お買い上げ時の状態に戻す

■ 各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定リセット）

各種の機能の設定を、初期状態に戻すことができます。ただし、電話帳などの個人情報は保存されています。詳しくは「付録」の「リセット項目一覧」（☞P.31-8）をご覧ください。

1　メインメニューから（設定）→「一般設定」→「リセット」→「設定リセット」の順に選択する

2　操作用暗証番号を入力する

3　（OK）を押す

■ 電話帳などの登録内容を消去する（メモリリセット）

電話帳やスケジュールなどの登録内容、発信履歴や着信履歴などの記憶、送受信メールのデータなど、すべての個人情報をまとめて消去できます。ただしメモリカードやUSIMカード内のデータは消去されません（☞P.31-8）。

1　メインメニューから（設定）→「一般設定」→「リセット」→「メモリリセット」の順に選択する

2　操作用暗証番号を入力する

3　（OK）を押す

■ すべての登録内容を消去する（オールリセット）

各種機能の設定内容および個人情報の登録内容をすべて初期状態に戻すことができます。ただしメモリカードやUSIMカード内のデータは消去されません（☞P.31-8）。

1　メインメニューから（設定）→「一般設定」→「リセット」→「オールリセット」の順に選択する

2　操作用暗証番号を入力する

3　（YES）を押す

補足

- **リセット中に電源を切った場合は**
  次に電源を入れてもリセット動作は継続されません。もう一度リセット操作をしてください。
- **メモリリセットまたはオールリセットした場合は**
  すべての著作権保護の利用権利（コンテンツ・キー）も同時に削除されます。

ツール

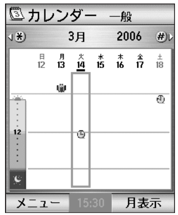
スケジュール機能の利用（カレンダー）

804Nのカレンダーに、スケジュールやイベントなどを合計200件、登録できます。また、祝日や週休も登録できます。

■ カレンダーの見かた



一ヶ月表示



一週間表示

一ヶ月表示と一週間表示で日付を確認できます。

■ 表示方法を切り替える

［お買い上げ時］ ■月表示

1　メインメニューから（ツール）→「カレンダー」の順に選択する

2　(週表示)または(月表示)を押す

補足

- **次にカレンダーを表示させたときは**
  前回設定した表示方法で表示されます。

■ カレンダー画面のメニューについて

カレンダー画面のメニューからは、次の操作ができます。また一覧画面、詳細画面でも同様の操作ができます。表示されるメニューは、登録状況によって異なります。

メニュー	内　容
新規	スケジュールを新規登録します。「スケジュール」「イベント」「連続イベント」「休日」が選択できます。
編集	登録してあるスケジュールを変更できます。
コピー	登録してあるスケジュールをコピーします。
フィルタ	登録してあるスケジュールから、選択したフィルタ設定で抽出することができます。
日付ジャンプ	直接年月日を指定することで、目的のカレンダーを表示できます。
保存容量確認	スケジュールの登録件数、空き件数を表示します。
vファイル変換	選択している項目をvCalendar形式で保存します。またvCalendarをメールに添付して送信できます。
削除	登録しているスケジュールを削除します。

■ スケジュールを登録する

アラームを設定すると、設定した日時にアラーム音やアニメーションでお知らせし、アラームメッセージを表示します。

1 **メインメニューから（ツール）→「カレンダー」の順に選択する**

2 **（メニュー）を押し「新規」→「スケジュール」の順に選択する**

3 **各項目を設定する**

4 **（OK）を押す**

補足

● カレンダーの入力項目について

設定項目	内　容
フィルタ	フィルタ（「一般」、「プライベート」）を設定します。
内容	登録内容を入力します。（必須入力）
開始日	開始年月日を設定します。
開始時刻	開始時刻を設定します。
終了時刻	終了時刻を設定します。
通知	通知をする／しないを設定します。
アラーム音	アラーム通知のときに鳴る音を設定します。
時間	アラーム通知する時刻（「指定時間」、「5分前」、「10分前」、「15分前」、「30分前」、「1時間前」、「90分前」、「2時間前」）を設定します。
リピート	繰り返し（「Off」、「毎月」、「曜日指定」）を設定します。

● **開始日時で設定した日付の曜日と曜日繰り返しで指定した曜日が異なる場合は**
曜日指定繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。

▣ アラームの設定時刻になると

アラーム音が約1分間繰り返し鳴り、メインディスプレイとサブディスプレイにアニメーションが表示されます。

アラーム音を止めるには、いずれかのボタンを押します。もう一度押すとアラームメッセージが消えます。



電源が切れている場合は、アラーム通知できません。

■ 休日を登録する

1 **メインメニューから（ツール）→「カレンダー」の順に選択する**

2 **（メニュー）を押し「新規」→「休日」の順に選択する**

3 **「祝日」または「週の休日」を選択し日付を設定する**

4 **（OK）を押す**

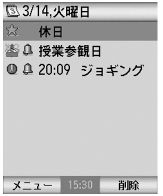
■ スケジュールやイベントなどを確認する

登録内容を、当日の一覧画面や詳細画面で確認します。

1 **メインメニューから（ツール）→「カレンダー」の順に選択する**

2 **確認する日付を選択する**

3 **項目を選択する**



当日の一覧画面



スケジュールの詳細画面



イベントの詳細画面

■ スケジュールやイベントなどを編集する

編集項目は登録する時の入力項目と同じです。（☞P.15-3）

1 **メインメニューから（ツール）→「カレンダー」の順に選択する**

2 **編集したい年月日を選択して●を押す**

3 **（メニュー）を押し「編集」を選択する**

4 **項目を選択し、内容を変更する**

5 **（OK）を押す**

■ スケジュールやイベントなどを削除する

登録した項目を1件づつ削除できます。

1 **メインメニューから（ツール）→「カレンダー」の順に選択する**

2 **日付を選択し◉を押す**

3 **削除したい項目を選択する**

4 **✉（メニュー）を押し「削除」→「イベント削除」→「このイベント」の順に選択する**

5 **✉（YES）を押す**

補足

- **指定した日までのすべての項目、または全件削除する場合は**
  ①カレンダー画面から✉（メニュー）を押し「削除」を選択する。
  ②「この日まで」または「全削除」を選択する。

- **休日を削除する場合は**
  ①操作4で「削除」→「休日削除」の順に選択します。
  ②「休日選択」(1件削除)、「この日まで」(指定した日まで削除)、または「休日リセット」(全件削除)のいずれかを選択します。

- **「全削除」や「休日リセット」で全件削除する場合は**
  操作用暗証番号の入力が必要です。

めざまし時計の利用（アラーム）

アラームを設定した時刻になると、メッセージ表示やアラーム音、またバイブレーションでアラーム通知をします。

■ アラームを設定する

設定は5件まで登録できます。

1 **メインメニューから（ツール）→「アラーム」の順に選択する**

2 **アラームが設定されていない項目を選択する**

3 **各項目を設定する**

4 **✉（OK）を押しアラーム画面に戻る**

補足

- **アラームの入力項目について**

設定項目	内　容
設定時刻	アラーム通知をする時刻を設定します。
リピート	一回だけか、曜日を指定して繰り返すかを選択します。
内容	アラームの用件を入力します。
アラーム音	アラーム通知のときに鳴らす音を設定します。（MIDI形式に対応しています。）

設定項目	内　容
バイブレーション	バイブレーションのパターンを設定します。
スヌーズ	スヌーズ通知（再通知）をする／しないを設定します。

- **設定時間の設定は時刻表示設定により異なります。12時間制の場合は、時刻の後に「AM」、「PM」を選択します。**

▣ アラーム画面のメニューについて

アラーム画面のメニューからは、次の操作ができます。表示されるメニューは、登録状況によって異なります。

メニュー	内　容
編集	登録内容を変更できます。
削除	登録しているアラームもしくはアラーム全件を削除します。「削除」と「全削除」があります。

■ アラームの設定を変更／解除する

1 メインメニューから（ツール）→「アラーム」の順に選択する

2 変更したい項目を選択する

アラーム内容を変更する場合は

①●を押して内容を変更する

②（OK）を押す

繰り返しに設定されているアラームを１回だけスキップする場合は

（SKIP）を押す

アラーム機能をOFFにする場合は

（OFF）を押す

■ アラームの設定時刻になると

アラーム音が約3分間繰り返し鳴り、メインディスプレイとサブディスプレイにアニメーションが表示されます。
アラーム音を止めるには、いずれかのボタンを押します。

スヌーズ通知しない設定の場合は、もう一度いずれかのボタンを押すと表示が消えます。
スヌーズ通知する設定の場合は、アラーム音を止めても5分後に再度アラーム音が鳴ります。スヌーズを解除するには、アラーム音が鳴っている間に[O](OFF)を押すか、アラーム音を止めた後で[O](キャンセル)を押します（スヌーズ動作を10回繰り返すと自動的に解除されます）。



■ アラームを削除する

1 メインメニューから [ツール](ツール)→「アラーム」の順に選択する

2 削除したい項目を反転表示する

3 [✉](メニュー)を押して「削除」を選択する

選択した項目を削除する場合は

「削除」を選択する

全件削除する場合は

「全削除」を選択する

補足

- **全件削除する場合は**
  操作用暗証番号の入力が必要です。

予定リストの利用

予定リストを登録しておくと、設定時刻にアラーム通知するほか、予定をカテゴリで分けたり優先度をつけたりして管理できます。

■ 予定リストを登録する

最大200件登録できます。

1　メインメニューから（ツール）→「予定リスト」の順に選択する

2　（メニュー）押して「新規」を選択する

3　各項目を設定する

4　（OK）を押す

補足

- **予定リストの入力項目について**

設定項目	内　容
カテゴリ	カテゴリ種別を設定します。
タイトル	タイトルを入力します。「内容」に入力された文章がタイトルとして自動登録されます。
内容	予定リストの内容を入力します。
締切	予定リストの期日を入力します。
優先度	優先度を設定します。高、普通、低の3段階があります。（初期設定は「普通」）
ステータス	完了、または未完了を選択します。
完了日付	完了日の設定をします。
通知	通知のある／なしを設定します。
アラーム音	アラーム通知のときに鳴る音を設定します。
通知日時	通知をする日付を設定します。
通知時刻	通知する時刻を設定します。

■ 予定リスト画面のメニューについて

予定リスト画面のメニューからは、次の操作ができます。表示されるメニューは、登録状況によって異なります。

メニュー	内　容
新規	予定リストを新規で作成します。
編集	登録内容を変更できます。
コピー	入力済みの予定リストをコピーして新しくスケジュールを作成します。
フィルタ	登録してある予定リストから、選択したフィルタ設定で抽出することができます。
保存容量確認	予定リストの登録件数、空き件数を表示します。
vファイル変換	選択している項目をvCalendar形式で保存します。またｖCalendarをメールに添付して送信できます。
削除	登録している予定リストを削除します。選択項目の削除、完了した予定のみ削除、全削除が選択できます。

■ アラームの設定時刻になると

アラーム音が約1分間繰り返し鳴り、メインディスプレイとサブディスプレイにアニメーションが表示されます。
アラーム音を止めるには、いずれかのボタンを押します。もう一度押すとアラームメッセージが消えます。



電源が切れている場合は、アラーム通知できません。

■ 予定リストを確認する

1 メインメニューから（ツール）→「予定リスト」の順に選択する

2 確認したい項目を選択する

■ 予定リストを編集する

1 メインメニューから（ツール）→「予定リスト」の順に選択する

2 編集した項目を選択する

3 （メニュー）を押し「編集」を選択する

4 項目を選択し、内容を変更する

5 （OK）を押す

補足

- **ステータスを完了に変更する場合は**
  予定リスト画面で（完了）を押しても変更できます。

■ 予定リストを削除する

1 メインメニューから（ツール）→「予定リスト」の順に選択する

2 削除したい項目を反転表示して（メニュー）を押す

3 「削除」を選択する

選択した項目を削除する場合は
「削除」を選択する

完了したリストだけを削除する場合は
「データ消去（完了）」を選択する

全件削除する場合は
「全削除」を選択する

補足

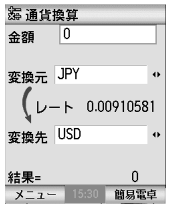
- **全件削除する場合は**
  操作用暗証番号の入力が必要です。

電卓を利用する（簡易電卓／通貨換算）

10桁まで（小数点以下も含む）の四則演算や通貨の換算ができます。



簡易電卓



通貨換算

■ 簡易電卓を利用する

1　メインメニューから （ツール）→「簡易電卓／通貨換算」の順に選択する

2　計算方法

数字を入力するには
　ダイヤルボタンを押す

「+」、「－」、「x」、「÷」、「=」を入力するには
　マルチセレクターを押す

小数点を入力するには
　[＊ 絵文字 記号]を押す

正の数、負の数を切り換えるには
　[# ☆@/]を押す

計算結果／数字を消す場合は
　[CLEAR BACK]を押す

補足

- **計算結果が10桁を超えると**
  「範囲外」と表示されます。
- **計算できない数値が入力されたら、「エラー」と表示されます。**
- **一行の数字をすべて消去する場合は**
  [✉](C)を押します。
- **計算式すべてを消去する場合は**
  [✉](AC)を押します。

■ 通貨換算を利用する

あらかじめ設定したレートで通貨の換算をします。

1 **メインメニューから［アイコン］（ツール）→「簡易電卓／通貨換算」の順に選択する**

2 **［O］（通貨換算）を押す**

3 **操作方法**

①「金額」に計算したい金額を入力する
②「変換元」で換算する通貨を選択する
③「変換先」で換算したい通貨を選択する
④［✉］（メニュー）を押して「レート設定」を選択しレートを入力する
⑤［✉］（OK）を押す

通貨単位の表示名を変更する場合は

①［✉］（メニュー）を押して「通貨単位編集」を選択する
②変更したい項目を選択し、編集する

メモをとる（テキストメモ）

テキストメモ（最大512バイト）を作成できます。作成したテキストメモは、メールの本文やスケジュールのアラームメッセージなどに使えます。最大8件登録できます。

■ テキストメモを登録する

1 **メインメニューから［アイコン］（ツール）→「テキストメモ」の順に選択する**

2 **［O］（新規作成）を押す**

［✉］（メニュー）から操作する場合は

［✉］（メニュー）を押して「新規」を選択する

3 **タイトルと内容を入力する**

4 **［✉］（保存）を押す**

補足

- **登録済みのテキストメモを編集するには**
詳細画面より［O］（編集）を押すか、一覧画面または詳細画面で［✉］（メニュー）→「編集」の順に選択します。「タイトル」または「内容」を選択し、編集します。

■ テキストメモ画面のメニューについて

テキストメモ画面のメニューからは、次の操作ができます。表示されるメニューは、登録状況によって異なります。

メニュー	内　容
新規	テキストメモを新規で作成します。
編集	登録内容を変更します。「タイトル」と「内容」が編集できます。
削除	登録しているテキストメモを削除します。「削除」または「全削除」が選択できます。
vファイル変換	選択している項目を保存先（本体／メモリカード）を指定してvNote形式で保存します。またテキストメモを本文に貼り付け、メールを送信することが可能です。
カレンダー作成	作成したテキストの内容をスケジュールで使用することができます。
予定リスト作成	作成したテキストの内容を予定リストで使用することができます。
ショートカット	選択しているテキストメモをマイメニューまたはデスクトップアイコンとして登録します。

■ テキストメモを確認／利用する

1 **メインメニューから（ツール）→「テキストメモ」の順に選択する**

2 **確認または利用したいテキストメモを反転表示する**

確認をする場合は

◉を押す

利用する場合は

✉（メニュー）を押して、「カレンダー作成」または「予定リスト作成」を選択する

■ テキストメモを削除する

1 **メインメニューから（ツール）→「テキストメモ」の順に選択する**

2 **削除したいテキストメモを反転表示し、✉（メニュー）を押す**

選択した項目を削除する場合は

「削除」を選択する

全件削除する場合は

「全削除」を選択する

補足

- **全件削除する場合は**
  操作用暗証番号の入力が必要です。

自分の声を録音する（ボイスレコーダー）

待受中に自分の声を1件あたり約180秒間、最大100件まで登録できます。録音したファイルをメールに添付して送信することもできます。

■ 待受中に音声メモを録音する

待受中にボイスレコーダーを起動させてから録音します。

1 **メインメニューから（ツール）→「ボイスレコーダー」の順に選択する**

2 **「待受中音声メモ」→「録音」の順に選択してボイスレコーダーを起動させる**

3 **◉を押して録音を開始する**

録音可能時間は

180秒からカウントダウンされる

録音を終了する場合は

◉を押す

録音を途中でやめる場合は

CLEAR BACK、PWRを押す

補足

- **録音したファイルを消去するには**

  ✉（メニュー）を押して「削除」を選択し、✉（YES）を押す

- **録音したファイル名を変更するには**

  ✉（メニュー）を押して「名称変更」を選択し、ファイル名を変更してから◉を押す

- **録音したファイルをメールで送信するには**

  ✉（メニュー）を押して「メール送信」を選択し、新規メールを作成する

▣ ボイスレコーダー起動画面のメニューについて

メニュー	内　容
保存容量確認	ボイスレコーダーの登録件数、空き件数を表示します。
録音開始音	録音の開始、終了時の音を選択します。
メディアプレイヤー	メディアプレイヤーを起動して再生します。

■ 音声メモを再生する

1 **メインメニューから（ツール）→「ボイスレコーダー」の順に選択する**

2 **「待受中音声メモ」→「再生」の順に選択する**

3 ファイルを選択して音声メモを再生する

補足

- **データフォルダから再生する場合は**
  ① メインメニューから（データフォルダ）→「その他」→「ボイスレコーダー」の順に選択する。
  ② ファイルを選択して再生する。

その他の機能

通話中の便利な機能

■ プッシュトーンを送る(ポーズダイヤル)

804Nからプッシュトーンを送信して、ご自宅の留守番電話の遠隔操作やポケットベルへのメール送信、各種プッシュホンサービスの操作などができます。

■ ポーズダイヤルを登録する

プッシュトーンとして送信するダイヤルデータを、あらかじめ登録しておきます。登録できるデータは0〜9、#、*、および英文字「p」(ポーズ)です。途中にポーズを入力しておくと、ポーズの箇所で区切りながらプッシュトーンを送信できます。登録できるデータは1件のみ(最大128文字)です。

1 **メインメニューから (設定)→「通話設定」→「共通設定」→「ポーズダイヤル」の順に選択する**

2 **ダイヤルデータを入力する**

3 **(OK)を押す**

補足

- **英文字「p」を入力する場合は**
  を1秒以上押して入力します。

■ ポーズダイヤルを送信する

送信先に電話をかけてから、登録したポーズダイヤルを送ります。

1 **電話をかける**

2 **通話中、(メニュー)を押し「ポーズダイヤル」を選択する**

補足

- **プッシュトーンについて**
  電話番号の入力中や通話中にダイヤルデータを入力しても、プッシュトーンを送信できます。

■ 通話中に通話時間を確認する（通話中時間表示）

■ 音声電話中に通話時間を表示する

音声電話中の通話時間の表示を「通話時間」、「累積時間（発信）」、「累積時間（全通話）」、「Off」の中から設定します。

［お買い上げ時］ ■通話時間

1 メインメニューから（設定）→「通話設定」→「共通設定」→「通話時間情報」→「通話時間表示」の順に選択する

2 設定を選択する

■ TVコール中に通話時間を表示する

［お買い上げ時］ ■On

1 メインメニューから（設定）→「通話設定」→「TVコール設定」→「オプション設定」の順に選択する

2 「通話時間表示設定」を選択する

通話中に折り畳んだときの動作を設定する（クローズ動作設定）

音声電話中に804Nを折り畳んだときの動作を設定できます。

［お買い上げ時］ ■切断

1 メインメニューから（設定）→「通話設定」→「音声通話設定」→「クローズ動作設定」の順に選択する

2 設定を選択する

▣ 折り畳んだときの動作について

設定により、次のような動作になります。

- 「ミュート」：音声を消します。
- 「保留」：通話を保留にします。
- 「切断」：PWR を押したときと同様に、通話を終了します。

「ミュート」または「保留」の場合、804Nを開くと通常の通話状態になります。

注意

- ステレオイヤホンマイクを接続している場合、804Nを折り畳んでも、開いても、ミュート、保留などの状態は変わりません。必要に応じて、（メニュー）を押し、「ミュート解除」などの操作を行ってください。

- TVコールを使用している場合、804Nを折り畳むと通話は終了します。
また、TVコールで、ステレオイヤホンマイクに接続し、カメラ映像を使用している場合は、804Nを折り畳むと代替画像に切り替わります。

ステレオイヤホンマイクを使う

イヤホンマイク端子のキャップを開け、ステレオイヤホンマイクの接続プラグを差し込んで使用します。

■ 音の鳴り方を設定する

ステレオイヤホンマイクを接続しているときに、イヤホンとスピーカから音が鳴るように設定できます。

［お買い上げ時］ ■イヤホン

1 メインメニューから（設定）→「通話設定」→「共通設定」→「イヤホン切替」の順に選択する

2 設定を選択する

■ ワンタッチで電話をかける

メモリ番号「001」の電話帳へは、ステレオイヤホンマイクのスイッチを押すだけで電話がかけられます。

1 スイッチを1秒以上押す

2 通話が終わったら、スイッチを1秒以上押す

補足

- ステレオイヤホンマイクを使って発信した場合、「優先表示設定」（☞P.5-8）で設定した相手先に発信（電話番号の場合は発信、メールアドレスの場合はメール新規作成画面表示、URLの場合はウェブ接続）されます。

■ ワンタッチで電話を受ける

1 着信中にスイッチを1秒以上押す

2 通話が終わったら、スイッチを1秒以上押す

▣ ステレオイヤホンマイクのご利用にあたって

- 接続プラグは確実に差し込んでください。確実に差し込まれていないと、音が聞こえないことがあります。
- 着信中にステレオイヤホンマイクを接続すると、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。

■ 自動的に電話を受ける（オート着信）

ステレオイヤホンマイクを接続しているときは、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話に応答できるように設定できます。「On」に設定すると、着信から5秒後に電話を自動的に受けることができます。

［お買い上げ時］ モードによって異なります（☞P.9-2）

1 **メインメニューから（設定）→「一般設定」→「音／照明／モード設定」の順に選択する**

2 **設定したいモード（ 通常モード／会議中モード／アウトドアモード／運転中モード）を選択し（編集）を押す**

3 **「その他設定」を選択し、「オート着信」を「On」に設定する**

4 **（OK）を押す**

注意

- かばんなどで持ち運びする場合など、他の物でスイッチが押されてダイヤル発信などの意図しない操作となることを防ぐため、ステレオイヤホンマイクをご利用にならないときは、804Nから抜いて保管してください。

プッシュトーンを設定する

通話中にダイヤルボタンを押したときにプッシュトーンを送信するか設定できます。

［お買い上げ時］ ■On

1 **メインメニューから（設定）→「通話設定」→「共通設定」→「ダイヤルトーン設定」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

オプションサービス

オプションサービスの種類

804Nでは次のオプションサービスがご利用いただけます。

サービス名称	内　容
発着信規制サービス	電話やSMSの発信や着信を制限することができます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、かけてきた相手の電話番号を確認したりできます。
発信者番号表示サービス	電話がかかってきたときに発信者の電話番号を表示する設定になっているか確認することができます。
転送電話サービス	かかってきた電話を、指定した電話番号へ転送します。 また、留守番電話サービスを利用する場合は、転送先として留守番電話センターの電話番号を登録することができます。
留守番電話サービス	電話に出ることのできなかったときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりすることができます。 ※ 着信お知らせ機能 電源が入っていない、あるいは圏外にいたために受けられなかった着信をSMSで知ることができます。
割込通話サービス※	音声電話中の相手を保留にし、第三者からの音声電話を受けることができます。通話相手の切り替えもできます。
多者通話サービス※	通話中に別の相手に電話をかけて通話ができます。最大6人が同時に通話することができます。

※ 別途お申込が必要なサービスです。

サービスの詳しい内容、お申し込みについては『3Gガイドブック』を参照してください。

オプションサービスの操作方法

オプションサービスの開始や停止などは、804Nのメニュー画面で操作する方法、804Nでサービスコードを入力する方法、一般電話から操作する方法のいずれかで行います。

■ 各サービスのメニュー画面で操作する

メニュー画面をたどって操作します。発着信規制サービス、発信者番号通知サービス、転送電話サービス、留守番電話サービス、割込通話サービスの各ページでは、この方法について説明しています。

■ サービスコードを使って操作する

804Nから以下のサービスコードを送信するだけで、オプションサービスの変更できます。

1　待受画面でサービスコードを入力する

2　[☎] を押す

サービス	設　定	サービスコード
留守番／転送電話	開始	[*]→[*]→転送の条件のコード番号※1→[*]→転送先電話番号→[*]→着信の種別※2→（無応答転送の場合のみ、[*]→呼出時間「5」、「10」、「15」、「20」、「25」、「30」）[#]
	停止	[#][#]→転送の条件のコード番号※1→[#]
割込通話	開始	[*]→[4][3]→[#]
	停止	[#]→[4][3]→[#]
発着信規制	開始	[*]→規制内容のコード番号※3→[*]→発着信規制暗証番号→[#]
	停止	[#]→規制内容のコード番号※3→[*]→発着信規制暗証番号→[#]
	暗証番号変更	[*]→[0][3]→[*]→[3][3][0]→[*]→現在の発着信規制暗証番号→[*]→新しい発着信規制暗証番号→[*]→新しい発着信規制暗証番号→[#]

※1　転送の条件のコード番号
呼出なし：[2][1]
着信中／話中時：[6][7]
電源OFF／圏外時：[6][2]
無応答：[6][1]
※2　着信の種別
音声：[1][1]
TVコール：[2][0]
※3　規制内容のコード番号
全発信規制：[3][3]
国際発信全規制：[3][3][1]
国際発信規制：[3][3][2]
全着信規制：[3][5]
全着信規制（Roam）：[3][5][1]

■ 一般電話から操作する

804Nが手元にないときや電波の届かない場所などでも、一般電話から操作できます。一般電話からの操作やご利用については『3Gガイドブック』を参照してください。

発着信規制サービス

次の規制内容で音声やTVコールの発着信やSMSの送受信を制限できます。

設定項目		内　容
発信規制（音声）（TVコール）（SMS）	解除	発信規制を解除します。
	国際発信規制	ホーム地（契約している事業者のサービスエリア）以外の海外への発信、SMS送信はできません。
	国際発信全規制	海外への発信、SMS送信はできません。
	全発信規制	緊急通話のみ発信できます。
着信規制（音声）（TVコール）（SMS）	解除	着信規制を解除します。
	全着信規制（Roam）	ホーム地（契約している事業者のサービスエリア）以外の国で、すべての電話やSMS着信はできません。
	全着信規制	すべての電話やSMS着信はできません。

設定時には、発着信規制暗証番号（ご契約時にお決めいただいた発着信規制サービス専用の4桁の番号）の入力が必要です。

注意

- **発着信規制暗証番号を３回連続して間違えると、設定ができなくなります。この場合、発着信規制暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。**
- 「転送電話サービス」または「留守番電話サービス」を設定中は、「全発信規制」および「全着信規制」は設定できません。

■ 発信規制／着信規制を設定する

1 メインメニューから（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「発着信規制」の順に選択する

2 「発信規制（音声／TVコール／SMS）」または「着信規制（音声／TVコール／SMS）」を選択する

3 規制する項目を選択する

4 発着信規制暗証番号を入力し、✉（OK）を押す

補足

- **設定内容を確認するには**

①操作1、2を行なう
②✉（設定確認）を押す

■ 発着信規制の制限をすべて解除する

1 **メインメニューから（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「発着信規制」の順に選択する**

2 **「規制全解除」を選択する**

3 **発着信規制暗証番号を入力し、（OK）を押す**

■ 発着信規制暗証番号を変更する

お使いの発着信規制暗証番号（4桁）を変更できます。

1 **メインメニューから（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「発着信規制」の順に選択する**

2 **「規制暗証番号設定」を選択する**

3 **現在の発着信規制暗証番号を入力する**

4 **新しい発着信規制暗証番号を入力する**

5 **もう一度新しい発着信規制暗証番号を入力する**

発信者番号通知サービス

電話をかけるときにご自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定できます。

■ 発信者番号通知を「通知」に設定する

1 **メインメニューから（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「発信者番号通知」を選択する**

2 **「通知」を選択する**

■ 発信者番号通知を「非通知」に設定する

1 **メインメニューから（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「発信者番号通知」を選択する**

2 **「非通知」を選択する**

補足

- メニュー操作により発信者番号通知を設定した場合、設定の変更、リセット（オールリセット、メモリリセット）またはSIM交換を行うまで設定した内容は保持されます。

■ 発信者番号通知を「ネットワーク設定」に設定する

1 メインメニューから （設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「発信者番号通知」を選択する

2 「ネットワーク設定」を選択する

■ 電話番号を通知してかける

1 1 8 6 を押す

2 相手の電話番号を入力する

3 を押す

TVコールをかける場合は
（TVコール）を押す

■ 電話番号を通知しないでかける

1 1 8 4 を押す

2 相手の電話番号を入力する

3 を押す

TVコールをかける場合は
（TVコール）を押す

発信者番号表示サービス

電話がかかってきたときに発信者の電話番号を表示する設定になっているか確認することができます。

■ 契約内容を確認するには

1 メインメニューから （設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「番号通知設定確認」の順に選択する

転送電話サービス

転送を実行する条件は、次の4種類の中から選択できます。

転送条件	内　容
呼出なし	804Nの着信音を鳴らさずに転送し、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。
無応答	設定した秒数だけ着信音を鳴らし、応答しなかった場合に転送します。
着信中／話中時	着信中や通話中のために電話を受けられない場合に転送します。
電源Off／圏外時	電源を切っているとき、または圏外の場合に転送します。

■ 転送電話サービスを開始する

転送条件ごとに転送先などを設定し、サービスを開始できます。転送電話サービスと留守番電話サービスは同時に設定できません。

1 メインメニューから（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「留守番／転送電話」の順に選択する

2 「転送設定」を選択し、「音声」または「TVコール」を選択する

3 「設定内容」で項目を選択する

4 「転送先電話番号」を選択し、転送先の電話番号を入力する

「無応答」で着信音を鳴らす秒数を設定する場合は

①「呼出時間」を選択する

②秒数を選択する

5 （設定更新）を押す

補足

- **操作2で「転送設定」を選択したときは**
  音声、TVコールの欄にそれぞれでの状態が表示されます。
- **転送先設定の登録に電話帳を使うには**
  「転送先電話番号」の画面で（検索）を押し、「電話帳」を選択します。
- **設定内容を確認するには**
  ①操作1～2を行う
  ②を押す

注意

- **転送電話として留守番電話センターの電話番号を登録している場合は、TVコールの着信を転送できません。**

▣ 手動での着信転送について

転送電話サービス、留守番電話サービスを「着信中／話中時」で開始している場合、着信音が鳴っている間に（メニュー）を押し「着信転送」を選択すると、手動で転送できます。割込電話サービスを合わせて開始している場合は、割り込み音が鳴っている間に同様の操作ができます。

■ 転送電話サービスを停止する

着信の種類ごとにサービスを停止できます。

1 メインメニューから（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「留守番／転送電話」の順に選択する

2 「転送設定」画面で停止したい着信種別「音声」または「TVコール」を選択する

3 「設定内容」で「転送解除」を選択し、✉（設定更新）を押す

4 ✉（YES）を押す

補足

- サービスをまとめて停止するには
  ①操作1を行う
  ②「全転送設定解除」を選択し、✉（YES）を押す

■ 転送設定を自動的に確認する

転送設定（☞P.17-7）で設定した内容を、電源を入れたときまたはメニュー起動時に自動的に確認できます。

［お買い上げ時］ ■Off

1 メインメニューから（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「留守番／転送電話」の順に選択する

2 「自動設定確認」を選択する

3 設定を選択する

留守番電話サービス

転送電話サービスの転送先に留守番電話センターの電話番号を登録することで、留守番電話サービスを転送先として利用できます。

1 メインメニューから（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「留守番／転送電話」の順に選択する

2 「転送設定」を選択し、「音声」または「TVコール」を選択する

3 「設定内容」で項目を選択する

4 「転送先電話番号」を選択する

5 （検索）を押し、「留守番電話センター」を選択する

6 ✉（設定更新）を押す

■ 留守番電話の伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときは、メインディスプレイの上部に「」が、またサブディスプレイに「」のアイコンが表示されます。

1 メインメニューから［設定アイコン］（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「留守番電話操作」の順に選択する

2 「留守録再生」を選択し、［メールキー］（YES）を押す

補足

- 国際ローミング中は「海外センター設定」の番号に自動的に切り替わります

■ 留守番電話センターの再生番号を設定する

［お買い上げ時］ ■1416

1 メインメニューから［設定アイコン］（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「留守番電話操作」の順に選択する

2 「センター電話番号設定」を選択する

3 「国内センター設定」を選択する

4 電話番号を入力し、［メールキー］（OK）を押す

補足

- 海外の留守番電話センターの場合は
  操作3で「海外センター設定」を選択します。

■ 着信お知らせ機能を開始／停止する

電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信をSMSでお知らせします。また、通話中に留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

■ 着信お知らせを設定する

1 ［1あ］［4たGHI］［1あ］［4たGHI］を押して［発信キー］を押す

2 音声ガイダンスに従って開始、または停止を設定する

補足

- 一般電話から設定する場合は
  090-665-1414をダイヤルする
- 海外から設定する場合は
  +81-90-665-14191をダイヤルする

割込通話サービス

お申し込みが必要なサービスです。

■ 割込通話サービスを開始／停止する

1 メインメニューから（設定）→「通話設定」→「発着信設定」→「割込通話」の順に選択する

2 「開始」または「停止」を選択する

補足

- **設定内容を確認するには**
  ①操作1を行う
  ②（設定確認）を押す

■ 割込通話を受ける

最初の音声電話を保留にして、あとから音声電話をかけてきた相手と通話します。相手を切り替えることもできます。

1 通話中に電話がかかってくると、割り込み音が聞こえる

2 または（応答）を押し、あとからかけてきた相手と通話する

3 相手を切り替えるときは（切替）を押す

補足

- **割込通話中に通話中の相手との通話が切れたときは**
  （保留解除）を押すと保留になっていた相手との通話になります。
- **割込通話中に、さらに着信があったときは**
  または、（応答）を押すと、通話中の相手との通話を切り、あとからかけたきた相手との通話になります。
  を押すと、保留中の相手、および通話中の相手との通話を切ります。
- **割込通話中に着信を拒否するには**
  （メニュー）を押し、「着信拒否」を選択します。

注意

- **割込通話サービスは、音声電話でのみご利用になれます。TVコールではご利用になれません。**

多者通話サービス

お申し込みが必要な有料サービスです。
通話中に別の相手に電話をかけて通話ができるサービスです（音声通話のみ）。最大６人が同時に通話することができます。
また国際電話でもご利用できます。

■ 多者通話を開始する

1 **通話中に［○］(保留)を押す**

2 **別の相手の電話番号を入力し、［☎ A/a］を押す**

3 **相手に繋がったら［✉］(メニュー）を押し、「多者通話」を選択する**

補足

- 多者通話は多者通話サービスの加入者以外でも参加できます。

■ 複数で同時に通話する

多者通話中に着信があった場合や、別の相手に電話をかけた場合、同時に通話することができます。

1 **相手に繋がったら［✉］(メニュー）を押し、「多者通話」を選択する**

補足

- 多者通話は自分を含めて最大６人まで参加することができます。ただし７人目の発着信を行った場合、自分以外の５人は保留中となります。

■ 特定の相手と通話する

多者通話中に特定の相手のみと通話することができます。選択された相手は多者通話から切り離された状態になります。

1 **通話中に［✉］(メニュー）を押し、「切断／分割」を選択する**

2 **多者通話参加者一覧から、通話相手を選択する**

3 **［✉］(分割）を押す**

補足

- 操作3で［○］(切断)を押すと、その相手との通話が切断されます。
- 特定の相手と通話中の場合、その相手以外の通話は保留状態になります。保留／通話を切り替えたい場合は［○］(切替)を押します。
- 切り離した相手をもう一度多者通話に戻したい場合は、［✉］(メニュー)を押し、「多者通話」を選択します。

Vodafone live!

Vodafone live!をご利用になる前に

■ Vodafone live!とは

Vodafone live!（以下、ボーダフォンライブ!と表記）とは、ボーダフォンが提供する音声通話以外の通信サービスで、メール、ウェブ、Vアプリをご利用になれます。

各サービスの通信料は『3Gガイドブック』を参照してください。

■ メール

MMSやSMSを利用して、海外でも日本国内と同じようにメールのやりとりができます。

MMS（Multimedia Messaging Service）

ボーダフォン携帯電話やパソコン、メールに対応している携帯電話、PHSなどと、長い文字メッセージや画像、サウンド、ビデオなどの送受信ができます。

※ MMSのご利用には、別途ご契約が必要です。

SMS（Short Message Service）

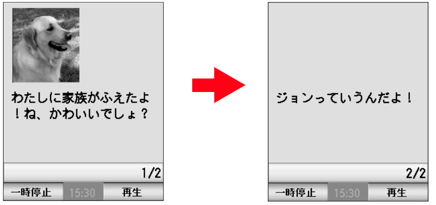
ボーダフォン携帯電話同士で、電話番号を宛先として短い文字メッセージの送受信ができます。

補足

- **リトライ機能について**
  相手が電源を切っていたり電波の届かないところにいる場合は、サービスセンターにメールが保管され、電波が届くようになると相手が受信するまで繰り返し配信します（リトライ）。
  詳細は、『3Gガイドブック』を参照してください。

▣ スライド作成

MMSでは、複数の画面を順番に表示するスライド形式でメールを作成できます。スライドごとに、文字メッセージ、画像、サウンド、ビデオを追加できます（☞P.20-6）。



補足

- **ビデオを添付した場合は**
  1つのスライドに画像またサウンドを同時に添付することはできません。

■ ウェブ

ウェブは、ボーダフォン携帯電話からいろいろなジャンルのコンテンツにアクセスして、情報を見たり画像やメロディをダウンロードしたりできるサービスです。インターネットのコンテンツへもアクセスできます。

※ ウェブのご利用には、別途ご契約が必要です。

メニューからアクセス

ボーダフォンライブ！のメニューから読みたい項目を選択して情報を入手できます。

インターネットアクセス

URLを入力してインターネットにアクセスし、情報を入手できます。

■ Vアプリ

Vアプリ（Java™対応アプリ）は、Java™で作られたボーダフォン携帯電話専用のアプリケーションです。

※ ウェブからダウンロードする場合や、ネットワーク接続型のVアプリを利用するには、別途ご契約が必要です。

Vアプリのダウンロード

ウェブを利用して、Vアプリを提供しているサイトからダウンロードできます。

Vアプリでできること

ネットワークに接続して、ゲームを楽しんだり、リアルタイムに情報を入手したりできます。

■ ネットワーク情報を取得する（ネットワーク自動調整）

ボーダフォンライブ!を利用するために、サービスセンターに接続してネットワーク情報を取得します。

1 メインメニューから （設定）→「接続設定」→「ネットワーク設定」→「ネットワーク自動調整」の順に選択する

2 (YES)を押す

メールアドレスの変更

パソコンなどとMMSを送受信するときのメールアドレスのアカウント名（@よりも前の部分）を変更できます。

出荷時のランダムな英数字によるアカウント名からお客さまのお好きな文字列に変更できます。

＜例＞
（変更前）xxxxxxxxxx@t.vodafone.ne.jp
↓
（変更後）vodafone_taro@t.vodafone.ne.jp

※ アカウント名は合計で99回までの変更ができます。ただし、24時間以内では3回までです。

※ アカウント名に登録可能な文字数及び文字の種類

文字数...........半角3文字以上30文字以内

文字の種類...半角英数字及び「 _ 」(アンダーバー)、「 - 」(ハイフン)、「 . 」(ピリオド)

※ 先頭の文字には英字を使用してください。

※ スペースは使用できません。

※ 大文字と小文字の識別はされません。
(例：VODAFONE=Vodafone=vodafone)

※ 「.」（ピリオド）をアカウント名（@よりも前の部分）の最後に使用することはできません。また、アカウント内で連続使用すると、一部のプロバイダとメールを送受信できない場合があります。

※ 弊社社名およびサービス名に関わるアカウント名は取得することができません。

1 （ ）を押す

2 「My Vodafone」を選択する

3 「各種変更手続き」を選択する

4 「オリジナルメール設定・各種メール設定」を選択する

5 暗証番号入力欄を選択する

6 交換機用暗証番号（☞P.1-29）を入力する

7 「OK」を押す

8 「各種メール設定」を選択する

9 「メールアドレス編集」を選択する

10 メールアドレス入力欄を選択する

11 希望のアカウント名を入力する

12 「OK」を押す

注意

- ウェブの情報が更新され、設定手順が変更されることがあります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.31-41）までお問い合わせください。

メール受信

新着メールの確認

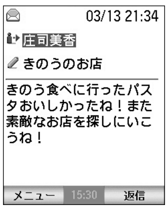
新着メールの受信はデスクトップアイコンで通知されます。

1 待受画面で◎を押し、新着メール受信のデスクトップアイコンを選択する



受信ボックス一覧画面

2 受信ボックスで新着メールを選択する



メッセージ画面

補足

- **自動振り分けを設定しているときは、受信ボックスの代わりにユーザフォルダが表示される場合があります。**
- **デスクトップアイコンの表示について**
  新着メールを受信したときに が表示されます。通知一覧をすべて確認するか、受信メールのメール一覧を表示すると は消えます。

■ サブディスプレイでメールを確認する

804Nを折り畳んだままでも、新着メールを確認することができます。メールを受信すると着信音が鳴り、サブディスプレイにメール受信を通知する画面が表示されます。サブディスプレイの「メール表示」をOnに設定している場合、電話帳の登録の有無によって、送信者の名前、またはアドレスが表示されます。



サブディスプレイの「メール表示」をOffに設定している場合は、送信者の名前とアドレスは表示されません（☞P.8-3）。



■ MMSの続きを受信する

新着のMMSが全角129文字以上またはファイルが添付されている場合、次のいずれかに当てはまるときは全角128文字（宛先、件名などを含む）までが配信され、残りのメッセージはサービスセンターのメールサーバに一時蓄積されます。※1

- 自動受信を設定していなかった場合※2
- 本体のメモリに空きがないとき※3
- TVコール中
- 外部機器を接続してパケット通信中のとき

※1 MMSがサービスセンターに蓄積されているとき、または未読のメールがある場合は、✉がディスプレイ上部に表示されます。

※2 MMSをサービスセンターに一時蓄積せず、自動で全文受信することもできます（☞P.23-3）。

※3 本体のメモリに空きがない場合は受信通知も受信できません。不要なメールやファイルを削除し、✉（✉）を押して「サーバメール」を行うと、メールを受信できます。

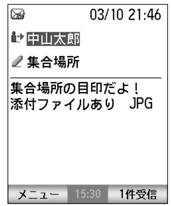
1 待受画面で◎を押し、受信通知アイコンを選択する

2 受信ボックスで✉の表示されている新着メールを選択する



受信ボックス一覧画面

3 ◯（1件受信）を押す



メッセージ画面

補足

- メールリストを利用して、MMSの続きを受信することもできます（☞P.22-2）。
- ローミング中の操作時に、ネットワークに接続する旨の確認メッセージが表示されたときは✉（YES）を押してください。

■ 受信したメールを利用する

受信したメールを使って、返信（☞P.21-6）、転送（☞P.21-7）をすることができます。

メール送信

メールの作成

作成したいメールタイプを選択し、メールを送信できます。

■ 送信できる文字数

メールタイプにより送信できる文字数は次のとおりです。

メールタイプ	送信できる文字数
MMS	全角約3,400文字／半角英数約10,000文字（添付ファイルと本文、件名などを合わせて300Kバイト未満）
SMS	全角または半角で70文字（140バイト未満）すべて半角英数で入力した場合は160文字

■ 入力項目

メールタイプにより入力できる項目は次のとおりです。

メールタイプ	項目			
	本　文	宛　先	件　名	添付ファイル
MMS	○	◎	○	○
SMS	○	◎	×	×

◎：必ず入力する

○：入力できる

×：入力できない

※ 添付ファイルを追加することで、スライド形式のメールを作成することができます。(☞P.18-2、P.20-6)



MMS作成画面



SMS作成画面

補足

- **宛先として入力できるのは**
  MMSは電話番号とメールアドレス、SMSは電話番号のみです。

■ メールの作成から送信まで

1 **待受画面で［✉］（✉）を押す、またはメインメニューから［✉］（メール）を選択する**

2 **「新規作成」を選択する**

3 **メールタイプを選択する**

4 **宛先を入力する**

5 **必要に応じて各項目を入力する**

6 **［◯］(送信)を押す**

■ メールタイプを選択する

メールタイプ画面でメールタイプを選択します。選択後はメール作成画面になります。

1 **待受画面で[メール]（[メール]）を押す**

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから[メール]（メール）を選択する

2 **「新規作成」を選択する**

3 **「MMS」または「SMS」を選択する**

■ 宛先を入力する

1 **メール作成画面で宛先入力欄にカーソルを移動し、●を押す**

2 **<New Address>を選択する**

3 **宛先を入力して●を押す**

宛先を追加する場合は

以下のいずれかの操作を行ってください。

・操作2、3を繰り返す

・[メール]（メニュー）を押し、「追加」を選択する

4 **CLEAR BACKまたは[O]（OK）を押し、メール作成画面に戻る**

補足

- SMSの宛先は1件のみ入力できます。
- **電話帳から宛先を引用する場合は**
  以下のいずれかの操作を行ってください。
  ・メール作成画面で宛先入力欄にカーソルを移動し、[O]（電話帳）を押す
  ・アドレス作成画面で<New Address>を反転表示して[メール]（メニュー）を押し、「電話帳を開く」を選択する
- **宛先追加について**
  MMSの宛先はCc、Bccを合わせて最大20件まで指定できます。Cc、Bccはメールのコピーを送信する相手に使用します。Ccに指定した相手の電話番号やメールアドレスは相手のメールに表示されますが、Bccに指定した相手の電話番号やメールアドレスは表示されません。
- **追加した宛先の種別（Cc/Bcc）を変更するには**
  ①宛先入力欄にカーソルを移動し、●を押す
  ②変更する宛先を反転表示して、[メール]（メニュー）を押し、「アドレス種別変更」を選択する
  ③種別を選択する

● **宛先を変更するには**
①宛先入力欄にカーソルを移動し、◉を押す
②変更する宛先を反転表示して、[✉]（メニュー）を押し、「変更」を選択する

● **宛先を削除するには**
①宛先入力欄にカーソルを移動し、◉を押す
②削除する宛先を反転表示して、[✉]（メニュー）を押し「削除」を選択する

■ 件名を入力する

1 メール作成画面で件名入力欄にカーソルを移動し、◉を押す

2 件名を入力する

3 ◉を押してメール作成画面に戻る

■ 本文を入力する

1 メール作成画面で本文入力欄にカーソルを移動し、◉を押す

2 本文を入力する

3 ◉を押してメール作成画面に戻る

■ 送信する

1 メール作成画面で[✉]（メニュー）を押し、「送信」を選択する

補足

● **送信を中止するには**
送信中画面で[CLEAR BACK]、[O]（中止）、[PWR]、のいずれかを押します。送信を中止したメールは下書きに保存されます。

▣ メール作成画面について

メール作成画面では、メニューを使って次の操作ができます。カーソルの位置、編集の状態により、表示される項目は異なります。

メニュー	内　容
編集	メールを編集します。
送信	メールを送信します。
保存	メールを下書きに保存します。
カメラ起動	カメラを起動し添付する静止画を撮影します。
ビデオ起動	カメラを起動し添付する動画を撮影します。
メールタイプ変更	メールタイプをSMSからMMSへ変更します。
送信オプション	優先度、配信確認、配信時間指定、有効期限を設定します。

メニュー	内　容
デルモジ表示	メール送信前に入力した内容を事前にデルモジ表示で確認できます。 デルモジ表示対応機にメールを送信する際にご利用ください。

ファイルの添付

画像、サウンド、ビデオなどのファイルをMMSに添付して送信します。メール1件につき、本文、宛先、件名と添付ファイルを合わせて300Kバイトまで送信可能です。

■ データフォルダからファイルを添付する

1 **メール作成画面でファイル添付欄にカーソルを移動し、●を押す**

2 **データフォルダから添付するファイルを選択する**

補足

- **添付ファイルの追加について**
  2つ以上のファイルを添付する場合、「スライド形式で作成」（☞P.20-6）または「テキスト形式で作成」を選択してから追加します。

注意

- **MMSに添付できるコンテンツは、著作権保護の利用権利（コンテンツ・キー）の種類により選択できないものがあります。**

▣ ファイル添付のメニューについて

ファイルがすでに添付されている場合、ファイル追加画面で添付ファイルを追加することができます。ファイル追加画面では、メニューを使って次の操作ができます。ファイルの添付状態により、表示される項目は異なります。

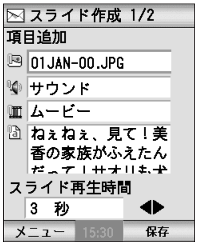
メニュー	内　容
変更	添付したファイルを別のファイルに変更します。
削除	添付したファイルを削除します。
追加	ファイルを添付します。
カメラ起動	添付する静止画を撮影します。
ビデオ起動	添付する動画を撮影します。
閲覧／再生	添付したファイルの内容を閲覧／再生します。

スライド作成

■ スライドを追加する

メール作成画面から2つ目のファイルを添付するときに、「スライド形式で作成」を選ぶことで、スライド作成画面が表示されます。

スライド作成画面から、前か後にスライドを追加したり、スライドの編集をすることができます。



スライド作成画面



プレビュー画面

1 すでに1つ目のファイルが添付されたメール作成画面で次に追加するファイルの添付操作をする

2 「スライド形式で作成」を選択する

3 データフォルダから追加するファイルを選択する

静止画を追加する場合は

「画像」を選択し、イメージファイル、もしくはカメラ起動を選択する

サウンドを追加する場合は

「サウンド」を選択し、データフォルダからファイルを選択する

動画を追加する場合は

「ムービー」を選択し、ビデオファイル、もしくはビデオ起動を選択する

本文を追加する場合は

「文章」を選択し、文字を入力する

4 [O]（保存）を押す

注意

- **相手がスライド表示に対応しているかどうか、あらかじめ確認してください。対応していない機種でスライド形式のメールを受信した場合、スライドとして作成された画像やサウンド、テキストデータは通常の添付ファイルになります。**
- **動画は、静止画またはサウンドと同じスライドに追加できません。動画を追加する場合は他のスライドに追加、もしくは静止画またはサウンドを削除してください。**

▣ スライド作成画面のメニューについて

スライド作成画面のメニューで次の操作ができます。

メニュー	内　容
項目削除	選択した項目から入力したデータやファイルを削除します。
新規スライド後追加	編集中のスライドの後に新規スライドを追加します。
新規スライド前追加	編集中のスライドの前に新規スライドを追加します。
スライドを削除	編集中のスライドを削除します。
スライドプレビュー	編集中のスライドをプレビューします。
プレビュー	全スライドをプレビューします。
スライドオプション	全スライドに対して詳細（文字色設定、背景色設定）を設定します。

■ スライドの間隔を設定する

次のスライドに移行するまでの時間を設定します。1～10秒の範囲で指定できます。

1　スライド作成画面でスライド再生時間の欄にカーソルを移動する

2　(◀O) (O▶) で時間を設定する

送信オプションの設定

「送信オプション」を利用すると、メールを送信するときに「メール設定」(☞P.23-4) で設定した次の項目の内容を変更できます。ここで設定した内容は、送信メール1件に対してのみ有効です。

項　目	内　容
優先度	受信側の対応機種により、優先度に応じた表示やソートができます。
配信確認	送信したメールが相手に届いたかどうかを通信レポートで確認します。
配信時間指定	メールを送信するまでの時間を設定します。送信操作後、メールは設定した時間が経過するまでメールサーバに保存されます。
有効期限	メールがメールサーバに保存される時間を設定します。設定した時間が経過するとメールサーバから削除されます。

1　メール作成画面で [✉]（メニュー）を押し、「送信オプション」を選択する

2　項目を選択し、設定操作をする

優先度を設定する場合は

①「優先度」を選択する

②設定を選択する

配信確認を設定する場合は

①「配信確認」を選択する

②設定を選択する

配信時間指定を設定する場合は

①「配信時間指定」を選択する

②設定を選択する

有効期限を設定する場合は

①「有効期限」を選択する

②設定を選択する

注意

- **有効期限を設定してもサーバに保存される最大時間を超えると、メールはメールサーバから自動的に削除されます。**
- **SMSは有効期限と配信確認のみ設定できます。**

作成メールの保存

メール作成を中断するときなどに、作成中のメールをメールボックス（☞P.21-2）の下書きに保存できます。下書きに保存したメールは、あとから編集の続きをして送信できます。

1　メール作成画面で［✉］（メニュー）を押し、「保存」を選択する

メールボックス

メールの内容確認

メールボックスとは、「受信ボックス」、「下書き」、「未送信ボックス」、「送信済みボックス」、「ユーザフォルダ」の各フォルダの総称です。
メールボックスの各フォルダには、次のようにメールが保存されます。

フォルダ	保存されるメール
受信ボックス	受信したメール
未送信ボックス	送信に失敗したメール
下書き	作成しているがまだ送信していないメール 送信中に中止したメール
送信済みボックス	送信が完了したメール
ユーザフォルダ※	自動振り分けされたメール 受信ボックスから手動で移動したメール

※ ユーザフォルダの中には10個のフォルダ(「ユーザフォルダ1」～「ユーザフォルダ10」)があります。これらのフォルダ名は変更できます。

■ メール一覧から確認する

1 待受画面で ✉ (✉) を押す

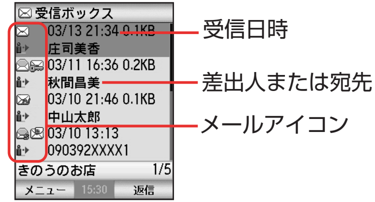
メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから ✉ (メール) を選択する

2 フォルダを選択する

3 メール一覧画面でメールを反転表示し、● を押す

■ メール一覧画面



受信ボックス一覧画面

メールアイコン:意味

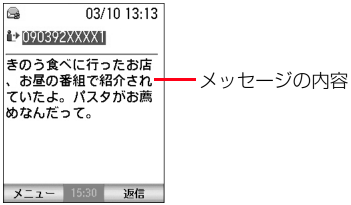
- ：未読メール
- ：既読メール
- ：返信したメール
- ：転送したメール
- ：保護されているメール
- ：添付ファイルのあるメール
- ：メールサーバに蓄積されている未受信メール
- ：優先度が「高」のメール
- ：SMS
- ：USIMカードに保存されているメール
- ：差出人であることを示すアイコン
- ：宛先であることを示すアイコン
- ：送信済みMMS
- ：送信済みMMS(配信確認あり)
- ：送信済みSMS
- ：送信済みSMS(配信確認あり)

補足

- 一番下の行に、メールの件数情報と、カーソルがあたっているMMSの件名が表示されます。

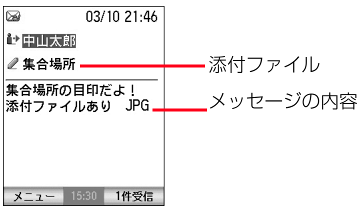
■ メッセージ画面からの操作

■ メッセージ画面



SMS、添付ファイルのないMMS

※ MMSでは件名も表示されます。



添付ファイルのあるMMS

※ 「自動再生設定」で「静止画」を「On」に設定している場合は、メッセージの後に画像が表示されます（☞P.23-3）。

■ スライドの表示

スライド形式のメールはメッセージ画面を表示すると、自動的に再生を開始します。

1 メール一覧画面でスライド形式のメールを反転表示し、● を押す

再生を一時停止する場合は

✉（一時停止）を押す

一時停止中に再び再生する場合は

✉（再開）を押す

はじめから再生する場合は

O（再生）を押す

補足

- **スライドを手動再生に変更するには**

  ①待受画面で✉（✉）を押す、またはメインメニューから✉（メール）を選択する

  ②「メール設定」→「MMS　設定」→「受信設定」→「自動再生設定」の順に選択し、「スライド」のチェックをはずす

  ③✉(OK)を押す

- **サウンド再生中に再生音を消すには**

  0～9、＊、＃のいずれかのボタンを押します。

■ メッセージ画面のメニューについて

メッセージ画面では、メニューを使って次の操作ができます。メールによって表示される項目は異なります。

メニュー	内　容
選択アイテムを表示	選択されている項目（アドレスなど）を表示します。
スライド保存	スライド形式のメールの添付ファイルとして保存します。
返信	差出人への返信メールの編集画面を開きます。
全員に返信	差出人および宛先全員への返信メールの編集画面を開きます。
転送	メールを他の宛先に転送します。
移動	メールを他のフォルダに移動します。
1件削除	選択されているメールを削除します。
アンカー操作	電話帳登録、ブックマーク追加、メール送信、音声電話、ＴＶコール、ブラウザ起動ができます。
メール詳細	メールの詳細情報を表示します。
文字サイズ	大、中、小の3種類から選択します。
前	前のメッセージを表示します。
次	次のメッセージを表示します。
デルモジ表示	絵文字やテキストを3Dグラフィック表示します。
保護／非保護	メールを誤って削除しないように保護します。保護されているメールの場合は保護が解除されます。

フォルダ管理

受信メールが保存できる10個のユーザフォルダがあり、受信メールを分類して保存できます。

■ フォルダ名を変更する

お買い上げ時、ユーザフォルダには「ユーザフォルダ1」～「ユーザフォルダ10」という名前が付けられています。この名前をわかりやすい名前に変更できます。

1 （ ）を押し、「ユーザフォルダ」を選択する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから（メール）→「ユーザフォルダ」の順に選択する

2 ユーザフォルダを反転表示して（メニュー）を押し、「フォルダ名編集」を選択する

3 フォルダ名を入力する

4 ◉を押す

■ メールを他のフォルダに移動する

1 ✉（✉）を押す

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから✉（メール）を選択する

2 フォルダを選択する

受信メールのメールを移動する場合は

「受信ボックス」を選択する

ユーザフォルダのメールを移動する場合は

「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

3 メールを反転表示して✉（メニュー）を押し、「移動」を選択する

4 移動先のフォルダを選択する

補足

- 受信ボックスのメールはユーザフォルダとUSIMカードへ移動できます。ただし、USIMカードへの移動はSMSのみです。
- ユーザフォルダのメールは他のユーザフォルダと受信ボックスへ移動できます。
- 画面上部にFULLが表示されたら、SMSをUSIMカードへ移動することはできなくなりますのでご注意ください。

■ メールを指定したフォルダに自動的に振り分ける

受信メールのメールアドレスによって指定したフォルダに自動的にメールを振り分けることができます。

1 ✉（✉）を押す

2 ユーザフォルダの自動振り分けしたいフォルダを反転表示する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから✉（メール）を押し、自動振り分けをしたいユーザフォルダを選択する

3 ✉（メニュー）を押し、「振り分け設定」を選択する

振り分け条件を追加するには

①✉（メニュー）を押し、「追加」を選択する

②アドレスを入力する

電話帳を参照するには

①✉（メニュー）を押し、「電話帳を開く」を選択する

振り分け条件を削除するには

①アドレスを反転表示する

②[メール]（メニュー）を押し、「削除」を選択する

振り分け条件をすべて削除するには

①[メール]（メニュー）を押し、「全削除」を選択する

振り分け条件を変更するには

①アドレスを反転表示する

②[メール]（メニュー）を押し、「変更」を選択してアドレスを変更する

補足

- 振り分けは、ユーザフォルダに設定したアドレスを用いて、受信したアドレスの前方一致で行います。
２つ以上のユーザフォルダで条件が一致した場合には、先に条件を設定したユーザフォルダへ振り分けられます。

メールの返信

返信で自動的に作成されるメールは次のようになります。

項　目	内　容
本文	入力されません。
宛先	受信メールの差出人が自動的に入力されます。
件名（MMSのみ）	先頭に「Re:」を付加した件名が自動的に入力されます。

1 [メール]（[メール]）を押す

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから[メール]（メール）を選択する

2 フォルダを選択する

受信ボックスのメールに返信する場合は

「受信ボックス」を選択する

ユーザフォルダのメールに返信する場合は

「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

3 メールを反転表示して[メール]（メニュー）を押し、「返信」を選択する

送信元と宛先全員に返信する場合は

「全員に返信」を選択する

4 メールタイプの選択画面が表示されたら、メールタイプを選択する

5 メールを作成し、送信する

補足

- 「返信」を選ぶと、メールタイプの選択画面が表示されます。ただし、送信先のアドレスがE-mailアドレスだったときは選択画面が表示されず、MMS作成画面になります。

メールの転送

受信メールを他の宛先に転送できます。転送で自動的に作成されるメールは次のようになります。

項　目	内　容
本文	もとのメールの本文が引用されます。
宛先	何も入力されません。
件名（MMSのみ）	先頭に「Fw:」を付加した件名が自動的に入力されます。
添付ファイル（MMSのみ）	もとのメールに添付されてきたファイルが、転送不可のものを除きすべて添付されます。

1 ✉（✉）を押す

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから ✉（メール）を選択する

2 フォルダを選択する

受信メールを転送する場合は

「受信ボックス」を選択する

ユーザフォルダのメールを転送する場合は

「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

3 メールを反転表示する

4 ✉（メニュー）を押し、「転送」を選択する

5 メールを作成し、送信する

補足

- 「転送」を選ぶと、メールタイプは転送元のメールと同じになります。ただし、元のメールがSMSで送信できないメールだった場合は、MMS作成画面となります。

未送信ボックスからのメール送信

1 ✉（✉）を押し、「未送信ボックス」を選択する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから ✉（メール）→「未送信ボックス」の順に選択する

2 メールを反転表示し、● を押す

3 メール作成画面で ✉（メニュー）を押し、「送信」を選択する

- **送信する前に未送信メールを編集するには**

  メール一覧画面でメールを反転表示し、✉（メニュー）を押し「編集」を選択します。

メールの保護

メールを削除できないように保護します。保護されたメールにはメール一覧でが表示されます。

1 **（ ）を押す**

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから（メール）を選択する

2 **フォルダを選択する**

受信メールを保護する場合は

「受信ボックス」を選択する

送信済みメールを保護する場合は

「送信済みボックス」を選択する

ユーザフォルダのメールを保護する場合は

「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

3 **保護したいメールを選択をする**

4 **（メニュー）を押し、「保護／非保護」を選択する**

補足

- 操作３で選択したメールがすでに保護されている場合は、保護が解除されます。

注意

- 未送信メール、下書きは保護できません。
- メモリリセットやオールリセットを行なった場合、USIM カードに保存されたSMSメールを除き、たとえ保護されたメールでもすべて削除されます。

メールの削除

■ メールを指定して削除する

1 **（ ）を押す**

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから（メール）を選択する

2 **メールボックスを選択する**

受信メールを削除する場合は

「受信ボックス」を選択する

送信済みメールを削除する場合は

「送信済みボックス」を選択する

ユーザフォルダのメールを削除する場合は
「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

下書きを削除する場合は
「下書き」を選択する

未送信メールを削除する場合は
「未送信ボックス」を選択する

3 メールを選択する

4 ✉（メニュー）を押し、「1件削除」を選択する

■ メールボックス内、フォルダ内のメールをすべて削除する

メールボックスごと、またはフォルダごとに一括してメールを削除します。

1 ✉（✉）を押す

メインメニューを使って操作する場合は
メインメニューから✉（メール）を選択する

2 メールボックス／フォルダを選択する

受信メールを削除する場合は
「受信ボックス」を選択する

未送信メールを削除する場合は
「未送信ボックス」を選択する

送信済みメールを削除する場合は
「送信済みボックス」を選択する

ユーザフォルダのメールを削除する場合は
「ユーザフォルダ」を選択し、フォルダを選択する

下書きを削除する場合は
「下書き」を選択する

3 ✉（メニュー）を押し、「全削除」を選択する

4 操作用暗証番号を入力する

補足

- **保護されているメールがあるときは**
  保護されているメールは削除されません。
- **全メールボックス、フォルダのメールをすべて削除するには**
  ①✉（✉）を押す
  ②✉（メニュー）を押し、「メール全削除」を選択する
  ③操作用暗証番号を入力する
  ただし、USIMカード内のSMSは削除されません。

メール内の電話番号／メールアドレス／URLの利用

メール本文に含まれる電話番号、メールアドレス、URLで反転表示できるもののみ電話帳登録や発信、メール送信、インターネットアクセスに利用できます。

■ 電話帳に登録する

1 メール詳細画面で電話番号またはメールアドレスを反転表示する

2 [メールキー]（メニュー）を押し、「アンカー操作」を選択する

3 「電話帳登録」を選択し、電話帳登録の操作をする（☞P.5-3）

■ 電話発信／メール送信／インターネットアクセスを行う

1 メール詳細画面で電話番号、メールアドレス、URLの利用操作をする

電話／TVコールをかける場合は

①電話番号を選択する

②「電話発信」または「TVコール発信」を選んで発信する

メールを送信する場合は

①メールアドレスを選択する

②メールを作成して送信する

電話番号からメールを送信する場合は

①電話番号を反転表示して、[メールキー]（メニュー）を押す

②「アンカー操作」→「アドレス選択送信」の順に選択する

③メッセージタイプをを選択し、メールを作成して送信する

インターネットアクセスをする場合は

URLを反転表示して[決定キー]を押す

ブックマークに登録するには

①URLを反転表示して[メールキー]（メニュー）を押し、「アンカー操作」を選択する

②「ブックマークへ登録」を選択する

補足

- **「ブラウザ起動」実行時の動作について**
  選択したURLによっては（「rtsp://」ではじまる半角英数記号の文字列など）、動画や音声、音楽などのストリーミング再生を開始します（☞P.25-3）。

添付ファイルの利用

■ 添付ファイルを確認する

受信MMSに添付されている画像やサウンドなどのファイルを、個別に表示、再生します。

1 メール詳細画面で添付ファイルを反転表示し、[✉](メニュー)を押す

2 「選択アイテムを表示」を選択する

添付ファイルが複数ある場合は

①添付ファイル一覧から確認したいファイルを反転表示して[✉](メニュー)を押す

②「閲覧/再生」を選択する

補足

- **再生時にコンテンツ・キーが必要な添付ファイルは、いったんデータフォルダに保存した後、コンテンツ・キー取得の操作を行ってください(☞P.25-3)。**

■ データフォルダに保存する

1 メール詳細画面で添付ファイルを反転表示して[✉](メニュー)を押し、「選択アイテムを表示」を選択する

2 添付ファイル一覧画面で添付ファイルを反転表示して[✉](メニュー)を押し、「保存」を選択する

補足

- **同じファイル名のデータがすでにある場合は**
  自動的にファイル名へ連番を付加して保存されます。

メール一覧画面からの操作

■ メールを並べ替える

メールの一覧画面を日時とアドレスで並べ替えることができます。

1 [メールキー]（[メールボタン]）を押す

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから[メールアイコン]（メール）を選択する

2 **フォルダを選択する**

3 [メールキー]（メニュー）を押し、「ソート」を選択する

4 **項目を選択する**

受信日時で並べ替える場合は

「日付」欄の「↑」（昇順）「↓」（降順）のいずれかを選択する

差出人で並べ替える場合は

「アドレス」欄の「↑」（昇順）「↓」（降順）のいずれかを選択する

▣ メール一覧画面のメニューについて

メール一覧画面では、メニューを使って次の操作ができます。メールボックスによって表示される項目は異なります。

● 受信ボックス／ユーザフォルダ一覧画面のメニュー

メニュー	内　容
開く	メール詳細画面を開きます。
返信	差出人への返信メールの編集画面を開きます。
全員に返信	差出人および宛先全員への返信メールの編集画面を開きます。
転送	メールを転送します。
移動	メールを他のフォルダ、USIMカード（SMSのみ）へ移動します。
1件削除	メールを1件削除します。
全削除	メールを全件削除します。
ソート	日時または差出人順にメール一覧を並べ替えます。
フィルタ	表示／既読／未読／SMS／MMS／MMS通知／優先度高の7タイプで、指定したタイプのメールのみ一覧表示します。
未読／既読切替	受信メールの未読／既読状態を変更します。
保護／非保護	メールを誤って削除しないように保護します。保護されているメールの場合は保護が解除されます。

● 下書き／未送信ボックス一覧画面のメニュー

メニュー	内　容
編集	メールを編集します。
1件削除	メールを1件削除します。
全削除	メールを全件削除します。
ソート	日時またはアドレス順にメール一覧を並べ替えます。
フィルタ	表示／SMS／MMS／優先度の4タイプで、指定したタイプのメールのみ一覧表示します。

● 送信済みボックス一覧画面のメニュー

メニュー	内　容
開く	メール詳細画面を開きます。
編集	メールを編集します。
移動	SMSをUSIMカードへ移動します。
1件削除	メールを1件削除します。
全削除	メールを全件削除します。
ソート	日時またはアドレス順にメール一覧を並べ替えます。
フィルタ	表示／SMS／MMS／優先度の4タイプで、指定したタイプのメールのみ一覧表示します。
配信レポート表示	配信されたレポートを表示します。
保護／非保護	メールを誤って削除しないように保護します。保護されているメールの場合は保護が解除されます。

■ フォルダ一覧画面のメニューについて

ユーザフォルダのフォルダ一覧画面では、メニューを使って次の操作ができます。

メニュー	内　容
開く	ユーザフォルダを開きます。
フォルダ名編集	フォルダ名を変更します。
振り分け設定	メール受信時に差出人のアドレスまたは電話番号によって、自動的に特定のユーザフォルダに振り分けるように設定します。

メールサーバ

メールリストの利用

新着のMMSが全角129文字以上またはファイルが添付されている場合、次のいずれかに当てはまるときは全角128文字まで（宛先、件名などを含む）が配信され、残りのメッセージはサービスセンターのメールサーバに一時蓄積されます。※1

- 自動受信を設定していなかった場合※2
- 本体のメモリに空きがないとき※3
- TVコール中
- 外部機器を接続してパケット通信中のとき

※1 MMSがサービスセンターに蓄積されているとき、または未読のメールがある場合は、✉がディスプレイ上部に表示されます。

※2 MMSをサービスセンターに一時蓄積せず、自動で全文受信することもできます（☞P.23-3）。

※3 本体のメモリに空きがない場合は受信通知も受信できません。不要なメールやファイルを削除し、✉（✉）を押して「サーバメール」の操作を行うと、メールを受信できます。

メールサーバに保存されているMMSの一覧（メールリスト）を取得すると、蓄積されているメールの受信、削除、転送などの操作ができます。

メールサーバに保存される時間については、『3Gガイドブック』を参照してください。

■ メールリストを取得する

1 ✉（✉）を押し、「サーバメール」を選択する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから✉（メール）→「サーバメール」の順に選択する

2 確認画面で✉（YES）を押す

補足

- **すでに取得したメールリストが存在するときは**
  操作1で、メールリストを取得し直さずに表示できます。
- **メールサーバの使用状況を確認するには**
  サーバメール画面で✉（メニュー）を押し、「サーバメール容量」を選択します。最新の内容に更新する場合は、続けて✉（更新）を押します。

▣ サーバメールのメニューについて

次の操作ができます

メニュー	内　容
転送	サーバに保存されているメールを他の宛先に転送します。
1件削除	「サーバから削除」と「一覧から削除」（メールリストから削除）を選択できます。
全削除	メールリストと、サーバ上のメールを全て削除できます

22

メールサーバ

メニュー	内　容
メールリスト受信	サーバ上のメールをリストとして表示します。
MMS本文受信	受信出来ず、サーバ上に保存されているメールの本文等を受信します。
全メール受信	サーバ上に保存されている全てのメールを受信します。
メール詳細	メールの詳細情報として「受信日時」「送信者」「表題」「サイズ」が表示されます。
サーバメール容量	メールサーバの使用状況を表示します。

■ メールリストからMMSを受信する

1 **メールリストを表示する**

2 **MMS を反転表示して✉（メニュー）を押し、「MMS本文受信」を選択する**

補足

- **メールリストのMMSをすべて受信するには**
  ①メールリストを取得する
  ②サーバメール画面で✉（メニュー）を押し、「全メール受信」を選択する
  「全メール受信」を行った場合でも、すべてのMMSを受信できないときがあります。その場合は、手順①②の操作を繰り返してください。

■ メールリストを利用してサーバ内のMMSを削除する

サーバから削除したMMSは受信できなくなります。

1 **メールリストを表示する**

2 **MMS を反転表示して✉（メニュー）を押し、「1件削除」を選択する**

サーバ上のメールおよびリストを削除する場合は
「サーバから削除」を選択する

サーバメールリストから削除する場合は
「一覧から削除」を選択する

3 **✉（YES）を押す**

補足

- **メールリストのMMSと、メールリストに受信しているサーバ上のメールをすべて削除するには**
  ①メールリストを取得する
  ②サーバメール画面で✉（メニュー）を押し、「全削除」を選択する
  ③操作用暗証番号を入力し、✉（OK）を押す
  ④✉（YES）を押す
  「全メール受信」を行った場合でも、すべてのMMSを受信できない場合があります。その場合は、手順①から④の操作を繰り返してください。

サーバ内のメール転送

転送で表示されるメッセージは次のようになります。

項　目	内　容
本文	もとのMMSの本文が引用されます。
宛先	何も入力されません。
件名	もとのMMSの件名が自動的に入力されます。
添付ファイル	もとのMMSに添付されていた添付ファイルが、転送不可のものを除きすべて送付されます。

1 **メールリストを表示する**

2 **MMS を反転表示して［✉］（メニュー）を押し、「転送」を選択する**

3 **宛先を入力し、送信する**

メールのその他設定

MMS／SMSの表示設定

■ スクロール単位を設定する

メッセージ画面のスクロール単位を選択します。

［お買い上げ時］ ■1行

1 ✉（✉）を押し、「メール設定」→「表示設定」→「スクロール設定」の順に選択する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから✉（メール）→「メール設定」→「表示設定」→「スクロール設定」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 冒頭文／署名／引用符を設定する

［お買い上げ時］ ■挿入しない

1 ✉（✉）を押し、「メール設定」→「表示設定」の順に選択する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから✉（メール）→「メール設定」→「表示設定」の順に選択する

2 必要に応じて「冒頭文」、「署名設定」、「引用符」を選択する

3 「挿入する」または「挿入しない」を選択し、●を押す

「挿入する」を選択した場合

①入力欄にカーソルを合わせて●を押す
②冒頭文／署名／引用符を入力して●を押す
③✉（OK）を押す

■ 文字のサイズを設定する

メッセージ画面の本文の文字サイズを「大」、「中」、「小」から選択します。

［お買い上げ時］ ■中

1 ✉（✉）を押し、「メール設定」→「表示設定」→「文字サイズ」の順に選択する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから✉（メール）→「メール設定」→「表示設定」の順に選択する

2 文字サイズを選択する

MMS設定

■ 自動受信を設定する

MMSの全文を自動で受信するように設定します。自動受信しない場合、日本国内（ホーム）ではメールの一部を、ローミング中は受信通知のみを受信します。

［お買い上げ時］ ■ホーム：手動、ローミング時：手動

1 （ ）を押し、「メール設定」→「MMS設定」→「受信設定」→「自動受信設定」の順に選択する

メインメニューを使って送信設定を呼び出すには

メインメニューから（メール）→「メール設定」→「MMS設定」→「受信設定」→「自動受信設定」の順に選択する

2 「ホーム」「ローミング時」それぞれのチェックボックスにチェックをいれる

自動受信しない場合は

チェックボックスのチェックを外す

■ 自動再生を設定する

受信メールに静止画、サウンド、スライドが添付されていた場合に、メールを開くと自動的に再生するかどうかを設定します。

［お買い上げ時］ ■静止画：On、サウンド：Off、スライド：On

1 （ ）を押し、「メール設定」→「MMS設定」→「受信設定」→「自動再生設定」の順に選択する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから（メール）→「メール設定」→「MMS設定」→「受信設定」→「自動再生設定」の順に選択する

2 「静止画」、「サウンド」、「スライド」それぞれのチェックボックスにチェックを入れる

自動再生しない場合は

チェックボックスのチェックを外す

■ MMSの作成モードを設定する

MMS標準でないファイルの添付と追加の際に制限をするかしないかを設定します。設定により、ファイル添付の操作が次のようになります。

［お買い上げ時］ ■制限なし

MMS作成モードの設定	添付ファイルの操作
制限あり	MMS標準のファイルのみ添付または追加できます。
制限なし	MMS標準のファイルも、それ以外のファイルも添付または追加できます。

1 ［✉］（✉）を押し、「メール設定」→「MMS設定」→「MMS作成モード」の順に選択する

メインメニューを使って送信設定を呼び出すには

メインメニューから✉（メール）→「メール設定」→「MMS設定」→「MMS作成モード」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

- **MMS標準ファイルとは**
  JPEG、GIF、WBMP、3GPP（音声AMR）、SP-MIDI、vCalendar、vCardです。

■ 配信確認を設定する

MMSを送信したとき相手に配信されたかどうかの通信レポートを要求するか設定します。

［お買い上げ時］ ■レポートなし

1 ［✉］（✉）を押し、「メール設定」→「MMS設定」→「配信確認」の順に選択する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから✉（メール）→「メール設定」→「MMS設定」→「配信確認」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 配信確認応答を設定する

配信確認が設定されたMMSを受信したとき、相手に通信レポートを送信するかどうかを設定します。

［お買い上げ時］ ■許可する

1 ［✉］（✉）を押し、「メール設定」→「MMS設定」→「配信確認応答」の順に選択する

メインメニューを使って送信設定を呼び出すには

メインメニューから✉（メール）→「メール設定」→「MMS設定」→「配信確認応答」の順に選択する

2 設定を選択する

■ MMSの有効期限を設定する

送信したMMSが、メールサーバに保存される時間を設定します。設定した時間が経過するとメールサーバから削除されます。

［お買い上げ時］ ■指定しない

1 (✉)を押し、「メール設定」→「MMS設定」→「有効期限」の順に選択する

メインメニューを使って送信設定を呼び出すには

メインメニューから✉（メール）→「メール設定」→「MMS設定」→「有効期限」の順に選択する

2 **設定を選択する**

■ 配信時間指定を設定する

MMSを送信するまでの時間を設定します。送信操作後、MMSは設定した時間が経過するまでメールサーバに保存されます。

［お買い上げ時］ ■すぐに配信

1 (✉)を押し、「メール設定」→「MMS設定」→「配信時間指定」の順に選択する

メインメニューを使って送信設定を呼び出すには

メインメニューから✉（メール）→「メール設定」→「MMS設定」→「配信時間指定」の順に選択する

2 **設定を選択する**

SMSの設定

■ 配信確認を設定する

SMSを送信したとき、相手に配信されたかどうかの通信レポートを要求するか設定します。

［お買い上げ時］ ■リクエストしない

1 (✉)を押し、「メール設定」→「SMS設定」→「配信確認」の順に選択する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから✉（メール）→「メール設定」→「SMS設定」→「配信確認」の順に選択する

2 **設定を選択する**

■ SMSの有効期限を設定する

SMSが、メールサーバに保存される時間を設定します。設定した時間が経過するとメールサーバから削除されます。

［お買い上げ時］ ■指定しない

1 （ ）を押し、「メール設定」→「SMS設定」→「有効期限」の順に選択する

メインメニューを使って送信設定を呼び出すには

メインメニューから（メール）→「メール設定」→「SMS設定」→「有効期限」の順に選択する

2 設定を選択する

■ SMSメッセージセンターの番号を変更する

SMSメッセージセンターの番号を変更できます。ボーダフォンからSMSメッセージセンターの番号変更のお知らせがないかぎり変更しないでください。SMSメッセージセンターの番号を誤って変更すると、SMSの送信ができなくなります。SMSメッセージセンターの番号はUSIMカードに登録されます。お買い上げ時の設定に戻す機能はありませんので、ご注意ください。

［お買い上げ時］ ■+819066519300

1 （ ）を押し、「メール設定」→「SMS設定」→「SMSメッセージセンター」の順に選択する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから（メール）→「メール設定」→「SMS設定」→「SMSメッセージセンター」の順に選択する

2 を押し、SMSメッセージセンターの番号を入力する

3 を押し、（OK）を押す

デルモジ表示の設定

デルモジ表示とは、テキスト中の単語や絵文字、顔文字などに対応して最大150文字まで3Dアニメーションが表示される機能です。デルモジ表示の条件や背景色を設定できます。

［お買い上げ時］■デルモジ表示：未読メールのみ表示、表示色設定：白

1 ［✉］（［✉］）を押し、「メール設定」→「表示設定」→「デルモジ表示設定」の順に選択する

メインメニューを使って操作する場合は

メインメニューから［✉］（メール）→「メール設定」→「表示設定」→「デルモジ表示設定」の順に選択する

2 「デルモジ表示」または「表示色設定」を選択する

3 項目を選択する

補足

- **「デルモジ表示」で選択できる項目について**
  「常に表示」、「未読メールのみ表示」、「Off」
- **「表示色設定」で選択できる項目について**
  「白」、「水色」、「黄色」、「ローズ」、「緑」、「青」
- **デルモジ表示対応機にメールを送信する場合は**
  メール作成画面で［✉］（メニュー）→「デルモジ表示」の順に選択すると、メールを3Dアニメーション表示で確認できます。
  ただしスライド形式のMMS、本文のないSMS/MMS、MMS通知、配信レポートはデルモジ表示されません。

メールの初期化

■ メール設定をお買い上げ時の状態に戻す

メール設定やユーザフォルダの名前を初期状態に戻します。

1 ［✉］（［✉］）を押し、「メール設定」→「メール設定リセット」の順に選択する

2 操作用暗証番号を入力し、［✉］（OK）を押す

3 確認画面で［✉］（YES）を押す

注意

- SMSメッセージセンターおよびSMS有効期限の設定は、設定リセットをしてもお買い上げ時の設定には戻りません。

▣ 初期化する設定内容

メニュー	項　目
表示設定	スクロール設定／冒頭文／署名設定／引用符／文字サイズ／デルモジ表示設定
MMS設定	受信設定／MMS作成モード／配信確認／配信確認応答／有効期限／配信時間指定
SMS設定	配信確認

ウェブの基本操作

ウェブをご利用になる前に

■ TLS／SSL

TLS(Transport Layer Securityの略)、SSL（Secure Socket Layerの略）とは、インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法で、一般的にはクレジットカードの番号や個人情報など、大切な情報を送受信するときに使用されます。

804Nには、このTLS／SSLに使用する認証機関から発行された電子的な証明書（ルート証明書）があらかじめ登録されており、内容を確認できます。

▣ TLS／SSL利用に関するご注意

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任においてTLS／SSLを利用することに同意されたものとします。
お客様自身によるTLS／SSLの利用に際し、ボーダフォンおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、日本ボルチモアテクノロジーズ株式会社、エントラストジャパン株式会社は、お客様に対しTLS／SSLの安全性等に関して何ら保証を行うものではありません。万一何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承願います。

■ キャッシュ（一時保存用のメモリ）

ウェブで入手した情報は、メモリに一時的に保存されます(キャッシュ)。キャッシュに保存されている情報は、ウェブを終了したり電源を切っても消去されませんが、あらかじめ設定されている容量を超えると古いものから順に自動的に消去されます。有効期限が設定されている情報は、有効期限を過ぎるとキャッシュから消去されます。

「ブラウザキャッシュクリア」を実行すると、手動でキャッシュを消去できます。

一度見た情報画面を再度表示すると、サービスセンター内の情報ではなく、キャッシュに保存されている情報の画面が表示されることがあります。

ウェブへのアクセス

■ メニューからアクセスする

ボーダフォンライブ！のメニューから読みたい項目を選択し、情報のサイトにアクセスします。

1 **（ ）を押す**

2 **項目を選択する**

補足

- **メインメニューからボーダフォンライブ！のメニューを表示するには**
  メインメニューから（Vodafone live!）→「Vodafone live!」の順に選択します。

- **セキュリティで保護されている情報画面の表示**
  TLS／SSL通信対応の情報画面を表示しようとすると、TLS／SSL 通信対応の開始画面が表示されます。中止する場合は、（キャンセル）を押してください。TLS／SSL対応の情報画面には「」が表示されます。



■ URLを入力してアクセスする

URLを直接入力し、情報画面にアクセスします。

入力したURLはアクセス履歴として保持されます。

1 メインメニューから（Vodafone live!）→「URL入力」の順に選択する

2 「インターネットアドレス」を選択して、を押す

3 URLを入力する

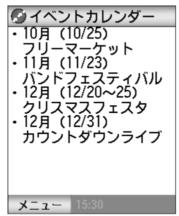
4 （OK）を押す

補足

- **情報表示中にURLを入力して別のサイトにアクセスするには**
  （メニュー）を押し、「URL入力」を選択します。

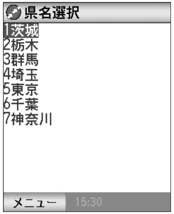
情報画面の操作のしかた

情報画面では、次のボタンを使って操作します。



- ：カーソルを移動する、または画面をスクロールする
- ：カーソルを下のメニューに移動する
- ：カーソルを上のメニューに移動する
- サイドボタンの／：画面をスクロールする

● CLEAR BACK：前の画面に戻る
　　　　メロディの再生を停止する



■ 情報画面のメニューについて

情報画面ではメニューを使って次の操作ができます。

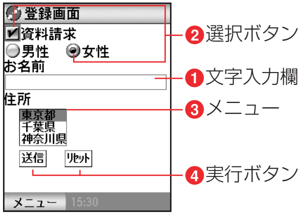
メニュー	内　容
進む	閲覧した情報画面はアクセス履歴として記録し、再読み込みせずに次の画面に進みます。(次に情報画面がある場合)
電話帳登録	情報画面に表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。
ブックマーク	情報画面のURLや情報画面にリンクしているURLをブックマークに登録したり、登録されているブックマークを利用してウェブにアクセスします。
URL入力	URLを直接入力してウェブにアクセスします。
アクセス履歴	アクセス履歴を表示します。
お気に入り登録	情報画面をお気に入りとして登録できます。
アクション	情報画面に表示されている文字列の検索やコピーをします。また、情報画面の画像やメロディの保存や再生をします。
メール送信	情報画面のURL、あるいは画像のURLや画像ファイルをメールに挿入して送信します。
更新	表示中の情報画面を最新の内容に更新します。
ページ設定	情報画面の文字コード、画面スクロール量、文字サイズを設定します。また、表示中の情報画面で認証された証明書やページの詳細情報を表示します。
ブラウザ設定	画像やサウンドの取得、セキュリティの設定などブラウザを設定します。

情報画面のメニューでは、項目を次の2通りの操作で選択できます。

● で項目を反転表示し、を押す
● 項目の左に表示される数字ボタンを押す



■ 文字入力／項目選択



❶文字入力欄

　にカーソルを合わせて ● を押すと、文字が入力できる状態になります。

❷選択ボタン

（ラジオボタン）にカーソルを合わせ ● を押すと、 に変わります。

❸メニュー

メニューにカーソルを合わせ ● を押すと、項目が選択できるようになります。

❹実行ボタン

　にカーソルを合わせ ● を押すと、送信や取り消しなどの動作を実行します。

■ 認証

情報画面によっては、認証が必要なものがあります。認証を要求する画面が表示されたら、文字入力欄を選択し、ユーザIDやパスワードを入力してください。



■ ファイルアップロード

804Nに保存されているファイルをアップロードするときは、次のように操作します（転送不可ファイルを除く）。

1 アップロードできる情報画面で「参照」などの実行ボタンを選択する

2 データフォルダからファイルを選択する

3 「送信」などの実行ボタンを選択する

■ 情報内の電話番号／メールアドレス／URLを利用する

情報画面に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは、それを利用して電話をかける、MMSを作成する、ウェブにアクセスするなどの操作ができます。

利用できる電話番号、メールアドレス、URLにはアンダーラインが付いています。

1 情報画面を表示する

2 電話番号、メールアドレス、URLを選択し、電話、メール、ウェブの操作をする

電話／TVコールをかける場合は

①電話番号を選択する

②電話またはTVコールを発信する(☞P.2-2、P.6-2)

※ 電話発信確認画面が表示されたときに[#]を押すと、発信者番号の通知／非通知を切り替えることができます。

電話帳に電話番号を登録する場合は

①電話番号を選択する

②「電話帳登録」を選択する（☞P.5-2）

MMSを作成する場合は

①メールアドレスを選択する

②MMSを作成、送信する（☞P.20-2）

ウェブにアクセスする場合は

URLを選択する（☞P.24-2）

注意

- **TVコールをかけられるのは、お気に入りから情報画面を表示したときのみです。通信中はかけられません。**

情報の利用

画像ファイルの利用

■ データフォルダに保存する

情報画面の画像ファイルをデータフォルダに保存できます。保存した画像ファイルは、待受画面などに設定できます。

1 **情報画面を表示する**

2 **[✉](メニュー)を押し、「アクション」→「オブジェクト」の順に選択する**

3 **画像ファイルを選択する**

4 **「保存」を選択する**

5 **[✉](OK)を押す**

補足

- **メディアプレイヤーによる画像の表示**
  メディアプレイヤーを起動し、画像を選択して表示します（☞P.10-8）。
- **ファイル名や保存先を変更する場合は**
  操作5で[o](変更)を押します。

メロディファイルの利用

情報画面にサウンド（メロディ）が含まれているときは、再生したりデータフォルダに保存したりできます。保存したメロディは着信音などに利用できます。

■ メロディを再生する

1 **情報画面を表示する**

2 **[✉](メニュー)を押し、「アクション」→「オブジェクト」の順に選択する**

3 **メロディファイルを選択する**

4 **「再生」を選択する**

補足

- **メロディの再生音量は**
  着信音量の「音声電話／TVコール」で設定されている音量で再生されます。マナーモードが設定されているときは、マナーモードの設定が優先されます。ウェブで再生中にメロディの音量を調節することはできません。
- **ミュージックプレイヤーによるメロディの再生**
  ミュージックプレイヤーを起動し、メロディを選択して再生します（☞P.10-3）。

■ データフォルダに保存する

1 **情報画面を表示する**

2 **[✉](メニュー)を押し、「アクション」→「オブジェクト」の順に選択する**

3 **メロディファイルを選択する**

4 **「保存」を選択する**

5 **[✉](OK)を押す**

各種ファイルの利用

■ コンテンツ・キーを含むデータの利用

著作権保護されているコンテンツは、ダウンロードを行なったあとに「コンテンツ・キー」を取得します。再生の際には、この「コンテンツ・キー」が必要になります。

補足

- 情報画面のリンク元をクリックすることでダウンロードできるコンテンツもあります。
- コンテンツ・キーを取得していないデータを再生しようとすると、権利取得を行う画面が表示されます。その画面からコンテンツ・キーを取得することもできます。
- データのダウンロード時にコンテンツ・キーが取得できず、遅れたタイミングで受信することがあります。この場合は、デスクトップアイコンとしてコンテンツ・キー着信が通知されます。
- コンテンツ・キーは2,000件保存可能です。保存件数を超える場合は、削除するためのアプリケーションが起動しますので、それに従って削除をしてください。また、コンテンツ・キーを削除する必要がある場合は、デスクトップアイコンとして表示されます。
- 本体メモリの空きがなくメールを受信できない場合、コンテンツ・キーの受信ができません。不要なメールを削除するなどしてからコンテンツ・キーの取得を行ってください。

■ ストリーミング対応コンテンツの利用

動画や音声、音楽（メロディ）の中には、データをダウンロードしながら再生するもの(ストリーミング対応コンテンツ)があります。以下の手順で再生します。

1 **情報画面を表示中に、再生するデータを選択する**

補足

- 自動的にメディアプレイヤーを起動して再生します（☞P.10-8)。
- メールなどの本文に「rtsp://」ではじまる半角英数記号の文字列（URL）が含まれている場合に、そのURLの利用操作（☞P.21-10）を行なうとストリーミング再生を開始する場合があります。
- ストリーミング対応コンテンツご利用中は、再生を停止していても通信は継続されますので、パケット通信料が発生します。

お気に入り

■ お気に入りに登録する

残しておきたい情報やあとで見直したい情報は、お気に入りに登録しておくと簡単に表示できます。お気に入りは情報を画面ごと保存するため、表示するときに通信をしません。お気に入りは最大100件まで登録できます。

1 **情報画面を表示する**

2 **[✉](メニュー)を押し、「お気に入り登録」を選択する**

補足

- **メモリや登録件数がいっぱいのときの操作**
  メモリや登録件数がいっぱいでお気に入りを登録できないときは、登録されているお気に入りを削除して登録操作を続けてください。

■ お気に入りを表示する

1 **メインメニューから(Vodafone live!)→「お気に入り」の順に選択する**

2 **お気に入りを選択する**

補足

- **お気に入りの名前やURLを確認するには**
  ①お気に入りを表示中に[✉](メニュー)を押し、「ページ設定」→「ページ情報」の順に選択する
  ②「タイトル参照」、「URL参照」または「サーバ証明書参照」を選択する
- **お気に入りでできる操作**
  お気に入りの表示画面から情報画面同様に、メニューを使って「電話帳登録」、「アクション」、「メール送信」、「削除」の操作ができます（☞P.24-4）。

■ 登録内容を編集する

保存されているお気に入りの名前を変更できます。

1 **メインメニューから(Vodafone live!)→「お気に入り」の順に選択する**

2 **お気に入りを選択し、[✉](メニュー)を押して「タイトル編集」を選択する**

3 **名前を入力する**

■ お気に入りを削除する

1 メインメニューから (Vodafone live!) → 「お気に入り」の順に選択する

2 削除の操作をする

1件ずつ削除する場合

①お気に入りを反転表示し、(メニュー)を押して「削除」を選択する

②(YES)を押す

すべて削除する場合

①(メニュー)を押し「全削除」を選択する

②(YES)を押し、操作用暗証番号を入力する

③(OK)を押す

ブックマーク

■ ブックマークに登録する

よく利用する情報のURLをブックマークに登録しておくと、簡単な操作でアクセスできます。ブックマークは100件まで登録できます。

1 情報画面を表示する

2 (メニュー)を押し、「ブックマーク」を選択する

3 「現在のページを登録」を選択する

補足

- **登録件数がいっぱいのときは**
  登録件数がいっぱいでブックマークを保存できないときは、警告画面が表示されます。ブックマークの削除については、「ブックマークを削除する」(☞P.25-6)を参照してください。

- **情報画面にリンクしているURLを登録するときは**
  ①操作1を行なう
  ②アンダーラインが付いている箇所にカーソルを移動する
  ③操作2を行なう
  ④「リンク先を登録」を選択する

■ ブックマークからアクセスする

1 メインメニューから (Vodafone live!) → 「ブックマーク参照」の順に選択する

2 ブックマークを選択する

■ 登録内容を編集する

登録されているブックマークの名前やURLを変更できます。

1 **メインメニューから (Vodafone live!) →「ブックマーク参照」の順に選択する**

2 **ブックマークを反転表示し、(メニュー) を押して「編集」を選択する**

3 **で「タイトル編集」または「URL編集」を選択し、を押して編集する**

4 **を押して (OK) を押す**

■ ブックマークを削除する

1 **メインメニューから (Vodafone live!) →「ブックマーク参照」の順に選択する**

2 **削除の操作をする**

1件ずつ削除する場合

①ブックマークを反転表示し、(メニュー) を押して「削除」を選択する

② (YES) を押す

すべて削除する場合

① (メニュー) を押し「全削除」を選択する

② (YES) を押し、操作用暗証番号を入力する

③ (OK) を押す

■ メニューについて

ブックマーク一覧画面からはほかに次の操作ができます。

メニュー	内　容
メール送信	URLをメール本文に貼り付けます。
デスクトップに貼付	ブックマークをショートカットにしてデスクトップアイコンにします。
マイメニューに追加	ブックマークをマイメニューに登録します。

アクセス履歴

アクセスしたURLは、最新のものから最大300件、アクセス履歴に記憶されます。アクセス履歴の一覧から、前に閲覧した情報画面に簡単にアクセスできます。

1 **メインメニューから (Vodafone live!) →「アクセス履歴」の順に選択する**

2 **アクセス履歴の操作をする**

ウェブにアクセスする場合

①アクセス履歴を選択してを押す

② (OK) を押す

1件ずつ削除する場合

①履歴を反転表示し、[✉](メニュー)を押して「削除」を選択する

②[✉](YES)を押す

すべて削除する場合

①[✉](メニュー)を押して「全削除」を選択する

②[✉](YES)を押し、操作用暗証番号を入力する

③[✉](OK)を押す

▣ メニューについて

アクセス履歴からはほかに次の操作ができます。

- 「メール送信」:URLをメール本文に貼り付けます。

情報表示中の各種設定

■ 文字コードを変更する

情報画面の文字が正しく表示されていない場合に、文字コードを変えて表示し直すことができます。

[お買い上げ時] ■Shift−JIS

1 情報画面で[✉](メニュー)を押し、「ページ設定」→「文字コード」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 文字サイズを設定する

情報画面の文字サイズを選択できます。

[お買い上げ時] ■中

1 情報画面で[✉](メニュー)を押し、「ページ設定」→「文字サイズ」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 画像のスクロール単位を設定する

情報画面のスクロール量を選択できます。

[お買い上げ時] ■1行スクロール

1 情報画面で[✉](メニュー)を押し、「ページ設定」→「スクロール設定」の順に選択する

2 設定を選択する

■ 最新の情報に更新/再取得する

表示中の情報画面を最新の内容に更新できます。情報画面によっては、更新できない場合もあります。

1 情報画面で[✉](メニュー)を押し、「更新」を選択する

■ 情報内の文字を検索する

情報画面を任意の文字で検索し、該当したところを反転表示にできます。

1 **情報画面で［✉］(メニュー)を押し、「アクション」→「ページ内検索」の順に選択する**

2 **検索文字を入力する**

3 **［✉］(検索)を押す**

補足

- **繰り返し検索する場合は**
  ①操作1～3を行う
  ②［✉］(検索)を押す
  検索解除をするまでソフトキーエリア［✉］に「検索」が表示され、繰り返し検索をすることができます。
- **検索を解除するには**
  ［CLEAR BACK］を押します。

■ 情報内の文字をコピーする

画面で表示されている範囲にある文字をコピーして、文字入力の貼り付けに利用できます。

1 **情報画面で［✉］(メニュー)を押し、「アクション」→「文字コピー」の順に選択する**

2 **文字編集画面が起動し、情報画面の文字情報が表示される**

3 **文字をコピーする**

■ URLを確認する

表示中の情報画面のURLやタイトルを確認できます。

1 **情報画面で［✉］(メニュー)を押し、「ページ設定」→「ページ情報」の順に選択する**

URLを確認するには
①操作1を行う
②「URL参照」を選択する

タイトルを確認するには
①操作1を行う
②「タイトル参照」を選択する

■ URLや画像をメールで送信する

情報画面に表示されているURL、画像のURL、画像をメールで送信できます。

1 情報画面で [✉] (メニュー)を押し、「メール送信」を選択する

2 「ページURL」、「画像URL」または「画像」を選択する

「画像URL」や「画像」を選択した場合にはメールの対象とする画像を選択します。

3 (●)を押してメールタイプを選択し、メールを作成する

補足

- **メールを送信するには**
  情報画面のURLは、メールの本文に自動的に入力されます。宛先などを入力してメールを作成し、メールを送信してください(☞P.20-2)。

■ サーバ証明書を確認する

情報画面を表示するときにTLS/SSL通信で使用したサーバ証明書を確認できます。

1 情報画面で [✉] (メニュー)を押し、「ページ設定」→「ページ情報」の順に選択する

2 「サーバ証明書参照」を選択する

補足

- **サーバ証明書とは**
  SSL通信を行うサーバの正当性を認証する証明書です。
- **複数のサーバ証明書を使用した場合**
  サーバ証明書表示中に、◈で他のサーバ証明書を参照することができます。

ウェブのその他設定

画像やサウンドの取得設定

情報に含まれる画像表示やサウンド再生をしないように設定できます。

［お買い上げ時］ ■画像：表示/取得する ■サウンド：再生する

1 メインメニューから（Vodafone live!）→「ブラウザ設定」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

画像のダウンロードを設定する場合は

①「ディスプレイ設定」を選択する
②「画面表示／取得」を選択する
③設定を選択する

サウンドのダウンロードを設定する場合は

①「サウンド取得」を選択する
②設定を選択する

補足

- **「ブラウザ設定」の選択は**
  情報画面の表示中に（メニュー）を押して操作することもできます。
- **お気に入りに画像を保存するかどうかを設定する場合は**

［お買い上げ時］ ■画像を保存する

①操作1を行う
②「ディスプレイ設定」→「お気に入り設定」を選択する
③設定を選択する

- **再生されるサウンドの音量は**
  設定されているモードの着信音量で再生されます。マナーモードが設定されているときは、マナーモードを優先し、そのモードに設定されている音量で再生されます。ウェブで再生中にメロディの音量を調節することはできません。

セキュリティ設定

■ Cookieを設定する

Cookieは、情報の提供者が利用者を識別するために使用するデータで、804Nに自動的に保存されます。このCookieの保存を受け付けるかどうかを設定できます。またCookieの消去も行えます。

［お買い上げ時］ ■有効

1 メインメニューから（Vodafone live!）→「ブラウザ設定」→「通信設定」→「Cookie設定」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

Cookieを受け付けるかどうかを設定する場合は

①「Cookieモード」を選択する

②設定を選択する

Cookieをすべて消去する場合は

①「Cookie全消去」を選択する

②[✉]（YES）を押す

■ 製造番号を通知する

製造番号は、電話番号とは異なるお客様を特定するための専用認証番号です。受信する情報によっては、この製造番号の通知を要求されることがあります。通知の要求があったときに通知するかどうかを設定できます。

［お買い上げ時］ ■通知しない

1 メインメニューから（Vodafone live!）→「ブラウザ設定」→「製造番号通知」の順に選択する

2 設定を選択する

■ ルート証明書を確認する

804Nにあらかじめ登録されているルート証明書を確認できます。

1 メインメニューから（Vodafone live!）→「ブラウザ設定」→「ルート証明書」の順に選択する

2 証明書を選択する

補足

- **証明書の有効／無効を切り替えるには**

［お買い上げ時］ ■有効

①操作1を行う

②証明書を反転表示して、[✉]（メニュー）を押して、「有効」「無効」を選択する

- **ルート証明書とは**

サーバ証明書の発行元の正当性を認証する証明書です。

ウェブ設定の初期化

■ ウェブに関する設定をお買い上げ時の状態に戻す

お気に入りや履歴、ブラウザ設定などのウェブに関するデータや設定を初期状態に戻します（☞P.31-8）。

1 メインメニューから（Vodafone live!）→「ブラウザ設定」→「リセット」の順に選択する

2 リセット選択をする

ウェブ関係の設定のみを初期状態に戻す場合は

①「ブラウザ設定リセット」を選択する
② (YES)を押す

ウェブ関係のデータや設定をすべて初期状態に戻す場合は

①「ブラウザリセット」を選択する
②操作用暗証番号を入力する
③ (OK)を押す

■ 閲覧履歴を消去する

ウェブへのアクセスを終了するまで情報画面の閲覧順序を履歴として記憶しています。記憶している履歴を消去します。

1 メインメニューから（Vodafone live!）→「ブラウザ設定」→「履歴クリア」の順に選択する

2 （YES）を押す

3 操作用暗証番号を入力する

4 （OK）を押す

注意

- 「履歴クリア」ではアクセス履歴の一覧は消去できません（☞P.25-6）。

■ 情報画面のキャッシュを消去する

キャッシュに一時保存されているデータをすべて消去します。

1 メインメニューから（Vodafone live!）→「ブラウザ設定」→「通信設定」→「ブラウザキャッシュクリア」の順に選択する

2 （YES）を押す

Vアプリの基本操作

Vアプリをご利用になる前に

■ ネットワーク接続型Vアプリについて

Vアプリによっては、ネットワーク（ウェブ）に接続して動作するものがあります。ネットワーク接続型Vアプリを利用するときの通信料については『3Gガイドブック』を参照してください。

- **JavaTMおよびJBlendTMのライセンスを確認するには**

  メインメニューから（Vアプリ）→「JavaTM情報」の順に選択します。

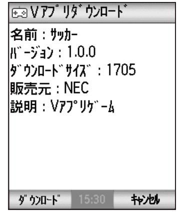
Vアプリのダウンロード

Vアプリをウェブの情報画面からダウンロードします。Vアプリは最大100件までダウンロードできます。

1 **メインメニューから（Vアプリ）→「Vアプリライブラリ」→「Vアプリダウンロード」を選択する**

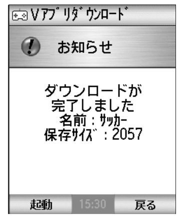
2 **Vアプリを提供している情報画面を表示する**

3 **Vアプリを選択する**



ダウンロード確認画面

4 **（ダウンロード）を押す**



ダウンロード完了画面

5 **（戻る）を押す**

Vアプリをすぐに起動する場合は

（起動）を押すとVアプリライブラリを表示します

補足

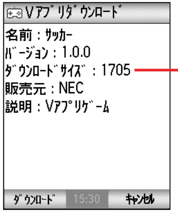
- **一時停止中のVアプリがあるときは**
  確認画面が表示されます。
- **Vアプリをバージョンアップするときは**
  すでに登録してあるVアプリのバージョンアップ版をダウンロードしようとすると、確認画面が表示されます。（上書き）を選択すると前のバージョンに上書きできます。
- **ダウンロード中に中止するときは**
  CLEAR BACKを押します。
- **メモリの使用状況を確認するときは**
  ① MENUを押し、（設定）→「メモリ設定」→「保存容量確認」の順に選択する
  ② を押して情報を確認する

注意

- **次のような場合はダウンロードできません。**
  - ダウンロードしようとしたファイルが正しくない場合
  - ダウンロードするVアプリのサイズが大きすぎる場合
  - 登録件数をオーバーしてしまう場合
  - メモリが不足している場合
  - 保存できないVアプリの場合
- **電池残量が少ないときにダウンロードすると、正常に終了できない場合があります。電池残量が十分にあることを確認してダウンロードしてください。**
- **USIMカードを交換すると、ダウンロードしたVアプリは、本体に保存しているものも、メモリカードに保存しているものも利用できなくなります。**

■ ダウンロード確認画面について

ウェブの情報画面でダウンロードするVアプリを選択すると、ダウンロード確認画面が表示されデータサイズを確認できます。またネットワーク接続型Vアプリの場合、署名情報も確認できます。ここで（キャンセル）を押すとダウンロードをやめることができます。



ウェブからダウンロードするときのデータサイズ

Vアプリの起動

1 メインメニューを押し、（Vアプリ）→「Vアプリライブラリ」の順に選択する

2 Vアプリを選択する

補足

- **メモリカードのVアプリライブラリに切り替えるには**
  操作1のあと、（メニュー）を押し「メモリカードへ切替」を選択します。メモリカードから本体へ切り替えるときは、（メニュー）を押し「本体メモリへ切替」を選択します。

- **Vアプリライブラリのアイコンについて**
  PRE：お買い上げ時に登録されているVアプリ
  DL：ダウンロードしたVアプリ

- **データフォルダからVアプリを起動するには**
  ① メインメニューから（データフォルダ）→「Vアプリ」の順に選択する
  ② Vアプリを選択する

- **Vアプリライブラリのショートカットを登録するには**
  ① メインメニューから（データフォルダ）を選択する
  ②「Vアプリ」を反転表示して（メニュー）を押し、「ショートカット」を選択する
  ③ 待受画面にデスクトップアイコンを貼り付ける場合、「デスクトップに貼付」を選択する。マイメニューに追加する場合、「マイメニューに追加」を選択する。

▣ Vアプリ起動中に表示される確認画面について

Vアプリがネットワーク接続の機能を使用する場合、確認画面が表示されます。表示された機能を使用してVアプリを続ける場合は「YES」を選択します。確認画面の表示のしかたはセキュリティレベル設定で変更できます。



インターネットに接続する場合

Vアプリの終了／一時停止／再開

■ Vアプリを終了／一時停止する

1 Vアプリ起動中に PWR を押す

2 項目を選択する

一時停止する場合
「一時停止」を選択する

終了する場合
「終了」を選択する

■ 一時停止中のVアプリを再開する

一時停止中のVアプリがあるときは、ディスプレイに（グレー）が表示されます。

1 Vアプリ一時停止中に[MENU]を1秒以上押し、タスクメニューを表示する

2 Vアプリを選択する

Vアプリの管理

■ プロパティを確認する

Vアプリの詳細情報を確認します。

1 メインメニューから(Vアプリ)→「Vアプリライブラリ」の順に選択する

2 Vアプリを反転表示して[✉](メニュー)を押し、「プロパティ表示」を選択する

補足

- **表示される詳細情報は**
  Vアプリの名称、ベンダ名（Vアプリの提供元）、バージョン、レコードサイズなどが表示されます。
- **Vアプリの関連リンクにアクセスするには**
  プロパティ画面で「Webへ」を選択すると、Vアプリに関連するウェブのサイトにアクセスできます。

■ Vアプリを移動する

Vアプリを、本体メモリからメモリカードへ、またはメモリカードから本体メモリへ移動します。

1 メインメニューから(Vアプリ)→「Vアプリライブラリ」の順に選択する

メモリカードに保存されているアプリを表示する場合は
[✉]（メニュー）を押し、「メモリカードへ切替」を選択する

2 Vアプリを反転表示して[✉](メニュー)を押し、「登録先変更（移動）」を選択する

3 「YES」を選択する

補足

- **転送不可のVアプリの場合は**
  「登録先変更（移動）」が表示されません。

■ Vアプリを削除する

1 メインメニューから(Vアプリ)→「Vアプリライブラリ」の順に選択する

2 Vアプリを反転表示して[✉](メニュー)を押し、「削除」を選択する

3 「Yes」を選択する

注意

- お買い上げ時に登録されているVアプリは削除できません。

Vアプリの利用

Vアプリのセキュリティレベルを設定する

■ セキュリティレベルを設定する

Vアプリの中には、起動中にネットワーク接続の機能を利用するものがあります。それらの機能を使用するときに確認するかどうかを、Vアプリごとに設定できます。

セキュリティレベルを設定できる項目には次のものがあります。
「ネットワーク接続」：ウェブアクセスについて設定します。

［お買い上げ時］ ■起動ごとに確認する

1 **メインメニューから (Vアプリ) →「Vアプリライブラリ」の順に選択する**

2 **Vアプリを反転表示して (メニュー) を押し、「セキュリティ設定」を選択する**

3 **「ネットワーク接続」を選択し、設定操作する**

補足

- **セキュリティ設定の内容は**
  - ・「初回のみ確認する」：Vアプリを最初に起動したときのみ確認画面が表示されます。
  - ・「起動ごとに確認する」：V アプリを起動するごとに確認画面が表示されます。
  - ・「接続ごとに確認する」：V アプリ起動中に機能を使用するたび確認画面が表示されます。
  - ・「接続しない」：機能を使用しません。

  選択できる設定は項目ごとに異なります。

注意

- **V アプリによってセキュリティレベルを設定できる項目は異なります。設定できない項目は表示されません。**

■ セキュリティレベルを初期化する

セキュリティレベルの設定を初期状態に戻します。

1 **メインメニューから (Vアプリ) →「Vアプリライブラリ」の順に選択する**

2 **V アプリを反転表示し、 (メニュー) を押し「セキュリティ設定」を選択する**

3 **「設定リセット」を選択する**

4 ** (YES) を押す**

28 Vアプリの利用

Vアプリのその他設定

Vアプリ起動中の着信設定

Vアプリ起動中に音声電話やTVコールの着信があったり、アラーム設定時刻になったときの動作を選択できます。

［お買い上げ時］ ■着信優先動作

1　メインメニューから（Vアプリ）→「Vアプリ設定」→「着信時優先動作設定」の順に選択する

2　設定を選択する

▣ Vアプリ起動中に音声電話やTVコールの着信があったり、アラーム設定時刻になったとき

「着信時優先動作設定」の設定により、次のようになります。

- **「着信優先動作」に設定しているとき**
  Vアプリは一時停止し、着信やアラームの動作になります。
- **「着信通知表示」に設定しているとき**
  Vアプリは起動し続け、着信やアラーム設定時刻になったことをメインディスプレイ上段のメッセージ表示でお知らせします。Vアプリを一時停止または終了するときは、を押します。
  かかってきた電話に出る場合は、を押します。電話に出るとVアプリは一時停止します。

Vアプリの再生音量／バイブレータ設定

■ 再生音量を設定する

Vアプリの効果音などの音量を調節します。

［お買い上げ時］ ■レベル4

1　メインメニューから（Vアプリ）→「Vアプリ設定」→「再生音量／バイブ設定」→「再生音量設定」の順に選択する

2　を押し、で音量を調節する

補足

- **マナーモードが設定されているときは**
  Vアプリ起動中もマナーモードの設定が優先されます。

■ バイブレータを設定する

Vアプリに組み込まれているバイブレータを有効にするかどうかを設定します。

［お買い上げ時］ ■On

1 **メインメニューから（Vアプリ）→「Vアプリ設定」→「再生音量／バイブ設定」→「バイブレーション」の順に選択する**

2 **設定を選択する**

補足

- **マナーモードが設定されているときは**
  Vアプリ起動中もマナーモードの設定が優先されます。

Vアプリ起動中の照明設定

Vアプリ起動中の照明の点灯方法を次の設定から選択します。

点灯方法の設定	説　明
常時On	常に点灯します。
常時Off	ボタンを押しても点灯しません。
通常設定連動	ボタンを押すと点灯します。

また、Vアプリに組み込まれている点滅動作を有効にするかどうかを設定します。

［お買い上げ時］ ■照明設定：通常設定連動
■Vアプリ点滅設定：On

1 **メインメニューから（Vアプリ）→「Vアプリ設定」→「パネル照明設定」の順に選択する**

2 **項目を選択し、設定操作をする**

照明を設定するには

①「照明設定」を選択する
②設定を選択する

点滅を設定するには

①「Vアプリ点滅設定」を選択する
②設定を選択する

Vアプリの初期化

■ Vアプリ設定をお買い上げ時の状態に戻す

Vアプリ設定を初期状態に戻します。

1 **メインメニューから（Vアプリ）→「Vアプリ設定」→「Vアプリリセット」→「Vアプリ設定リセット」の順に選択する**

2 **操作用暗証番号を入力し、（OK）を押す**

3 **（YES）を押す**

■ Vアプリの登録内容をすべて消去する

Vアプリライブラリ内のダウンロードした Vアプリをすべて消去します。

1 **メインメニューから（Vアプリ）→「Vアプリ設定」→「Vアプリリセット」→「メモリリセット」の順に選択する**

2 **操作用暗証番号を入力し、（OK）を押す**

3 **（YES）を押す**

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please visit the Vodafone Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset to contact Customer Service.

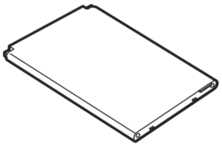
*Please note that the full manual may not be available in English at the time of purchase. In this case, contact Customer Service or check the Vodafone Website again at a later date.

Accessories

Make sure the following accessories are included in the package with the handset: Some accessories are also available for purchase.

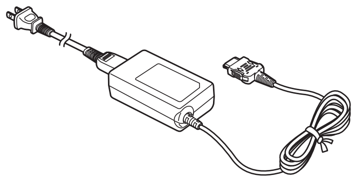
For details on accessories or optional items, contact Customer Service (☞p. 30-63).

■ Battery pack



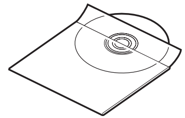
NEBAB1

■ Rapid Charger

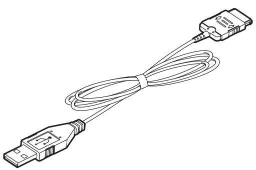


NECL01

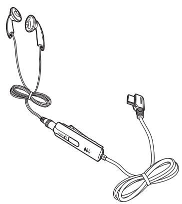
■ Utilities CD-ROM (Japanese)*(sample)



■ USB cable (sample)



■ Stereo microphone (sample)



The handset supports microSD memory card (not included). Purchase microSD memory card(s) to use memory card functions.

*The utilities are subject to change without notice.

Safety Precautions

- To ensure safe use of the handset, please read these safety precautions carefully before use. After reading them, please keep these safety precautions for future reference.
- The following precautions are provided for your benefit to protect you and others and to avoid damage to property. Please observe these Safety Precautions.

Vodafone shall not be liable for any damages incurred by you or a third party as a result of improper use of this product, failure during use, memory loss or any other nonconformity.

Symbols

This manual uses various symbols to facilitate understanding of the contents, ensure correct use to prevent injury to yourself and others and prevent damage to property. The symbols used and their meanings are described below. Read the remainder of this manual only after thoroughly familiarising yourself with these symbols and their meanings.

⚠ **Danger**	Improper handling poses a great risk of death or serious injury.
⚠ **Warning**	Improper handling poses a potential risk of death or serious injury.
⚠ **Caution**	Improper handling poses a risk of injury or damage to the product or other property.

Symbols

	The action is prohibited.
	The action is compulsory.
	The power cord must be unplugged.

⚠ Danger

Handset, battery & charging device

Use only approved battery and charging device (☞p. 30-2). Using unauthorised devices may cause the battery to leak, overheat, burst or ignite.

Do not get the handset, battery and charging device wet. Exposure of these devices to liquids such as water or pet urine may cause overheating, electric shock, fire, malfunction, injury, etc.

Do not attempt to disassemble or modify the handset, battery and charging device, and do not solder them. Doing so may cause fire, injury or electric shock. Also, doing so may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite. For repair and maintenance, contact Customer Service (☞p. 30-63).

Do not use or leave the handset, battery and charging device in places subject to high temperatures, such as near fire, near a heater, in direct sunlight or inside a car on a hot day. Doing so may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite, cause those devices to be deformed or malfunction, lower the performance or shorten the life. Also, doing so may cause the part of the handset body to become hot and possibly cause burns.

Battery

To prevent battery leakage, overheating, bursting or ignition, do not:

- Use excessive pressure to force the battery into place. (Insert the battery in the correct direction and orientation.)
- Dispose of the battery in fire.
- Short-circuit the positive and negative poles of the battery with metallic items. Also, do not carry or store the battery with metallic items such as a necklace that may accidentally touch the terminals.
- Puncture the battery, hammer it or step on it.

If battery fluid gets into your eyes, do not rub them. Rinse them immediately with clean water and consult a doctor as soon as possible. Failure to do so may cause a loss of eyesight.

⚠ Warning

Handset, battery & charging device

Do not subject the battery or charging device to strong impacts. Doing so may cause the battery to leak, overheat, burst, ignite, or cause other equipment to fail or catch fire.

Do not use the handset, battery and charging device in a place where there is a risk of ignition or explosion. Using these devices in places such as a filling station where there is an inflammable atmosphere such as from propane gas, petrol fumes, or coal, dust, metal, etc., may result in an explosion or fire.

Do not place the handset, battery and charging device in a cooking unit such as a microwave oven or pressure cooker. Doing so may cause the battery to leak, overheat, burst or ignite, or may cause the handset or charging device to overheat, smoke, ignite, or cause damage to the circuits.

Keep the charging terminals, external connector, microSD memory card holder and USIM card slot away from liquids or conductive foreign objects (metal, pencil lead, etc.). Do not insert such objects inside. Failure to observe these precautions may result in short circuits, causing these devices to ignite or malfunction.

If you notice something unusual such as an abnormal sound, smoke or smell, remove the handset, battery and charging device from their power supplies as indicated below and contact Customer Service (☞p. 30-63). Be careful not to burn or hurt yourself when removing these devices.

- Handset: Turn the handset off and then remove the battery.
- Rapid Charger: Unplug the power cord from the AC socket.
- In-car charger: Unplug the power cord from the cigarette lighter socket.

Handset

Do not use the handset while driving a vehicle. As of 1 November, 2004, using a mobile phone while driving is a legal offence. When using the handset while walking, be aware of your surroundings and the road conditions.

Do not swing the handset by the stereo microphone or hand strap. Doing so may cause bodily injury, malfunction or damage to the handset.

Turn off the handset near electronic devices. The handset may affect the operation of those devices, such as hearing aids, implanted cardiac pacemakers or defibrillators, other medical electronic equipment, fire alarms, automatic doors and other automatic control devices. Consult with the manufacturer or distributor of the medical device about radio wave effects.

Turn off the handset in areas where usage is prohibited. The handset may affect the operation of medical or other electronic devices. Follow the rules of individual hospitals or health care facilities that prohibit carrying or using mobile phones. Breaking the law may result in punishment.

If you hear thunder while using the handset outdoors, turn the handset off, and move to a safe place immediately. Failure to do so may expose you to lightning or electric shock.

If you have a weak heart, be careful with the vibration/speaker volume settings.

If you are wearing a medical electronic device, do not place the handset in a breast pocket or inner pocket. If you use the handset near medical electronic devices, the magnet in the handset may cause them to malfunction.

Do not hold the handset to your ear during hands-free operation. Failure to do so may affect your hearing.

Do not put the handset on the dashboard, etc. as doing so may cause problems in the event of air bag inflation. Air bag inflation may cause the handset to hit you or another person, which may cause injury, malfunction or damage to the handset.

Battery

If charging is not completed within the normal charging time, stop charging (☞p. 30-33). Failure to do so may cause the battery to leak, overheat, burst, or ignite.

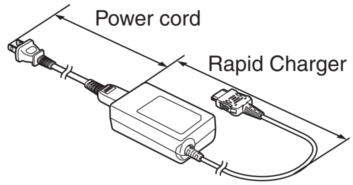
If you notice any of these danger signs, remove the battery from the handset: abnormal smell, overheating, discolouration or deformation. Do not use the battery and contact Customer Service (☞p. 30-63). Failure to do so may cause the battery to leak, overheat, burst or ignite.

If battery fluid gets on your skin or clothing, rinse immediately with clean water. Failure to do so may result in inflammation of the skin.

If the battery is leaking or smells strange, immediately move it away from any heat sources. Failure to do so may result in fire or bursting caused by ignition of the leaked battery fluid.

Charging device

Use the specified socket and voltage. Using the charging device with a non-specified socket or voltage may cause fire or equipment failure.



- Rapid Charger AC100 V to 240 V (Plug only into home AC outlet)
  The power cord included in accessories is for Rapid Charger (NECL01) exclusive use. Do not use it for other purposes. Also this power cord is exclusively for use in Japan. Vodafone is not liable for any problems resulting from charging outside Japan.
- In-car charger DC12/24 V (only for cars with negative grounding).

The in-car charger is only for cars with negative grounding. Do not use it in cars with positive grounding as doing so may cause fire.

If the power cord becomes damaged, stop using it and contact Customer Service (☞p. 30-63). Continuing to use it may cause electric shock, smoke or fire.

30 Abridged English Manual

Use only approved fuse to replace the fuse of the in-car charger. Using it with unauthorised fuses may cause fire or equipment failure.

To prevent overheating, ignition, bursting, fire, electric shock or equipment failure when handling the charging device, do not:

- Touch the charging device, power cord, or electrical socket with wet hands.
- Charge a wet battery.
- Place the charging device in an unstable place while charging. Cover or wrap the charging device with a cloth or futon.
- Use the charging device in a very humid place.
- Short-circuit the charging terminals or connector terminals while the charging device is connected to an electrical socket or cigarette lighter socket.
- Touch the terminals with any part of your body.
- Overload electrical sockets or cables. Doing so may cause overheating or fire.

If fluids such as water seep into the charging device, immediately unplug them from the electrical socket or cigarette lighter socket. Do not attempt to repair the device yourself. Stop using them and contact Customer Service (**☞p. 30-63****).** Failure to do so may cause electric shock, smoke, or fire.

Wipe any dust off the plug. Failure to do so may cause fire.

Plug the Rapid Charger into an electrical socket securely. Do not allow it to touch metal. Doing so may cause electric shock, short circuit, or fire.

If you hear thunder, do not touch the handset and charging device. Failure to do so may expose you to lightning or electric shock.

Do not apply excessive force when the power cord cannot be unplugged. Doing so may damage the power cord and cause electric shock or malfunction.

Handset use & electronic medical equipment

This section is based on “Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment” (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and “Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc.” (Association of Radio Industries and Business, March 2001).

If you use an implanted cardiac pacemaker or implantable cardioverter-defibrillator, keep the handset at least 22 cm away. Radio waves may affect the operation of implanted cardiac pacemakers or implanted cardioverter-defibrillators if used in close proximity.

Turn off the handset in crowded places such as rush-hour trains in case somebody nearby is using an implantable cardiac pacemaker or implantable cardioverter-defibrillator. Radio waves may affect the operation of implanted cardiac pacemakers or implanted cardioverter-defibrillators if used in close proximity.

Observe the following inside hospitals and health care facilities.

- Do not bring the handset into operating rooms, intensive care units (ICU) or coronary care units (CCU).
- Keep the handset turned off in hospital waiting rooms or wards, as there may be electronic medical devices in your vicinity.
- Follow the rules of individual hospitals or health care facilities that prohibit carrying or using mobile phones.

Patients receiving medical treatment away from a hospital or medical facility (e.g. home treatment) who are using electronic medical equipment other than implanted cardiac pacemakers or implanted cardioverter-defibrillators should consult the respective manufacturers or distributors for information about the effects of radio waves on the equipment.

⚠ Caution

Handset, battery & charging device

Do not keep the handset, battery and charging device in a dusty, humid or hot place. Doing so may cause equipment failure.

Do not place the handset, battery and charging device on an unstable surface from which they may fall, causing injury or equipment failure.

Charging the battery, shooting/playing videos, talking on video calls, accessing websites or using V-appli repeatedly or for a long period of time may increase the temperature of the handset, battery or charging device. Exposing your skin directly to the high-temperature part for a long period of time may cause skin irritations, a rash or eczema. Take great care especially when using the handset connected to the charging device continuously for a long period of time.

If the user is a child, the parent or guardian should teach the child how to handle the device safely. Also, watch to make sure the handset, battery and charging device are being properly used. Failure to observe instructions may cause injury.

Keep the handset, battery and charging device away from infants. They may mistakenly swallow these devices or sustain injury in other ways.

When you attach the stereo microphone to the handset to play games or music, do not make the volume too loud. Excessive high volume may damage your hearing. Also it may prevent you from hearing the ambient sounds and cause an accident.

Handset

If you use the handset in a car, in rare cases it may affect electronic equipment in the car, depending on the type of car. Confirm with your car dealer whether sufficient magnetic protection measures are implemented in your car. Failure to do so may compromise safe driving.

Do not close the handset with an object such as the hand strap inserted between the keypad and display. Doing so may cause malfunction or damage to the handset.

Do not place magnetic cards near the handset or clamp them in the fold of the handset. Magnetic data on debit cards, credit cards, telephone cards, or floppy disks, etc. may be erased.

Depending on your physical characteristics and other conditions, skin irritations, a rash or eczema may develop in some rare cases. In such cases, immediately stop using the handset and consult a doctor.

Materials and surface finishes

Part		Material	Surface finish
Outer case	Display side, keypad side, external display side, battery side, battery cover	PC resin	Acrylic UV cured coating
	Macro switch	ABS resin	Acrylic UV cured coating
Internal camera lens, external camera lens, display screen, external display screen		Acrylic resin	—
Screw covers (below display), lamp lens		PC resin	—
Rubber pads (above display)		Silicon rubber	—
Hinge cushion		Polyethylene	—
Keys on keypad side	Multi selector	PC resin, ABS resin	Chrome plating
	Centre key	PC resin	—
	Softkey (Left)/Message key, Softkey (Right)/Vodafone live! key, Menu/Task Menu key, Music key, Start/Call Log key, Clear/Back/Hold key, Power/End key, * key, #/Manner Mode key, Dial keys	PC resin	Acrylic urethan UV cured coating
Music Assist key, Side keys		ABS resin	Chrome plating
Earphone jack, external connector		Elastomer resin	—
Logo badge		Aluminium, PC resin	—
Charging terminal		Beryllium copper	Rhodium plating

Part		Material	Surface finish
Battery compartment	Shield cover (metal)	Beryllium copper	—
	USIM slot (metal part)	Stainless	—
	USIM slot (plastic part)	LCP	—
	USIM slot (terminal part)	Phosphor bronze	Gold plating
	microSD card holder (metal part)	Stainless	Gold plating
	microSD card holder (plastic part)	Glass fibre, LCP	—
	microSD card holder (terminal part)	Phosphor bronze	Gold plating
	Battery terminal	Copper alloy	Gold plating
Battery	Outer package (laminated part)	Aluminium	PET
	Outer package (plastic part)	PP resin, PC resin	—
	Terminals	Copper	Gold plating

Do not leave the handset for long periods of time in a place where bright light enters the camera lens. Light entering through a lens is concentrated and may cause fire or equipment failure.

Take care not to pinch your finger in the hinge when you open the handset. This may cause injury.

Watch out for broken glass if the display or camera lens is damaged. The surfaces of the display and camera lens are covered by plastic panels so as to minimise the possibility of glass scattering. However, touching the broken display or camera lens may cause injury.

If the display is broken and the liquid crystal leaks, do not lick or inhale the liquid or get the liquid on your skin. If the liquid comes into contact with your eyes or mouth, immediately rinse your eyes or mouth with clean water and see a doctor. If the liquid comes into contact with your skin or clothes, immediately wipe it off with alcohol, and wash with water and soap. This liquid may cause loss of eyesight or skin problems.

Battery

Do not dispose of batteries as municipal waste. Doing so may cause fire or environmental destruction. Insulate the terminals with tape and bring them to a Vodafone Shop or dispose of them separately beforehand according to local regulations.

Charging device

Do not use the in-car charger while the engine is not running. Doing so may cause the car battery to run down.

Do not place heavy objects on the power cord. Doing so may cause electric shock, fire or equipment failure.

After charging is completed, unplug the charging device from an electrical socket or cigarette lighter socket. Failure to do so may cause fire or equipment failure.

Before cleaning the charging device, unplug them from the electrical socket or cigarette lighter socket. Failure to do so may cause electric shock.

When unplugging the charger from an electrical socket or cigarette lighter socket, do not pull the power cord. Doing so may damage the power cord and cause fire or electric shock.

General Notes

- As the handset uses radio waves, it cannot be used where signals are weak or when the handset is out of service area. Moving to such places during a call may cause the call to be disconnected.
- Do not disturb others when using the handset in public places.
- If receiving a call while walking, move to a safe place before answering.
- On rare occasions, using the handset on public transportation such as a train, may affect the vehicle's electronic equipment.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss or alteration of the handset data. Please back up the data such as Phone Book, images or sounds.
- The handset is a wireless station as stipulated by Japanese Radio Law. Your handset must be submitted for inspection upon request.
- The time appearing on the handset may not be completely accurate.
- Observe the following instructions to avoid connection errors or excessive noise.
  - Keep away from extremely cold places such as frozen storage. The handset may not operate properly.
  - Keep away from metal furniture. Signals may be blocked.
  - Keep away from magnetic field or where magnetic waves are emitted (near electric appliances, AV or OA equipment such as computers, microwave ovens, speakers, TV's, radios, facsimiles, fluorescent lights, word processing devices, electric heaters, inverter air-conditioners, induction cooking ranges, etc.).
  - Noise may become louder, or calls may become unavailable due to the effects of strong magnetic or electric fields. In particular, using a microwave oven has the potential to affect the handset.

- If receiving too much noise during a call near a broadcasting or radio station, move around to avoid noise. If the signals from the station are too strong, the handset may not function.
- When a vehicle is passing by, you may hear noise.

● If you use the handset near a landline phone, TV or radio, the handset may affect the operation of these devices. Use the handset as far as possible from these devices.

● Be Aware of Eavesdropping
The handset employs a digital signal that provides a high level of privacy protection. However, the possibility of eavesdropping by a third party using special means cannot be ruled out.

Eavesdropping:
Interception of radio signals by a third party during communication, either intentionally or accidentally

Using the handset in a vehicle

● Do not use the handset while driving a vehicle. Doing so may compromise safe driving and cause an accident. Breaking the law may result in punishment.

● Pull off the road before using the handset.

● If you use the handset in a car, in rare cases it may affect electronic equipment in the car, depending on the type of car. Confirm with your car dealer whether sufficient magnetic protection measures are implemented in your car. Failure to do so may compromise safe driving.

Using the handset in an aircraft

Do not turn on and use the handset in an aircraft. Doing so may interfere with flight safety and cause an accident. Breaking the law may result in punishment.

Handling the handset

- Do not allow the handset to become wet. The handset, battery and charging device are not water-proof. Do not use them in very humid places or in the rain. When you carry the handset in your shirt pocket, moisture from sweat may corrode internal parts and cause equipment failure. Damage caused by those devices becoming wet is not covered by the warranty and repair of such devices may be impossible. Even if possible, you are liable for the cost of repairs.
- Clean with a soft dry cloth. Wiping with a wet cloth may cause equipment failure. Also, wiping with alcohol, thinner, benzene or liquid soap may cause print or label to fade or other discolouration.
- Clean terminals with a dry cloth or cotton swab occasionally. Dirty terminals may cause poor contact and the handset may turn off. Also, dirty terminals may prevent proper charging.
- Do not place the handset near the airflow of an air-conditioner. Sudden temperature changes may cause condensation and doing so may corrode internal parts.
- Do not apply extreme force to the handset. Placing the handset in a bag with many other items, or sitting down with the handset in your pocket may damage the display or internal circuit boards and may cause equipment failure.
- The handset keys or battery may become warm during a voice call, video call, or while charging. This is normal as long as they do not become extremely hot.
- The operating temperature range is from 5 to 40°C and the humidity range is from 35 to 85 percent.
- Do not leave the camera under direct sunlight. Doing so may discolour or burn the element.
- Do not attach a sticker, etc. to the display or keypad. Doing so may wrongly press a key when the handset is folded, or may damage the handset.

- Do not rub or scratch the display with metal, etc. Doing so may damage the display.
- Do not leave the battery removed or uncharged for an extended period of time (i.e. 6 months or so). Doing so may alter or erase the setting or data you saved. Vodafone is not liable for any damages incurred by loss or alteration of data in such cases.
- Do not leave the battery uncharged. If you want to store the battery for an extended period of time, remove it from the handset, put it into the plastic bag provided with the product and keep it in a dry and cool place.
- Even if you do not use the handset for an extended period of time, charge the battery at least every six months. Failure to do so may lower the performance or shorten the life.
- Keep the earphone jack and external connector covers closed when not in use. Failure to do so may cause dust or water to seep in and cause equipment failure.
- When pulling the stereo microphone out of the earphone jack, hold the plug instead of the cord. Failure to do so may cause disconnection or equipment failure.

Handling the camera

If you break the law while using the handset, you may be liable to prosecution under applicable laws and regulations (such as the Public Nuisance Law).

Copyrights

Music, images, computer programs, databases, other copyrighted materials and their respective copyright holders are protected by copyright laws. Duplicating these materials is permitted only for individual or home use. If duplication (including conversion of data types), modifications, transfer of duplicates or distribution on networks are performed beyond the above limits without permission of the copyright holders, this constitutes “Literary Piracy” and an “Infringement of Copyright Holder Rights”, potentially causing claims for reparations or criminal punishment. Always

observe applicable copyright laws when using the functions such as making copies and cameras.

SAR certification information

This handset 804N meets the MPHPT's technical standards regarding radio wave absorption by a human body. These technical standards are established on a scientific basis to prevent radio waves emitted from wireless devices such as mobile phones that are used close to a human head from affecting human health. These standards assure that the SAR (Specific Absorption Rate), an indicator of the amount of average energy absorbed in the side of a human head, must not exceed the permissive value of 2 W/kg*. This value includes a substantial safety margin designated to assure the safety of all persons, regardless of age and physical size. The value is equal to the international guideline recommended by International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) that has a cooperative relationship with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this handset 804N is 0.197 W/kg. This value is obtained in accordance with the MPHPT testing procedure with the mobile phone transmitting at its highest permitted power level. While there may be differences in the SAR levels depending on phones, they all meet the MPHPT's permissible value. Because mobile phones are designed to employ the minimum power level required for the communication with the base station, the SAR of the phone during a call is usually below the maximum value.

For further information about SAR, please see the following websites:

MPHPT: http://www.tele.soumu.go.jp/e/ele/index.htm

ARIB: http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html (Japanese only)

* The guideline is defined by relevant laws and regulations associated with the Radio Law (No. 2 of Article 14 of Ordinance Regulating Radio Equipment).

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W /kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.906 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.157 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of

http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID GKRKMP7N2H1.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunica-

tions & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.571 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide**. In this case, the highest tested SAR value is 0.270 W/kg.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free

device to keep the mobile phone away from the head and body.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

** Please see General Notes (Electromagnetic Waves) on page p. 30-14for important notes regarding body worn operation.

NEC

Declaration of Conformity

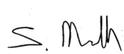
We, NEC Technologies (UK) Ltd
Level 3
The Imperium
Imperial Way
Reading
Berkshire
RG2 0TD
United Kingdom,

declare under our sole responsibility that the product(s) listed below, and in combination with our accessories, conform with the essential requirements of

European Union Directive 1999/5/EC
Radio and Telecommunications
Terminal Equipment Directive
Essential Requirements 3.1(a), 3.1(b), 3.2

Product(s):
WCDMA2100 Class 3 + Dualband GSM900 Class 4, GSM1800 Class 1 Digital Portable Cellular Telephone, including Bluetooth

- Model Number KMP7N2H1
- Trade name Vodafone 804N

Signature:  Date: 12th January 2006

Name: S.J Marshall

Title: Product Accreditation Manager
Reading, Berks, UK

Reg No 4072718 Reg Office: Level 3 , Imperium, Imperial Way, Reading RG2 0TD, UK

Minding Mobile Manners

Be mindful of others when using the handset.

- Turn the handset off in a theatre or museum, etc.
- Do not disturb others in quiet places such as in a restaurant or hotel lobby.
- Follow announcements or posted instructions in mass transit systems.
- Use the handset so as not to disturb pedestrians.

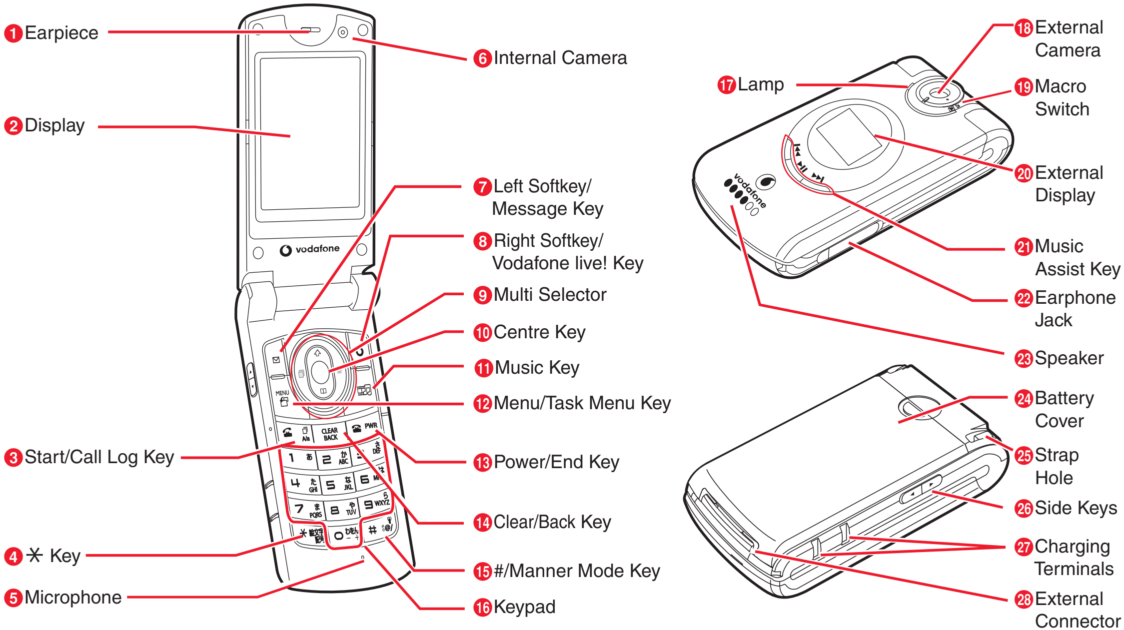
▣ Functions for promoting mobile manners

- **Manner mode**
  Press # for 1+ seconds to turn off ringtones and keypad sounds.
- **Vibrator**
  Set vibration function on to notify you of an incoming voice call, video call and message.
- **Ringtone volume**
  Set Ring Volume to Silent to turn off the ringtone of a voice/video call and/or message.
- **Keypad sound**
  Set the keypad sound off.
- **Calendar, alarms, and tasks**
  Set the alarm off.

The volume levels of the camera shutter and Auto Timer tone cannot be changed regardless of any other settings.

Handset Parts & Functions

Handset



1 Earpiece

2 Display

3 Start/Call Log Key

Initiate/answer voice calls. Show Dialled Calls in standby mode and toggle between upper and lower cases while entering text.

4 * Key

In text entry, open pictographs or symbols list. Press for 1+ seconds to select a manner mode (Normal, Meeting, Outdoor, Driving or Manner).

5 Microphone

6 Internal Camera

Used for capturing self-portraits in photo/video modes or sending your image during a video call.

7 Left Softkey/Message Key

Activate the function indicated at the lower left of the display.

8 Right Softkey/Vodafone live! Key

Activate the function indicated at the lower right of the display.

9 Multi Selector

Scroll through menus or contacts, move cursor or adjust the volume.

a Left/Received Calls Key

Move cursor left or display Received Calls.

b Up/Shortcut Key

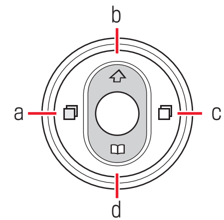
Move cursor up or select a desktop shortcut.

c Right/Call Log Key

Move cursor right or display Dialled Calls.

d Down/Phone Book Key

Move cursor down or display Phone Book.



10 Centre Key

Select an item/option.

11 Music Key

Start Music Player.

12 Menu/Task Menu Key

Display Main Menu or Task Menu.

13 Power/End Key

Turn the handset on/off or end a call.

14 Clear/Back Key

Return to the previous screen or delete characters.

15 #/Manner Mode Key

Enter symbols. Press for 1+ seconds to set or cancel manner mode.

16 Keypad

Enter phone numbers or characters.

⑰ Lamp

Illuminates while charging or flashes when receiving a call or message.

⑱ External Camera

Used for capturing images in photo/video modes or sending images during a video call.

⑲ Macro Switch

Switch between macro mode ( ) and normal mode ( ).

⑳ External Display

View operation status.

㉑ Music Assist Key

Control the Music Player.

㉒ Earphone Jack

Connect the stereo microphone.

㉓ Speaker

㉔ Battery Cover

㉕ Strap Hole

Attach a hand strap.

㉖ Side Keys

Adjust volume, etc.

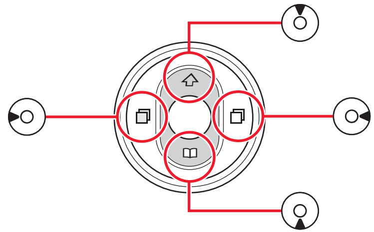
㉗ Charging Terminals

㉘ External Connector

Connect Rapid Charger, in-car charger, USB cable or other external devices.

■ Multi Selector

Use Multi Selector to scroll, select an item or move the cursor.



The following notations are used in this manual:

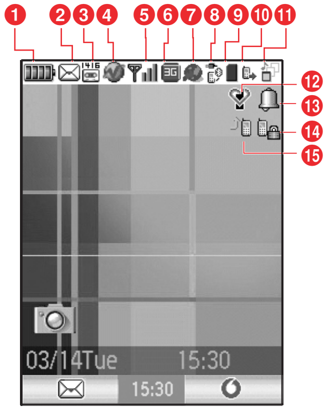
- : Press (Up) or (Down)
- : Press (Left) or (Right)
- : Press (Up), (Down), (Left) or (Right)

■ Centre Key

When using Centre Key to select an item or option, the following notation is practiced.

- : Press Centre Key

Display



1 Battery level

2 Unread message

Inbox is full

USIM memory for SMS is full

3 Voice Mail message stored at Voicemail Centre

4 (Blue) V-appli in progress

(Grey) V-appli paused

5 Signal strength (more bars indicate a stronger signal)

OUT Out of service area

6 3G (UMTS) network mode

GSM or GPRS network mode

3G (UMTS), GSM and GPRS network mode unavailable

7 Vodafone live! in progress

Vodafone live! available

SSL communication in progress

(Grey) Packet communication available

Sending data in packet communication

Receiving data in packet communication

(Blue) Packet communication requested

Packet communication disconnected

8 USB cable connected

Bluetooth connection is ready

Bluetooth connection in progress

USB cable connected and Bluetooth connection is ready

USB cable connected and Bluetooth connection in progress

9 microSD memory card inserted

Disabled microSD memory card inserted

microSD memory card is being accessed

USB connection to PC

10 Voice call in progress

Voice call on hold

Video call in progress

⓫ One task activated

Two tasks activated

Three tasks activated

Music player running

Music player running and one task activated

Music player running and two tasks activated

⓬ Alarm ON

⓭ Manner mode

Meeting mode

Outdoor mode

Driving mode

⓮ Dial Lock On

All Keys Lock active

When External Keys Lock is active

- Music assist key locked
- Side keys locked
- All external keys locked

When External Keys Lock and All Keys Lock are active

- Music assist key locked
- Side keys locked
- All keys locked

⓯ Voice Mail or Call Forwarding service activated

External display



❶ Battery level

❷ Unread message

Inbox is full

USIM memory for SMS is full

❸ Signal strength (more bars indicate a stronger signal)

OUT Out of service area

❹ 3G (UMTS) network mode

GSM or GPRS network mode

3G (UMTS), GSM and GPRS network mode unavailable

❺ Vodafone live! in progress

Vodafone live! available

SSL communication in progress

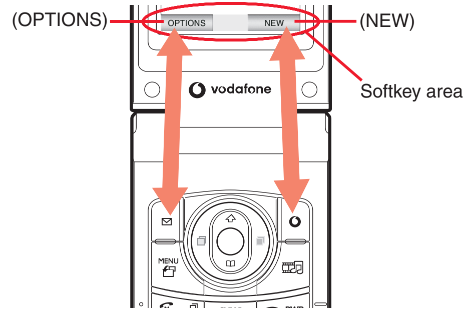
(Grey) Packet communication available

Sending data in packet communication

Receiving data in packet communication
(Blue) Packet communication requested
Packet communication disconnected
6 USB cable connected
Bluetooth connection is ready
Bluetooth connection in progress
USB cable connected and Bluetooth connection is ready
USB cable connected and Bluetooth connection in progress
7 Music player running
8 (Blue) V-appli in progress
(Grey) V-appli paused
9 Voice Mail message stored in Voicemail Centre
10 Manner mode
Meeting mode
Outdoor mode
Driving mode
11 Dial Lock On
(Green) All Keys Lock On
(Blue/Orange) External Keys Lock On
(Green/Blue/Orange) All Keys Lock and External Keys Lock On

Softkeys

Each Softkey corresponds to a function/action indicated at the bottom of display (Softkey area). Press the corresponding Softkey to select/execute the item/task.



The following notations are used:

- To access the OPTIONS menu → press (OPTIONS)
- To create a new message → press (NEW)

Navigating through main menus

To access the Main Menu from standby

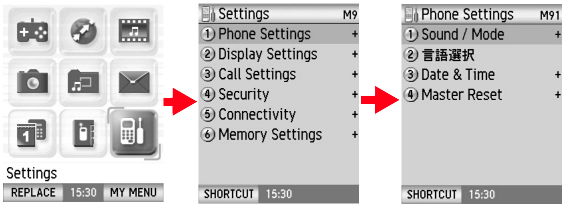
1 **Press MENU or ●**

2 **Use to select a menu icon**

3 Press ⦿

In this manual, the following notation is used to describe the steps:

Select (Settings) from the Main Menu →
Phone Settings → Date & Time



Tip

- Use number keys for quick access to numbered items.

Note

- **This chapter describes the functions in English mode.**

Handset Codes

Security Code, Centre Access Code and Network Password are required to use/access some functions/services.

Security Code

Security Code is required to access some handset functions. The code is set to “9999” by default or the 4-digit number selected when you subscribed to the service.

- Security Code can be changed from the handset.
- When Security Code is entered, asterisks appear.
- An error message appears if Security Code is entered incorrectly.

Centre Access Code

Centre Access Code is required to set optional services from a landline or to subscribe to Web fee-based information services. The code is the 4-digit number you wrote on your application form when you subscribed to the service.

- Centre Access Code cannot be changed from the handset.
- To change Centre Access Code, contact Customer Service (☞p. 30-63).

Network Password

Network Password is required to set Call Barring service. The password is the 4-digit number selected when you subscribed to the service. After three consecutive incorrect password entries, Call Barring settings are locked and you need to change Network Password and Centre Access Code to unlock. To change Centre Access Code, contact Customer Service (☞p. 30-63).

- Network Password can be changed from the handset.

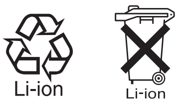
Note

- **Do not forget these codes. If you forget any of the codes, you must follow certain procedures. For details, contact Customer Service (☞p. 30-63).**
- **Keep the codes and password secret. Vodafone shall not be liable for any damages caused by misuse of the codes by others.**

Battery & Charger

- The handset is powered by a rechargeable lithium-ion battery. Lithium-ion batteries do not have memory effects and therefore can be recharged without fully draining the battery.
- Charge the battery before using the handset for the first time or if the handset has not been used for a long period of time.
- Even if you do not use the handset for a long period of time, charge the battery at least every six months. If the battery has not been used for a long period of time, it may become unable to be fully charged even after charging is completed and operating time may be reduced.
- Avoid charging the battery in the following conditions:
  - When ambient temperature is below 5°C or over 40°C
  - Humid or dusty places or on unstable surfaces (may cause malfunction)
  - A place where magnetic waves are emitted e.g. near electric appliances (signals from the handset may cause noises)

- The battery or the charger may become warm during normal charging. However, if they become extremely hot, stop charging immediately and contact Customer Service (☞p. 30-63).
- Do not plug too many devices into one electrical socket. Doing so may cause overheating and result in fire.
- The battery is a consumable item. If the battery runs out much sooner than usual, replace it with a new one.
- Lithium-ion batteries are valuable and recyclable resources.



- Do not dispose of batteries as municipal waste. Insulate the terminals with tape and bring them to a collection point for recycling batteries or to a Vodafone Shop. Dispose of batteries separately beforehand according to local regulations.

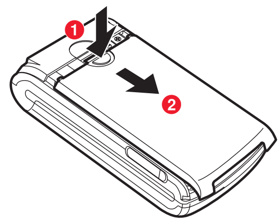
Note

- **Use only approved battery and charging device (☞p. 30-2).**
- **Insert the battery into the handset before charging. The handset cannot be charged and powered on without the battery.**
- **The lamp blinking in red during charging indicates battery failure. Contact Customer Service (☞p. 30-63).**
- **If** ***Check the power supply immediately. Problem with charging voltage.*** **appears on the display, turn the handset off and remove the battery from the handset. Then, recharge the battery. If charging fails again, contact Customer Service (☞p. 30-63).**
- **Unplug the charger from the electrical socket or cigarette lighter socket if you do not intend to use it for a long period of time.**

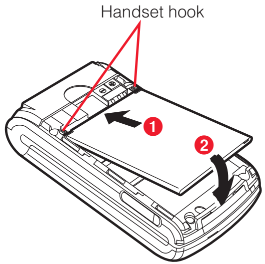
Inserting/removing the battery

Inserting the battery

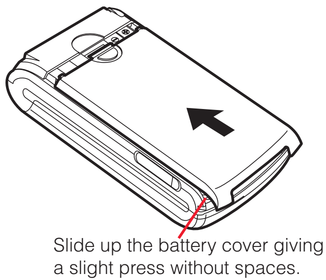
1 **Press ❶ and slide down ❷**



2 **Place the handset hook into the battery groove**



3 **Close the battery cover**



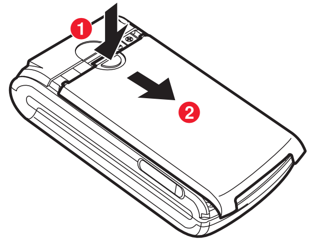
Note

- **Do not apply excessive force on the battery when installing it. Doing so may damage the battery terminals of the handset.**
- **Check that the battery cover is closed securely before using the handset.**

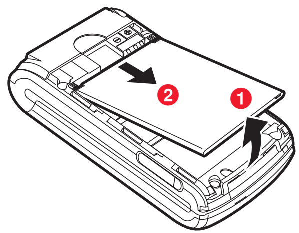
Removing the battery

Disconnect the handset from the charging device and turn power off before removing the battery.

1 **Press ❶ and slide down ❷**

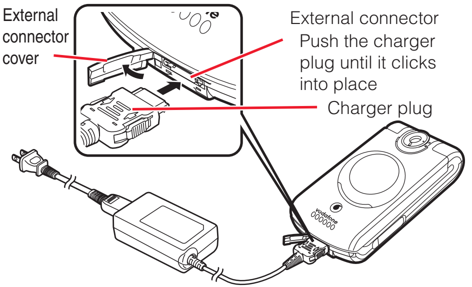


2 **Lift ❶ and slide up ❷**

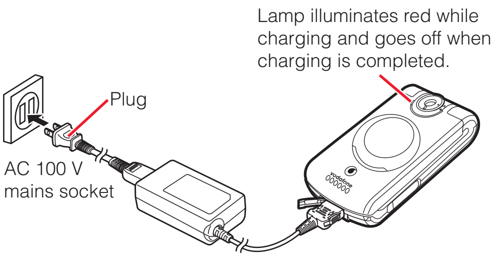


Charging the battery

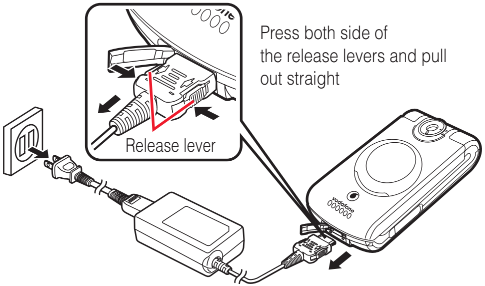
1 **Open external connector cover and push the charger plug into external connector**



2 **Plug power cord into a 100 V AC socket**



3 **Remove the charger plug from the handset and unplug the power cord from the socket**



Tip

- The battery charging time is roughly 180 minutes when the handset is turned off, and varies depending on temperature. Charging takes longer than 180 minutes while the handset is turned on.

Note

- **Desktop holder is an optional accessory. For details, contact Customer Service (☞p. 30-63).**

USIM Card

Before using the USIM card

The USIM card is an IC card that contains your phone number or other owner information. The USIM card must be installed before using a USIM card compatible handset. Without the USIM card, network connections such as making/receiving calls, messaging and web access are not available.

- Phone Book contacts and SMS can be stored on the USIM card.
- The data stored on the USIM card are available on other USIM card-compatible Vodafone handsets.
- Use the USIM card with dedicated devices. Using non-dedicated devices may cause data loss or malfunction.
- Do not put the USIM card in a cooking unit such as a microwave oven or pressure cooker. Doing so may cause the USIM card to melt, overheat, smoke, lose data, or malfunction.
- Keep the USIM card away from small children. They may swallow it, or the card may cause bodily injury.
- Do not apply excessive force when removing or inserting the USIM card. (Excessive force may cause malfunction. Carefully handle the card to avoid injury.)
- Vodafone shall not be liable for any malfunction caused by inserting the USIM card into a third party IC card reader.
- The USIM card may become warm during use. This is normal.
- Keep the IC chip clean. (Touching the IC chip may cause data loss or equipment failure. Avoid touching the IC chip.)
- Do not put labels on the USIM card. The thickness of labels may cause read/write errors or data corruption.
- For more details on the USIM card, read the instructions that came with the USIM card.

General notes regarding the USIM card

- The USIM card is the property of Vodafone.
- The USIM card will be re-issued for a fee if the card is lost or damaged.
- Return the USIM card to Vodafone when cancelling your subscription.
- Returned USIM cards are recycled.

- The specifications and performance of the USIM card are subject to change without prior notice.
- The data you save to the USIM card may be lost or altered due to accident or malfunction. Keep a backup of data stored in the USIM card.
  Vodafone shall not be liable for any loss or alteration of data.
- If you have lost the USIM card or the handset with the USIM card inserted or if they have been stolen, immediately contact Customer Service (☞P 30-63) to prevent your handset and USIM card from being used.
- Files saved on the handset or microSD memory card may become inaccessible after handset repair, handset upgrade or USIM replacement.
- Replacing the USIM card makes you inaccessible to ***Saved Pages***.



USIM card

Inserting/removing the USIM card

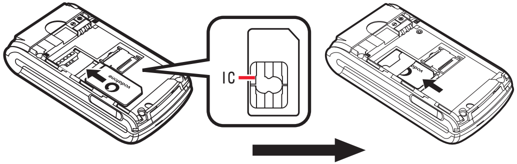
Remove the battery before inserting or removing the USIM card. See “Inserting/removing the battery” (☞P 30-31) in “Battery & Charger”.

Note

- **Forcing the USIM card into the handset may cause damage to the card.**
- **Keep the removed USIM card in a safe place.**

Inserting the USIM card

1 Insert the USIM card into the slot with the gold plate (IC) facing down until it clicks into place

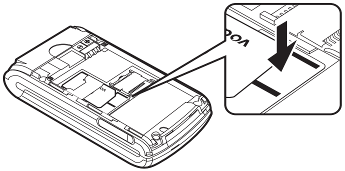


30

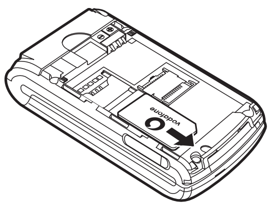
Abridged English Manual

Removing the USIM card

1 **Press down the lock to eject the USIM card**



2 **Slide the USIM card in the direction of the arrow**



PIN

PIN1

PIN1 is a 4-digit code to prevent unauthorised use of Vodafone handsets by others. If ***Activate PIN1*** is enabled, all operations other than PIN1 entry are locked until you enter PIN1. You are required to enter PIN1 whenever turning on the handset or re-inserting the USIM card.

PIN2

PIN2 is a 4-digit code that authorises a user to access on-line services.

Tip

- PIN1 and PIN2 are set to ***9999*** by default.

Changing PIN Code

1 **Select (Settings) from the Main Menu → *Security* → *Set Sec. Codes***

2 **Enter Security Code**

3 **Select *Change PIN1* or *Change PIN2* and enter the current PIN1 or PIN2**

4 **Enter a new 4-digit PIN1 or PIN2**

5 **Enter the new PIN1 or PIN2 again for confirmation**

■ Releasing PIN Lock

If PIN1 or PIN2 is entered incorrectly three times in succession, the current PIN1 or PIN2 becomes invalid. This is called PIN lock. To release a PIN lock, enter a PUK code.

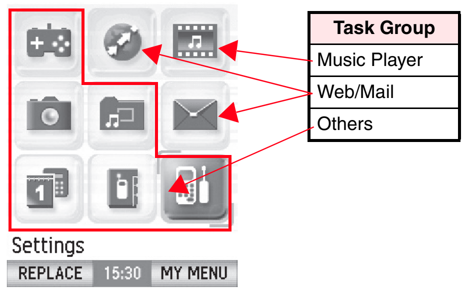
To obtain a PUK code, contact Customer Service (☞ P 30-63).

Note

- **If a PUK code to unlock PIN1 is entered incorrectly ten times in a row, the USIM card is locked. Once USIM card is locked, all operations are blocked.**
- **If a PUK code to unlock PIN2 is entered incorrectly ten times in a row, no operations requiring PIN2 can be performed.**
- **Write down the PUK codes and keep them in a safe place for future reference.**
- **To unlock the USIM card, contact Customer Service (☞P 30-63).**

Multitasking

Activate one task per Task Group to run up to three tasks simultaneously.



■ Launching new tasks

1 **Press MENU to open the Main Menu**

2 **Select a menu item from a group with no tasks running**

Tip

- A message appears when you attempt to launch a second task from the same group. Select *Yes* to end the running task and launch a new task.

Switching/ending tasks

Switching tasks

1 Press [MENU] for 1+ seconds to open the Task Menu

2 Select another task

Ending tasks

1 On the screen of the task you want to quit, press [PWR]

2 Press [O] (YES)

Tip

- To end all running tasks
  ①Press [MENU] for 1+ seconds
  ②Press [O] (END ALL)
  ③Press [✉] (YES)

Basic Handset Operations

Turning the handset on/off

Turning the handset on

1 Open the handset and press [PWR]

Turning the handset off

1 Press [PWR]

Tip

- Retrieving network information is required after turning the handset on for the first time. For details, see "Network settings" (☞P 30-55) in "Vodafone live!".

Note

- **Use both hands to open the handset gently. Applying excessive force may cause damage.**

Changing the display language to English

1 **Select [icon] (設定 (Settings)) from the Main Menu → *一般設定* (Phone Settings) → *Language***

2 **Select *English* and press [✉] (OK)**

Viewing owner information

1 **Press [MENU] and then [0 わをん]**

2 **Select an icon for the information you need, and check the contents**

Setting date & time

1 **On the *Do you wish to set the home time?* screen, press [✉] (YES)**

2 **Set the current date and time**

3 **Press [✉] (OK)**

Making a call

1 **Enter a phone number and press [☎ A/a]**

Include the area code for landline.

Making an international call

A separate subscription is required to use this service (no application fees or basic monthly charges are required).

1 **Enter *0046010*, country code, area code and phone number**

2 **Press [☎ A/a]**

Tip

- If the area code starts with 0, omit the 0 (except for area codes in Italy or in Russia).
- For more information, contact Customer Service (☞P 30-63).

Calling from outside Japan

1 Enter the entire phone number (If you call a landline, include the area code)

2 Press [✉] (OPTIONS) and select *Prefix* → *Intern. Call(Oversea)*

3 Press [☎ A/a]

Note

- **A separate subscription is required to use this service.**

Redialling

1 Press [☎ A/a] or [◉]

2 Highlight the phone number or name and press [☎ A/a]

Making a call from call logs

1 Press [◉]

2 Highlight the phone number or name and press [☎ A/a]

Receiving a call

1 To answer an incoming call, press [☎ A/a] or [O] (ANSWER)

Tip

- When ***Any Key Answer*** is set to ***On***, you can also answer the call by pressing any key ([0] to [9], [◉], [#], [*] or [●]).
- Press [◉] ([▲]) or [◉] ([▼]) to adjust the earpiece volume during a call or to adjust the ringtone volume while the handset is ringing.

Putting a caller on hold

1 Press [O] (HOLD) during a call

2 Press [O] (RETRIEVE) to return to the call

Rejecting an incoming call

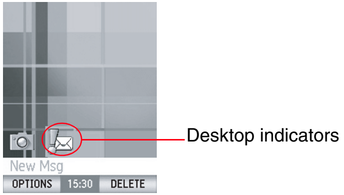
1 Press [☎ PWR] while the handset is ringing

Setting/cancelling manner mode

1 Press [#] for 1+ seconds on the standby screen

■ Missed calls/new messages

Desktop indicators mean you have missed/unchecked alarms or information. Select a desktop indicator to access the contents.



1 **Press (button) on the standby screen**

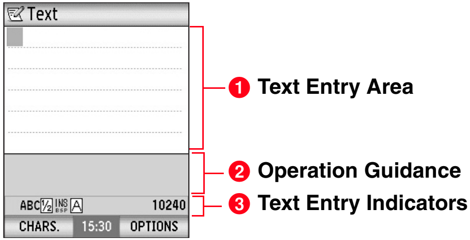
2 **Select a desktop indicator**

- : New messages
- : Missed voice calls
- : Missed video calls
- : New Cast
- : Contents (Melody, Video, etc.)

■ Call duration

1 **Select (Settings) →** ***Call Settings*** **→** ***Common Settings*** **→** ***Call Time Info.*** **→** ***Total Time Durat./Voice Calls/Video Calls***

Entering Characters



❶ **Text Entry Area**

■ Cursor

❷ **Operation Guidance**

a/A Press (key) to change between the upper and lower cases

LONG LF Press (key) for 1+ seconds to insert a line feed (↲) when possible

30 Abridged English Manual

[▲] Back Press [▲] to return to the previous character assigned to the same key when the *Input Method* is *Mode1(Kana)* and you are entering Japanese

❸ Text Entry Indicators

Indicates the current mode:

½, 1/1 Single-byte/Double-byte

INS BSP, INS DEL, OVR BSP, OVR DEL Insert/Overwrite

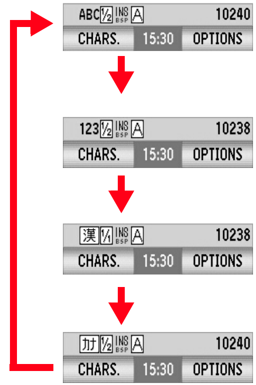
abc, 123, 漢, ｶﾅ Entry mode

a Lower case

A Upper case

■ Text entry mode

Press [✉] (CHARS.) to change entry modes.



Alphanumerics
Enter Roman letters, numbers and symbols.

Numbers
Enter numbers and symbols.

Kanji/Hiragana

Katakana

Key assignments

Entry mode / Key	Alphabets	Number
1	. , @ ? ! - 1	1
2 ABC	ABCabc 2	2
3 DEF	DEFdef 3	3
4 GHI	GHIghi 4	4
5 JKL	JKLjkl 5	5
6 MNO	MNOmno 6	6
7 PQRS	PQRSpqrs 7	7
8 TUV	TUVtuv 8	8
9 WXYZ	WXYZwxyz 9	9
0	.ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https:// vodafone.ne.jp	0
* 絵文字記号	Pictographs/symbols	* (Asterisk)
#	. @ / ! ? ( ) ,	# (Sharp)

Single-byte characters only

Tip

- To enter a space, press [O] (OPTIONS) and select *Insert Object* → *Space*. To break a line, press [●], or press [O] (OPTIONS) and select *Insert Object* → *New Line*.

Pictographs/symbols

1 Press [* 絵文字記号] when entering characters

2 Select a pictograph or symbol

Phone Book

Up to 2,000 phone numbers, 1,500 mail addresses and 500 URLs can be stored on the handset. Save the following items to a contact.

Item	Description	
	Handset	USIM card
Name	Up to 96 single-byte (32 double-byte) characters	Up to 96 single-byte (32 double-byte) characters
Reading	Up to 32 single-byte characters	Up to 32 single-byte characters
Phone Number	Up to 4 phone numbers per contact (Up to 32 digits per phone number)	Up to 2 phone numbers per contact (Up to 32 digits per phone number)
Mail Address	Up to 90 single-byte characters (Up to 3 addresses)	Up to 90 single-byte characters (Only one address)
URL	Up to 256 single-byte alphanumeric characters	—

Item	Description	
	Handset	USIM card
Group	Group 1 to 16, or no Group	
Image (Animated GIF)	A picture or movie displayed when you receive a Voice Call/ Video Call	—
Zip Code	Up to 7 digits	
Address	Up to 186 single-byte (62 double-byte) characters	—
Memo	Up to 150 single-byte (50 double-byte) characters	—
Private	Use this setting to hide or show contacts On: Hide contacts Off: Show contacts	Use this setting to hide or show contacts On: Hide contacts Off: Show contacts
Memory No.	001 to 500	—

· — indicates an item that cannot be saved.

Note

- **Protecting Phone Book data**
  Do not leave the battery removed or uncharged for an extended period of time (i.e. 6 months or so). Doing so may alter or erase the Phone Book data. Accidents or malfunctions may also cause data loss. Please keep a backup copy of Phone Book data. Vodafone shall not be liable for any damages resulting from accidental loss or alteration of Phone Book data.

Creating contacts

1 **Select (Phone Book) from the Main Menu → *Create New***

2 **Select the destination (Phone BK/USIM Card Phone Book/Rejected/Fixed (FDN)) to be stored**

3 **Enter the contact fields**

To assign a phone number category

Highlight the Category field and select *Mobile*, *Mobile 2*, *Home*, *Office*, *Home FAX*, *Office FAX* or *Other*

To add other items

①Press (OK) to save the contact

②Open the Phone Book list and highlight the contact

③Press (OPTIONS) and select *Edit Phone Book*

4 Press (OK)

Adding a number from call logs

1 Select a phone number from *Dialled Calls* or *Received Calls* and press (OPTIONS)

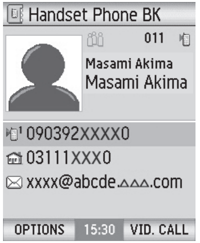
2 Select *Create Phone Book*

3 Enter *Name*, *Reading*, etc.

4 Press (OK)

Editing contacts

1 Select a contact



2 Press

3 Edit the fields

4 Select *Other Settings* to set Incoming, Private or Memory No. or to initialise the settings

5 Press (OK)

Searching for a contact

1 **Select [icon] (Phone Book) from the Main Menu → *Handset Phone BK* or *USIM Phone Book***

2 **Press [✉] (OPTIONS) and select *Search***

3 **Select a search method**

To search by reading

Select ***Reading Search*** and enter the first characters of the reading

To search by name

Select ***Search Names*** and enter the first characters of the name

To search by phone number

Select ***Search Phone No.*** and enter the first digits of the phone number

To search by mail address

Select ***Search By Email*** and enter the first characters of the address

To search by group

Select ***Search By Group*** and select a Group

Tip

- [icon] on the right side of the contact list indicates the contact is stored on the USIM card.

Copying/Moving Phone Book contacts

To copy or move the contacts between the handset and the USIM card, follow the steps below:

① Open the source Phone Book list
② Press [✉] (OPTIONS) and select ***Manage Phone BK***
③ Select ***Copy***, ***Copy All***, ***Move*** or ***Move All***

Video Call

You can use a phone number from Phone Book, Dialled Calls or Received Calls. To talk while viewing the other party's image, switch ***Handsfree On*** or use the stereo microphone (The handsfree is on when the talk starts).

1. **Main image**
2. **Sub image**
3. **Call time**
4. **Current time**
5. **Icons**



Video Call

Note

- **The other party's voice comes out of the speaker when the handsfree is switched on. Be careful not to disturb others.**

Making a video call

1 Enter a phone number and press [VID. CALL key] (VID. CALL)

Include the area code for landline.

Note

- **To make a call from call logs, press [key], highlight the phone number or name, and press [key] (VID. CALL).**

Answering a video call

1 When receiving a video call, press [key] (ANSWER)

To answer with an alternative image, press [key].

Operations available during a video call

- Press [key] for 1+ seconds to adjust the earpiece volume.
- Press [key] (SHOW ME), or press [key] (OPTIONS) and select *Use Live Video* to show a live image of yourself or *Use Photo Instead* to show an alternative image.

30

Abridged English Manual

Camera

Capturing images

1 **Select (Camera) from the Main Menu → *Camera***

2 **Frame the shot on the display**

3 **Press to shoot the image**

Capturing videos

1 **Select (Camera) from the Main Menu → *Video***

2 **Frame the shot on the display**

3 **Press to shoot the video**

Music Player

Playing music

1 **Select (Entertainment) from the Main Menu → *Music Player***

2 **Select an item**

To select a file stored on the microSD memory card

Press (CARD)

If *Playlists* or *Track Folders* is selected, select a folder containing a file to play

3 **Select a file**

Media Player

■ Displaying pictures/playing videos

1 **Select (Entertainment) from the Main Menu → *Media Player* → *Pictures* or *Videos***

2 **Select a file from the list**

If folders have been created, select a folder and then select a file from the folder

Vodafone live! CAST

Subscribe to contents and receive automatic updates. Content updates are delivered during the night.

A separate registration is required to use the Vodafone live! CAST service.

Only Japanese contents are available (as of February, 2006).

■ Subscribing/unsubscribing

1 **Select (Entertainment) from the Main Menu → *Cast* → *Casting Settings***

2 **Follow the on-screen instructions**

Note

- **Communication fees apply while you are connected to the Web.**

■ Viewing content updates

1 **Select (Entertainment) from the Main Menu → *Cast* → *What's New?***

2 **Select update**

■ Downloading content manually

When an update cannot be received because your handset is turned off or the signal is weak, manually download the update. Only updates for that day can be downloaded.

1 **Select (Entertainment) from the Main Menu → *Cast* → *Manual Download***

2 **Press [✉] (YES)**

Checking History

1 **Select [icon] (Entertainment) from the Main Menu → *Cast* → *History***

2 **Select a date**

Data Folder

Data Folder manages various data. Use prepared folders or user-created subfolders to organise data.

Folder and file format

The following formats are available for the folders:

- *Pictures*
  BMP, WBMP, JPEG, JFIF, GIF, PNG
- *Ringtones*
  MIDI, SMAF, XMF
- *V-appli*
  JAVA (JAD, JAR)
- *Music*
  MP3, MP4, AAC, AMR
- *Videos*
  MPEG4
- *Other folders*
  vCalendar, vCard and vNote
  - *Voice Rec.*
    AMR
  - *More Folder*
    Text and unsupported files

Opening files

1 **Select [icon] (Data Folder) from the Main Menu**

To view files stored on the microSD memory card

Press [icon] (CARD)

2 **Select a folder**

3 **Select a file**

To temporarily display files in thumbnail

Press [✉] (OPTIONS) and select *Thumbnails* → *Show Thumbnails*

■ Setting pictures as wallpaper

1 **Select (Data Folder) from the Main Menu → *Pictures***

2 **Select a file to display the image**

3 **Press (OPTIONS) and select *Set as Wallpaper***

■ Setting sound files as ringtone

1 **Select (Data Folder) from the Main Menu, and then select the file location**

2 **Select a file**

3 **Press (OPTIONS) and select *Set As Ringtone***

Bluetooth

Bluetooth refers to a worldwide standard for the wireless exchange of data between two compatible devices.

Use Bluetooth to:

- Establish a dial-up connection
- Transfer data
- Make calls using a wireless headset or handsfree mode

Note

- **You cannot receive a call or talk on the handset when transferring data via Bluetooth.**
- **The availability and operations of the Bluetooth function may vary depending on the devices or situations.**

■ Activating Bluetooth

1 **Select (Settings) from the Main Menu → *Connectivity* → *Bluetooth***

2 **Select *Discoverable***

Tip

- Press ⦿ to toggle setting (activate or deactivate).

Searching/registering devices

1 Select (Settings) from the Main Menu → *Connectivity* → *Bluetooth*

2 Press (SEARCH)

3 Select a device from the search result

4 Enter the Device Passkey

5 Enter the same Device Passkey on the device to register

Note

- It is necessary to enter the common Device Passkey on both sending and receiving devices. Set a 16-digit-or-less number as the Device Passkey. The available digits may vary depending on the devices.
- If the Device Passkey has been set on the device to register, enter it.
- If connecting to a registered device, the Device Passkey is not required.
- For information on how to set the device to standby, see the User's Guide of the device.

Connecting from a device to the handset

1 Select (Settings) from the Main Menu→ *Connectivity* → *Bluetooth*

2 Press (OPTIONS) and select *Pairing Standby*

3 Request a connection from the device

Using Bluetooth to transfer data

Sending Phone Book data

1 Set the receiving device to standby

2 Highlight the Phone Book data to send, press (OPTIONS) and select *Send Phone Book* → *Send vCard Via B.T.*

3 Select the receiving device from the device list

Note

- Make sure *Discoverable* is *OFF*.

Receiving data

1 **Select (Settings) from the Main Menu → *Connectivity* → *Bluetooth***

2 **Select *Discoverable* to set the handset to standby**

3 **Start the transfer operation on the sending device**

4 **After receiving the data, press (OK) to save the data to the Phone Book**

Connecting to the device

1 **Select (Settings) from the Main Menu → *Connectivity* → *Bluetooth***

2 **Select the device from the device list**

Bluetooth options

Options	Description
Information	Display information on the registered device.
Search	Search for Bluetooth-compatible devices in the vicinity.
Pairing Standby	Set the handset to pairing standby.
Terminal Info.	Display Bluetooth information on the handset.
Remove Device	Delete devices from the list.
Stop All	Disconnect all Bluetooth devices.
Timeout Settings	Set the timeout time.

Optional Services

Access optional services from the handset or from a landline. For details, contact Customer Service (☞P 30-63).

■ Call Forwarding/Voice Mail

To use the Voice Mail service, set the Voicemail Centre phone number as a forwarding number for the Call Forwarding service.

Call Forwarding and Voice Mail cannot be set at the same time.

The following are the Conditions:

Condition	Description
All Calls	Forward all calls. The ringtone does not sound and the missed call indicator does not appear.
If No Answer	Forward a call if the call is not answered within the set Ring Duration.
If Busy	Forward a call during another call.
If Unreachable	Forward a call when the handset is turned off or out of service area.

1 **Select (Settings) from the Main Menu → *Call Settings* → *All Calls* → *Voicemail/Diverts***

2 **Select *Diverts setup***

3 **Select *Voice Calls* or *Video Calls***

4 **Select an item from *Condition***

5 **Select *Diverts Calls To* and enter a forwarding number**

To use the Voice Mail service

Press (FIND) and select *Voicemail Centre*

To set the Ring Duration for *If No Answer*

①Select ***Ring Duration***

②Select the duration

6 **Press (UPDATE)**

■ Playing Voice Mail messages

Play messages stored at the Voicemail Centre. When you have a message, appears on the display, and on the external display.

1 **Select (Settings) from the Main Menu → *Call Settings* → *All Calls* → *Play Voicemail***

2 **Select *Listen to Vo-mail* and press (YES)**

Vodafone live!

Use Vodafone live! services to exchange multimedia messages with compatible handsets, download sounds and images, V-appli, or browse the Mobile Internet.

In this manual, Vodafone live! Service Centre is referred to as the “Service Centre” and Vodafone live! compatible handsets as “Vodafone handsets”.

Network settings

To access Vodafone live!, retrieve network information from the Service Centre.

1 **Select (Settings) from the Main Menu →** ***Connectivity → Network Setup → Retrieve NW Info***

2 **Press (YES)**

Messaging

Vodafone messaging services are available inside and outside Japan.

MMS (Multimedia Messaging Service)

Supports multimedia messaging with Vodafone handsets, PCs, e-mail compatible handsets and PHSs. Text messages as well as images, sounds and videos can be exchanged.

A separate subscription is required to use MMS.

SMS

Supports short text messaging with Vodafone handsets.
A phone number is used as an address.

Note

- **If the recipient’s handset is turned off or out of service area, sent messages are stored at the Service Centre and automatically resent (Retry feature).**

■ Customising handset address

Change your mail address before the @ to reduce the risk of receiving spam.

1 **Press ( ) on the standby screen**

2 **Select *Vodafone live!***

3 **Select *My Vodafone***

4 **Select *各種変更手続き* (Change Settings)**

5 **Select *オリジナルメール設定・各種メール設定* (Original Settings/Settings)**

6 **Select *English***

7 **Select the security code entry field and enter Centre Access Code (☞P 30-29)**

8 **Select *OK***

9 **Select *Messaging settings***

10 **Select *Email address***

11 **Select the mail address entry field and enter a new account name**

12 **Select *OK***

Note

- **Vodafone live! contents may be periodically updated and the procedures above are subject to change without prior notice.**

■ Messaging options

1 **Press ( ) in standby or select (Messaging) from the Main Menu**

Messaging options

Options	Description
Inbox	Received messages are saved here.
Create Message	Create a new message.
Outbox	Unsent, returned or cancelled messages are saved here.
Drafts	Unsent draft messages are saved here.
Sent Messages	Sent messages are saved here.
Mail Folders	Filtered messages are saved here.
Server Mail	Retrieve, delete or forward messages stored on the mail server.
Settings	Customise message settings.

Receiving Messages

The New Message desktop indicator ( ) appears on the standby screen when a new message arrives.
For details on desktop indicators, see "Missed calls/new messages" (☞P 30-41) in "Basic Handset Operations".

■ Opening messages

1 Press in standby and select the New Message desktop indicator

2 Select a new message in the Inbox

Tip

- The initial portion of MMS messages are delivered as notifications. When MMS is stored on the server, appears. Perform the following to retrieve the complete message.
  ① Press in standby and select the receive notifaction indicator
  ② Select a new message with in the Inbox
  ③ Press (RECEIVE)

■ Replying to & forwarding messages

1 Press ( ), or select (Messaging) from the Main Menu

2 Select a folder

3 Highlight a message and press (OPTIONS)

4 Select *Reply* or *Forward*

If a message appears asking to select a message type, select MMS or SMS.

5 Create and send a message

Sending Messages

■ Entry fields

Message type	Field			
	Text	Address	Subject	Attachment
MMS[1]	√[2]	√	√	√
SMS	√[3]	√	—	—

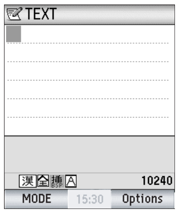
1 Up to 300K bytes including Text, Subject and Attachments.

2 Up to approx. 10,000 single-byte alphanumeric characters (approx. 3,400 double-byte characters).

3 Up to 160 single-byte characters (Up to 140 bytes or 70 characters when using a mixture of single- and double-byte characters).

Required

Creating messages



Text screen

1 Press ( ) on the standby screen and select *Create Message*

2 Select *MMS* or *SMS*

3 Select the address field (@)

To use an address from the Phone Book

Press (ADDRESS) to search the contact

4 Press *<New Address>*

To use an address from the Phone Book

Press (OPTIONS) and select ***Open Phone Book***

5 Enter address and press ⦿ → CLEAR BACK

You can enter up to 20 addresses including Cc and Bcc for MMS. Only one address can be entered for SMS.

6 On the New Message screen, select the subject field (✎)

7 Enter subject and press ⦿

8 On the New Message screen, select the text field (✉)

9 Enter message

10 On the New Message screen, press ✉ (OPTIONS) and select *Send*, or press (SEND)

▣ Attaching files to MMS

Image, sound or video files can be attached to MMS.

① On the New Message screen, select the Attachment field

② Select a file from a folder

Tip

- If you attempt to attach a second file, You need to select the format type before attaching the file. Select *Text Format* to send normal attached files, or *Presentation Format* to create Slide Mail.

Note

- **Before sending an attachment, check the compatibility and availability of the recipient's mobile phone. For information on Vodafone services, see *3G Guide*.**

Messaging Settings

1 **Press [✉] ([✉]) and select *Settings***

Messaging settings

Item	Description
General	Customise the display style, heading text/ signature/quote, etc. for MMS and SMS.
MMS Settings	Set the auto receive function, delivery time, etc. for MMS.
SMS Settings	Set the report request, validity period and centre address for SMS.
Settings Reset	Reset the Settings to the default.

Web

A separate subscription is required to use the Web service.

Vodafone live! menu

1 **Select (Vodafone live!) from the Main Menu**

Vodafone live! options

Options	Description
Vodafone live!	Access the Vodafone live! main menu to access a variety of mobile Internet sites (Most sites are available only in Japanese).
Bookmarks	Access bookmarked websites.
Enter URL	Enter URLs to directly access Mobile Internet sites.
History	Display access histories.
Saved Pages	Display saved pages off-line.
Browser Settings	Customise Vodafone live! settings such as display, sound and communication.

Accessing mobile Internet sites

1 **Press [O] ([✉]), or select (Vodafone live!) from the Main Menu → *Vodafone live!***

To view English pages, select *English* on the top page of Vodafone! live.

V-appli

V-appli are proprietary Java™ applications running on Vodafone handsets. V-appli can be downloaded from websites.

Note

- **A separate application is required to download V-appli from websites.**
- **Replacing the USIM card disallows you to use downloaded V-appli.**

V-appli options

1 Select (V-appli) from the Main Menu

V-appli options

Options	Description
V-appli Library	Downloaded V-appli is saved here.
V-appli Settings	Customise V-appli settings such as volume and light.
Java™ Information	View Java™ and JBlend™ licences.

Specifications

The specifications are subject to change without prior notice.

Vodafone 804N

Item	Specification
Weight	Approx. 115 g
Continuous talk time	Voice call: Approx. 180 minutes (3G) Approx. 260 minutes (GSM) Video call: Approx. 120 minutes
Continuous standby time	Approx. 270 hours (3G) Approx. 210 hours (GSM)
Dimensions (W x H x D)	Approx. 48 x 93 x 23 mm (when closed)
Maximum output	0.25 W (3G) 2.0W (GSM)

- The above values are calculated with the battery installed.
- Battery operating time is calculated with stable signal conditions. Talking in a weak signal area or leaving the handset in standby mode while out of service area consumes much battery power and may reduce battery operating time by more than half.

- Frequent use with the display light on (for Vodafone live! operation, etc.) may cause shorter continuous talk time and continuous standby time.
- Setting an animation as wallpaper may cause shorter continuous talk time and continuous standby time.
- Running V-appli may cause shorter continuous talk time and continuous standby time.
- Continuous talk time is measured under the following conditions: In standby mode and with normal signal reception. Continuous standby time is measured under the following conditions: In standby mode, with a fully-charged new battery installed, the handset folded, no calls/operations in progress and normal signal reception. As the handset could be used in a mixture of talk and standby modes, the actual talk time and standby time may be shorter than indicated above.

Battery

Item	Specification
Voltage	3.8 V
Type	Lithium-ion
Capacity	1000 mAh
Dimensions (W x H x D)	Approx. 37 x 60 x 4 mm

Rapid Charger

Item	Specification
Input voltage	AC 100 - 240 V, 50/60 Hz (Powered by the dedicated cord)
Rated input capacity	9 VA (AC 100)
Output voltage/Current	DC 5.4 V / 600 mA
Operating temperature	5 °C to 40 °C
Dimensions (W x H x D)	Approx. 38 x 63 x 20 mm (without power cord)

Desktop holder

Item	Specification
Input voltage/Current	DC 5.4 V / 600 mA (with Rapid Charger connected)
Output voltage/Current	DC 5.4 V / 600 mA (with Rapid Charger connected)
Dimensions (W x H x D)	Approx. 107 x 54 x 40 mm

Customer Service

If you have any questions about a Vodafone handset or services, please call General Information. For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centres

From a Vodafone handset, dial toll free at
157 for General Information or
113 for Customer Assistance

Vodafone International Call Centre

From outside Japan,
dial +81-3-5351-3491
(International charges will apply.)

Toll-free numbers from a landline:

Subscription area	Contacts	
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	Free Call 0088-240-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	Free Call 0088-241-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	Free Call 0088-242-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	Free Call 0088-259-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	Free Call 0088-247-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	Free Call 0088-250-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-250-113

付録

機能一覧

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
Vアプリ	Vアプリライブラリ		登録されているVアプリを利用する。	P.27-3
	Vアプリ設定	着信時優先動作設定	Vアプリ起動中の着信やアラームの動作を設定する。	P.29-2
		再生音量／バイブ設定	Vアプリに組み込まれている効果音の音量やバイブレータのOn／Offを設定する。	P.29-2
		パネル照明設定	Vアプリ起動中の照明点灯や点滅動作のOn／Offを設定する。	P.29-3
		Vアプリリセット	Vアプリの設定をリセットする。	P.29-3
	Java™情報		Java™およびJBlend™のライセンスに関する説明を確認する。	P.27-2
Vodafone live!	Vodafone live!		ボーダフォンライブ！のメニューにアクセスする。	P.18-2 P.24-2
	ブックマーク参照		ブックマークを利用してウェブにアクセスする。	P.25-5
	URL入力		URLを入力してウェブにアクセスする。	P.24-3
	アクセス履歴		アクセス履歴を表示する。	P.25-6
	お気に入り		お気に入りに保存した情報を表示する。	P.25-4
	ブラウザ設定	ディスプレイ設定	画面の表示や保存を設定する。	P.26-2
		サウンド取得	音の再生を設定する。	P.26-2
		通信設定	Cookieを設定したり、キャッシュクリアをしたりする。	P.26-2
		ルート証明書	端末で保持しているルート証明書の一覧を表示し、有効／無効を設定する。	P.26-3

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
Vodafone live!	ブラウザ設定	製造番号通知	ウェブ利用時の製造番号通知要求に応えるかどうかを設定する。	P.26-3
		履歴クリア	履歴を消去する。	P.26-4
		リセット	ブラウザの設定をお買い上げ時の状態に戻す。	P.26-3
エンタテイメント	ミュージックプレイヤー	全曲リスト	全ての曲を再生する。	P.10-3
		プレイリスト	プレイリストを再生する。	P.10-3
		ミュージックフォルダ	フォルダを指定して再生する。	P.10-3
		最近再生した曲	最近再生した曲を再生する。	P.10-3
		よく再生する曲	よく聴く曲を再生する。	P.10-3
		ダウンロード	ウェブから曲をダウンロードする。	P.10-3
		着信メロディ	メロディを再生する。	P.10-3
	メディアプレイヤー	ピクチャー	静止画の再生をする。	P.10-9
		ムービー	動画の再生をする。	P.10-12
		メディアプレイヤー設定	メディアプレイヤーの設定をする。	P.10-14
	キャスト	最新情報	新着情報を表示する。	P.10-15
		バックナンバー	過去にダウンロードしたコンテンツを表示する。	P.10-16
		サービス登録・解除	お好みのコンテンツを登録／解除する。	P.10-14
		再配信要求	手動でコンテンツをダウンロードする。	P.10-16

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
カメラ	カメラ		カメラを起動する。	P.7-4
	ビデオ		ビデオを起動する。	P.7-6
	バーコードリーダー		バーコードリーダーを起動する。	P.7-8
データフォルダ	ピクチャー		静止画ファイルを保存する。	P.12-2
	着信メロディ		ダウンロードした着信メロディを保存する。	P.12-2
	Vアプリ		ダウンロードしたVアプリを保存する。	P.12-2
	ミュージック		音楽ファイルを保存する。	P.12-2
	ムービー		動画ファイルを保存する。	P.12-2
	その他	ボイスレコーダ ー	ボイスレコーダーで録音した音声を保存する。	P.12-2
		その他フォルダ	その他のファイルを保存する。	P.12-2
メール	受信ボックス		受信メールを確認する。	P.21-2
	新規作成		メールを新規作成する。	P.20-2
	未送信ボックス		送信できなかったメールを保存する。	P.21-2
	下書き		下書きしたメールを保存する。	P.21-2
	送信済みボックス		送信済みメールを保存する。	P.21-2
	ユーザフォルダ		振り分けされたメールを保存する。	P.21-2
	サーバメール		メールサーバに保存されているメールを取得、削除、転送する。	P.22-2

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
メール	メール設定	表示設定	メッセージ画面や本文の表示設定をする。	P.23-2
		MMS設定	MMSの作成、受信、配信の設定をする。	P.23-3
		SMS設定	SMSの配信設定をする。	P.23-5
		メール設定リセット	メールの設定を初期状態に戻す。	P.23-7
ツール	カレンダー		スケジュール、イベント、休日を登録する。	P.15-2
	アラーム		804Nをめざまし時計として使う。	P.15-5
	予定リスト		予定の進行を管理する。	P.15-7
	簡易電卓／通貨換算		数値計算や通貨の換算をする。	P.15-10
	テキストメモ		メモを作成する。	P.15-11
	ボイスレコーダー	通話中音声メモ	通話中に録音した音声メモを再生する。	P.2-8
		待受中音声メモ	待受中に音声メモを録音、再生する。	P.15-13
	ユーザ辞書		簡単な読みで目的の単語に変換できるように、読みと変換後の単語を合わせて登録する。	P.4-10
電話帳	電話帳登録		電話帳の登録や、着信時の設定をする。	P.5-2
	本体電話帳		内部メモリに登録されている電話帳を開く。	P.5-6
	USIMカード電話帳		外部メモリに登録されている電話帳を開く。	P.5-6
	グループ登録		グループ名の変更や便利機能の設定をする。	P.5-5
	電話帳管理	すべてコピー	電話帳全体をコピーする。	P.5-8
		すべて移動	電話帳全件を移動する。	P.5-8
		全削除	電話帳全件を削除する。	P.5-10

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
電話帳	その他電話番号	サービス番号	USIMに登録されているサービス番号を登録する。	P.5-5
		着信拒否番号	着信拒否する電話番号を登録する。	P.5-5
		FDN（発信先固定）	発信を許可する電話番号を登録する。	P.5-5
	電話帳設定	電話帳登録件数	電話帳の設定をする。	P.5-2
		シークレット表示		P.14-8
		個人情報設定		P.2-9
		スピードダイヤル		P.5-4
	通話履歴	発信履歴	履歴の表示設定をする。	P.2-4
		着信履歴		
		不在着信履歴		
		全履歴削除		
		自動削除設定		
		重複履歴表示設定		
設定	一般設定	音／照明／モード設定	通常モード／会議中モード／アウトドアモード／運転中モード／マナーモードを設定する。	P.9-2
		Language	日本語／英語を選択する。	P.8-9
		日時設定	年月日、時刻を設定する。	P.1-22
		リセット	設定を初期状態に戻す。	P.14-10

大項目	中項目	小項目	概　要	参照ページ
設定	ディスプレイ設定	メインディスプレイ	メインディスプレイに関する設定をする。	P.8-2
		サブディスプレイ	サブディスプレイに関する設定をする。	P.8-3
		フォント設定	画面フォントの設定をする。	P.8-8
	通話設定	共通設定	通話に関する共通設定をする。	P.2-2、P.5-5、P.16-2、P.16-3
		音声通話設定	音声通話に関する設定をする。	P.2-5、P.2-6
		TVコール設定	TVコールに関する設定をする。	P.6-5
		発着信設定	発着信に関する設定をする。	P.16-2
	ロック／セキュリティ設定	ボタン操作ロック	操作ボタン、ミュージックアシストボタン、サイドボタンを誤って押さないように設定する。	P.14-8
		ダイヤルロック	804Nを無断で使用されないように暗証番号をかけてロックする。	P.14-5
		暗証番号設定	暗証番号を設定する。	P.14-2
	接続設定	Bluetooth	Bluetoothの設定をする。	P.13-3
		ネットワーク設定	ネットワークに関する設定をする。	P.18-3
	メモリ設定	保存容量確認	メモリ容量の詳細を確認する。	P.11-6
		メモリカード	メモリカードに関する設定をする。	P.11-5

リセット項目一覧

メニュー項目	オールリセットで初期化される内容	
	設定リセットで初期化される内容	メモリリセットで初期化される内容
Vアプリ	・ネットワーク接続 ・着信時優先動作設定 ・再生音量／バイブ設定 ・パネル照明設定 ※1	・ダウンロードしたVアプリ ※2
Vodafone live!	・スクロール設定 ・文字サイズ設定 ＜ブラウザ設定＞ ・ディスプレイ設定 ・お気に入り設定 ・サウンド取得 ・Cookie設定 ・証明書1～8 ・製造番号通知 ※3、※4	・ブックマーク ・お気に入り ・アクセス履歴 ・ブラウザキャッシュ ・Cookie ・履歴 ※4
エンタテイメント	＜ミュージックプレイヤー＞ ・再生リストのソート ・プレイヤーの設定 ・共通設定 ＜メディアプレイヤー＞ ・ピクチャーの設定 ・ムービーの設定	＜ミュージックプレイヤー＞ ・最近再生した曲 ・よく再生する曲 ・ダウンロード

メニュー項目	オールリセットで初期化される内容	
	設定リセットで初期化される内容	メモリリセットで初期化される内容
エンタテイメント	＜キャスト＞ ・スクロール設定 ・文字サイズ ・画像表示／取得 ・サウンド取得	＜キャスト＞ ・配信されたキャストの情報
カメラ	＜カメラ＞ ・画像サイズ設定 ・画像品質設定 ・ホワイトバランス ・ナイトモードOn（ナイトモードOff） ・セルフタイマー設定 ・カメラ設定の表示サイズ ・カメラ設定のシャッター音 ・カメラ設定の画像チューニング ＜ビデオ＞ ・画像品質設定 ・ホワイトバランス ・ナイトモードOn（ナイトモードOff） ・音声録音設定 ・カメラ設定の録画制限 ・カメラ設定の表示サイズ ・カメラ設定のシャッター音 ・カメラ設定の画像チューニング	＜バーコードリーダー＞ ・登録データ
データフォルダ	・ソート ・画面表示切替 ・自動保存	・データフォルダ内に保存されているすべてのユーザデータ ・自動保存

メニュー項目	オールリセットで初期化される内容	
	設定リセットで初期化される内容	メモリリセットで初期化される内容
メール	・自動振り分け設定 ・ユーザフォルダ名 ＜表示設定＞ ・スクロール設定 ・冒頭文 ・署名設定 ・引用符 ・文字サイズ ・デルモジ表示設定 ＜MMS設定＞ ・受信設定 ・MMS作成モード ・配信確認 ・配信確認応答 ・有効期限 ・配信時間指定 ＜SMS設定＞ ・配信確認 ※5	・メールデータ※6
ツール	・カレンダーの表示方法、フィルタ ・簡易電卓／通貨換算のレート設定 ・ユーザ辞書	・カレンダーの登録データ ・アラーム ・予定リスト ・テキストメモ

メニュー項目	オールリセットで初期化される内容	
	設定リセットで初期化される内容	メモリリセットで初期化される内容
電話帳	・グループ登録 ・シークレット表示 ・スピードダイヤル ・自動削除設定 ・重複履歴表示設定	・電話帳データ ・グループ登録※7 ・個人情報 ・発信履歴 ・着信履歴 ・不在着信履歴
設定	＜音／照明／モード設定＞ ・モード設定 ・音量 ・着信音 ・着信イルミネーション ・バイブレータ ・その他設定 ＜Language＞ ・Display language ＜日時設定＞ ・日時 ・リモート時計設定 ・表示形式 ＜メインディスプレイ＞ ・グリーティング ・壁紙 ・省電力設定 ・照明設定 ・オペレータ名表示設定	＜音／照明／モード設定＞※7 ・着信音 ＜メインディスプレイ＞※7 ・グリーティング ・壁紙の画像選択

メニュー項目	オールリセットで初期化される内容	
	設定リセットで初期化される内容	メモリリセットで初期化される内容
設定	＜サブディスプレイ＞ ・壁紙 ・待受表示固定 ・情報表示 ・時計種類 ・照明設定 ・コントラスト調節 ＜フォント設定＞	＜サブディスプレイ＞※7 ・壁紙
	＜共通設定＞ ・受話音量 ・通話時間表示 ・イヤホン切替 ・電話帳画像着信設定 ・ポーズダイヤル ・ダイヤルトーン設定	＜共通設定＞ ・通話時間
	＜音声通話設定＞ ・オートリダイヤル ・エニーキーアンサー ・クローズ動作設定	
	＜ＴＶコール設定＞ ・カメラ設定 ・オプション設定 ＜発着信設定＞ ・発信者番号通知 ・留守番／転送電話の自動設定確認 ・登録外着信拒否 ・非通知着信設定	＜ＴＶコール設定＞※7 ・代替画像選択

メニュー項目	オールリセットで初期化される内容	
	設定リセットで初期化される内容	**メモリリセットで初期化される内容**
設定	＜ロック／セキュリティ設定＞ ・ボタン操作ロック ・ダイヤルボタンロック ・操作用暗証番号 ＜接続設定＞ ・Bluetooth ・ネットワーク設定の3G／GSM切替L ・ネットワーク設定のネットワーク接続モード選択 ＜メモリ設定＞ ・USBメモリモード	
その他の機能	デスクトップアイコン、マイメニュー、メニューのアイコン画像	文字入力方式

※1 Vアプリの設定リセットで初期化されます。
※2 Vアプリのメモリリセットで初期化されます。
※3 ブラウザ設定リセットで初期化されます。
※4 ブラウザメモリリセットで初期化されます。
※5 メール設定リセットで初期化されます。
※6 USIMに登録されたSMSのデータは、メモリリセット、およびオールリセットで初期化されません。メールの１件削除／全削除で削除してください。
※7 お買い上げ時に登録されているデータ以外を設定していた場合は、メモリリセットで初期化されます。

補足

- **オールリセットでのみ初期化される内容について**
  - ネットワーク自動調整
  - 留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときに表示されるアイコン（ ）
- **メモリリセットまたはオールリセットをすると**
  すべての著作権保護の利用権利（コンテンツ・キー）が削除されます。

マルチタスクの組み合わせについて

マルチタスクで同時に利用できる主な機能の組み合わせパターンは次のとおりです。

○：起動できます。×：起動できません。△：同時には起動できません。

起動中の機能 ＼ 利用する機能	ミュージックプレイヤー	Vodafone live!	キャスト	メール	Vアプリ	エンタテイメント	カメラ	データフォルダ	ツール	電話帳	設定	パケット通信※1	音声電話	TVコール
ミュージックプレイヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ ※4	○	○ ※7	×
Vodafone live!／キャスト／メール(SMS／MMS)グループ	○ ※2	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○ ※4	△	○	×
Vアプリ／エンタテイメント／カメラ／データフォルダ／ツール／電話帳／設定グループ	○ ※3、4	○ ※4	○ ※4	○ ※4	△	△	△	△	△	△	△	△	○ ※8	×
音声電話発着信	○ ※5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
TVコール発着信	○ ※5	○ ※6	○ ※6	○ ※6	○	○	○	○	○	○	○ ※6	×	×	×
パケット通信※1	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×

※1　パソコンと接続して804Nをモデムとして使用している場合です。
※2　ミュージックプレイヤー起動中は、メール着信時に着信音がなりません。
※3　カメラやVアプリを起動すると再生は止まります。なお、エンタテイメントやデータフォルダの各機能から音の鳴るデータを再生するときは、ミュージックプレイヤーを終了させてください。
※4　「ネットワーク自動調整」は同時に起動できません。
※5　発着信が入ると再生は止まります。
※6　接続動作中は発着信ができません。
※7　通話中はミュージックの再生はできません。
※8　ムービーの再生、およびVアプリとカメラの起動はできません。

- 機能によっては、他の機能が起動しているときには操作できないものがあります。

故障かな？と思ったら

■ 基本操作編

現　象	チェックする箇所	参照ページ
電源が入らない	・電池切れになっていませんか。電池パックを交換するか充電してください。	P.1-13
電源を入れたのに操作できない	・「PIN1入力設定」が「有効」に設定されていませんか。画面の指示に従ってPIN1コードを入力してください。	P.14-3
電源を入れたときや機能の操作時に「USIMを挿入してください」または「USIMを認識できません　別のUSIMを使用してください」と表示される	・USIMカードは正しく取り付けられていますか。正しく取り付けられているのに表示が出る場合は、破損している可能性があります。 ・違ったUSIMカードをお使いではありませんか。当社で指定された正しいUSIMカードであることを確認してください。	P.1-5 P.1-4
「Presently reading from USIM card.Please wait a moment and try again.」または「USIMを読込中ですしばらくしてから実行してください」と表示される	・USIMカードのデータ読込中です。しばらくたってから操作し直してください。	P.1-4
ボタン操作ができない	・ダイヤルロックまたはボタン操作ロックが設定されていませんか。ダイヤルロックまたはボタン操作ロックを解除してください。	P.14-5 P.14-8
ダイヤルしても話中音（プープー…）が出る	・「圏外」が表示されていませんか。電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ・市外局番など0からはじまる電話番号をダイヤルしていますか。	P.1-11 P.2-2
「圏外」が表示され、電話がかけられない	・サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか。	P.xxviii
通話がとぎれたり、切れたりする	・「圏外」が表示されているか、または電波状態が悪い場所にいませんか。 ・電池切れになっていませんか。	P.xxviii P.1-13

現　象	チェックする箇所	参照ページ
電話がかけられない	・ダイヤルロックが設定されていませんか。 ・FDN(発信先固定)が「On」になっていませんか。 ・発着信規制サービスの発信規制が設定されていませんか。	P.14-5 P.14-6 P.17-4
電話帳が呼び出せない	・呼び出したい電話帳がシークレットデータとして登録されていませんか。	P.14-7
電話がかかってきたりメールを受信しても、サブディスプレイに通知されない	・「サブディスプレイ」の「待受表示固定」が「On」に設定されていませんか。	P.8-3
通話中に「プチッ」と音が入る	・電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	P.xxviii
充電できない	・急速充電器の接続コネクターが 804N または卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか。 ・急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか。 ・電池パックが804Nに取り付けられていますか。 ・804Nを卓上ホルダーに確実に置いていますか。 ・804N、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、804Nの外部接続端子、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか。汚れていた場合は、乾いた綿棒などで端子部の汚れを落としてください。 ・周囲の温度が5℃以下または40℃以上になる場所で充電していませんか。 ・電池パックに異常はありませんか。 ・充電を繰り返しても十分に充電できない場合は、電池パックの交換時期です。新しい電池パックに交換してください。 ・充電中に804Nや電池パックの温度が上昇していませんか。温度が上昇すると充電を中断することがあります。804Nや電池パックが冷めてから、充電し直してください。	P.1-18 P.1-18 P.1-16 P.1-19 P.1-13 P.1-13 P.1-13 P.1-13 P.1-13
充電時間が短い	・電池パックが使い切られていないときには、充電時間は短くなります。	P.1-13
電池アラームが鳴らずに電源が切れている	・マナーモードに設定されていませんか。マナーモード中はアラーム音が鳴りません。	P.1-15

現　象	チェックする箇所	参照ページ
熱くなる	・充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。 ・充電したり、長時間通話したりすると804Nが発熱することがあります。手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。手で触れられないほど熱くなった場合は直ちに充電／使用を中止し、お問い合わせ先（☞P.31-41）までご連絡ください。	P.1-13 P.1-13
電池の消費が早い	・使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状況によっては電池の消費が早くなります。適切な環境下で、電池の消費の大きな機能（TVコール、Vアプリ）の使用を控えてください。	P.1-16
ディスプレイの表示がちらつく	・蛍光灯の近くで使用していませんか。	P.xxviii
動画撮影時に画面がちらつく	・「カメラ設定」の「画像チューニング」でモードを切り替えてください。	P.7-7
バックライト消灯時、ディスプレイの表示が暗い	・ディスプレイの特性によるものです。故障ではありません。	P.8-4
電話帳やカレンダーをvファイルにしたとき、表示されない文字がある	・Shift-JIS コードに対応していない特殊文字は空白になります。故障ではありません。	P.4-3

■ Vodafone live!編

現　象	チェックする箇所	参照ページ
「接続が中断されました」と表示される	・電波の弱い場所などで送受信に失敗したときに表示されます。電波の強さを確認して、再度送信してください。 ・サービスセンターとやりとりしているとき、サービスセンターから応答がなかった場合に表示され、接続が切断されます。しばらくたってから再度送信または接続してください。	P.xxviii P.18-3
「送信できませんでした」と表示される	・サービスセンターがメンテナンス中です。しばらくたってから送信してください。	P.18-3
「応答がありませんでした」と表示される	・サービスセンターがメッセージを受け付けたかどうか、わからないときに表示されます。しばらくたってから送信してください。	P.18-3

現　象	チェックする箇所	参照ページ
「ネットワークに接続できません」と表示される	・サービスセンターがメッセージを受け付けませんでした。しばらくたってから送信してください。	P.18-3
「再接続しますか？」または「接続が中断されました　再接続しますか？」と表示される	・送信中に電波が弱くなったなどの理由で接続が中断されました。「YES」を選択すると、再開できます。	P.18-3
送信しても相手に届かない	・相手がアドレスフィルターでセキュリティを設定しているかどうかをご確認ください。 ・相手の宛先に「184」「186」を付けると送信できません。「184」や「186」を外して再度送信してください。	 P.2-2
写メールがうまく送信できない	・画像を相手が受け取れるサイズに変更するか、受け取れるサイズの画像を撮影して、再度メールに添付して送信してください。 ・送信する相手は MMS に対応していますか。相手がロングメール対応機の場合は6Kバイト、スーパーメール対応機の場合は12Kバイト（ただし、JPEGファイルやMPEG-4ファイルを含むときは最大30Kバイト）を超えるメールを送信しても受信することはできません。（ともに宛先／件名／メッセージ本文を含んだデータ容量です。） ・送信する相手は添付ファイルのファイル形式に対応していますか。対応していない場合、画像を送信することはできません。 ・相手はMMSやスーパーメール、ロングメールの契約をしていますか。画像（静止画）などのファイルが添付されたメールを受信するには、別途MMS、スーパーメールまたはロングメールのご契約が必要です。相手がいずれも契約されていないときは、384バイトを超えるメールを送信しても受信することはできません。（文字数が多いときも同様です。）	P.7-5 P.18-2, P.20-2 P.20-5 P.20-5

現　象	チェックする箇所	参照ページ
受信メールを保存する容量がない	・メモリ不足の確認メッセージが表示され、新しいメールを受信できません。不要な受信メールを消去してください。受信できなかったメールは、サービスセンターに蓄積されます。(メールを保存する容量ができると、自動的にサービスセンターに蓄積されたメールを受信します。) ・使用メモリの合計が 100%未満の場合でも、新しいメールを受信できないことがあります。不要な受信メールを消去してください。	P.11-6 P.21-5 P.21-9
「サイズオーバーのためダウンロードできません」と表示される	・804NのVアプリライブラリのメモリがいっぱいです。不要なVアプリを消去してから、やり直してください。	P.27-5
「登録できる最大件数を超えたためダウンロードできません。ダウンロード終了します」と表示される	・すでにVアプリが804Nに100件登録されています。不要なVアプリを削除してから、やり直してください。	P.27-2 P.27-5
「不正なデータを受信しました。ダウンロードを終了します」と表示される	・804Nではダウンロードできないデータです。ダウンロードを中止してください。	P.27-2

区点コード一覧表

各段の左側の3桁の数字は区点コードの1～3桁を示しています。各段の一番上の数字は区点コードの4桁目を示しています。

〈例〉「仝」を入力する場合

区点1～3桁目の「012」を入力してから、区点4桁目の「4」を入力します。

画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る~れ					
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘

31 付録

区点 1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					

区点 1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴

区点 1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖

区点 1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊

区点 1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰

区点 1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

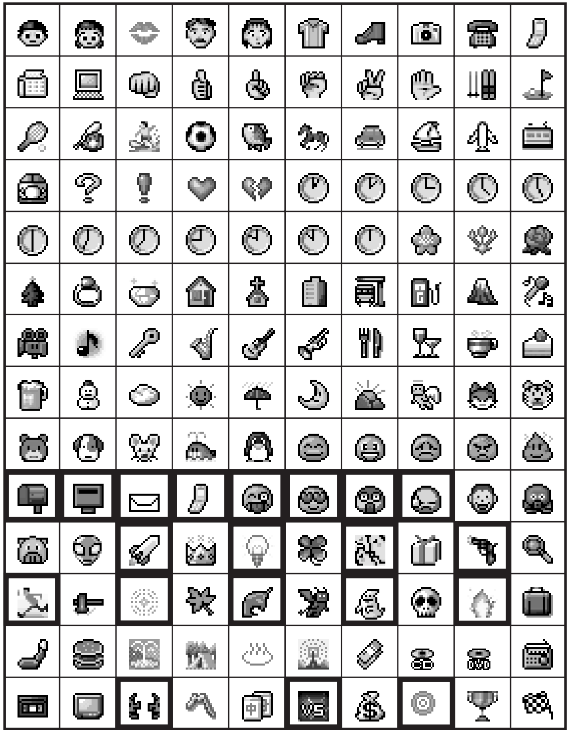
記号／絵文字一覧

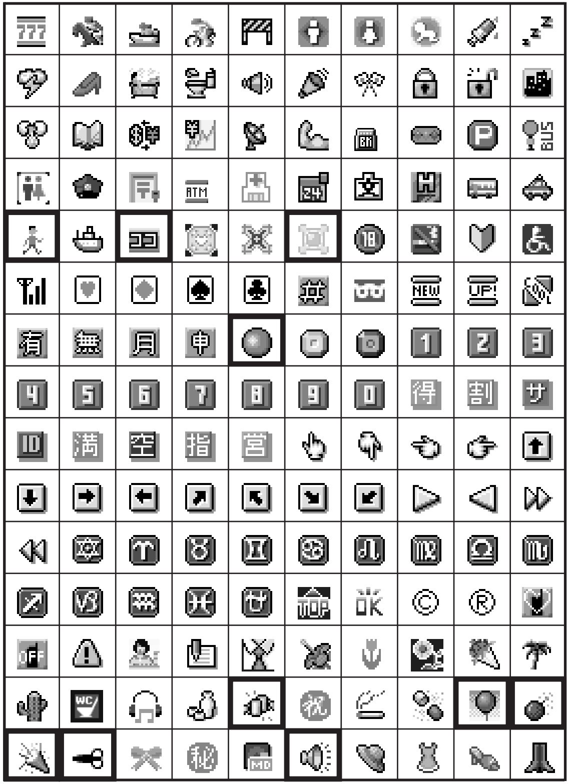
■ 記号

■ 変換記号

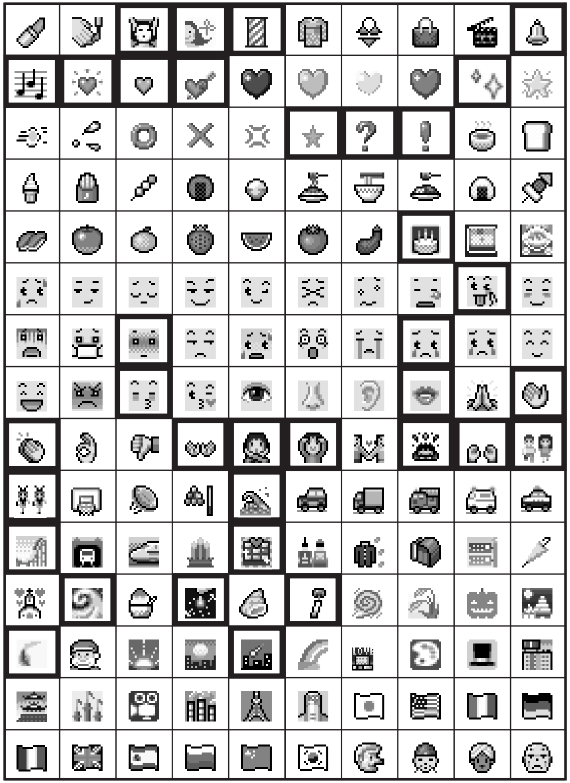
記号名（入力文字）	記　号	記号名（入力文字）	記　号
あっと	＠	さんかく	△▲▽▼
あっとまーく		しゃせん	／＼
いこーる	＝	しかく	□■◇◆
えん	￥	たす	＋
おす	♂	どう	ヽヾゝゞ〃仝
おなじ	々	ぱーせんと	％
おなじく	〃	ひく	－
おんぷ	♪	ひしがた	◇◆
かける	×	ほし	☆★
かっこ	（）〔〕［］｛｝〈〉《》	まる	○●◎
	「」『』【】‘’“”()〈〉	むげん	∞
	[]{}｢｣	めす	♀
から	〜	やじるし	→←↑↓
こめ	※	ゆうびん	〒
ころん	：	るーと	√
こんま	，	わる	÷

■ 絵文字


VS
DVD


777
BUS
ATM
24
18
NEW
UP!
有
無
月
申
1
2
3
4
5
6
7
8
9
0
得
割
サ
ID
満
空
指
営
TOP
OK
OFF
WC
MD

31
付録





- □部分の絵文字は動く文字です。
- 一部の絵文字および動く絵文字は、相手のボーダフォン携帯電話の機種により表示されない場合があります。
- デルモジ表示した場合は、絵文字の形が異なって見えることがあります。

顔文字一覧

<table>
<tr><th>顔文字の意味
（入力文字）</th><th>顔文字</th><th>顔文字の意味
（入力文字）</th><th>顔文字</th><th>顔文字の意味
（入力文字）</th><th>顔文字</th></tr>
<tr><td>ありがと
ありがとう</td><td>m(__)m</td><td>ひやあせ</td><td>(~o~;</td><td>むか</td><td>(;-_-+</td></tr>
<tr><td>ばんざい</td><td>＼(^O^)／</td><td>あせあせ</td><td>(;^_^A</td><td>こそこそ</td><td>(･_･|</td></tr>
<tr><td>わーい</td><td>(^O^)</td><td>びくっ</td><td>(*_*)</td><td>じーっ</td><td>(-_-)</td></tr>
<tr><td>おーい</td><td>(^O^)／</td><td>どき</td><td>(◎-◎;)</td><td>きこえない</td><td>|(-_-)|</td></tr>
<tr><td>ぶい</td><td>(^^)v</td><td>え</td><td>(@_@;)</td><td>こまったもんだ</td><td>(￣～￣)ゞ</td></tr>
<tr><td>ぎゃはは</td><td>(^Q^)/^</td><td>めがてん</td><td>(・・;)</td><td>ぶたー</td><td>)^o^(</td></tr>
<tr><td>あは</td><td>(o^o^o)</td><td>はてな</td><td>(・・?)</td><td>こあら</td><td>(―Q―)</td></tr>
<tr><td>にこ</td><td>(^-^)</td><td>きらーん</td><td>(☆。☆)</td><td>いっぷく</td><td>(^!^)y~</td></tr>
<tr><td>にこ</td><td>(*^_^*)</td><td>しくしく</td><td>(T_T)</td><td>いっぷく</td><td>(^ .^)y-~~~</td></tr>
<tr><td>ちゅ</td><td>(^3^)/</td><td>さよなら</td><td>(T_T)/~</td><td>ほし</td><td>☆彡</td></tr>
<tr><td>ちゅ</td><td>(^ε^)-☆Chu!!</td><td>いたた</td><td>(>_<)</td><td>ねてる</td><td>(-_-)zz</td></tr>
<tr><td>わくわく</td><td>o(^-^)o</td><td>えーん</td><td>(;_;)</td><td>ねむい</td><td>＼(~o~)／</td></tr>
<tr><td>ういんく</td><td>(^_-)</td><td>なぜ</td><td>(?_?)</td><td>めも</td><td>φ(..)</td></tr>
<tr><td>さよなら</td><td>(^_^)/~</td><td>がーん</td><td>(￣□￣;)!!</td><td>うん</td><td>(°_°) (。_。)</td></tr>
<tr><td>がんば</td><td>p(^^)q</td><td>えへん</td><td>(￣^￣)</td><td>かんぱい</td><td>(^^)／▽☆▽＼(^^)</td></tr>
<tr><td>ね</td><td>(^.^)b</td><td>む</td><td>(―_―メ)</td><td>ども</td><td>＼(^_^)(^_^)／</td></tr>
<tr><td>ぽりぽり</td><td>(^^ゞ</td><td>いかり</td><td>(`´)</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

31

付録

メモリ容量一覧

メール※1	
受信メール、ユーザフォルダ	最大1000件※2
送信済みメール	最大500件
未送信メール、下書き	最大50件

※1 メールボックス内の受信メール、ユーザフォルダ、送信済みメール、未送信メール、下書きはメモリを共有しています。

※2 受信メール、ユーザフォルダには1000件以上のメッセージを保存できる場合があります。

ウェブ	
お気に入り	最大100件（1件につき300Kバイトまで）
ブックマーク	最大100件

データフォルダ（最大約450Mバイト）	
ピクチャー	最大595件
着信メロディ	最大595件
Vアプリ	最大100件
ミュージック	最大1000件
ムービー	最大595件
その他	最大100件
ボイスレコーダ	最大100件
その他のフォルダ	最大100件

※ 保存可能件数はデータ量により変動します。

※ 「ピクチャー」「着信メロディ」「ムービー」フォルダは、ファイルが95件とサブフォルダが5件(各サブフォルダにはファイル100件を保存可能)の合わせて最大595件までファイルを保存できます。また「ミュージック」フォルダには、ファイルが100件保存できるサブフォルダを100件まで作成でき、合わせて最大1000件のファイルを保存できます。

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

■ Vodafone 804N

項 目	仕 様
質量	約115g
連続通話時間	音声通話：約180分（3G） 約260分（GSM） TVコール：約120分
連続待受時間	約270時間（3G） 約210時間（GSM）
サイズ（W×H×D）	約48×93×23㎜（折り畳み時）
最大出力	0.25W（3G） 2.0W（GSM）

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待ち受けは電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。

- ディスプレイの照明がついている状態でのご利用（ボーダフォンライブ！の操作など）が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- 壁紙などに動きのある画面を設定した場合、連続通話時間および連続待受時間が著しく短くなることがあります。
- Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
- 連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」、また連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、804Nを折り畳んだ状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」です。実際に使う場合は、通話と待ち受けの組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。

■ 電池パック

項　目	仕　様
定格電圧	3.8V
電池種別	リチウムイオン電池（Li-ion）
容量	1000mAh
サイズ（W×H×D）	約37×60×4㎜

■ 急速充電器

項　目	仕　様
入力電圧	AC100～240V、50／60Hz （付属電源コード使用時）
定格入力容量	9VA（AC100V）
出力電圧／出力電流	DC5.4V／600mA
使用温度	5℃～40℃
サイズ（W×H×D）	約38×63×20㎜（コード部分含まず）

■ 卓上ホルダー

項　目	仕　様
入力電圧／入力電流	DC5.4V／600mA（急速充電器接続時）
出力電圧／出力電流	DC5.4V／600mA（急速充電器接続時）
サイズ（W×H×D）	約107×54×40㎜

索 引

英数字

あ

31
付録

く

こ

さ

し

つ

て

と

ゆ

よ

ら

り

る

ろ

わ

保証とアフターサービス

■ 保証について

804N本体をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お確かめください。

それでも異常がある場合は、ご契約いただいたボーダフォン各地域の故障受付（☞P.31-41）または最寄りのボーダフォンショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

31

付録

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内　ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付　ボーダフォン携帯電話から113（無料）

ボーダフォン国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび
盗難・紛失のご連絡
+81-3-5351-3491（有料）

■ 一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ先	
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-240-113(無料)
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-241-113(無料)
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-242-113(無料)
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-259-113(無料)
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-247-113(無料)
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-250-113(無料)

SoftBank 804N　取扱説明書

2006年10月　第3版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

＊ご不明な点はお求めになられた
ソフトバンク携帯電話取扱店に
ご相談ください。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず上記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

機種名　SoftBank 804N
製造元　日本電気株式会社

MDY-000031-JAA1